令和2年5月13日提出の資料と同じ

敦賀発電所2号炉

ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5

総点検結果(2) ②ボーリング柱状図記事欄以外の比較

令和2年6月4日 日本原子力発電株式会社 本資料は、ボーリング柱状図の記事欄以外について比較を行い、記載が変更されている箇所を抽出し、 その内容、変更理由を確認したものである。

記事欄以外とは、孔口標高、掘削長、標尺、標高、深度、柱状図欄の模様、岩種区分、色調、岩級区分、コア採取率とそのグラフ表示、最大コア長とそのグラフ表示及びRQDとそのグラフ表示である。

比較対象としたのは以下の資料である。

- ・調査会社からの報告書(以下「報告書」という。)
 - 平成19年, 平成20年, 平成25年, 平成27年, 平成30年
- ・平成27年11月5日 原子炉設置変更許可申請書(以下「申請書」という。)
- ·審査会合資料
 - •平成29年12月22日審查資料(第536回審查会合)
 - •平成30年11月30日審查資料(第657回審查会合)
 - •令和2年2月7日審查資料(第833回審查会合)

比較は、以下の資料毎で行った。

- ・報告書と平成29年12月22日審査資料
- ・報告書と平成30年11月30日審査資料
- ・報告書と申請書
- ・申請書と平成29年12月22日審査資料
- •平成29年12月22日審査資料と平成30年11月30日審査資料
- •平成30年11月30日審査資料と令和2年2月7日審査資料

なお、確認の結果、平成29年12月22日審査資料と平成30年11月30日審査資料の記事欄以外の記載は同一であることが確認できたため、本資料の以降には含めていない。

記載が変更されている場合は、変更理由を確認し、四つの分類に整理した。

分類a:誤記

分類b:誤記修正 …誤記を正しく修正したもの

分類c:記載の適正化

分類d:記事欄の記載変更に伴う変更 …補足説明資料2で確認した記事欄の記載の変更に伴い記事欄以外の記載を変更しているもの

No.	頁	ボーリング孔名		記載変更の内容		分類	変更理由
NO.	Į.	ハーリング 九石	対象箇所	報告書	審査資料	刀块	支 史哇田
1-1	補足5- 12,13	H19-No.16	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-2	補足5- 12,13	H19-No.16	色調	記載なし	オリーブ黒	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-3	補足5- 12~37	H19-No.16	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-4	補足5- 14,15	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-5	補足5- 16,17	H19-No.16	標高(m)	記載なし	17.73	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-6	補足5- 16,17	H19-No.16	標高(m)	記載なし	17.63	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-7	補足5- 16,17	H19-No.16	深度(m)	記載なし	56.75	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-8	補足5- 16,17	H19-No.16	深度(m)	記載なし	56.85	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-9	補足5- 16,17	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-10	補足5- 16,17	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-11	補足5- 16,17	H19-No.16	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	С	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-12	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	8.06	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-13	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	7.91	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-14	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	7.75	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-15	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	7.58	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-16	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.42	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-17	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.57	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-18	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.73	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-19	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.90	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-20	補足5- 18,19	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-21	補足5- 18,19	H19-No.16	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	С	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-22	補足5- 18,19	H19-No.16	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	С	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-23	補足5- 20,21	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-24	補足5- 20,21	H19-No.16	柱状図	模様の位置	計が異なる。	b	誤記の修正。
1-25	補足5- 24,25	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-26	補足5- 24,25	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-27	補足5- 24~27	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-28	補足5- 28,29	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-29	補足5- 28,29	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-30	補足5- 32,33	H19-No.16	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-31	補足5- 36,37	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-32	補足5- 38,39	H19-No.17	標高(m)	73.91	記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-33	38,39, 42,43, 補足5- 46,47, 52~57, 60,61	H19-No.17	標高(m)	66.30~-106.80	65.46~-125.54	а	誤記。
1-34	補足5- 38,39	H19-No.17	深度(m)	0.61	記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-35	補足5-38~61	H19-No.17	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-36	補足5- 38,39	H19-No.17	最大コア長(cm)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-37	補足5- 38,39	H19-No.17	RQD(%)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-38	補足5- 40,41	H19-No.17	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-39	補足5- 42,43	H19-No.17	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-40	補足5- 42,43	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-41	補足5- 46,47	H19-No.17	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-42	補足5- 46,47	H19-No.17	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-43	補足5- 46,47	H19-No.17	岩種区分	黒雲母花崗岩	花崗岩	а	誤記。
1-44	補足5- 48,49	H19-No.17	標高(m)	-14.83	記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-45	補足5- 48,49	H19-No.17	深度(m)	98.52	記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-46	補足5- 50,51	H19-No.17	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
			•	•			I =0 =7

→ 対類 a:誤記 分類 b:誤記修正 分類 c:記載の適正化 分類 d:記事欄の記載変更に伴う変更

No.	頁	ボーリング孔名	対象箇所	記載変更の内容 報告書	審査資料	分類	変更理由
1-47	補足5- 62,63	H19-No.19	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-48	補足5-62~67	H19-No.19	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-49 1-50	補足5- 62~79 補足5- 78,79	H19-No.19 H19-No.19	コア採取率(%) 柱状図	数値, グラフ記載なし 模様が異なる	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-51	補足5- 78,79	H19-No.19	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-52	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	19.07	記載なし	С	幅8cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたのに伴い、表土下端の標高の表示がなくなったもの。
1-53	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	18.62	記載なし	С	岩種区分の"中砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-54	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	17.98	記載なし	С	岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-55	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	15.68	記載なし	С	岩種区分の"粗砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-56	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	0.08	記載なし	С	幅8cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたのに伴い、表土下端の深度の表示がなくなったもの。
1-57	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	0.60	記載なし	С	岩種区分の"中砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-58	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	1.34	記載なし	С	岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-59	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	4.00	記載なし	С	岩種区分の"粗砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-60	補足5-80,81	H19-No.8	柱状図	斜線の記載	記載なし	С	幅Scmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することしたのに伴い、表土区間の図模様の表示がなくなったもの。
1-61	補足5- 80,81 補足5- 80,81	H19-No.8 H19-No.8	柱状図 柱状図	模様が異なる 模様が異なる		C	審査資料作成の際に模様を見直したため。 性状が近いものを丸めたため。
1-63	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		С	性状が近いものを丸めたため。
1-64	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		С	性状が近いものを丸めたため。
1-65	補足5-80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-66	補足5- 80,81 補足5- 80,81	H19-No.8 H19-No.8	岩種区分 岩種区分	表土 有機質土混り中砂	有機質土混じり砂 有機質土混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。 性状が近いものを丸めたため。
1-68	補足5-80,81	H19-No.8	岩種区分	中砂	砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-69	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	細砂有機質土混り砂質シルト互層	砂	С	性状が近いものを丸めたため。
1-70	補足5-80,81	H19-No.8	岩種区分	中砂	砂	С	性状が近いものを丸めたため。
1-71 1-72	補足5- 80,81 補足5- 80,81	H19-No.8 H19-No.8	岩種区分 岩種区分	粗砂細砂	砂 砂	c	性状が近いものを丸めたため。 性状が近いものを丸めたため。
1-73	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	礫混り・砂利混り中砂	確混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-74	補足5-80~101	H19-No.8	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値,グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-75	補足5- 84,85	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-76	補足5-88,89	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-77 1-78	補足5-92,93 補足5-92,93	H19-No.8 H19-No.8	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-79	補足5- 96,97	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-80	補足5- 96,97	H19-No.8	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-81	補足5- 102,103	H20-①-2	標高(m)	66.08	記載なし	С	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-82	補足5- 102,103	H20-①-2	深度(m)	0.08	記載なし	С	(性状が近いものを外の)におり 岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-83	補足5- 102,103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる		С	性状が近いものを丸めたため。
1-84	補足5- 102,103	H20-①-2 H20-①-2	柱状図 柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
1-85 1-86	補足5- 102,103 補足5- 102,103	H20-①-2	岩種区分	腐植土	っ。 有機質混じり砂	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 性状が近いものを丸めたため。
1-87	補足5- 102,103	H20-(1)-2	岩種区分	腐植混じり砂	有機質混じり砂	С	表現を統一したため。
1-88	補足5- 102,103	H20-1)-2	岩種区分	シルト質砂	花崗斑岩	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-89	補足5- 102,103	H20-①-2	岩級区分	D´間に空欄	D´	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩級区分の変更)
1-90	補足5- 102~115 補足5- 106,107	H20-①-2 H20-①-2	コア採取率(%) 柱状図	数値, グラフ記載なし 模様が異なる	数値,グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-92	補足5- 110,111	H20-(1)-2	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-93	補足5- 116,117	H20-①-1	標高(m)	66.60	記載なし	С	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-94	補足5- 116,117	H20-①-1	深度(m)	0.04	記載なし	С	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-95	補足5- 116,117	H20-①-1	柱状図	模様が異なる	5.	С	岩種区分の"腐植土"を消去したため。
1-96	補足5- 116,117	H20-(1)-1	柱状図	模様が異なる		d	(性状が近いものを丸めたため) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-97	補足5- 116,117	H20-①-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-98	補足5- 116,117	H20-①-1	岩種区分	腐植土、シルト混じり砂	シルト混じり砂	С	性状が近いものを丸めたため。
1-99	補足5- 116,117	H20-①-1	色調	黄灰	灰黄	b	誤記の修正。
1-100	補足5-116~125	H20-①-1	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし 模様が異なる	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-101 1-102	補足5- 124,125 補足5- 126,127	H20-①-1 H20-①-3	柱状図 柱状図	模様が異なる 模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-103	補足5- 126,127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(吸件的模様の変更)
1-104	補足5- 126,127	H20-1)-3	柱状図	模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-105	補足5- 126~135	H20-①-3	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-106	補足5-134,135	H20-1)-3	柱状図	模様なし	模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-107 1-108	補足5- 134,135 補足5- 136,137	H20-①-3 H20-①-4	柱状図	模様なし模様が異なる	模様あり 5。		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-109	補足5- 136,137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる		d	
1-110	補足5- 136,137	H20-1)-4	柱状図	模様が異なる	5.		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-111	補足5-136~145	H20-①-4	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	INTER- INTERIOR CONTRACTOR
1-112	補足5- 140,141	H20-①-4	柱状図	模様なし模様が異なる	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-113	補足5- 140,141 補足5- 142,143	H20-①-4 H20-①-4	柱状図 柱状図	模様なし	o。 模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-115	補足5- 146~159	H19-No.11	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり		記事機の記載変更に行う変更。(吸作可模様の変更) 報告書の記載漏れを修正したため。
1-116	補足5- 146,147	H19-No.11	最大コア長(cm)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-117		H19-No.11	RQD(%)	り 増発が果た	記載なし		基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-118		H19-No.11 H19-No.13	柱状図 標高(m)	模様が異なる記載なし	20.66		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-119	補足5- 160,161	H19-No.13	標高(m)	記載なし	20.37		岩種区分に ヘクマダイト か追加されたため。 岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-121		H19-No.13	深度(m)	記載なし	20.10		岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-122	補足5- 160,161	H19-No.13	深度(m)	記載なし	20.42	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-123	補足5- 160,161	H19-No.13	柱状図	模様なし	模様あり	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-124	補足5-160,161	H19-No.13 H19-No.13	岩種区分コア採取率(%)	アプライト 数値, グラフ記載なし	ペグマタイト 数値, グラフ記載あり	c h	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。 報告書の記載漏れを修正したため。
1-125 1-126	補足5- 160~171 補足5- 164,165	H19-No.13	コア採取率(%) 標高(m)	数1世, グラノ記載なし 記載なし	<u> </u>	C	報告書の記載漏れを修正したため。 岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-127	補足5- 164,165	H19-No.13	標高(m)	記載なし	-0.45	С	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-128	補足5- 164,165	H19-No.13	深度(m)	記載なし	43.30		岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-129	補足5- 164,165 補足5- 164,165	H19-No.13 H19-No.13	深度(m) 柱状図	記載なし 模様なし	43.40 模様あり		岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。 岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1 130	IMALO 104,100	1110 190.10	IT.N.EJ	7大7水/みし	1大1水のブ		石柱区がに ヘクマダイト か追加されたため。

分類 a : 誤記 分類 b : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

				記載変更の内容		1	
No.	頁	ボーリング孔名	対象箇所	報告書	審査資料	分類	変更理由
1-131	補足5- 164,165	H19-No.13	岩種区分	アプライト	ペグマタイト		報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-132	補足5- 168,169	H19-No.13	柱状図	模様なし	模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-133	補足5- 172,173	H20-3-1	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-134	補足5- 174,175 補足5- 176.177	H20-3-1 H19-No.3	柱状図 孔口標高	模様が異なる 37.31	ວ. 37.36	d b	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 誤記の修正。
1-133		H19-N0.3	九山保向	37.31	37.30	В	読品の形正。
1-136	176,177, 180,181, 184,185, 198,199	H19-No.3	標高(m)	37.19~-162.69	37.24~-162.64	ь	孔口標高を正しい値にしたため。
1-137	補足5- 176,177	H19-No.3	柱状図	模様が異なる	3 .	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-138	補足5- 176,177	H19-No.3	柱状図	模様が異なる	3.	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-139	補足5- 176,177	H19-No.3	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	С	表現を統一したため。
1-140	補足5- 176,177	H19-No.3	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	С	表現を統一したため。
1-141	補足5- 176~199	H19-No.3	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり		報告書の記載漏れを修正したため。
1-142	補足5- 178,179	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	_	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-143	補足5- 180,181	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-144	補足5- 180,181	H19-No.3 H27-Br-1	柱状図 柱状図	模様なし 模様が異なる	模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-145	補足5- 200~213			標尺0~1mの範囲のみ数値,			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-146	補足5- 200~213	H27-Br-1	コア採取率(%)	グラフの記載あり、その他なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-147	補足5- 202~205	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-148	補足5-206~209	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる		d	出す 同の 出
1-149	補足5- 208,209	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-150	補足5-212,213	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-151 1-152	補足5- 214,215 補足5- 214,215	H20-①-8 H20-①-8	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-152	補足5-214,215	H20-①-8	柱状図	模様が異なる		_	審査員科作成の际に保稼を見直したにめ。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-154	補足5-214,215	H20-①-8	岩種区分	腐植土	有機質土		表現を統一したため。
1-155	補足5- 214~217	H20-①-8	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり		報告書の記載漏れを修正したため。
1-156	補足5- 218~227	H27-Br-2	柱状図	模様が異なる	3.	С	the transfer of the same of th
1-157	補足5- 218,219	H27-Br-2	柱状図	模様が異なる	5.	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-158	補足5- 218~227	H27-Br-2	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり,その他なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-159	補足5- 228~231	H27-Br-8	柱状図	グラブの記載あり、その他なし		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
		H27-Br-8		標尺0~1mの範囲のみ数値,	-		
1-160	補足5- 228~239		コア採取率(%)	グラフの記載あり、その他なし	数値,グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-161	補足5- 230,231	H27-Br-8	標高(m)	記載なし	37.56	С	コア欠を反映させたため。
1-162	補足5- 230,231	H27-Br-8	深度(m)	記載なし模様が異なる	34.78	С	
1-163	補足5- 230,231 補足5- 232,233	H27-Br-8 H27-Br-8	柱状図 標高(m)	記載なし	ລ。 36.00		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-165	補足5- 232,233	H27-Br-8	深度(m)	記載なし	36.34		コア欠を反映させたため。 コア欠を反映させたため。
1-166	補足5- 232,233	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-167	補足5- 232,233	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-168	補足5-232~235	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる	ა .	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-169	補足5- 232,233	H27-Br-8	色調	コア欠	記載なし	С	表現を統一したため。
1-170	補足5- 232,233	H27-Br-8	色調	コア欠	記載なし	С	表現を統一したため。
1-171	補足5-236~239	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-172	補足5-240~243	H24-B14-1	柱状図	模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-173	補足5-244,245	H20-4-2 H20-4-2	柱状図 柱状図	模様が異なる		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-174 1-175	補足5- 244,245 補足5- 244,245	H20-4-2	柱状図	模様が異なる		d	審査資料作成の際に模様を見直したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-176	補足5- 244,245	H20-4-2	柱状図	模様なし	<u></u> 模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-177	補足5- 244,245	H20-4-2	岩種区分	シルト質細砂	シルト質砂		表現を統一したため。
1-178	補足5- 244~257	H20-4-2	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	_	報告書の記載漏れを修正したため。
1-179	補足5- 252,253	H20-4-2	柱状図	模様なし	模様あり		ma to live and a second and a s
1-180 1-181	補足5- 252,253 補足5- 258,259	H20-4-2 H20-4-1	柱状図 柱状図	模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 審査資料作成の際に模様を見直したため。
		H20-4)-1	柱状図	模様なし	。 模様あり		部事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-183	補足5- 258,259	H20-4)-1	岩種区分	腐植質シルト	有機質シルト	С	ma to the control of
1-184	補足5- 258259, 262~269	H20- ④ -1	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-185	補足5- 258,259	H20-4-1	柱状図	模様が異なる		a	
1-186	補足5-264,265	H20-4-1	柱状図	模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-187	補足5-264,265	H20-4-1 H20-4-1	柱状図	模様が異なる 模様なし	も。 模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-188 1-189	補足5- 268,269 補足5- 270,271	H20-(4)-1 H20-(4)-5	柱状図 柱状図	保様なし 模様が異なる			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-190	補足5- 270,271	H20-4-5	柱状図	模様が異な		d	
1-191	補足5- 270~277	H20-4-5	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-192	補足5- 274,275	H20-④-5	柱状図	模様なし	模様あり	_	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-193	補足5- 274,275	H20-4-5	柱状図	模様が異なる		d	
1-194	補足5- 278,279	H19-No.7	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-195	補足5- 278,279	H19-No.7	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-196	補足5-278,279	H19-No.7	柱状図 柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-197 1-198	補足5- 278,279 補足5- 278~281	H19-No.7 H19-No.7	柱状図	模様が異なる			審査資料作成の際に模様を見直したため。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-199	補足5-278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混りシルト	有機質土混じりシルト	С	
1-200	補足5- 278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り粗砂	有機質土混じり粗砂	_	表現を統一したため。
1-201	補足5- 278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	С	表現を統一したため。
1-202	補足5- 278~281	H19-No.7	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。
1-203	補足5-278~295	H19-No.7	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし 模様が異なる	数値、グラフ記載あり	b	
1-204	補足5- 280~283 補足5- 280,281	H19-No.7 H19-No.7	柱状図 岩種区分	要素を 関係	る。 玉石混じり砂礫	c	審査資料作成の際に模様を見直したため。 表現を統一したため。
1-206	補足5- 280~283	H19-No.7	岩種区分	※ では これ の で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	※石 流しり砂味 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	С	表現を統一したため。
1-207	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	С	
1-208	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫		表現を統一したため。
1-209	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂		表現を統一したため。
1-210	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫		表現を統一したため。
1-211	補足5-282,283	H19-No.7	最大コア長(cm)	0	記載なし		基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-212	補足5-282,283	H19-No.7	RQD(%)	0 #####	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-213	補足5- 294,295	H19-No.7	柱状図	模様なし	模様あり	a	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-214	補足5- 296,297	H24-B8-23	標高(m)	-15.84	数値記載なし	С	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見 にくいことから、配事のみに表現を留めたため)
						$\overline{}$	*石 司[司]

→ 対 a : 誤記 分類 a : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

No.	頁	ボーリング孔名	対象箇所	記載変更の内容 報告書	審査資料	- 分类	変更理由
					W. 64 46		岩種区分の"スライム"を消去したため。
1-215	補足5- 296,297	H24-B8-23	標高(m)	-15.91	数値記載なし	С	(当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-216	補足5- 296,297	H24-B8-23	深度(m)	25.52	数値記載なし	С	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が終く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見 にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-217	補足5- 296,297	H24-B8-23	深度(m)	25.60	数値記載なし	С	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見 にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-218	補足5- 296,297	H24-B8-23	柱状図	模様が異な	ა .	С	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見 にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-219	補足5- 296,297	H24-B8-23	岩種区分	花崗斑岩間にスライム	花崗斑岩	С	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見 にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-220 1-221	補足5- 298,299 補足5- 298,299	H24-B8-29 H24-B8-29	柱状図 柱状図	模様が異な		d	
1-222	補足5- 300,301	H24-B8-30	柱状図	模様が異な		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-223	補足5- 300,301	H24-B8-30	岩種区分	礫混じりシルト質砂	礫・シルト混じり砂	С	2/3/2/3/ 0/2/2/3
1-224	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-5.49	数値記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-225	補足5-302,303	H19-No.6 H19-No.6	標高(m) 標高(m)	-7.72 -8.03	数値記載なし 数値記載なし	С	
1-226 1-227	補足5- 302,303 補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-8.07	数値記載なし	С	性状が近いものを丸めたため。 性状が近いものを丸めたため。
1-228	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-10.84	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-229	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-11.41	数値記載なし	С	there are a resident
1-230	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-12.79	数値記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-231	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	11.49	数値記載なし	С	
1-232	補足5-302,303	H19-No.6	深度(m)	14.40	数値記載なし	С	岩種区分は同一のため削除。
1-233	補足5-302,303	H19-No.6	深度(m) 深度(m)	14.80 14.85	数値記載なし 数値記載なし	С	
1-234	補足5-302,303 補足5-302,303	H19-No.6 H19-No.6	深度(m) 深度(m)	18.47	数値記載なし	C	
1-236	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	19.22	数値記載なし	c	
1-237	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	21.02	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-238	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異な	ა	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-239	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異な		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-240	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異な		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-241	補足5-302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異な		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-242	補足5-302,303 補足5-302,303	H19-No.6 H19-No.6	柱状図 岩種区分	・ では、 できる。	。 礫混じり高有機質土	c	審査資料作成の際に模様を見直したため。 表現を統一したため。
1-244	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	
1-245	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。
1-246	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	砂	礫混じり砂	С	性状が近いものを丸めたため。
1-247	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	С	表現を統一したため。
1-248	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	С	
1-249	補足5-302~305	H19-No.6 H19-No.6	岩種区分コア採取率(%)	有機質土混り砂 数値,グラフ記載なし	有機質土混じり砂	C	
1-250	補足5- 302~323 補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なっ	数値,グラフ記載あり る。	C	報告書の記載漏れを修正したため。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-252	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異な		С	
1-253	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異な	ა .	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-254	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異な		С	
1-255	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異な		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-256	補足5-306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異ない 模様が異ない		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-257 1-258	補足5-306,307 補足5-306,307	H19-No.6 H19-No.6	柱状図	模様が異な		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-259	補足5-306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	確混じり砂	c	表現を統一したため。
1-260	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	_	表現を統一したため。
1-261	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。
1-262	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト		表現を統一したため。
1-263	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂		表現を統一したため。
1-264	補足5-306,307 補足5-306,307	H19-No.6 H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト 下端にUTD	礫混じり砂質シルト TM: 用じUTh		表現を統一したため。
1-265 1-266	補足5-306,307 補足5-306,307	H19-No.6 H19-No.6	岩種区分 岩種区分	礫混り砂 シルト混り砂礫	礫混じり砂 シルト混じり砂礫		表現を統一したため。 表現を統一したため。
1-267	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	確混り砂質シルト	確混じり砂質シルト		表現を統一したため。
1-268	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫		表現を統一したため。
1-269	補足5- 320,321	H19-No.6	標高(m)	記載なし	-125.07	С	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-270		H19-No.6	標高(m)	記載なし	-125.76		コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-271	補足5-320,321	H19-No.6	深度(m)	記載なし	167.59		コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-272 1-273	補足5- 320,321 補足5- 320,321	H19-No.6 H19-No.6	深度(m) 柱状図	記載なし模様が異なる	168.49		コア欠を岩種区分に反映させたため。コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-273		H19-No.6	社 () 岩種 区 分	花崗斑岩	o。 記載なし		コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-275		H19-No.6	色調	灰白	記載なし		コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-276	補足5- 320,321	H19-No.6	岩級区分	D'	記載なし	_	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-277	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異な	ა		審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-278	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異な		С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-279		H19-No.18	柱状図	模様が異な			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-280	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異な			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-281		H19-No.18 H19-No.18	岩種区分 岩種区分	玉石混り砂礫 シルト混り砂	玉石混じり砂礫 シルト混じり砂		表現を統一したため。
1-282 1-283	補足5- 324,325 補足5- 324,325	H19-No.18 H19-No.18	岩種区分	ジルト混り砂 礫混りシルト質砂	学記じりシルト質砂		表現を統一したため。 表現を統一したため。
1-283	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	「保証リンルト員砂 シルト混り砂	シルト混じり砂		表現を統一したため。
1-285	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂		表現を統一したため。
1-286	補足5- 324~343	H19-No.18	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり		報告書の記載漏れを修正したため。
1-287	補足5- 340,341	H19-No.18	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-288	補足5-344~347	H20-①-5	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値,グラフ記載あり		報告書の記載漏れを修正したため。
1-289	補足5-346,347	H20-①-5 H20-①-5	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-290 1-291	補足5- 346,347 補足5- 348,349	H20-(1)-5 H20-(1)-6	柱状図	模様なし	る。 模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-292	補足5- 348~357	H20-①-6	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり		報告書の記載漏れを修正したため。
			柱状図	模様が異な			
1-293	補足5- 358~367	H27-Br-3	红八凸		v ·	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-294	補足5-358~367	H27-Br-3	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり,その他なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-295	補足5- 362,363	H27-Br-3	柱状図	グラブの記載あり、その他なし 模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-296		H19-No.15	標高(m)	記載なし	86.21		岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
	,		•		-		

カ類 a : 誤記 分類 b : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

				きまますの中央			
No.	頁	ボーリング孔名	対象箇所	記載変更の内容 報告書	審査資料	分類	変更理由
1-297	補足5-368,369	H19-No.15	標高(m)	記載なし	86.13	С	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-298	補足5-368,369	H19-No.15	深度(m)	記載なし	9.57		岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-299	補足5-368,369	H19-No.15	深度(m)	記載なし	9.69		岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-300 1-301	補足5-368,369 補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異ない 模様が異ない			審査資料作成の際に模様を見直したため。 岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-301	補足5-368,369	H19-No.15 H19-No.15	柱状図 柱状図	模様が異な		_	石性区がに トレブイト から加されたにめ。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-302	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-304	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-305	補足5- 368,369	H19-No.15	岩種区分	有機質土混りシルト質砂	有機質土混じりシルト質砂		表現を統一したため。
1-306	補足5-368,369	H19-No.15	岩種区分	記載なし	ドレライト	С	報告書の記事にあった"ドレライト"を反映させたため。
1-307	補足5-368~385	H19-No.15	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-308	補足5- 372,373	H19-No.15	柱状図	模様なし	模様あり		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-309	補足5-378,379	H19-No.15 H20-4-3	柱状図 孔口標高	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-310	補足5- 386,387	H2U-4)-3	九口保向	112.50	112.47	b	誤記の修正。
1-311	386,387, 補足5- 390~395, 398,399	H20- ④ -3	標高(m)	110.33~-2.50	110.30~-2.53	ь	孔口標高を正しい値にしたため。
1-312	補足5- 386,387	H20- 4 -3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-313	補足5-386~399	H20- 4 -3	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-314	補足5- 400,401	H20- 4 -6	柱状図	模様が異な		_	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-315	補足5- 400,401	H20-4-6	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-316	補足5-400,401	H20-40-6	柱状図	模様が異ない			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-317 1-318	補足5- 400~403 補足5- 400,401	H20-4-6 H20-4-6	柱状図 岩種区分	模様が異なる 細砂	5。 砂		記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。
1-318	補足5- 400~401	H20-40-6	石柱区ガ コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値,グラフ記載あり		数現を航一したため。 報告書の記載漏れを修正したため。
1-320	補足5- 406,407	H20-4-7	柱状図	模様が異ない			報告者の記載編れと修正したとめ。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-321	補足5- 406,407	H20-4-7	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-322	補足5- 406~411	H20- ④ -7	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり		報告書の記載漏れを修正したため。
1-323	補足5- 412,413	H24-B8-34	柱状図	模様が異な		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-324	補足5- 414~423	H27-Br-5	柱状図	模様が異な	5.	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-325	補足5- 414~423	H27-Br-5	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり,その他なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-326	補足5-418,419	H27-Br-5	柱状図 柱状図	模様が異な 模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-327	補足5- 418,419	H27-Br-5					審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-328	補足5- 424~435	H27-Br-6	柱状図	模様が異な	5 .	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-329	補足5- 424~435	H27-Br-6	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり,その他なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-330	補足5- 436~447	H27-Br-12	柱状図	模様が異な	-	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-331	補足5- 436,437	H27-Br-12	岩種区分	礫混じりシルト質砂	礫・シルト混じり砂	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-332	補足5- 436~447	H27-Br-12	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり,その他なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-333	補足5- 448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	С	表現を統一したため。
1-334	補足5- 448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫		表現を統一したため。
1-335	補足5- 448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫		表現を統一したため。
1-336	補足5- 450,451 補足5- 452,453	H19-No.10 H19-No.5	柱状図	模様が異な			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-338	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異な			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-339	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異な			審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-340	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異な	3 .		審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-341	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	腐植土	有機質土		表現を統一したため。
1-342	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	粘土混り砂	粘土混じり砂		表現を統一したため。
1-343	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	腐植混り砂	有機質混じり砂		表現を統一したため。
1-344	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂		表現を統一したため。
1-345	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂 ス酸を見ざ U.D.b.		表現を統一したため。
1-346	補足5- 452,453 補足5- 452~455	H19-No.5 H19-No.5	岩種区分 岩種区分	礫混り砂 玉石混り砂礫	礫混じり砂 玉石混じり砂礫		表現を統一したため。
	補足5- 452~455	H19-No.5	柱状図	型			表現を航一したため。 審査資料作成の際に模様を見直したため。
	補足5- 454~457	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂		表現を統一したため。
1-350		H19-No.5	柱状図	模様が異な			審査資料作成の際に模様を見直したため。
	補足5- 456,457	H19-No.5	柱状図	模様が異な	3.	С	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-352	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	С	表現を統一したため。
1-353		H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫		表現を統一したため。
	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト		表現を統一したため。
	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫		表現を統一したため。
1-356		H19-No.5 H20-4-4	柱状図 柱状図	模様が異ない 模様が異ない			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
	補足5- 460,461 補足5- 460~463	H20-40-4	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	<u>。</u> 数値,グラフ記載あり		審査資料作成の際に模様を見直したため。 報告書の記載漏れを修正したため。
	補足5- 464,465	H24-B8-15	柱状図	模様が異ない			取ら音の記載点れを修正したとめ。 記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
	補足5- 464,465	H24-B8-15	岩種区分	有機質シルト	礫·砂混じり有機質シルト		記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-361		H24-B8-35	岩種区分	埋土	埋戻し土		表現を統一したため。
	補足5- 466,467	H24-B8-35	岩種区分	有機質土混じり砂	有機物混じり砂		表現を統一したため。
1-363		H24-B8-35	標高(m)他	コア欠の情報記載あり	コア欠の情報記載なし		コア欠の反映を忘れたため。
1-364		H24-B8-36	岩種区分	埋土	埋戻し土		表現を統一したため。
1-365		H24-B8-36	岩種区分	有機質土混じり砂 模様が異な	有機物混じり砂		表現を統一したため。
	補足5- 472~481 補足5- 472,473	H27-Br-4 H27-Br-4	柱状図 柱状図	模様が異な			審査資料作成の際に模様を見直したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
	補足5- 482~491	H27-Br-9	柱状図	模様が異な			部
. 500			in him	55,5.0			毎旦具代下灰の体に大体で元旦したため。

分類 a : 誤記 分類 b : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5 ボーリング柱状図記事欄以外の比較 比較資料名:報告書,申請書

	-	- L' UN H'71 A		記載変更の内容		八字	本 克理力
No.	頁	ボーリング孔名	対象箇所	報告書	申請書	一 分類	変更理由
2-1	補足5- 492~495	H24-D1-2	柱状図	模様が	異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-2	補足5- 492,493	H24-D1-2	最大コア長(cm)	3	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-3	補足5- 492,493	H24-D1-2	RQD(%)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-4	補足5- 496~501	H24-D1-3	柱状図	模様が	異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-5	補足5- 496,497	H24-D1-3	岩種区分	埋戻し土	埋土	С	表現を統一したため。
2-6	補足5- 496,497	H24-D1-3	最大コア長(cm)	1	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-7	補足5- 496,497	H24-D1-3	RQD(%)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-8	補足5- 502~509	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。		С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-9	補足5- 502,503	H24-D1-4	岩種区分	埋戻し土 埋土		С	表現を統一したため。
2-10	補足5- 502,503	H24-D1-4	最大コア長(cm)	10-77-0-0		С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-11	補足5- 502,503	H24-D1-4	RQD(%)	10-77-0		С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-12	補足5- 510~515	H24-D1-5	柱状図	模様が	異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-13	補足5- 510,511	H24-D1-5	岩種区分	埋戻し土 埋土		С	表現を統一したため。
2-14	補足5- 510,511	H24-D1-5	最大コア長(cm)	2 記載なし		С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-15	補足5- 510,511	H24-D1-5	RQD(%)	0 記載なし		С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-16	補足5- 516,517	H19-No.2	色調	なし	灰黄	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-17	補足5- 516,517	H19-No.2	色調	なし	明赤灰	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-18	補足5- 516~539	H19-No.2	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-19	補足5- 540~555	H19-No.14	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-20	補足5- 540,541	H19-No.14	最大コア長(cm)	18	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-21	補足5- 540,541	H19-No.14	RQD(%)	18	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-22	補足5- 556~563	H20-(2)-1	コア採取率(%)	数値,グラフ記載なし 数値,グラフ記載あり		b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-23	補足5- 564~575	H24-D1-1	柱状図	模様が	異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-24	補足5- 568,569	H24-D1-1	柱状図		異なる。	С	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
2-25	補足5- 576,577	H19-No.4	柱状図	模様が	異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-26	補足5- 576~601	H19-No.4	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-27	補足5- 576,577	H19-No.4	最大コア長(cm)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-28	補足5- 576,577	H19-No.4	最大コア長(cm)	11	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-29	補足5- 576,577	H19-No.4	RQD(%)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-30	補足5- 576,577	H19-No.4	RQD(%)	11	記載なし		基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-31	補足5- 602,603	H19-No.12	柱状図		異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-32	補足5- 602,603	H19-No.12	柱状図		異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-33	補足5-602~629	H19-No.12	コア採取率(%)	数値、グラフ記載なし	数値,グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-34	補足5- 602,603	H19-No.12	最大コア長(cm)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-35	補足5- 602,603	H19-No.12	RQD(%)	0	記載なし	С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-36	補足5- 630,631	H20-①-9	柱状図	模様が		С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-37	補足5- 630,631	H20-①-9	柱状図		異なる。	С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-38	補足5- 630,631	H20-①-9	柱状図	模様が		С	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-39	補足5-630~639	H20-①-9	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値、グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-40		H20-①-9	最大コア長(cm)	0 記載なし		С	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-41	補足5- 630,631	H20-①-9	RQD(%)	0	記載なし		基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-42		H20-①-10	柱状図	模様が異なる。		С	申請書作成の際に模様を見直したため。
	補足5- 640,641	H20-①-10	柱状図	模様が			申請書作成の際に模様を見直したため。
	補足5- 640~645	H20-①-10	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし 数値, グラフ記載あり		b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-45	補足5- 640,641	H20-①-10	最大コア長(cm)	20	記載なし		基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-46	補足5- 640,641	H20-①-10	RQD(%)	28	記載なし	C	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

→ 対類 a : 誤記 分類 b : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

No. 3-1 3-2				記載変更の内容							
	頁	ボーリング孔名	対象箇所	記載変更の内容 申請書	審査資料	分類	変更理由				
	補足5- 646,647	H24-D1-4	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
	補足5- 646,647	H24-D1-4	岩種区分	花崗岩	黒雲母花崗岩	c	敦賀サイトの岩種名と整合するように記載を適正化したもの。				
3-3	補足5- 648,649	H24-D1-4	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-4	補足5- 650,651	H24-D1-4	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-5	補足5- 650,651	H24-D1-4	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-6	補足5- 650,651	H24-D1-4	色調	明褐灰の下端	深度が異なる。	b	誤記の修正。				
3-7	補足5- 650,651	H24-D1-4	色調	灰褐の下端深	度が異なる。	b	誤記の修正。				
3-8	補足5- 652,653	H24-D1-5	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-9	補足5- 654,655	H24-D1-5	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-10	補足5- 656,657	H27-B-3	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-11	補足5- 656,657	H27-B-3	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-12	補足5- 656,657	H27-B-3	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-13	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-14	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-15	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-16	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-17	補足5- 660,661	H27-B-3	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-18	補足5- 662,663	H27-B-3	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-19	補足5- 662,663	H27-B-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-20	補足5- 664,665	H27-B-4	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-21	補足5-664,665	H27-B-4	色調	淡橙 ************************************	空白		コア欠区間を反映させたため。				
3-22	補足5-666,667	H27-B-4	柱状図	模様及び位置		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-23	補足5-668,669	H27-B-4	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-24	補足5-668,669	H27-B-4	柱状図			d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-25	補足5-670,671	H27-B-4	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-26	補足5- 672,673	H19-No.2	孔口標高	127.40	127.38	b	誤記の修正。				
3-27	672,673, 補足5- 678~687,	H19-No.2	標高(m)	124.26~-19.81	124.24~-19.83	b	 孔口標高を正しい値にしたため。				
o~∠/	補足5-678~687, 690~693	1113-140.2	7水(日) (111/	124.20.7-13.01	124.2413.03	В	716円7末向で乗しい地にしたにの。				
3-28	補足5- 672,673	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-29	補足5-672,673	H19-No.2	柱状図	模様が			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-30	補足5- 674,675	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-31	補足5- 676,677	H19-No.2	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-32	補足5- 676,677	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-33	補足5- 684,685	H19-No.2	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-34	補足5- 688,689	H19-No.2	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-35	補足5- 690,691	H19-No.2	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-36	補足5- 690,691	H19-No.2	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-37	補足5- 692,693	H19-No.2	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-38	補足5- 694,695	H19-No.14	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-39	補足5- 694,695	H19-No.14	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-40	補足5- 694,695	H19-No.14	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-41	補足5- 696,697	H19-No.14	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-42	補足5- 698,699	H19-No.14	柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-43	補足5- 700,701	H20-2-1	岩種区分	腐植土	有機質土	С	表現を統一したため。				
3-44	補足5- 702,703	H20-2-1	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-45	補足5- 702,703	H20-2-1	柱状図	模様が			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-46	補足5- 704,705	H24-B14-2	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-47	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	砂混り有機質シルト	砂混じり有機質シルト	С	表現を統一したため。				
	補足5-704,705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂	有機物混じり砂		表現を統一したため。				
3-49	補足5-704,705	H24-B14-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。				
3-50	補足5-704,705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂	有機物混じり砂	С	表現を統一したため。				
3-51	補足5-704,705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂質シルト	有機物混じり砂質シルト	С	表現を統一したため。				
3-52	補足5-704,705	H24-B14-2	岩種区分	シルト混り砂模様が	シルト混じり砂	C	表現を統一したため。				
3-53	補足5- 706,707 補足5- 706,707	H24-B14-2 H24-B14-2	柱状図 柱状図	模様あり	模様なし	d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-54 3-55	補足5- 706,707	H24-B14-2 H24-B14-2	柱状図	保体めり模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-56	補足5- 708,709	H24-B14-2	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-57	補足5- 712,713	H24-B14-2	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-58	補足5-714,715	H24-D1-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。				
3-59	補足5-716,717	H24-D1-1	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-60	補足5-716,717	H24-D1-1	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-61	補足5-716,717	H24-D1-1	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
	補足5- 718,719	H24-D1-1	柱状図	模様が		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62			柱状図	模様が!		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
	補足5-718,719	H24-D1-1	111/12								
3-62	補足5- 718,719 補足5- 718,719	H24-D1-1 H24-D1-1	柱状図	模様が!	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63							記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64	補足5- 718,719	H24-D1-1	柱状図	模様が	異なる。	d					
3-62 3-63 3-64 3-65	補足5- 718,719 補足5- 720,721	H24-D1-1 H24-D1-1	柱状図 柱状図	模様が』 模様が』	異なる。 異なる。	d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66	補足5- 718,719 補足5- 720,721 補足5- 720,721	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1	柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が!	異なる。 異なる。 異なる。	d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67	補足5- 718,719 補足5- 720,721 補足5- 720,721 補足5- 720,721	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が』 模様が』 模様が』 模様が』 模様が』 模様が』	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 複様が! 複様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-2	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 複様が! 複様が! 複様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69 3-70	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-2 H24-D1-3	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 複様が! 複様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69 3-70 3-71	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-726,727 補足5-728,729	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-2 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 機様が! 機様が! 機様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69 3-70 3-71 3-72	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 機様が! 機様が! 機様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 裸なる。 裸なる。 裸なる。	d d d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69 3-70 3-71 3-72 3-73	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-2 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1 H27-B-1	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 機様が! 機様が! 機様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d d d d d d d c c c	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。 表現を統一したため。				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-70 3-71 3-72 3-73 3-74 3-75 3-76	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 機様が! 機様が! 機様が! 機様が! 機様が! 機様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d d d d d d d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-70 3-71 3-72 3-73 3-74 3-75 3-76 3-77	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-2 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1	柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。	d d d d d d d d d d d d d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69 3-70 3-71 3-72 3-73 3-74 3-75 3-76 3-77 3-78	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,733	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1	柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 確混じり砂 健混じり砂 健混じり砂 健混じり砂	d d d d d d d d d d d d d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-70 3-71 3-72 3-73 3-74 3-75 3-76 3-77 3-78 3-79	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-722,725 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-730,731 補足5-732,733 補足5-732,733	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1	柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図 柱状図	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が!	異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 異なる。 確混じり砂 確混じり砂 機混じり砂 異なる。	d d d d d d d d d d d d d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				
3-62 3-63 3-64 3-65 3-66 3-67 3-68 3-69 3-70 3-71 3-72 3-73 3-74 3-75 3-76 3-77 3-78	補足5-718,719 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-720,721 補足5-722,723 補足5-724,725 補足5-726,727 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,729 補足5-728,733	H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-1 H24-D1-3 H24-D1-3 H24-D1-3 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1 H27-B-1	柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱状図柱	模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が! 模様が!	異なる。 異なる。	d d d d d d d d d d d d d d d d d d d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 表現を統一したため。 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)				

分類 a : 誤記 分類 b : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

					1,次20十12/]22日番旦貝和				
No.	頁	ボーリング孔名		記載変更の内容		分類	変更理由		
140.		* 927114	対象箇所	申請書	審査資料	/J 75	文文 柱田		
3-82	補足5- 736,737	H27-B-1	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-83	補足5-738~741	H27-B-1	全項目	標尺80m−120mの頁なし	標尺80m-120mの頁あり	b	申請書での該当深度の掲載漏れ。		
3-84	補足5- 742,743	H27-B-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-85	補足5-745~747	H27-B-2	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-86	補足5- 748,749	H27-B-2	柱状図		置が異なる。	b	誤記の修正。		
3-87	補足5-748,749	H27-B-2	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-88	補足5-750,751	H27-B-2	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-89	補足5- 752,753	H27-B-2	柱状図	模様及び位	置が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-90	補足5- 754,755	H27-B-2	柱状図	模様の位置	置が異なる。	b	申請書に記されていた破砕部の深度が間違っており、それを審査資料 で修正したため。		
3-91	補足5- 756,757	H27-B-2	標高(m), 深度(m)	標高,深度記載あり	標高、深度記載なし	а	記載漏れ。		
3-92	補足5-758,759	H19-No.4	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-93	補足5-758,759	H19-No.4	柱状図		異なる。	С	表現を統一したため。		
3-94	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-95	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-96	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-97	補足5- 758,759	H19-No.4	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	С	表現を統一したため。		
3-98	補足5- 760,761	H19-No.4	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-99	補足5- 762,763	H19-No.4	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-100	補足5- 764,765	H19-No.4	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-101	補足5- 766,767	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-102	補足5- 768,769	H19-No.4	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-103	補足5- 770,771	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-104	補足5- 772,773	H19-No.12	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	С	表現を統一したため。		
3-105	補足5- 774,775	H19-No.12	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-106	補足5- 776,777	H19-No.12	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-107	補足5- 778,779	H19-No.12	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-108	補足5-780,781	H19-No.12	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-109	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-110		H19-No.12	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-111	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-112	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-113	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-114	補足5-784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-115		H24-B11-2	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-116	補足5-784,785	H24-B11-2	岩種区分	シルト・礫混り砂/砂礫互層	シルト・礫混じり砂/砂礫互層	С	表現を統一したため。		
3-117		H24-B11-2	岩種区分	礫混りシルト質砂 *********	礫混じりシルト質砂	C .	表現を統一したため。		
3-118	補足5-786,787	H24-B11-2	柱状図		「異なる。 「異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-119	補足5-788,789	H24-B11-2	柱状図			d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-120	補足5-790,791	H24-B11-2	コア採取率(%)		標尺123m以下数値, グラフ記載なし	a	記載漏れ。		
3-121 3-122	補足5- 792,793 補足5- 792,793	H24-B8-22 H24-B8-22	岩種区分 岩種区分	礫混り砂 シルト混り砂	礫混じり砂 シルト混じり砂	С	表現を統一したため。 表現を統一したため。		
3-123	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	一 学混りシルト質砂	一 では では では では では では では では では では では では では	c c	表現を統一したため。		
3-123	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	(株) (ボルリンルト質砂) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。		
3-124	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂質シルト	ではいることができます。	c	表現を統一したため。		
3-125	補足5- 794,795	H24-B8-22	岩種区分	傑混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。		
3-127	補足5-796,797	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-128	補足5- 796,797	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-129		H24-B8-22	岩種区分	粘土・礫混り砂	粘土・礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
	補足5- 798,799	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂		表現を統一したため。		
3-131		H24-B8-22	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-132		H24-B8-22	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-133		H24-B8-22	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-134	補足5- 804,805	H24-B8-22	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-135		H20-①-9	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-136	補足5- 806,807	H20-①-9	岩種区分	腐植土	有機質土	С	表現を統一したため。		
3-137	補足5- 808,809	H20-①-9	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-138	補足5- 808,809	H20-①-9	柱状図	模様が	異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-139	補足5-810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫・砂混り有機質シルト	礫・砂混じり有機質シルト	С	表現を統一したため。		
3-140	補足5-810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-141		H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-142	補足5-810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り有機質砂	礫混じり有機質砂	С	表現を統一したため。		
3-143		H24-B11-1	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-144		H24-B11-1	岩種区分	礫混りシルト質砂	細礫混じりシルト質砂	С	表現を統一したため。		
3-145		H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-146		H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	С	表現を統一したため。		
3-147		H24-B11-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	С	表現を統一したため。		
3-148		H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	С	表現を統一したため。		
3-149	補足5-812,813	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。		
3-150	補足5-814,815	H24-B11-1	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-151		H24-B11-1	柱状図	模様なし	模様あり 異なる。	q	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-152		H24-B11-1	柱状図			q	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-153		H24-B11-1	柱状図	模様あり	模様なし	q	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-154 3-155		H24-B11-1 H24-B11-1	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
_		H24-B11-1 H24-B8-21	柱状図 岩種区分	模様なし、機混り砂	模様あり	d c	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-156	補足5-822,823	H24-B8-21 H24-B8-21			礫混じり砂 磯湿じいか質シルト				表現を統一したため。
3-157 3-158		H24-B8-21 H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂質シルト 礫混りシルト質砂	礫混じり砂質シルト 礫混じりシルト質砂	С	表現を統一したため。 素理を統一したため		
3-158		H24-B8-21 H24-B8-21	岩種区分 岩種区分	保流りンルト負砂 有機物・礫混り砂		С	表現を統一したため。表現を統一したため。		
3-160		H24-B8-21	岩種区分	保混り砂	有機物・礫混じり砂 礫混じり砂		表現を統一したため。		
3-161	補足5-824,825	H24-B8-21	柱状図		異なる。	c d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-162	補足5-824,825	H24-B8-21	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
3-162		H24-B8-21	柱状図		異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)		
00	020,021			12/19/10	-				

分類 a :誤記 分類 b :誤記修正 分類 c :記載の適正化 分類 d :記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5 ボーリング柱状図記事欄以外の比較

//\	フンノ エカ	へ口心子がみがいれれ
比較資料	名:申請書,	平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名		記載変更の内容		分類	変更理由			
No.	貝	ホーリング元石	対象箇所	申請書審査資料		万領	変更理田			
3-164	補足5-828~831	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-165	補足5-830,831	H24-B8-21	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-166	補足5-830,831	H24-B8-21	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-167	補足5-832,833	H24-B8-21	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-168	補足5-834,835	H27-D5-1	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-169	補足5-834,835	H27-D5-1	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-170	補足5-834,835	H27-D5-1	岩種区分	礫混り砂 礫混じり砂		С	表現を統一したため。			
3-171	補足5-834,835	H27-D5-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	С	表現を統一したため。			
3-172	補足5-834,835	H27-D5-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	С	表現を統一したため。			
3-173	補足5-834,835	H27-D5-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	С	表現を統一したため。			
3-174	補足5- 834,835	H27-D5-1	最大コア長(cm)	標尺3mb	也点の線ずれ	С	岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため、2.84~4.00mで最大コア長を求めたもの。			
3-175	補足5- 834,835	H27-D5-1	RQD(%)	標尺3m地点の線ずれ			岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため、2.84~4.00mで最大コア長を求めたもの。			
3-176	補足5-836,837	H27-D5-1	柱状図	模様が異なる。			記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-177	補足5- 838,839	H20-①-10	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			
3-178	補足5- 840,841	H20-①-10	柱状図	模様が	が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)			

比較資料名:平成30年11月30日審査資料,令和2年2月7日審査資料

	_			記載変更の内容		/\ PT	+ T m +		
No.		ボーリング孔名	対象箇所	審査資料 平成30年11月30日	審査資料 令和2年2月7日	分類	変更理由		
4-1	補足5- 842,843	H27-B-2	標高(m), 深度(m)	標高、深度記載なし	標高,深度記載あり	b	誤記の修正。		

分類 a : 誤記 分類 b : 誤記修正 分類 c : 記載の適正化 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.						

事業・工事名

ボー	・リン	グ名		No	. 16					調査位置																北		緯				_	_	_	
発	注機	関											_	周査		_										東		経							
調 1	* 業 :	者 名								主任技師			-	見 七 理	場人	;					コ 鑑 定	ア : 者				ボグ	ーリ 責任	リン 音者							
孔	口標	高	+ 74.4	48 m	角	180 上	Ĺ	<u>}</u> 90	方	270° 90°	水平 0°	使用		式 錐	機									ハンマ 落下用											
総	掘削	長	220.0	00 m	度	⊤ 0) 0°	向	西 東 勾 南 0° 配	直 0	. 機 . 種		エン:	ジン									ポン	プ							_	_	_	
標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風変					取率	岩	岩岩	孔	((;	標準	貫入	、試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給	回	送	送	排
				種			ア	ħ		-		最大) ア 長		盤	内 水		(N 値	~ 深	度		原位置試験		進	進	径 (mm)	コアチュ		転			
尺	高	度	状					目の				⊸ R	Q Q	n D			(m)	N										度	/ 孔		圧	数	圧	量	量
				区			形	状					E %]	×	分	測定月日	値							(孔内水平載荷)	試	月	cm /	壁保	Ľ	ŔÑ	rpm	MPa	(一/分	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化質	事			50	10	分	類	í	11世	0	10	2	0 3	80	40 5	荷	験	日	時	護	۴	MPa	\preceq	_	分	分
		\	1		浅					深度0.40~2.00m:盛土、径cmの砕石、砂。	径0.5~3.0																		140 7						
			\ //		黄								H																ケーシング						
			\							深度2.00~9.63m:盛土、シ り砂礫。	シルト混じ																			シ					
-			\																						1					ングル					1
-			V																H						1					コアチ				その他	-
-			1	盛土	Ę								\parallel		$\frac{1}{2}$				H						-			207		고ㅣ	15.0	110	- 1	(不明含む)	0-
-			Λ		にぶい苦							Ш																		1				t) 0	_
					黄褐																								114 /ケ ー シング	タルビッ					
			$\ \cdot \ $							深度9.63~9.81m:コンクリ	リート片。		\parallel		-														シング	ト					
-			$ \cdot $									Ш																							1
-												Ш																							1
— 10	64.67	9.81	<u> </u>		K					深度9.81~12.73m: 花崗斑 径5~15mmの長石, 黒雲母の	王岩。 の斑晶、径		\parallel	94	1										1		9 12 10 108 10 20	240		_	10, 0	150	0.0	_	10
-		Ī	++++	花崗斑岩		Fø	Πg	hø	δ	径5~15mmの長石, 黒雲母の 3mmの石英の斑晶を30~40% , 石基は径0.5~1mm程度で 全体に風化著しく, 岩芯ま	ある。		H	[94]	I .	[D]			-						-										4
-		ļ. !	####	斑岩			- 0			び脆い。 傾斜40~70度の節理が発達 瞭。酸化鉄が付着し密着す	するが不明			[81]	1	100			L															泥	-
	61.75	12, 73	+ + + +	ア	明赤	Dg				アプライト、上位との境界	·傾斜7度。				_																		0.0	泥 水 12	12
		*		アプライ	赤灰	Cg	IVg	cg	-	石基は径0.1mm以下であり、 3~5mmの石英、長石の斑晶 。下部では黒雲母が多くな	斑晶は径 が点在する		29)		CL	[CL]																			
-	60, 37 60, 15	14.11 #	***	ト ^0₹91		Cg	Vg IVg			ペグマタイト傾斜25度。		20 (120	1		┝													250					\dashv	_	-1
-		*	****			Dg Cg	Шg	bg					35		CM				H						+			250			60.0	190			-
-		* * *			Ę		Ψg			深度16.01~16.12m:破砕構	帯(Hj)。上	\mathcal{H}	H	1/9]	-				-						$\frac{1}{2}$					ダブ					-
-		×			にぶい黄橙		V g VI g	_	3	深度16.12~16.30m:破砕荷	帯(Hj)。上	Kar .							L				-		-					ル			0.0	泥 水 5	0 -
_		×	** *** ** ***				IVg			盤75度、下盤60度。灰白色 状。深度16.29m、厚さ1~4 白色粘土を挟む。下盤側65	#mm程度の桃 bgのシーム	17			t				L											コアチュ					
		*	****		明赤灰	Cg	Шg			を上盤側60度のシームが切 的センス。 深度16.30~17.42m:破砕料	帯(Hj)。上	1 24	[40		CM														99	ヺ					
		*	****		灰		шь	bg		盤60度、下盤70度。灰白色 。16.85mシーム。傾斜70度 斜80~90度のシームが数mm	の節理を傾	46	Ħ	[57]	-												9 15 19.35	Н	9/ケーシング	/ダイヤビ		\dashv	\dashv	\dashv	\dashv
— 20		**	• • • •	アプライ		Dg Cg	Πg		r	る。 深度17.70~17.82m:破砕帯 盤35度、下盤50度。幅80mm	帯(Hj)。上 n, 礫混じり		31		CL	Four									1				ング	ו עי				泥	
-		*	****	フイト		Dg Eg	Vg	cg		シルト質砂状。 深度17.82~20.00m:岩質にいが、密着した節理が数cm	は比較的硬				_	[CM]			-						$\frac{1}{2}$			240		۲	40.0	180	0.0	泥 水 5	3 -
-		+			にぶ	Dg Cg	Шg		,	深度21.28~24.43m:10~2 傾斜55~70度の節理が発達	20cm間隔で		\parallel	[59]	1				-				-		-		9/ 16 22, 15					ightharpoonup	_	\downarrow	_
		=			にぶい黄橙		₩g			褐色を帯びる。	= \ .on o mailes	22	[35]	Ш													22.15								
		:			橙	Cg	\Box					1 22	\parallel	52]	-																				
		*	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				Шg	bg					1	\$5 [84]	CM													183			35.0	190	0.0	泥水7	3
-		*			_	Bg	Ιg						1						\vdash				+		1									7	\exists
-		-			灰白	Cg	Шg					\mathbb{H}	Je l	[10]	+				\vdash				+		-										-
		*	****		明褐灰		Πg					Щ	940	[68]	1																4	N.	0.16	6(1	77
												1			_	_									_			Ш				-140		<u>^ 'Y</u>	

柱状図(0.00m~35.00m)

		_H	19-N	lo. 1	16			孔口	1 標	高	T. P.	74.	48m	掘	削	長		220. 00m
100			l av		_			_	10000		- 1-							
標	標	深	柱 	岩红	色	岩	コア採	最大	R		ア採	取率(%)						
尺	高	度	状	種区		級区	採取	コア	Q	最	大コ	ア 長 (cm)			記		事	
			図	分	調	区分	率(%)	長 (cm)	D (%)	F	2 Q	D [%]						
m	m	m		2	が オリー ブ黒	(2)	100	(GIII)	(90)	0 20	40 6	60 80 10 60 80 10		~9. 81ı	m			
-			\setminus		浅黄	J &	100			- 1 1	1111			上であ ~2.00r				-
-			\		典		100			- T T	T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		· 径5		mの砕石	i, 砂	からなる	-
 			$ \setminus $				100			_	1 1 1 -				" じり砂砂	樂から	なる。	x -
 			$ \ \ $	盛	1:		100				+		*					3=
				土	ぶい		100			-++	+	-	*					1
					黄		100			- † † - † †	111-		*					-
					褐		100			= + + - + +	+	++ +	*					
			/ \				100			-			*					_
- 10	64. 67	9. 81	<u> </u>		灰		100			- + +	+	+	0 63	~9. 81ı	m]
			++++	花崗			100	94	94	- + +	+		- = :	レクリ	ート片	を含む	0	
			+	斑		D'	100	81	81	-++	+		· 花崗		である。]
	61. 75	12. 73	+ + + -	岩	明赤		100	75	85	1 1	1-1-1-		1	虱化し、	,軟質1 21m	比して	いる。	
_	60. 37	14. 11	####	アプラ イト	灰	CL'	100	17	29	- + • + - + +	13-1-	- - - - - - - - -			トであ	る。		_
-	60.15	14. 33	# # # # # # #	ペグマ タイト		CM'	100	20	20	+				~14.3 ブマタ	33m イトを打	挟む。		_
-			# # # # Ø# #Ø			OW	100	35	79	-++	+	- - - + - - -	*					2-
H			* ##		にぶい 黄橙		100	0	0	(1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			·破石	01~1	ある。			_
-		1	# # 4		明	CM'	100	17	17	‡ t		-	からな		橙色の[固結磔	状部及	び固結砂状部 -
-			# # # # # #		赤灰	CIVI	100	24	40		1 1		上立 50° 7			\$50°	,下端:	境界の傾斜は -
- 20			+			CL'	100	16 31	57 42	- + +	777		17.82	~20.	00m	が 数	十mm問	ー 隔で分布する
-			####		1:		100	30	55	1 1	14	EEEE	o			• , 2	. 1	-
-			# # # # # # # # # #		ぶい		100	22	35	++			21.28 · 割オ			20cm間	隔で分	布する。 -
-			# " # " + # # # +	アプ	黄橙		100	22	52				*					-
 			#### ###	ラ	化型	CM'	100	55	84	+ + +	+ -1 -13	i_	*					-
			" # " # ₋	イト	灰	OW	100	18	70	- + +	1221- 111-	- - -	- *					-
			# # # # *		白		100	35	68	- T T	7 7 -1-		*					-
			# " # " + # # # +				100	24	60		4		27.00			1841	<u>ш</u> "	- - 大~短柱状を-
			####			CL'	100	15	36	+++	+		呈する	5.		-		
30					明		100	26	44		+			92~29		F-6-3	3-2破砕	帯) -
_ 30			# # # # [†]		褐灰		100	14	40	- + +	+		・明ネ	曷灰色	の固結の	樂状部	からな	ა
			# # # # # # # #			CM'	100	28	50	- 1 1			*]
			+			Oifi	100	20	54	- + +	1 1 1		1					
	41. 04 40. 46	33. 44 34. 02	+ + + +	花崗斑岩	灰		100	47	47	- 1 1	1			~34.				-
			####	アプラ	褐		100	28	60	-	477-	FFF	・花崗	菌斑岩	を挟む。)		
			,															

1-1 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-2, 1-3 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	٦	割	風	変	記			採取		岩	岩	孔		(標準貫入			試験	原位置試給	室	掘	掘	孔	크	給	П		グ 7) 送 お	\neg
_	<u> </u>		477	種			ア	れ 目						ッ) コア cm		級	盤	内水位的	$\widehat{}$	(N値	~深度	ŧ		颗	内		進速度	径 (mm) /	アチュー				水 7 量 量	
尺	高	度	状	区			形	の状				F		Q (%)		区:	分	E/測定	N						孔内水平	試	月	cm	孔 壁	ر از	ĆN	$\overline{}$	$\overline{}$	$\widehat{1}$	r
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事	۰	_ `	50	100	区:	類	月日	値	0	10 20	30) 4	0 50	内水平載荷)	験	日	41		낌	MPa	pm M	- 1	分多	· 分 一
			* * * * * * * * * * * * * * *			Cg	IV g	bg			深度27.00~27.09m: 節理密集部、高 角度の節理多い。		1	[6	[0]	CM.																			
-			****			Bg	IVg Vt IVg				深度28.82~29.04m: 節理密集部。節	H	15	[36]		CL.																			-
_ 30			* * * * * * * * * * * * *	アプラ	明褐		Пg	cg			理面は黒褐色を帯びる。	H) 26	[44]																					4
-			* * * * * * * * * * * * * * *	イト	褐灰		₩g				深度31.00m:幅10mmシルト混じり碟状	H	28	[40]		1				-					-			183		3	35.0	,	0.0	泥水7	3 -
-			**** **** ****			Cg	Шg				。上盤に幅Immの黄灰〜暗褐色シルト を挟む。鏡肌あり。		20	[50]						-									99						-
-	41.04	33.44	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g							47	9					-					-				99/ケーシング						-
-	40.46	34.02	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰褐		Пg				花崗斑岩, 上位との境界傾斜60度。 径0.5~2.0cmの捕獲岩が点在する。 下位との境界傾斜40度。		/8	1	101					-									1						-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg					深度35.35m:シーム。傾斜60度。幅7 ~10mmの暗褐色粘土状。		[30]							-							9 19 35.25			+	-	-	+	+	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *								深度35.62~35.77m. 36.21~36.34m: 径0.3~1.0cmの暗緑色を帯びた捕獲岩を多く含む。			37 [49]						-															-
-			* * * * * * * * * * * * *	アプライ			Шg Пg						7	86 80	9																				1
			* * * * * * * * * * * * * * *	1			Шg						4	[49]																					
_ 40			* * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g				深度39.16m:傾斜50度、幅6~10mmの 礫・シルト混じり砂を挟む。	Н	[6]			CM.																190			
-	33.27	41.21	**** **** ****		明褐	Cg	Шg				花崗斑岩、上位との境界不明瞭。			[35]						-								176	76			100			-
-			+++++	花崗	灰						深度41.21~50.70m: 花崗斑岩。 径3mm程度の石英、長石の斑晶を1~3 %程度含み、石基は径0.1mm以下である		18 [2	3]						_															-
-	31.01	43, 47	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩			₩g				。深度41.39〜43.76m:傾斜45〜50度の 節理が10cm以下の間隔で発達。節理面 は褐色を帯びる。		14			1				-										ダブル					-
-	30.68	43.80	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	アプライト					γ		アプライト、上位との境界凹凸あり、 傾斜65度。 全体に短柱〜柱状コア主体。		18	[36]											-					コアチ		,	0.0	泥水12	o -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg			2			23	7491		- [CM]			-										ューブ/ダ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	#			IV g				深度46.36~46.43m:節理密集部。		19 [19]														9/		- 1	ダイヤビ					-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩			III g II g IVg	bg			深度46.36m,傾斜80度,下盤側節理0.3~1.0cm間隔。 深度46.43m,傾斜40度,上盤側砂状2mm,細礫状1cm。		29	[46]						-							9 20 46.95			ット					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	12	灰褐	Cg	Πg				深度47.70〜47.89m: 主として傾斜50〜65度の密着した節理が、1〜2cm間隔で発達。		30	[49]																					1
50			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Пg							6 [8	4]															4	15.0				
	l	50.70	**** **** ****		灰	Bg					アプライト、上位との境界傾斜60度。		J _G o	[8	4]	CH												126							
			* * * * * * * * * * * * * * *		黄褐	Cg	Ιg				深度52,53~52,90m: 節理が密集する		30		[76]	Н																			
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	ア	にぶい黄	Dg	1				。 深度52.68m,傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0		6	33]													9 21 53.25		76/セメンティング						_
-			**** **** **** ****	プライ	にぶい黄	Cg	IVg				.5~2.0cm間隔で発達。 全体に0.5~1.0cm間隔で密着した節理 が発達。	\downarrow	20 [20]														53.25		イング						-
-			* * * * * * * * * * * * *	+	橙	Dg	Vg				深度54.48~54.89m:節理密集部、一 部角礫状。 深度54.68m:シーム。傾斜50度。幅3	6	Ħ												-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		明褐灰		IVg				~10mm, 礫混じり暗褐色粘土状。		28			CM.				-					-										-
-	17.31	57.17	* * * * * * * * * * * * * * * *			Cg	Шg				深度56.75~56.85m: ペグマタイトを 挟む。 花崗斑岩, 上位との境界傾斜30度。			[83]						-															
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g				深度57.17〜63.47m: 花崗斑岩。 径3〜5mmの石英、長石及び黒雲母の斑 晶を3〜10%程度含み、石基は径0.1mm 以下である。石基は流理が認められる	H	20	[49]						}					-			144				170	0.0	泥 水 11	₂ -
-			#T+T+	花	灰褐		III g IV g				٠	#	29	[\$1]	\parallel					}					-										-
— 60			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	崗斑岩	-	Bg	Πg		β			H	\parallel	11/8		CH.				-															\exists
			++++		I:		IV g		r		深度61.08~63.03m: 密着及び開口した節理が1~3cm間隔で発達。									Ī															
			+++++		にぶい褐	Cg	IV g		,				20	[40]		UM																		VO. 7	
					1	1		ıl																	1				- 1			No	1 6.د	3(21/7	()

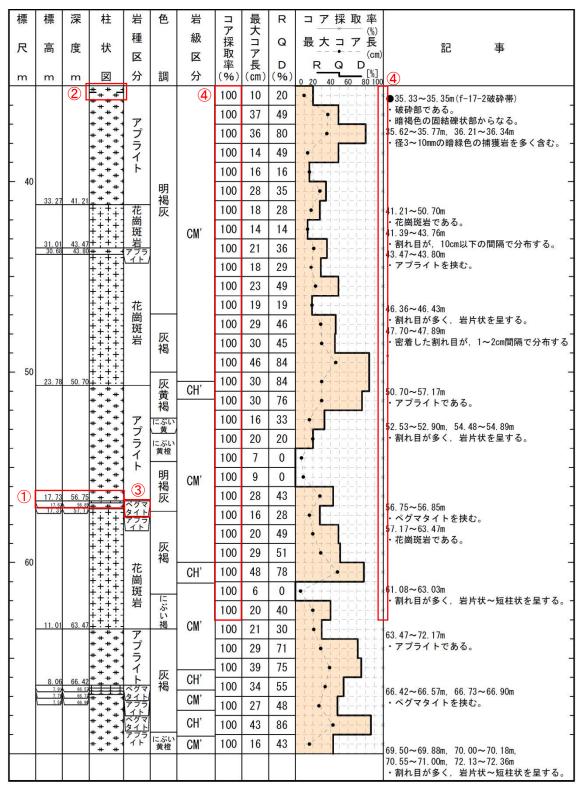
柱状図(0.00m~35.00m)

		Н	19-N	lo. 1	6			孔口	1 標	高	T. P.	74.	18m	掘	削	長	220. 00m
標	標	深	柱	岩	色	岩	_	阜	R	_	고 to	取率					
行示	休	沐	仕	種		級	コア採	最大		100.00	×	(%)					
尺	高	度	状	区		区	取	コア	Q	取	大二	ア長 (cm)			記		事
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	0 20	2 Q	D [%] 60 80 100					
0.27500	and an	225972	1		オリー	#5000	100			0 20	+ - - -		0.00~	~9.81 上であ			
			\		浅黄		100						0.40~	-2.00	m	- T-L	1. 7 4. 7
			\				100			- + + - L L	T 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		2.00~	-9.63	m		からなる。
			$ \setminus $				100			- + +			・シル	レト混	じり砂	礫から	っなる。
				盛土	にぶ		100			- + +		- - - - - - - - - - - -	*				
_			//		い	1	100			_ <u>_ </u>		-L-L-L- 	*				
-					黄褐		100			- † † - + +	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		*				
=							100			- † †			*				
-		0.000	$V \setminus$				100			- T T	T 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		1				
- 10	64. 67	9. 81	; ; + ; +	花	灰		100	94	94	1 1			9. 63		m 一ト片	た今ま	
- 1			T + T + -	花崗斑		D'	100	81	81	- + +	T T T T		9.81~	-12.7	3m		
-	61. 75	12. 73	 	斑岩	明		100	75	85			-			である, , 軟質		こいる。
- [# # # # # #	アプラ イト	赤灰	CL'	100	17	29	- + •	F1-1-	-1+	12.73		21m トであ	る。	
	60. 37	14. 11	# # # #	ペグマタイト		1,000,000	100	20	20	1		- - - - -	14. 11	~14.	33m		
			# " # " + # " # " +			CM'	100	35	79	- T +	+		. ~ ?	ブマタ	イトを	挟む。	
			8 ###		にぷい		100	0	0 .	(11	1-1-1-				7.82m ある。		
[###		20000		100	17	17	++	 			ぶい黄		固結磷	状部及び固結砂状部
			#### ####		明赤	CM'	100	24	40		1-1-		・上站	端境界		は50°	,下端境界の傾斜は
- 20			# # # # *		灰	ΟΙ.	100	16	57	- + +	+		50° 7	~20.	00m		
-			+ " + " - + " + " -		1-	CL'	100	31	42	- 1 1	14		・密剤	手した	割れ目	が, 数	大十mm間隔で分布する
-			+		にぶ		100	30	55	- † † - † †	*		21.28 ·割オ			20cm間	間隔で分布する。
-			#### :#:#	アプ	が黄		100	22	35 52	- + +	14						
-			####	ラ	橙	0111	100	55	84	- † † - + +	1 7 7						
200 200			# # # # *	イト	灰	CM'	100	18	70		121		*				
-			# " # " + # # # +		白	1	100	35	68	- + + - + +	++1-1-		*				
-			#### ####			(2)	100	24	60		4 J J - - - - - - - - -	2	27.00				
-		(1)	+			CL'	100	15	36	- + √ +	+ 1-1-		半呈する		割れ目	が多く	,岩片状~短柱状を
			### ####		明		100	26	44		+				9.04m(ある。	f-6-3	3-2破砕帯)
- 30			# <u>"</u> # " + # <u>.</u> #		褐灰		100	14	40	- + - +	7 7 1					礫状剖	『からなる。
			#### ####		1000000	CM'	100	28	50	- 1 1	1-						
_			####			Uill	100	20	54	- + +	1 7 7		*				
	41. 04	33. 44 34. 02		花崗斑	灰		100	47	47	- 1 1	1		33.44				
			# # # + # # # -	アプラ	灰褐		100	28	60	-	977	FFT	・ 花崗	胡斑岩	を挟む	0	

¹⁻⁴⁽分類d)① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-3(分類b)② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	٦	割	風	変	記			採取		岩	岩	孔		(標準貫入			試験	原位置試給	室	掘	掘	孔	크	給	П		グ 7) 送 お	\neg
_	<u> </u>		477	種			ア	れ 目						ッ) コア cm		級	盤	内水位的	$\widehat{}$	(N値	~深度	ŧ		颗	内		進速度	径 (mm) /	アチュー				水 7 量 量	
尺	高	度	状	区			形	の状				F		Q (%)		区:	分	E/測定	N						孔内水平	試	月	cm	孔 壁	ر از	ĆN	$\overline{}$	$\overline{}$	$\widehat{1}$	r
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事	۰	_ `	50	100	区:	類	月日	値	0	10 20	30) 4	0 50	内水平載荷)	験	日	41		낌	MPa	pm M	- 1	分多	· 分 一
			* * * * * * * * * * * * * * *			Cg	IV g	bg			深度27.00~27.09m: 節理密集部、高 角度の節理多い。		1	[6	[0]	CM.																			
-			****			Bg	IVg Vt IVg				深度28.82~29.04m: 節理密集部。節	H	15	[36]		CL.																			-
_ 30			* * * * * * * * * * * * *	アプラ	明褐		Пg	cg			理面は黒褐色を帯びる。	H) 26	[44]																					4
-			* * * * * * * * * * * * * * *	イト	褐灰		₩g				深度31.00m:幅10mmシルト混じり碟状	H	28	[40]		1				-					-			183		3	35.0	,	0.0	泥水7	3 -
-			**** **** ****			Cg	Шg				。上盤に幅Immの黄灰〜暗褐色シルト を挟む。鏡肌あり。		20	[50]						-									99						-
-	41.04	33.44	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g							47	9					-					-				99/ケーシング						-
-	40.46	34.02	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰褐		Пg				花崗斑岩, 上位との境界傾斜60度。 径0.5~2.0cmの捕獲岩が点在する。 下位との境界傾斜40度。		/8	1	101					-									1						-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg					深度35.35m:シーム。傾斜60度。幅7 ~10mmの暗褐色粘土状。		[30]							-							9 19 35.25			+	-	-	+	+	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *								深度35.62~35.77m. 36.21~36.34m: 径0.3~1.0cmの暗緑色を帯びた捕獲岩を多く含む。			37 [49]						-															-
-			* * * * * * * * * * * * *	アプライ			Шg Пg						7	86 80	9																				1
			* * * * * * * * * * * * * * *	1			Шg						4	[49]																					
_ 40			* * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g				深度39.16m:傾斜50度、幅6~10mmの 礫・シルト混じり砂を挟む。	Н	[6]			CM.																190			
-	33.27	41.21	**** **** ****		明褐	Cg	Шg				花崗斑岩、上位との境界不明瞭。			[35]						-								176	76			100			-
-			+++++	花崗	灰						深度41.21~50.70m: 花崗斑岩。 径3mm程度の石英、長石の斑晶を1~3 %程度含み、石基は径0.1mm以下である		18 [2	3]						_															-
-	31.01	43, 47	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩			₩g				。深度41.39〜43.76m:傾斜45〜50度の 節理が10cm以下の間隔で発達。節理面 は褐色を帯びる。		14			1				-										ダブル					-
-	30.68	43.80	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	アプライト					γ		アプライト、上位との境界凹凸あり、 傾斜65度。 全体に短柱〜柱状コア主体。		18	[36]											-					コアチ		,	0.0	泥水12	o -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg			2			23	7491		- [CM]			-										ューブ/ダ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	#			IV g				深度46.36~46.43m:節理密集部。		19 [19]														9/		- 1	ダイヤビ					-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩			III g II g IVg	bg			深度46.36m,傾斜80度,下盤側節理0.3~1.0cm間隔。 深度46.43m,傾斜40度,上盤側砂状2mm,細礫状1cm。		29	[46]						-							9 20 46.95			ット					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	12	灰褐	Cg	Πg				深度47.70〜47.89m: 主として傾斜50〜65度の密着した節理が、1〜2cm間隔で発達。		30	[49]																					1
50			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Пg							6 [8	4]															4	15.0				
	l	50.70	**** **** ****		灰	Bg					アプライト、上位との境界傾斜60度。		J _G o	[8	4]	CH												126							
			* * * * * * * * * * * * * * *		黄褐	Cg	Ιg				深度52,53~52,90m: 節理が密集する		30		[76]	Н																			
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	ア	にぶい黄	Dg	1				。 深度52.68m,傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0		6	33]													9 21 53.25		76/セメンティング						_
-			**** **** **** ****	プライ	にぶい黄	Cg	IVg				.5~2.0cm間隔で発達。 全体に0.5~1.0cm間隔で密着した節理 が発達。	\downarrow	20 [20]														53.25		イング						-
-			* * * * * * * * * * * * *	+	橙	Dg	Vg				深度54.48~54.89m:節理密集部、一 部角礫状。 深度54.68m:シーム。傾斜50度。幅3	6	Ħ												-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		明褐灰		IVg				~10mm, 礫混じり暗褐色粘土状。		28			CM.				-					-										-
-	17.31	57.17	* * * * * * * * * * * * * * * *			Cg	Шg				深度56.75~56.85m: ペグマタイトを 挟む。 花崗斑岩, 上位との境界傾斜30度。			[83]						-															
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g				深度57.17〜63.47m: 花崗斑岩。 径3〜5mmの石英、長石及び黒雲母の斑 晶を3〜10%程度含み、石基は径0.1mm 以下である。石基は流理が認められる	H	20	[49]						}					-			144				170	0.0	泥 水 11	₂ -
-			#T+T+	花	灰褐		III g IV g				٠	#	29	[\$1]	\parallel					}					-										-
— 60			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	崗斑岩	-	Bg	Πg		β			H	\parallel	11/8		CH.				-															\exists
			++++		I:		IV g		r		深度61.08~63.03m: 密着及び開口した節理が1~3cm間隔で発達。									Ī															
			+++++		にぶい褐	Cg	IV g		,				20	[40]		UM																		VO. 7	
					1	1		ıl																	1				- 1			No	1 6.د	3(21/7	()

柱状図(35.00m~70.00m)



記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

1-11(分類c)③

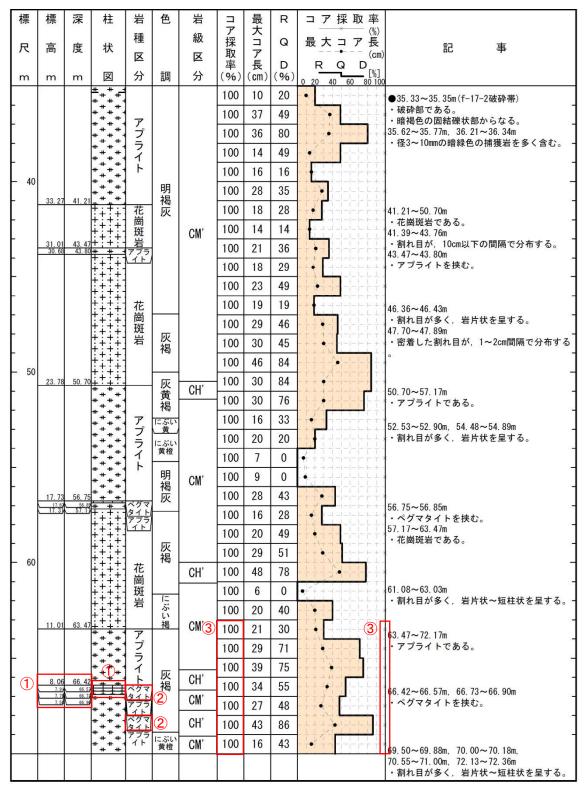
報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。

1-3(分類b) 4

報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	石面	_	割	厠	変	記	=	コア	'採〕	取习	E H	当岩	- ₇ 1		(標準貫入	試験)	試験	原位	室	掘	掘月	řI.				} / * i	<i>, ,</i> ≰ 排
175	175	/A	11			灰		れ	/5%	~	pL			(% ; ⊐ :		.		内水	^	(~ 深度			試			進進	圣	アナ	Ι.			S 水
尺	高	度	状	種			ア	目の					- 	CIT Q				位的	N						験乳		_	度		ュ ブ			王	
				区			形	状						[%		ΠΣ	☑分	測定) <u>†</u>						内水平載荷)	試		cm [壁上		N r	om Mi	Pa /	
(m)	(m)		図	分			状	態		質	事	0		50		5 100	う類	定月日	値		0 10 20	30	. 4	10 50	荷	験	B	時	護	F Imi	Pa `	_	Pa /	- -
	11.01	63, 47	+++++ ++++ +=++	花崗斑岩	I:S:UM	1	Πg IVg		r		アプライト、上位との境界傾斜13度。 全体に細粒、わずかに径1~4mmの石英		2	[30]		\parallel											9 22 63,70	144				0.	. 0 7 1	0
			**** **** ****			Cg	II g IV g				斑晶を含む。 深度64.60m:傾斜70度の節理の周辺に		1	19	L7	C)	N' [CM)										150			1	70 0.	. 0 月	E 0
			**** ****				II g IVg				幅6cm間酸化マンガン濃集。	Ħ	#	39	1	75]		-							1		9 23 65.70						'	
-			**** ****		灰褐	Bg	Πg				深度66.42~66.57m, 66.73~66.90m:		1	34	55)	CH	ť										00.70							
-			**** ****	アプ		Cg	‴t III g				ペグマタイトを挟む。 深度67.00~68.42m:わずかにカリ長 石,斜長石の斑晶が点在する。		1	7		CI	(CH]							1									-
-			* • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ライ		Bg Cg	IVg II g IVg					H	+	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	"	CF	r r								-			114				0.	.0 月	E 6
-			**** ****		12		I g					H		7	[86]	I									+									
F 70			* * * * * * * * * *		にぶい黄橙灰褐	Cg	IVg III IVg				深度69.50~69.88m: 節理密集部, 0. 5~1.0cm間隔。 深度69.77~69.88m: 傾斜50度, 70度	Ħ		[43]		#																		
-			*		にぶい美型	┶	Шg		β		の節理に挟まれた部分に0.3~0.7cm間隔で傾斜40度程度の節理が密集する。 深度70.00~70.18m.70.55~71.00m.	H		25]													9/26 70,65							+
	2 31	72, 17	**** ****		褐灰		ΙΙg		,-		72.13〜72.36m: 傾斜35〜60度の節理 発達。岩片〜短柱状コア。		Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na N		[84]	CI	r																	
	2.31	72.17	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑		Bg	IV g				花崗斑岩,上位との境界凹凸有り,傾 斜10~30度。 深度72.17~86.04m:花崗斑岩。	\parallel	+	40	[58]	$^{+}$																		
			+ + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	灰オリーブ	Cg	IVg				厚さ0.2~0.5m程度のアプライトを挟む。 深度72.17~75.72m間の花崗斑岩は、		4	[35]		\blacksquare														45	5.0			
ŀ	0.40	74.08 74.32	-::: ::::::	アプライト	プロス	Eg Dg	VIg Vg IIg			2	径10~20mm程度の石英、長石及び黒雲 母の斑晶を15%程度含み、石基は黒雲 母が多く暗灰色帯び、径0.1mm以下で	H	\parallel	49	54)	CL	-											130	16			١	. 0 月 1	E 0
-	_1 24	75, 72	+ + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰	Cg	Пg				ある。 深度75.72m以深. 斑晶は1~5%程度となる。 深度72.83~74.08m,74.32~75.72m間		4		1581	#	-												76/セメンティング				1)
-	-1.74	76.22	* * * * * * * * † <u>†</u> † †		にぶい実體		шg IVg				深度72.33 ⁻ (1.00m), /4.32 ⁻ (3.72mm) , 黒雲母が多く暗灰色帯びる。 深度73.91~73.93m:破砕帯(Hc)。傾 斜41度。幅10~20mm, 灰白色シルト混		\exists	42	100)	Ho	r												7					-
-			*		灰	Bg	Πg				じり砂・シルト状。一部暗褐色粘土状 。逆断層的センス。 アプライト、上位との境界傾斜75度,			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		CF	H' [CM]	1													15	50		
-			*		15		Шg				下位との境界傾斜52度。 深度76,22~78,06m:暗灰色を帯び、 ひん岩に近い岩相を示す。		H	1	֓֞֟֟֓֟֟ ֡	3]	LOW								-									-
-			*	花崗斑	にぶい黄橙	Cg	IVg				深度76.50~76.79m:斑晶少なくアプ ライト質。	ļ	\not	A37	[61]	CI	r										9/27 78.75	\dashv		ダブ		-	+	+
80			# + + + + + + + + + + + + +	岩	地におい	Dg Cg	Vg	cg			深度79.22~79.25m:破砕帯(Hc)。傾 斜55度。幅18~25mm. 明黄色礫混じり 砂質シルト状及び砂礫状。正断層的セ					CL	-												1	ルコアチ				
			*		黄橙	Dg					ンス。 深度79.35~79.42m:傾斜50度の節理 が0.5~2cm間隔で発達。	t d				CI													١.	그				
	- 7.17		+	275/1	灰黄褐		IVg				深度80.23~83.34m:全体に節理多く , 短柱~岩片状コアをなす。 深度81.30~81.90m:傾斜75~90度の	4	+			╬												138		ーブ/ ダ		0.	. 0 J	0
	-7.62	82.10	* * * * † ‡ † ‡ †	77741	ı	Cg					高角度な節理発達。 アプライト、上位との境界漸移的。	Ä	1 (2)	2.			ľ												١.	イヤビ				
ŀ			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花	ぶい	Cg Dg	Vg	bg			深度83.12~83.16m:幅30mmの褐灰色 礫混じり砂状。		5			CL	-										9/28 83.70		- 1	ット				-
-			*		黄褐	Cg	IV g					H	N	30											$\frac{1}{1}$		83.70							
F			***** *****	石	- FEE							H	$\frac{1}{\sqrt{1}}$		Ш	76] CI	r																	-
-	<u>-11, 56</u>	86,04	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰黄にぶ	Cg Dg	IV g				深度86.04~123.65m:アプライト。	1		3)		╬												145		35	5.0	0	.0 月	Ē 0 -
-			*		l L	Dg	Vg			3	上位の花崗斑岩との境界は破砕帯である。 厚さ0.1~2.3m程度の花崗斑岩と厚さ					CL	-										9/							`
Ļ			₩ * * * * * * * * * *		黄橙灰	Eg Dg	1	cg			0.3m以下のペグマタイトを挟在する。 アプライトの石基は径0.2~0.5mm程度 で,組織は全体に均質である。斑晶は		12 [12]			╽.											729 87.45	21	1	45	5.0			
			* * * * * * * * * * * * * * *		褐 tasivae	Eg	Vg		r		非常に少ない。 深度86.04~86.12m:破砕帯(Hb)。傾 斜30度。幅70mm。		1111			∄⁰	,										9/30 88.80	81		40	5.0			
			**** **** ****		灰白	Cg Dg	IVg	bg			上盤より礫混じり砂〜シルト状幅15mm, 角礫状幅15〜30mm, 礫混じり砂質 シルト状幅25mm。正断層的破砕構造有り。			\blacksquare		- Co	r																	
90			****		ロにぶ	Cg	40			2	9。 深度86.12~87.27m:破砕帯(Hj)。径2 ~3cmの角礫主体の礫状。 深度87.27~87.31m:破砕帯(Hj)。傾	19				╬																		
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		がい橙	Cg	`	bg			深度87.2/~87.31m: 破幹骨(HJ)。領 斜44度。上盤より20~25mm明黄色シルト状、10~15mm黄色シルト混じり砂状		\parallel	\parallel		HCL	-								1			124		40	0.0	65 0.	.0 7	e 0 -
}			¥-+* **** * <u>*</u> ***	アプライ	褐灰	Cg					。 深度87.31~87.32m:破砕帯(Hc)。傾 斜44度。花7~20mmの暗褐一部明黄色 粘土状。破砕構造有り。		19	\parallel		CI	L [CT]								1									-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	フイト	液異胞 にみい食物	Eg	V g VI g				和工机。吸針構造有り。 深度87.32~87.53m:変質帯。傾斜57度 。固結砂状。 深度90.11~90.20m:幅50mmシルト質		[[0]	H	\mathbb{H}	CI	-								-		10/2 93.35		76					
-					橙明オリ	Cg	Vg				深度90.11 ^{4-50.20}	Ţ.	\parallel	\sharp		╬	+								-		a3.35	66		15	5.0 13	35 0.	.0 月	Ē 0-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		一ラ灰	Eg	VIg	cg		4	深度92.56~92.68m:節理密集部。砂 礫状。 深度93.75~96.18m:破砕帯(Hj)。傾) ²	[5	0]	\sharp									-		10/3 95.00	4			\perp	\perp	1	$\perp \downarrow$
					にぶい黄檀灰河			dg			斜3度。細礫混じり土砂状。		\parallel			\parallel																		
					明	Cg	IVg					\parallel	18	+	\mathbb{H}	H _{CI}	ď											127				00	. 0 月	, stru
			* * * * * * * * * * * * * * *		オリー	Dg				2	深度97.72~97.74m:幅20~30mm,礫	H	5	27]	\blacksquare	- Ci	-											127		ادا	,. of 18	JU 0.	· ˈ ˈˈ	k 0 -
			**** **** ****		ブ灰	Cg	V g IV g IV g	_			シルト混じり砂状。 深度98.45~98.49m:節理密集部。幅		12	Ħ		- -	N. ECW	1																
			****			vg	.vg	~5			20mm,原岩組織明瞭。	╣	Ш		Ш	+				_	1		l						+	+		No	.16(3/7)

柱状図(35.00m~70.00m)



1-12~1-20(分類c)① 岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。 1-21,1-22(分類c)②

報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	碩		割	凮	変	記	=	コア	'採」	取率	岩	岩岩	孔	Τ	(標準貫入	試験)	試験	原	室	掘	掘	71.	_	給	(回	3 /) 排
			1.1	種		_	ア	れ	,		н			(% ;⊐:) ア 長		盤盤	内			(N値·	~ 深度	:		原位置試験				径 (mm)	Iアチュ			水		水
尺	高	度	状	区			形	目 の				F	-	cm Q	ı D		分	(m	N						孔内		月	度	/ 孔	l ブ		数(圧	量(量
()	()	()	図		調	市ケ		状態	11-	啠	事	-	L	[%]		類	屋	一値						水平載点		日	(m /時	壁保護	/ビット	MPa	rpm	MPa	一/分	-/分
(m)	(m)		E	分		_	1∧ III g	Н	γ	具	,	o	2	50	1		块				0 10 20	30		40 5	荷 io 〇	湖火	11 %22	$\overline{}$	改	r)	$\overline{}$	0.0	泥水11	0
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Cg	IV g II g IV g				アプライト、上位との境界傾斜13度。 全体に細粒、わずかに径1~4mmの石英 斑晶を含む。	\mathbb{H}		9	+	CM	[CM]								+		63,70					170		泥	目
-			**** **** ****				II g				深度64.60m:傾斜70度の節理の周辺に 幅6cm間酸化マンガン濃集。	H	\dashv	V ₃₉	Ln:										+		9/	150					0.0	水10	0_
-			**** **** ****		灰褐	Bg	Пg	1				F	\prod_{i}	34	107	СН									$\frac{1}{2}$		9/23 65.70								\exists
-			* * * * * * * * * * * * *	궃		Cg	‴. III g				深度66.42~66.57m, 66.73~66.90m: ベグマタイトを挟む。 深度67.00~68.42m: わずかにカリ長	F	1		55]	CM	[CH]								-										-
-			* * * * * * * * * * * * *	プライ		Bg	IV g				石、斜長石の斑晶が点在する。	H	1	[4	8]	H									-			114					0.0	泥 水 13	6
-			**** **** ****		12.56		I g					H			[86]	-									-									13	-
<u> </u>			**** **** ****		乗権 灰褐		IVg III IVg				深度69.50~69.88m: 節理密集部, 0. 5~1.0cm間隔。 深度69.77~69.88m: 傾斜50度, 70度	F		[43]											-		9/								\exists
-			* * * * * * * * * * * * * * *		におい黄根	Cg	∭g IVg		β		の節理に挟まれた部分に0.3~0.7cm間 隔で傾斜40度程度の節理が密集する。 深度70.00~70.18m, 70.55~71.00m, 72.13~72.36m:傾斜35~60度の節理	F	1 2	5)	\dashv										-		9/26 70.65								_
-	2.3	1 72.17	* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰		II g IV g				発達。岩片〜短柱状コア。 花崗斑岩、上位との境界凹凸有り、傾	Ħ	1		[84]	CM									-										4
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰オリ	Bg Cg	Πg				斜10~30度。 深度72.17~86.04m: 花崗斑岩。 厚さ0.2~0.5m程度のアプライトを挟む。	Ī	$\frac{1}{h}$	*1	[58]										-						45.0				4
-		0 74.08 6 74.32		アプライト	リ プ ERMM	Eg	IV g VI g				マップ。 深度72.17~75.72m間の花崗斑岩は、 径10~20mm程度の石英、長石及び黒雲 母の斑晶を15%程度含み、石基は黒雲	Ħ	Å	[35]		GL									-						45.0				-
-			1++++	花崗斑	灰		Πg			2	母が多く暗灰色帯び, 径0.1mm以下で ある。 深度75.72m以深, 斑晶は1~5%程度と	Ħ	1) ⁴⁹	54]	СМ									-			130	76/セメンティング				0.0	泥 水 10	0_
-		4 75.72 4 76.22	+ + +	岩アプライト	にぶい異都	Cg	Шg IVg				なる。 深度72.83~74.08m,74.32~75.72m間 , 黒雲母が多く暗灰色帯びる。 深度73.91~73.93m:破砕帯(Hc)。傾	Ħ	1	Ш	[58]	СМ													ティング						-
-			++++		灰	Bg	Пg				斜41度。幅10~20mm, 灰白色シルト混 じり砂~シルト状。一部暗褐色粘土状 。逆断層的センス。	Ħ		(12)		СН									-							150			-
-			++++				Шg				アプライト、上位との境界傾斜75度, 下位との境界傾斜52度。 深度76,22~78,06m:暗灰色を帯び, ひん岩に近い岩相を示す。	İ			4 [73	H	[CM]								-							100			-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg	IVg	cg			深度76.50~76.79m:斑晶少なくアプライト質。	H	$\frac{1}{2}$	A 37	(\$1)	CM											9/27 78.75			ダブ					-
_ 80			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	然にぶい黄	Dg Cg	Vg	- Cg			深度79.22~79.25m:破砕帯(Hc)。傾 斜55度。幅18~25mm,明黄色礫混じり 砂質シルト状及び砂礫状。正断層的セ ンス。					CIN														ルコアチ					4
-			++++			Dg					深度79.35~79.42m: 傾斜50度の節理 が0.5~2cm間隔で発達。 深度80.23~83.34m:全体に節理多く	T T	9			CL												138		, ューブ			0.0	泥水8	0 -
-	-7. 1 -7. 6	7 81.65 2 82.10	***** ****	アプライト	褐	Cg	IVg				, 短柱〜岩片状コアをなす。 深度81,30〜81,90m:傾斜75〜90度の 高角度な節理発達。	*				CM												130		ダイ			0.0	8	`.
-			++++		にぶ	Cg Cg					アプライト、上位との境界漸移的。 深度83,12~83,16m:幅30mmの褐灰色		122	21		Hal														ヤビッ-					4
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	い黄褐		Vg IVg				業度も12 - 65 Toll 1 Valorial の内容の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	H	(fs)			F											9/28 83,70			7					4
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	· 斑 · 岩	THEJ	Cg	Шg					H	1		7	CM																			
-	-11.5	6 86.04	# # # # #		灰黄	Dg Cg Dg	IV g				WINTER O. 100 05		4	3)		┢												145			35.0			泥	
_			**** **** ****		にぶい		Vg			3	深度86.04~123.65m:アプライト。 上位の花崗斑岩との境界は破砕帯である。 厚さ0.1~2.3m程度の花崗斑岩と厚さ	43]			HCL.																	0.0	水 6	0
_			**** **** ****		黄橙灰	Eg Dg	-	cg			0.3m以下のペグマタイトを挟在する。 アプライトの石基は径0.2~0.5mm程度 で、組織は全体に均質である。斑晶は		12 [12]														9/29 87.45				45.0				
			* * * * * * * * * * * * *		褐 ESURE	Eg	Vg		r		非常に少ない。 深度86.04~86.12m:破砕帯(Hb)。傾 斜30度。幅70mm。 上盤より礫混じり砂~シルト状幅15m	$\frac{1}{2}$	Hin			D.											9/30 88.80	81			45.0				4
90			* * * * * * * * * * * * * * *		灰白	Cg Dg Cg] IV g	bg			m, 角礫状幅15〜30mm, 礫混じり砂質 シルト状幅25mm。正断層的破砕構造有 り。	ď	9			CM																			
			**** **** ****		にぶい	Cg	Vg	bg		2	深度86.12~87.27m:破砕帯(Hj)。径2 ~3cmの角碟主体の碟状。 深度87.27~87.31m:破砕帯(Hj)。傾 斜44度。上盤より20~25mm明黄色シル	5				CL												104			40.0	165	0.0	泥	
			***** ***** Ø•***	ア	橙	Eg]	cg			料44度。工盤より20~25mm明貞ピンルト状、10~15mm黄色シルト混じり砂状。 深度87.31~87.32m:破砕帯(Hc)。傾						[CL:											124			40.0	100	0.0	水 7	0
			****	アプライ	褐灰	Eg	IV g	_			斜44度。花7~20mmの暗褐一部明黄色 粘土状。破砕構造有り。 深度87.32~87.53m:変質帯。傾斜57度		10	\prod	\prod	CM	LUL										10 /								
			#### #####	۲	橙明	Eg	VI g V g	cg			。固結砂状。 深度90.11~90.20m:幅50mmシルト質 砂状。 深度91.50~91.79m:破砕帯(Hj)。傾	2			\prod	CIT.											10/2 93.35		76		H			泥	\dashv
			***		明オリーブ灰	E~	VIg	cg			斜60度。幅100mm,砂礫状。 深度92.56~92.68m:節理密集部。砂 礫状。		\ 	[5	0]												10 3 95.00	66			15.0	135	0.0	泥水6	0
					吹 にぶい黄檀 展開	1 ^{Eg}	ATE	dg		4	深度93.75〜96.18m:破砕帯(Hj)。傾斜3度。細礫混じり土砂状。	7	,	H	\parallel												95,00								
			M. +	1	明	Cg							18 [18]	H	\parallel	СМ																		泥	1
			* * * * * * * * * * * * * * *		オリー	Dg				2	深度97.72~97.74m:幅20~30mm,礫	H	5 [2	273	\parallel	CL	1											127			30.0	190	0.0	水 1	0 -
			* * * * * * * * * * * * * * *		が灰	Cg	V g IV g IV g	25			深度91.72~91.74間: Wm2.20~350間間, Wm シルト混じり砂状。 深度98.45~98.49m: 節理密集部。幅 20mm, 原岩組織明瞭。		12	\parallel	\parallel	CM	[CM]																		1
						T	Ī							ш		+					1 1			1								N	0.1	6(3,	/ 7)

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	٦	最	R	コア採取率	
	<u> </u>	#	412	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	-n -s
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			*	アプラ	灰褐にぶい	3	100	15	25	- + + - - - - + + + + + + + + +	3
	2. 31	72. 17	+"+"+ +"+"+	1	褐	CM'	100	25	84		-
ļ [+ + + + - + + + + -	花崗	灰		100	40	58	- + + + * -1 -1 + +	1 <mark>2.17~86.04m</mark> ・ 花崗斑岩である。
	0. 40	74. 08	+ + + + - + + + +	斑 岩_	灰オリーブ	CL'	100	22	35		・幅20~50cm程度のアプライトを挟む。 ●73.91~73.93m(D-11破砕帯)
- -	0.16	14.32	++++	アプラ イト 花崗斑	灰黄褐,灰		100	40	54	- + + + - - - - - + + + + - - - -	- 破砕部である。
	-1. 24 -1. 74	75. 72 76. 22	+++	岩 アプラ イト	にぶい	CM'	100	24	58	- + + + + - + + + +	<mark>∤</mark> 暗褐色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は2.0cmである。 -
-			++++ ++++	11	<u>黄橙</u> 灰	CH'	100	42	42	 	* <mark>1</mark> 4.08~74.32m, 75.72~76.22m ・アプライトである。
-			++++	花	にぶい	CM'	100	54	73		-
- 1			+ + + + + + + + + + + +	崗斑	黄橙		100	37	61		-
- 80			+	岩	にぶい黄橙	CL' CM'	100	7 9	0		◆79.22~79.25m(D-12破砕帯) ・破砕部である。
-	-7. 17	81. 65	+++-		灰黄褐	CL'	100	5	0	η	↑・明黄色の未固結粘土状部からなる。この累 _. ↓計幅は2.5cmである。
F F	-7. 62		#	アプラ	15	CM'	100	12	22		79.35~79.42m ・割れ目が5~20mm間隔で分布する。
-			++++	花	ぶい	CL'	100	15	15	- 1	80.23~83.34m ・割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。
-			<u>+</u> + + + + -	崗斑	黄褐	CM'	100	30	76	- 1	81.30~81.90m ・高角度の割れ目が分布する。
	44.50	1	++++	岩	灰黄	OIII	100	13	23	- 	81.65∼82.10m
	-11. 56		X + X		にぶい	CL'	100	3	0	←	<mark>・</mark> アプライトを挟む。 - <mark>8</mark> 6.04~123.65m
		~ 1	¥##+¥	Γ	黄橙		100	12	12		│┣ アプライトである。 ┣┣ 幅10~230cm程度の花崗斑岩と幅30cm以下
			*		灰褐にぶい	D'	100	11	11		のペグマタイトを挟む。 ┃●86.04~87.32m(D-14破砕帯)
- 90			# " # " - # # # -		黄橙 / 灰白	CM'	100	9	0	→	・破砕部である。 ・主に黄色の固結礫状部からなる。 -
			<u>+</u>		にぶい橙	CL'	100	5	0		・灰白色の未固結礫状部:累計幅2.0cm
			### ###		淡黄		100	6	0	*	・暗褐色の未固結粘土状部:累計幅1.4cm
_			# # # # # #	アプ	にぶい 黄橙 褐灰 浅黄橙	CM' CL'	100	10	10	+ + + -	87.32~87.53m 変質している。
			# # # # Ø # # †Ø	ライ	<u>浅黄橙</u> にぷい 黄橙	UL	100	2	0		↓ トにぶい黄橙色の固結した砂状を呈する。 - ●91.50~91.79m -
-			X###X		増加		100	22	50	-+	・破砕部である。 ・淡黄色の固結礫状部からなる。
-			} ## !		ーブ灰 にぶい		100	0	0		・上端境界の傾斜は60°である。 92.56~93.68m
-			# # # # *		黄橙 灰黄褐	CM'	100	18	18	- + • + - - - - - + + + + +	・割れ目が多く、土砂状〜岩片状を呈する。.
-			# " # "		明オリ ーブ灰	CL'	100	15	27		◆93.75~96.18m(D-47破砕帯) ・破砕部である。
-			####				100	12	12	++	・明オリーブ灰〜にぶい黄橙色の固結礫状部 」からなる。
- 100	-25. 98	100. 46	" # # # - # # # #		灰にぶい		100	9 18	43		97.72~98.49m ・割れ目が多く,土砂状~岩片状を呈する。
} [+ + + + + -	花崗	<u>黄橙</u> 灰	OM'	100	13	13	- 	100.46~102.78m ・ 花崗斑岩である。
-	-28. 30	102. 78	+	斑 岩 アフラ	 黄 灰	CM'	100	25	25		
}	-28. 92	103. 40	++++	111	灰黄褐		100	23	37	- + + - - - - - - - - - 	102. 78~123. 65m
	-29.05 -29.35 -29.66	103. 53 103. 83 104. 14	* 	花崗斑 岩 アプラ	にぶい橙		100	10	10		・アプライトである。 ・花崗斑岩、ペグマタイトを挟む。
\vdash	-30. 52	105. 00	####	イト ペグマ タイト	褐灰		100	10			103.40~103.53m ・花崗斑岩を挟む。
				タイト アプラ イト							103.83~104.14m ・ペグマタイトを挟む。
ب) (Д										7 . 7 . 1 . 2 . 7 . 6

1-23(分類d)① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-24(分類b)② 誤記の修正。 1-3(分類b)③ 報告書の記載漏れを修正したため。

+==	標	深	++	ш.	4	T#	<u>_</u>	宇川	F	र्गाः	記	 	ア捋	取	率	岩岩		孔		(標準貫入	試験)	試験	原	÷	掘	+67	孔		44		T	/ 7 <u>.</u> _	П
標	保	沐	柱 	岩	色	便		割れ	風	変	āС	- 1	(⁹ 大コ	%) 1ア	E			内水		(~ 深度		DPV 95A	原位置試			進	径	アチ	布	回転	水	送 水	排水
尺	高	度	状	種 			ア	目の				→ R	(cm Q	D	級盘		(m)	N						験乳		_	度			圧	数	圧	量	量
				区			形	状					[9			区分	r)	測定月	値						内水平載		月	(E /	壁保	ビ	kN	rpm	_ MPa	(ー/分	(
(m)	(m)	(m)	図 * . * . *	分ァ	調	軟	状	態	化	質	事	1	50	<u>, </u>	100	分类	Į.	í	IIE	0	0 10 20	30		40 5	一荷	験	日	時	護	ット	MPa)	$\overline{}$	<i>'</i> 77	分 <u></u>
_100			* * * * * * * * * * * * *	1	灰		IVg					[B]			Щ												10/10	127			30.0	190	0.0	泥水1	0
-	-25.9	3 100.46	* - * - *	花	灰	- Cg	Vg ∭g	bg			花崗斑岩, 上位との境界不明瞭。 深度100.46~102.78mおよび105.00~	18	ī	43]	Щ												100.30								
			+++++	花崗斑岩	黄灰	Cg	IV g				112,95m間の花崗斑岩は、径3mmの石英 , 長石を主とする斑晶を50%程度含み , 石基は径0.1~0.5mmで黒雲母を多く 含む。	13 (13)			Ш																				
	-28, 30	102.78		77911	Bi.	Bg	IV g				アプライト、上位との境界傾斜45度、		25 [25]		Ш,	OM. [C	m]																		
	29.0	2 103.40 5 103.53 5 103.83	# # # # # . # . # # #	1	灰黄褐 にぶい物		II g IV g V s	bg			下位との境界傾斜29度。	1	(3)	73	Ш													455							
	29, 0	5 104, 14 2 105, 00	* + * + *	77911			Vg Vg Vg				アプライト、上位との境界傾斜40度, 下位との境界傾斜64度。	(10 [10]			Н													155			35.0				
			+++++	花崗斑岩	褐灰	US	V g IV g	cg				10	Н	\blacksquare	\mathbb{H}																				
_	-31.8	7 106.35	; 		灰美福 にぶい福	8	II g	bg		2	アプライト,上位との境界傾斜33度。		34		[71]																				
			****	アプライ	灰	Dg	\vdash	cg	r			7	30]														10/ /11						0.0	泥水2	0
	-34. 3	5 108.83	* * * * * * * * * * * * * * *	۲	黄褐		Шg		ľ		花崗斑岩, 上位との境界傾斜30度, 下	18	[36]	Ħ	DL"									1		107. 90								
-		7 109.65	#####	岩岩							位との境界不明瞭。	13	[25]		Ħ																				. 1
-110			****	アプライ	#	Cg		bg			アプライト、下位との傾斜漸移的。	14	[25]		Щ,	OM.																			
_		5 111, 03 4 111, 52	++++	ト 花崗斑岩	黄灰		₩g	bg							Щ	[0	L)											110			50.0				-
-		5 112. 14	++++	アプライト 花筒斑岩							アプライト、上位、下位との境界漸移 的。	144			₩																				
-	-38.4	7 112.95	****	地岩	灰黄褐	Dg		oa.				2			Ш.	GL.																			
-			**** ****		にぶい黄檀	Cg	Vg Vg IVg II g	cg		3 2 3	深度113.66m:破砕帯(Hc),傾斜74度 ,幅10~24mm,灰白色粘土状。 深度113.77m:破砕帯(Hc),傾斜62度 ,幅10~15mm,灰白色粘土状。	2	[82]														10 12 114.70								_
F			****		灰白褐灰	_	IV g			3	深度114.30~114.86m:変質帯。上盤 23度、下盤65度。緑灰色粘土を挟む。	M.	21)		₩		-										114.70			ダブル					\exists
-			* * * * * * * * * * * * * * *		灰黄褐	Cg	IV g			2	深度115.52~115.58m: 傾斜65~68度 , 変質強い。 深度116.07~116.16m. 116.50~116.	[N]	П		\blacksquare										$\frac{1}{1}$					コアチ					_
-			****	アプライ	19	Dg .	Mg Ng Mg			3	64m:傾斜50~60度,変質強い。		[3	9)	H														76	ューブ					
-			* * * * * * * * * * * * * *	イト			IVg	bg			深度117.16~117.31m:変質帯。上盤 55度、下盤66度。		[26]	H	H	OM. [C	M]													/ダイヤ	45.0	165			_
-			* * * * * * * * * * * * * * *		灰		IVg		α	2					H													155		ヤビット	45.0				
—120			****				vs IVg	1 1			深度119.52m:変質強く雲母粘土鉱物 を伴う。 深度120.00~121.52m:低角度な節理	[12]			Ħ										-										_
-			****		黄灰		V g IV g				が多い。	*			#										-										_
-	-47. 20 -47. 50	6 121. 74 6 122. 04	*	^07₹91	ESUME 灰白	e	III g				深度121.36~123.65m:変質帯。上盤 66度、下盤40度。 深度121.85~121.86m:破砕帯(Hc)。	1	21]		Щ												10 /13 122.20								
-			****	アプライト	に ぶい 機 _K o	Dg	IVg			3	:傾斜44度、幅5~10mmの砂混じりシルト状。見かけ正断層のずれあり。 深度121.86~122.21m:破砕帯(Hj)。上	15	[3	9)	Щ												122. 20						0.0	泥水2	1 _
	49.1	7 123, 65	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	1	明		IV g				盤44度、下盤0度。固結砂礫状。高角度 の面発達。 深度122.96~123.00m:幅20mm,灰白 色砂質シルト状。		22]		Щ	CL'																			
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐灰	Cg	V g	1			深度123.65〜154.63m: 花崗斑岩。 上位のアプライトとの境界は割れ目密 集部。	(1)			Щ																				
			+++++				Vg				深度131.95mまで褐色化が顕著。 径3~10mmの石英、長石及び黒雲母の 斑晶を40~60%程度含み、石基は径0				Ш																				
			++++		灰褐	Dg	IV g II g		r	2	.1mm程度である。 深度135.20~136.36m間はアプライト を挟む。 深度126.73~127.02m:石英細脈多い		27 [21]		Ш													155							
			+++++								。傾斜41~58度。				Ш	[0	L]																		
			+	花	灰褐	Cg	₩g	bg				15			\prod	CM.							_								35.0				
			+	花崗斑岩	長白におい権		Vig V g IV g			3	深度129,19~129,37m:変質帯。上盤 50度、下盤56度。砂礫状。明褐色帯び ス			\prod	\prod	DL"																			,]
-130			# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	1	灰白	Fø	Ιg				る。 深度130.20~131.28m:破砕帯(Hj)。 上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混 じり砂状。	\prod			80												10 /14 131.00								
			8+;+k ;+;+;		灰白にぶい地	l Dg	II g VIg				深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。 上盤0度, 固結シルト状。 深度132.05~132.25m: 破砕帯(Hc)。			H		31.											131.00								\Box
			+++		灰白	Eg Dg	Πg	cg		3	下盤49度,礫混じりシルト質砂状。 深度132.25~132.28m:破砕帯(Hc)。 傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト	H		16 [B		-																		泥	, 1
ŀ			A +++		褐灰	Dg	Ιg		β		状 深度132.28~132.47m:破砕帯(Hj)。 上盤49度,下盤66度。原岩組織残す。 深度132.47~133.26m:破砕帯(Hj)。	\parallel	Ħ		74	CL.												122					0.0	水 3	2 -
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰白						上盤66度, 下盤43度。深度132.87mに 傾斜53度, 幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。	\parallel		d4 (88)	$\parallel \parallel$	21.7																			, †
	F60, 5	2 135,00	Mi+iR		におい異核	∗ Ug	шg				深度133.70~134.00m: 破砕帯(Hj)。 節理密集。	\perp	Ш	Ш		CL.	1															N	0.1	6(4	/7)

H19-No.16

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取	率	
				種		級	ア 採	大コ	Q	最大コア	(%)	
尺	高	度	状 	区		区	取	ア			(cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	R Q D	[%] 80 100	
			# # # -	アプラ	<u>灰褐</u> にぶい		100	15	25	- +•+	+ + *	
	2, 31	70 17	####	ライ	養橙 褐	CM'	100	25	84		+ *	
	2. 31	72. 17	+++	花崗	灰	OM	100	40	58	-+++	- + *	72. 17~86. 04m
[0, 40	74. 08	++++	斑岩	灰オリ ーブ	OL '	100	22	35		<u> </u>	・花崗斑岩である。・幅20~50cm程度のアプライトを挟む。
	0.16	74. 32	‡ ; ‡ ; -	アプラ イト 花崗斑	灰黄褐	CL'	100	40	54	- + + + +	* - + *	●73.91~73.93m(D-11破砕帯) ・破砕部である。
L	-1. 24 -1. 74			光光	灰にぶい	CM'	100	24	58		L _ *	・暗褐色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は2.0cmである。
L	1.77	70. 22	+ + + + +	11	黄橙	CH'	100	42	42	- + + + - 		74.08~74.32m, 75.72~76.22m ・アプライトである。
_			++++	花	灰		100	54	73		L + *	- 7 2 24 F C 8 8 8 .
ļ. I			+++	崗斑	にぶい 黄橙	CM'	100	37	61		- + * - + -	
- 80			# + + +	岩岩	送黄にぶい	CL' CM'	100	7	0	-	+ + *	●79.22~79.25m(D-12破砕帯) ・破砕部である。 -
-			++++		黄橙 灰黄褐	CL'	100	9	0		* 	・明黄色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は2.5cmである。
-	-7. 17 -7. 62			アプラ	1=	CM'	100	5	0	+++		79. 35~79. 42m
- 1			++++	花	5	CL'	100	12	22		T T	・割れ目が5~20mm間隔で分布する。 80.23~83.34m
-			++++	崗斑	が黄	0111	100	15 30	15 76	- +++ +		・割れ目が多く,岩片状〜短柱状を呈する。 81.30〜81.90m
-		1	+ + + + - + + + + -	岩岩	褐田井	CM'	100	13	23			・高角度の割れ目が分布する。 81.65~82.10m
-	-11. 56	86. 04	 		灰黄	CL'	100	3	0			・アプライトを挟む。 86.04~123.65m
-			###		にぶい 黄橙	OL	100	12	12	111111		・アプライトである。
-			####		灰褐	D'	100	11	11		 *	・幅10~230cm程度の花崗斑岩と幅30cm以下 のペグマタイトを挟む。
-			"		にぶい 黄橙	CM'	100	9	0			●86.04~87.32m(D-14破砕帯) ・破砕部である。
- 90			# # # # - # <u>#</u> # <u>#</u> -		灰白にぶい		100	5	0	-/+ + + - - - - - 	⊢ + - ∟ ⊥ *	・主に黄色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結礫状部:累計幅2.0cm
-			# " # " - \times # \times \times # \times # \times \times # \times \times # \times		橙淡黄	CL'	100	6	0			・暗褐色の未固結粘土状部: 累計幅1.4cm ・下端境界の傾斜は44°である。
-			###	アプ	にぷい	CM'	100	10	10	++	+ + + - + *	87.32~87.53m ・変質している。
			# # # # . 5# #	ライ	褐灰 浅黄橙 にぷい	CL'	100	2	0			・にぶい黄橙色の固結した砂状を呈する。
			### ###	1	にぶい 黄橙 橙		100	22	50	-+ + +	++*	●91.50~91.79m ・破砕部である。
			###		明オリ ーブ灰		100	0	0	(++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	*	・淡黄色の固結礫状部からなる。 ・上端境界の傾斜は60°である。
			### ###		にぶい 黄橙	CM'	100	18	18	+ +	++*	92.56~93.68m ・割れ目が多く,土砂状~岩片状を呈する。
			####		灰黄褐 明オリ	CL'	100	15	27		<u> </u>	●93.75~96.18m(D-47破砕帯) ・破砕部である。
		!	# # # # - # " # " -		一ブ灰		100	12	12	+++	 - + * - + <u> </u>	・明オリーブ灰~にぶい黄橙色の固結礫状部
- 100	1000-000-0	appropriate records	####- ###-		灰	1	100	9	0	+ + + +		からなる。 97.72~98.49m
_	-25. 98	100. 46	# # + : + : -	花	にぶい 黄橙		100	18	43	-+	- + * - +	・割れ目が多く,土砂状〜岩片状を呈する。 100.46〜102.78m
			++++	崗斑	<u>火</u> 黄	CM'	100	13	13	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>	・花崗斑岩である。
	-28, 30 -28, 92	102. 78 103. 40	+ <u> </u>	岩 アプラ イト	灰灰		100	25	25	- + +	- + - +	102.78∼123.65m
_	-28. 92 -29. 05 -29. 35 -29. 66	103. 40 103. 53 103. 83 104. 14	# + # +	イト 花崗斑 岩	灰黄褐にぶい		100	23	37	- + + + + - - - - - - - -	<u>+</u> + *	・アプライトである。
		105. 00		アブラ	褐灰		100	10	10	+ + + + + + + + + +	- T	・花崗斑岩、ペグマタイトを挟む。 103.40~103.53m
				ペグマ タイト アプラ	1300							・花崗斑岩を挟む。 103.83~104.14m
				11								・ペグマタイトを挟む。

1-3 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	割	風	変	記		アお		率	岩	岩	孔		(標準貫入試験)試験	原位	室	掘	掘	孔	П	給		4 / 送		<i>)</i> 排
				種			ア	n					大 =					内水	^	(N 値 ~ 深 度	原位置試験			進	径 (mm)	アチュ		転	水	水	水
尺	高	度	状	区			形	目 の				R		cm Q	D	区		(m) 測	N			乳内		月	度 cm	/ 孔	ーブ/		数(圧	$\overline{}$	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟		状態	化	質	事	~	. [%]			, 類	定月日	値	0	2 10 00 00 40 5	水平載荷)		日	/	壁保護	ビット	kN MPa	rpm 	MPa	-/分)	/分)
			* * * * * * * * * * * *	アプライ	灰	Bg	IVg					0	5	50	100						0 10 20 30 40 5	0 0			127			30.0	190	0.0	泥水	0
-100		3 100. 46	**** **** *:::::	1	灰	Cg	Vg	bg			花崗斑岩、上位との境界不明瞭。		18	43)										10/ 100.30							Î	4
-			++++	花崗	黄		Ⅲg IVg				深度100.46~102.78mおよび105.00~ 112.95m間の花崗斑岩は、径3mmの石英 、長石を主とする斑晶を50%程度含み		3																			-
-	-28 3	0 102, 78	++++ ++++ ++++	斑岩	灰	Cg	V g IV g	Н			, 石基は径0.1~0.5mmで黒雲母を多く 含む。		25 25 25																			-
-	-28. 9 -29. 0	2 103.40	* * * * * * * * *	アプライト 花崗斑岩	灰黄褐	Bg	Пg Ng Пg IVg	bg			アプライト、上位との境界傾斜45度, 下位との境界傾斜29度。		23 [3	n		CM'	[CM]															-
-	29.6	3 <u>4104.14</u>	+ - + - + -	7391F 49791 7791F	にぶい権		Vg Vg Vg IVg				アプライト.上位との境界傾斜40度. 下位との境界傾斜64度。	10	0]												155			35.0				-
-	-30, 5	2 105.00		花崗斑岩	褐 灰	Cg	V g IV g	cg				19	0)																			-
-	-31.8	7 106.35	****	1	医機関		Πg	bg		2	アプライト,上位との境界傾斜33度。		34		[77]																	1
			**** **** ****	アプラ	灰	Dg	\vdash	cg	γ				(30)											10/11						0.0	泥水2	0
-	-34.3	108.83	**** **** ****	イト	黄褐		Шg		,		花崗斑岩, 上位との境界傾斜30度, 下		18	6]		CL								107. 90								-
Ī	1	7 109.65	* + * + * + * + * + * + * + * + * * * *	で商班岩							位との境界不明瞭。	113	[25]																			-
-110		5 111.03	****	アプライト	黄	Cg		bg			アプライト、下位との傾斜漸移的。	7	[25]			CM'	[CL]															
	-37.0	4 111, 52	+ ; + ; + + ; + ; + + ; + ; +	花崗斑岩	灰		₩g	bg			アプライト、上位、下位との境界漸移	4			\blacksquare		,								110			50.0				
		7 112. 95	# # + + + + + + + + + + + + + + +	花簡斑岩							的。		1 4]																			Ī
			* * * * * * * * * * * * * *		灰黄褐 にぶい黄檀	Dg	Wa V g	cg		3	深度113.66m:破砕帯(Hc). 傾斜74度 ,幅10~24mm,灰白色粘土状。		2 [32	-		CL.																
			**** **** ****		灰白	Dg	IVg IIg IVg Vg			3	深度113.77m:破砕帯(Ho),傾斜62度 ,幅10~15mm,灰白色粘土状。 深度114.30~114.86m:変質帯。上盤		2 [21]											10 12 114.70			ダブ					\exists
			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰 灰黄	Cg	₩g			2	23度、下盤65度。緑灰色粘土を挟む。 深度115.52~115.58m: 傾斜65~68度 、変質強い。	4	∄														ノルコア					
			****	アプ	褐		Mg Ng Mg				深度116.07~116.16m, 116.50~116. 64m:傾斜50~60度,変質強い。		20 [3	39)												76	チューブ					
_			****	アプライト		Cg	IVg	ΙI		3	深度117.16~117.31m:変質帯。上盤 55度、下盤66度。	#	[26]			CM.	[CM]										ノ/ダイ		165			
			****		灰	Cg	IV g	bg	α			di	Ħ												155		ヤビッ	45.0				
-120			**** **** ****				V ₄	ΙI		2	深度119.52m:変質強く雲母粘土鉱物を伴う。	H	2]														7					
-			*		黄灰		V g				深度120.00~121.52m: 低角度な節理 が多い。																					-
-	-47. 2 -47. 5	6 121. 74 6 122. 04	***** *** **	\0'791	ESUME 灰白		IV g III g VIg	1			深度121.36~123.65m:変質帯。上盤 66度、下盤40度。 深度121.85~121.86m:破砕帯(Hc)。		[21]											10 13 122.20								-
-			**** **** ****	アプライ	にぶい橙原白	Dg	IVg	1 1		3	:傾斜44度.幅5~10mmの砂混じりシルト状。見かけ正断層のずれあり。 深度121.86~122.21m:破砕帯(Hj)。上		5 [3	39)										122. 20						0.0	泥水2	1
-	<u>-49, 1</u>	7 123, 65	* * * * + · + · + + · + · + · + · + · +	1 .	明褐		IV g	П			盤44度、下盤0度。固結砂礫状。高角度 の面発達。 深度122.96~123.00m:幅20mm, 灰白 色砂質シルト状。	11	[22]			CL"																-
-			++++		灰	Cg	 	1			深度123.65~154.63m:花崗斑岩。 上位のアプライトとの境界は割れ目密 集部。 深度131.95mまで褐色化が顕著。		\parallel									-										-
-			+		灰	Dg	V g IV g	1 1			径3~10mmの石英, 長石及び黒雲母の 斑晶を40~60%程度含み, 石基は径0 .1mm程度である。											-										-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐	L	Πg		γ	2	深度135.20~136.36m間はアプライト を挟む。 深度126.73~127.02m:石英細脈多い 。傾斜41~58度。		(2)									-			155							-
-			++++		灰	Cg	₩g	bg			8 (94) 11 33/28	TO T				CM"	[CL]					-										-
-				花崗斑岩	褐	Eg	VIg			3	深度129.19~129.37m:変質帯。上盤		ist	\parallel	#							-						35.0				-
—130				岩	原原	Dg	Vg IVg			2	50度、下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。 深度130.20~131.28m:破砕帯(Hj)。	TEN.	1	$ \downarrow $	80	CL"						$\frac{1}{2}$										\dashv
-			# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰白原白	Eg	Ig VIg IIg	H			上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混 じり砂状。 深度131.94~132.05m: 破砕帯(Hc)。 上盤0度,固結シルト状。			[80	1									10 14 131.00								\dashv
-			###### ###### ######		にぶい権 灰白 明祖医	Dg	VIg	1			深度132.05〜132.25m:破砕帯(Hc)。 下盤49度、礫混じりシルト質砂状。 深度132.25〜132.28m:破砕帯(Hc)。		To	56	$\frac{1}{1}$	CL.						-										-
-					灰白褐		Ιg		β	3	傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト 状 深度132.28~132.47m:破砕帯(Hj)。 上盤49度,下盤66度。原岩組織残す。		\parallel	1	14	01.									122					0.0	泥 水 3	2 -
-			*****		灰白灰白	Eg	VIg				深度132.47~133.26m:破砕帯(Hj)、 上盤66度,下盤43度。深度132.87mに 傾斜53度,幅10mmの緑灰色シルト(Hc		\parallel		4	oL.						$\frac{1}{2}$										-
	-60.5	135,00	XI:+:[にぶい黄檀	Dg	∭g	Н		Н)を挟む。 深度133.70~134.00m:破砕帯(Hj))。 節理密集。	$+$ \square	Ш	Lo	"	CL.							\vdash						N	0.1	6(4,	77)

柱状図(105.00m~140.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	⊐	最大	R	コア採取率	
	÷	#	445	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	記事
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
_	01.07	100.05	++++	花崗斑 岩	褐灰	CM,2	100	10	10	+ + + - - - - - + +	105. 00~106. 35m, 108. 83~109. 65m, 111. 03~111. 52m, 112. 14~112. 95m -
L	-31, 87	106. 35	### ###	アプ	灰黄褐		100	34	77	-1131755	・花崗斑岩を挟む。
			####	ライ	<u>_7</u> 6/	CL'	100	20	20		
	-34. 35	108.83	#	イト 花崗斑	灰黄褐		100	18	36	1011	
- 110	-35, 17	109.65	<u>:</u> + <u>:</u> +	岩			100	13	25		_
	-36, 55	111. 03	**** ***	アプラ イト	黄	CM'	100	15	25		_
L	-37, 04 -37, 66	111. 52	+;+;-	花崗斑	灰		100	7	0	• + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
	-38. 47	OLESSES.	++++	イト花崗斑			100	14	14		
LI		1	= + = = + =	岩	灰黄褐 にぶい 黄橙	CL'	100	21	32	+++	■113.66~113.77m
[#		灰白		100	21	21	+ + + + +	・破砕部である。
			+###		褐灰 灰 黄		100	7	0	<u> </u>	・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色 の固結砂状部からなる。
			* * * * * ·	アプ	褐		100	20	39	-+	・灰白色の未固結粘土状部:累計幅1.5cm ・上端境界の傾斜は74°である。
			####	ラ		CM'	100	14	26		114. 30~114. 86m
			++++	イト	灰		100	8	0	++	・変質し、緑灰色の粘土を挟む。 - 117.16~117.31m
- 120			####				100	12	12		・変質して、軟質化している。
- 120			####		黄灰		100	6	0		120.00~121.52m ・低角度の割れ目が多く、岩片状~短柱状を-
[-47, 26 -47, 56	121, 74	" # " # 	ペガマ	にぶい黄橙		100	15	21		呈する。
			###	ベグマ <u>タイト</u> アフラ イト	にぶい 橙		100	15	39	1.	121.36~123.65m
	-49. 17	123. 65	#### +·+·	イト	灰白にぶい	CL'	100	11	22	•	121.74~122.04m ペグマタイトを挟む。
			+		にぶい <u>校</u> 灰白 にぶい 橙	-	100	8	0	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	●121. 85~122. 21m
			####		橙 明褐灰		100	6	0	+++	・破砕部である。 - ・主に灰白色の固結礫状部からなる。
			####				100	27	27	-+3	・灰白色の未固結粘土状部:累計幅0.1cm
			++++		灰褐		100	8	0	++	123.65~154.63m ・花崗斑岩である。
			‡+‡+	花	145)	CM'	100	15	15		126. 73~127. 02m
			<u> </u>	花崗斑岩	灰白	CL'	100	9	0	-	- 石英脈を多く挟む。 129.19~129.37m
- 130			3 ‡+ ₹	岩	灰白 にぶい 橙 明褐灰		100	80	80	-++++	・変質し、明褐色の砂礫状を呈する。 ●130.20~131.28m
		Эſ	Q++K	,	灰白	CL'	100	16	31	1-	・破砕部である。
		(1)	#±±#		灰福 灰白 にぶい	UL	100	56	88	111130	・灰白色の固結礫状部からなる。 ・上端境界の傾斜は57°, 下端境界の傾斜は
- 1		L	4+++	5	反白 明褐灰	CL'	100	74	100		18°である。 ●131.94~133.07m(D-15破砕帯)
- 1	-60, 52	125.00	X++X		灰白		100	64	83		- 破砕部である。 - - 主に明褐灰色の固結礫状部からなる。
	00. 02		**	アプライト	褐灰 灰白	CL'	100	21	21		・緑灰色の未固結粘土状部: 累計幅2.0cm
†	-61, 88	136, 36	# <u> </u>	11	灰白 にぶい 黄橙 灰白	CM'	100	3	0		●133.70~136.00m ・破砕部である。
			<u> </u>	花崗	にかい	CL'	100	19	30	1	・にぶい黄橙色の固結礫状部及び固結砂状部- からなる。
[++++	斑	<u>黄橙</u>	CM,	100	6	0	7	・灰白色の未固結粘土状部: 累計幅0.2cm 135.00~136.63m
			+ + + + + + + +	岩	にぶい	CL'	100	7	0	++++	・アプライトを挟む。
\vdash			.+.+		典位	UL		95		- commented to the	-136.00~149.00m ・割れ目が多く,土砂~岩片状を呈する。
					灰						136.36~154.63m ・花崗斑岩である。
				1) (1)							1001-100 A DA M 0

1-25~1-27 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-3 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	变 記			採取	率	岩岩		孔		(標準貫入	試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔	п	給		5 / 送	/) 送 打	П
				種			ア	れ 目				大:	%) コア	E	級型	盗	内水位		(N 値	~ 深 ß	ŧ		置試験			進 速	径 (mm)	アチュ		転	水 :	水力	.
尺	高	度	状	区			形	စ			R		cm Q	ь	区分	<u>ن</u>	m) 測	N						孔内水	試	月	度(m	八孔壁	ーブ/ビ		数(圧 :	~ ~	量 (—
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	事		- L	%]		分类	領	定月日	値	(0 10 2	0 30)	40 5	水平載荷)	験	日	/	保護	ヒット	MPa ·	rpm)	MPa .	分多	/
			***	アプライ	たぶい異名 駅白	Dg	III g V g	cg		3 深度134.00~134.58m:破砕帯(Hb)。 傾斜58度。礫状。 深度134.58~134.60m:破砕帯(Hc)。	Ů,	21 [21]	50	100	CL.																			
	-61.88	136.36			灰に	Dg	IV g	bg		傾斜60度。幅10~20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度134.60~135.00m:破砕帯(Hj)。 傾斜60度。節理密集部。高角度。					CM'											10.7	122			35.0	165	0.0	泥 水 3	2
			++++ ++++ ++++ ++++		ぶい黄橙	-	IVg ⊞g Vg Vg			深度135.00~136.00m:破砕帯(Hb)。 砂礫状。 花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。		19 [30	0]		CL.											10 16 137. 40							+	-
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰		IV g								CM'																			
_140			++++ ++++ ++++ ++++			Dg	Vg		β		ħ				CL"																			
-			+				VIg	ag		深度140.70~142.23m: 傾斜70~85度 の湾曲した節理と傾斜14~23度の節理	2 (0)				D.												134				175			
-					褐灰	Dg Dg	Vg			が発達。 深度142.23m:シーム。傾斜52度。幅	ħ.			\blacksquare	1.	L]																		-
-						Eg Dg Cg	1	cg		1~10mmの褐灰~灰白色砂質シルト状。 深度142.71m:シーム。傾斜47度。幅 7~10mm、緑灰色砂質シルト状。	10	3			D.											10 /								-
-			++++ ++++ ++++		灰	Dg Cg Dg	V g VIg V g	bg	r	正断層的構造有り。 深度143,07~143,12m:幅45mm,細碟 ~砂状。	#													$\frac{1}{1}$		10/ 17 143.65				40.0				-
F			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	褐褐灰	Cg Dg	IVg	cg	-	深度143.88m:シーム。傾斜49度。幅 0~7mm、緑灰色砂混じりシルト状。 深度145.25~145.35m:破砕帯(Hj)。	1			H										$\frac{1}{1}$										$\frac{1}{2}$
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Cg Dg			α	上盤81度、下盤85度。幅30mm, 細片状 。暗縁灰色シルトを挟む。	Ţ	m			CL"									-										-
-			* + * + * † * + * + * † * + * * * †		灰	Cg	IV g	cg bg		2 深度147.34m:傾斜58度、厚さ1mm以下				Ш													126				190			-
-			+		にぶい埋	Cg	IV g		r	の緑灰色シルト及び厚さ5~8mmの砂を 挟む。	3																							1
-			*		THE	Dg	IV g	og		深度148.91m:シーム。傾斜68度。幅 0~3mmの緑灰色シルト状。		20	[49]			-								1										1
 150			+		灰褐		IVg	bg		深度150.07~150.73m:主として傾斜 50~70度の節理発達。		17 [17]			CM.											10 18 150, 70			ダ			0.0	泥 水 2	1
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Шg	cg		深度151,73~151,77m:厚さ1cm以下の		2			CL.											150. 70			ブルコ					
			+		褐灰	١.	IVg	ag bg		碟状部を伴う。		12]																	アチュー					
							III g IV g	ag		深度153.18~153.73m: 傾斜65~75度 の平行した節理が発達。	Ė	27	[40]		[0	[MC												76	ーブ/ダ					
	-80. 15	154.63	+			Bg		bg ag	β	深度154.63~160.57m:アプライト。 上位の花崗斑岩との境界は明瞭、傾斜			42 [8	1]	CM"												120		ィヤビッ					
			***** ***** ****			Cg	IVg	cg		40度程度。 深度158.00mまで褐色化が見られ、それ以深は褐色化していない。 アプライトの石基は径0.1mm程度であ		0]																	7					
-			*	궃			∭ g IV g	ag		り,全体に黒雲母を含む。 深度154.74~154.81m:破砕帯(Hb)。 上盤60度,下盤62度。上盤より幅50~	#	2	[41]																					
-				1 1			Vg IVg Vg			60mmの固結した砂礫状、幅1~3mmの褐灰色シルト状。下盤条線方向70右。 深度157.47~157.80m:傾斜85~87度 の連続した節理が3cm程度の間隔で発	4					1										10 19 158. 10								-
-			***** **** **** ****	1		Cg	Vg	**		達。 達 深度158.45~158.51m: 破砕帯(Hj)。 上盤68度、下盤60度。幅25mm, 細片状 。暗緑灰色シルトを挟む。	(d)				CL.									-										-
-160	1	160,57	### #### #####			Cg Dg	T v g	ag cg		3 。 電球状ピジルトを挟む。 深度159.23~159.62m: 破砕帯(Hb)。 傾斜55度。シルト混じり碟・砂状。	(q)				[0	(L)								-										4
-	-60,09	100.57			褐	Dg	IV g V g	bg		花崗斑岩, 上位との境界不明瞭。 深度160.57~220.00m:花崗斑岩。 径3~15mmの石英, カリ長石, 黒雲母	1	5			CM"									-			125			45.0	170			-
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰	Cg Dg Cg	₩g	cg		の斑晶を15~60%程度含む。石基は径 0.5~1.0mm程度である。 深度160.72~161.09m:砂~礫状部を 伴う傾斜50~60度の節理が2~5cm間隔		[15] [24			CL.									$\frac{1}{1}$										-
-			+			Cg	Шg			で発達。 深度161.09~162.50m: 傾斜70~90度 の湾曲した高角度節理が連続する。	1	23			CM ²									1		10 20 163, 40							4	4
-			++++			Dg	₩g	ag		深度163.64~164.30m: 傾斜50~65度 の節理が10~15cm間隔で発達。 深度164.30~164.88m: 傾斜70~85度		3												1										-
				花崗		Cg Dg		cg bg	α	の節理及び密着した節理が0.5~1.0cm間隔で発達する。 深度165.30~165.42m:径0.3~3.0cmの礫状コア、礫の表面には水平方向の			\parallel	#	CL.									1										1
			+	斑岩			Шg	ag		の味がコア、味の衣面にはホイガ向の 不明瞭な条線あり。			6 36]	+	CM [*]	CM3								1										1
			+++++ +++++ +++++ +++++			Cg	IV g III g				K	[20]		#	CL. [C	Link											142					0.0	泥 水 3	1
							Пg	ag			Ħ		45 [78]	$\ $																				1
_170			# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg		cg		深度169.60m:シーム。傾斜61度、幅 3~7mm、緑灰色シルト状及び砂状。正 断層的構造有り。		5 [15]			CM'																			
			+		灰	Cg Cg	IIVσ	bg		深度170.95~172.78m: 傾斜11~30度 程度の平行した節理が2~数cm間隔で 発達。一部に80度以上で黄鉄鉱を挟む 節理が発達する。	[0]																					10	7.5	
																															N	0.16	(5/7)	()

柱状図(105.00m~140.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	⊐	最大	R	コア採取率	
	÷	#	خلا	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	記事
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記 事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
	01.07	100.05	++++	花崗斑 岩	褐灰	CM'	100	10	10	• + + - - - + +	105. 00~106. 35m, 108. 83~109. 65m, 111. 03~111. 52m, 112. 14~112. 95m
	-31, 87	106. 35	# # # +	アプ	灰黄褐		100	34	77		・花崗斑岩を挟む。
			###	5 イ	<u> 75</u>	CL'	100	20	20		
	-34. 35	108. 83	# " # " + # # #	た お 一 大	灰黄褐		100	18	36	12-1-1-1	_
- 110	-35, 17	109.65	<u> </u>	アプラ	- 1		100	13	25	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	_
_	-36, 55		+ " + " +	イト	黄	CM'	100	15	25		
	-37, 04 -37, 66	1000	+;+;- +	花崗斑 アフラ	灰		100	7	0	4 + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	-38. 47	112. 95	+++	イト 花崗斑		5 6	100	14	14		
			= + + = = = = = = = = = = = = = = = = =	一岩	灰黄褐 にぶい 黄橙	CL'	100	21	32		●113.66~113.77m
			# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		灰白		100	21	21	+ + + 1	・破砕部である。
			* * **		褐灰 灰 黄		100	7	0	<u> </u>	・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色 ^{**} の固結砂状部からなる。
			####	アプラ	褐		100	20	39		・灰白色の未固結粘土状部:累計幅1.5cm ・上端境界の傾斜は74°である。 -
			+ " + " +	É		CM'	100	14	26	+++++++	114.30~114.86m ・変質し、緑灰色の粘土を挟む。
			+###	イト	灰		100	8	0	4 + +	117. 16~117. 31m
- 120			####				100	12	12	+++++++++	・変質して、軟質化している。
120			****		黄灰		100	6	0	•	120.00~121.52m ・低角度の割れ目が多く、岩片状~短柱状を-
	-47, 26 -47, 56	121, 74	# # #	ペガマ	にぶい黄橙		100	15	21		呈する。
		0.000.000	# # #	タイトアフライト	にぶい 橙		100	15	39	1. Tana - 1.	121.36~123.65m ・変質し, 軟質化している。
	-49. 17	123. 65	### +:+:-	11	灰白 にぶい 格	CL'	100	11	22	1111111	121.74~122.04m ・ペグマタイトを挟む。
			++++		にぶい <u>梭</u> 灰白 にぶい 橙		100	8	0	•	●121.85~122.21m ・破砕部である。
			####		明褐灰		100	6	0	+++	・主に灰白色の固結礫状部からなる。
			++++				100	27	27	-+}	・灰白色の未固結粘土状部:累計幅0.1cm ・上端境界の傾斜は44°である。
			+		灰褐		100	8	0	+++	123.65~154.63m ・花崗斑岩である。
			####	花	"	CM'	100	15	15		126. 73~127. 02m
			<u> </u>	花崗斑岩	灰白	CL'	100	9	0	++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	・石英脈を多く挟む。 129.19~129.37m
- 130			* +**	岩	灰白 にぶい 橙 明褐灰		100	80	80	-+++	・変質し、明褐色の砂礫状を呈する。 ●130.20~131.28m
			¥++×		灰白	CL'	100	16	31	1. 7	・破砕部である。 ・灰白色の固結礫状部からなる。
			8 +± 1 8		灰福 灰白 にぶい	UL	100	56	88	-111330	・上端境界の傾斜は57°, 下端境界の傾斜は
- 1		10	P+ : #		橙 灰白 明褐灰	CL'	100	74	100		18°である。 ●131.94~133.07m(D-15破砕帯)
-	-60, 52	135.00	X++X X++X		灰白		100	64	83		・破砕部である。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。
	00. 32		W # X	アプラ イト	褐灰 灰白	CL'2	100	21	21	2	· 緑灰色の未固結粘土状部: 累計幅2.0cm
-	-61, 88	136, 36	** *****	11	火日 にぶい 黄橙 灰白	CM'	100	3	0		●133.70~136.00m ・破砕部である。
			<u> </u>	花崗	にかい	CL'	100	19	30	10	│・にぶい黄橙色の固結礫状部及び固結砂状部・ からなる。
			++++	斑	<u>黄橙</u>	CM,	100	6	0	4	・灰白色の未固結粘土状部: 累計幅0.2cm 135.00~136.63m
			+ + + + + + + +	岩	にぶい	CL'	100	7	0	++++++++	アプライトを挟む。
			. + . +		吳位	UL	1000000	22	2000		<mark>-1</mark> 36.00∼149.00m ・割れ目が多く,土砂~岩片状を呈する。
					灰						136.36~154.63m ・花崗斑岩である。
1 0											1001-1979-198 N. W. U.

1-27 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-3 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	变 記			採取	率	岩岩		孔		(標準貫入	試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔	п	給		5 / 送	/) 送 打	П
				種			ア	れ 目				大:	%) コア	E	級型	盗	内水位		(N 値	~ 深 ß	ŧ		置試験			進 速	径 (mm)	アチュ		転	水 :	水力	.
尺	高	度	状	区			形	စ			R		cm Q	ь	区分	<u>ن</u>	m) 測	N						孔内水	試	月	度(m	八孔壁	ーブ/ビ		数(圧 :	~ ~	量 (—
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	事		- L	%]		分类	領	定月日	値	(0 10 2	0 30)	40 5	水平載荷)	験	日	/	保護	ヒット	MPa ·	rpm)	MPa .	分多	/
			***	アプライ	たぶい異名 駅白	Dg	III g V g	cg		3 深度134.00~134.58m:破砕帯(Hb)。 傾斜58度。礫状。 深度134.58~134.60m:破砕帯(Hc)。	Ů,	21 [21]	50	100	CL.																			
	-61.88	136.36			灰に	Dg	IV g	bg		傾斜60度。幅10~20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度134.60~135.00m:破砕帯(Hj)。 傾斜60度。節理密集部。高角度。					CM'											10 /	122			35.0	165	0.0	泥 水 3	2
			++++ ++++ ++++ ++++		ぶい黄橙	-	IVg ⊞g Vg Vg			深度135.00~136.00m:破砕帯(Hb)。 砂礫状。 花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。		19 [30	0]		CL.											10 16 137.40							+	-
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰		IV g								CM'																			
_140			++++ ++++ ++++ ++++			Dg	Vg		β		ħ				CL"																			
-			+				VIg	ag		深度140.70~142.23m: 傾斜70~85度 の湾曲した節理と傾斜14~23度の節理	2 (0)				D.												134				175			
-					褐灰	Dg Dg	Vg			が発達。 深度142.23m:シーム。傾斜52度。幅	ħ.			\blacksquare	1.	L]																		-
-						Eg Dg Cg	1	cg		1~10mmの褐灰~灰白色砂質シルト状。 深度142.71m:シーム。傾斜47度。幅 7~10mm、緑灰色砂質シルト状。	10	3			D.											10 /								-
-			++++ ++++ ++++		灰	Dg Cg Dg	V g VIg V g	bg	r	正断層的構造有り。 深度143,07~143,12m:幅45mm,細碟 ~砂状。	#													$\frac{1}{1}$		10/ 17 143.65				40.0				-
F			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	褐褐灰	Cg Dg	IVg	cg	-	深度143.88m:シーム。傾斜49度。幅 0~7mm、緑灰色砂混じりシルト状。 深度145.25~145.35m:破砕帯(Hj)。	1			H										$\frac{1}{1}$										$\frac{1}{2}$
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Cg Dg			α	上盤81度、下盤85度。幅30mm, 細片状 。暗縁灰色シルトを挟む。	Ţ	m			CL"									-										-
-			* + * + * † * + * + * † * + * * * †		灰	Cg	IV g	cg bg		2 深度147.34m:傾斜58度、厚さ1mm以下				Ш													126				190			-
-			+		にぶい埋	Cg	IV g		r	の緑灰色シルト及び厚さ5~8mmの砂を 挟む。	3																							1
-			*		THE	bg	IV g	og		深度148.91m:シーム。傾斜68度。幅 0~3mmの緑灰色シルト状。		20	[49]			-								1										1
 150			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰褐		IVg	bg		深度150.07~150.73m:主として傾斜 50~70度の節理発達。		17 [17]			CM.											10 18 150, 70			ダ			0.0	泥 水 2	1
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Шg	cg		深度151,73~151,77m:厚さ1cm以下の		2			CL.											150. 70			ブルコ					
			+		褐灰	١.	IVg	ag bg		碟状部を伴う。		12]																	アチュー					
							III g IV g	ag		深度153.18~153.73m: 傾斜65~75度 の平行した節理が発達。	Ė	27	[40]		[0	[MC												76	ーブ/ダ					
	-80. 15	154.63	+			Bg		bg ag	β	深度154.63~160.57m:アプライト。 上位の花崗斑岩との境界は明瞭、傾斜			42 [8	1]	CM"												120		ィヤビッ					
			***** ***** ****			Cg	IVg	cg		40度程度。 深度158.00mまで褐色化が見られ、それ以深は褐色化していない。 アプライトの石基は径0.1mm程度であ		0]																	7					
-			*	궃			∭ g IV g	ag		り,全体に黒雲母を含む。 深度154.74~154.81m:破砕帯(Hb)。 上盤60度,下盤62度。上盤より幅50~	\parallel	2	[41]																					
-				1 1			Vg IVg Vg			60mmの固結した砂礫状、幅1~3mmの褐灰色シルト状。下盤条線方向70右。 深度157.47~157.80m:傾斜85~87度 の連続した節理が3cm程度の間隔で発	4					1										10 19 158. 10								-
-			***** **** **** ****	1		Cg	Vg	**		達。 達 深度158.45~158.51m: 破砕帯(Hj)。 上盤68度、下盤60度。幅25mm, 細片状 。暗緑灰色シルトを挟む。	(d)				CL.									-										-
-160	1	160,57	### #### #####			Cg Dg	T v g	ag cg		3 。 電球状ピジルトを挟む。 深度159.23~159.62m: 破砕帯(Hb)。 傾斜55度。シルト混じり碟・砂状。	(q)				[0	(L)								-										4
-	-60,09	100.57			褐	Dg	IV g V g	bg		花崗斑岩, 上位との境界不明瞭。 深度160.57~220.00m:花崗斑岩。 径3~15mmの石英, カリ長石, 黒雲母	1	5			CM"									-			125			45.0	170			-
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰	Cg Dg Cg	₩g	cg		の斑晶を15~60%程度含む。石基は径 0.5~1.0mm程度である。 深度160.72~161.09m:砂~礫状部を 伴う傾斜50~60度の節理が2~5cm間隔		[15] [24			CL.									$\frac{1}{1}$										-
-			+			Cg	Шg			で発達。 深度161.09~162.50m: 傾斜70~90度 の湾曲した高角度節理が連続する。	1	23			CM ²									1		10 20 163, 40							4	4
-			++++			Dg	₩g	ag		深度163.64~164.30m: 傾斜50~65度 の節理が10~15cm間隔で発達。 深度164.30~164.88m: 傾斜70~85度		3												1										-
				花崗		Cg Dg		cg bg	α	の節理及び密着した節理が0.5~1.0cm間隔で発達する。 深度165.30~165.42m:径0.3~3.0cmの礫状コア、礫の表面には水平方向の			\parallel	#	CL.									1										1
			+	斑岩			Шg	ag		の味がコア、味の衣面にはホイガ向の 不明瞭な条線あり。			6 36]	+	CM [*]	CM3								1										1
			+++++ +++++ +++++ +++++			Cg	IV g III g				K	[20]		#	CL. [C	Link											142					0.0	泥 水 3	1
							Пg	ag			Ħ		45 [78]	$\ $																				1
_170			# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg		cg		深度169.60m:シーム。傾斜61度、幅 3~7mm、緑灰色シルト状及び砂状。正 断層的構造有り。		5 [15]		\blacksquare	CM'																			
			+		灰	Cg Cg	IIVσ	bg		深度170.95~172.78m: 傾斜11~30度 程度の平行した節理が2~数cm間隔で 発達。一部に80度以上で黄鉄鉱を挟む 節理が発達する。	[0]																					10	7.5	
																															N	0.16	(5/7)	()

柱状図(140.00m~175.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	_	最	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採	天コ	Q	最大コア長	記事
^	同	汉	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D)
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	The state of the state of	0 20 40 60 80 10	0
L I			++++ ++++			D'(2)	100	2	0	+ + + - - - + + + + + + +	<u> </u> ②
			+		褐	CL'	100	6	0	• + + + + + +	*
			++++		灰	D'	100	13	0	- • + + + +	*
			++++				100	8	0	+++	* .
L			+ + + + + +		灰褐		100	4	0		* -
					褐灰	CL'	100	11	11	+ +	*●145.25~145.35m ・破砕部である。
			++_+ +_+_+_	花崗	灰		100	7	0	∳	* 褐灰色の固結礫状部からなる。
- 1			++++	斑岩	にぶい 褐		100	4	0		↓・上端境界の傾斜は81°, 下端境界の傾斜は <mark>8</mark> 5°である。
			++++	石	褐		100	3	0	• † † † † † † †	*
- 150			-+-+ ++++		灰	CM'	100	20	49	-+	* -
_			++++ ++++		褐	CIVI	100	17	17		*
- 1			<u>+</u> ++++			CL'	100	12	12	++	* -
-			++++		褐灰 灰褐		100	12	12		* -
ļ.		1	‡+ <u>‡</u> +				100	27	40	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	*1 <mark>53.18~153.73m</mark> ・平行した割れ目が分布する。
├	-80. 15	154. 68	- + -	-	1	CM'	100	42	84		154.63~160.57m ・アプライトである。
- 1			####1 # <u>#</u> # <u>#</u> 1	-7			100	10	10	- + + + +	・158.00mまで褐色化している。
-			# [#] ##1	アプ			100	21	41		↓●154.74~154.81m(D-16破砕帯) ・破砕部である。
- 1			####	ライ			100	3	0	• + + + + - - - - - + + + +	ᡮ 褐灰色の固結礫状部からなる。★ 上端境界の傾斜は30°, 下端境界の傾斜は
-		Эſ	*	ŀ		CL'	100	3	0		¹⁶ 2° である。 1157.47~157.80m
- 160	-86, 09	~ L	Ä###⊠ ####				100	3	0	+ + + + - - - + +	・連続した割れ目が、3cm程度の間隔で分布 ₋
- 1	-00.09	100. 37	+ * + * 		褐	CM'	100	7	0	++	する。 ●158.45~158.51m(D-17破砕帯)
- 1			++++		灰	CL'	100	15	15	- +	*・破砕部である。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。
- 1			<u>++++</u>				100	24	24	- + + + + +	・上端境界の傾斜は68°, 下端境界の傾斜は 60°である。
-			<u>+</u>			CM'	100	12 13	23 13		●159.23~159.62m(D-18破砕帯) ・破砕部である。
-			++++			CL'	100	5	0		・褐灰色の固結礫状部からなる。
-			++++			CM'	100	36	36		↑・上端境界の傾斜は55°である。 J160.57~220.00m
-			+ + + + + +	花崗		CL'	100	10	20		↑ 花崗斑岩である。 160.72~161.09m
-			<u>+</u> ++++	崗斑			100	45	78	- + + + - • 1 - 1 - 1 + +	・割れ目が2~5cm間隔で発達する。 ・割れ目に沿って、砂~礫状を呈する。
-			<u> </u>	岩			100	15	15		1 <mark>61. 09∼162. 50m</mark>
- 170			++++		\vdash		100	8	0	7	↑・高角度の割れ目が連続する。 1 63.64~164.30m -
-			<u>+</u>			CM'	100	7	0	- - - - - - - - - -	】 割れ目が10~15cm間隔で分布する。 164.30~164.88m
-			++++		灰		100	12	0	1-	・割れ目・密着した割れ目が、5~10mm間隔
-			++++				100	12		+ + + + + + + + + + + + +	*で分布する。
-			++++						24	7.1	170.95~176.69m
\vdash			++++		\vdash		100	20	54	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	・50~200mm間隔の平行した割れ目が多く分 布する。
) (1)	Ш						י לא י ל ווד o

1-28, 1-29 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-3 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	后			ア採		率	岩	岩	孔		(村	票準	貫力	対	験)	試験	: !	原位	室	掘	掘	孔	_	給	İ	b / 送		
				種				ħ				- 1		(9 大コ			級		内水位	((N 値	~ %	ア 度			i	置し試	内		進速	径	アチュ		.	水		
尺	高	度	状					目の				F	⊕ R		om 1	D			(m)	Ν									4	孔			度	/		圧	数	圧	量	量
				区		l	π>	状				-	L	[9	6]		区 分	ガ	測定月)値									3	平載	式		cm	壁保	Ľ	kN MPa	rpm	MPa	ー/分	一/分
(m)	(m)	(m)	図	分	調		状	態	化	質	事	0		50) TT	100	分	類	日		()	10	:	20	30	4	10	50	荷		- 1	時 142	護		45.0	170	0.0	$\overline{}$	<u></u>
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg Dg	IVg					1	3			#															ī	23 71. 45							3	┪
			# # # # # # # # # # # # # # # # #		灰		Шα	bg			深度172.78~173.26m: 比較的節理が	ŢĠ	112																											
			# # # # # # # # # # # # # # # #			Cg	₩g				少ない。	H	118	24]		$^{+}$	CM.																							
			##### ######			Dg	Шg	cg			深度173.92~175.58m: 傾斜45度及び 82度の平行した節理が10~20cm間隔で 発達。 アスカイス 20~1277		21		[54]	+																								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄		l	bg ca bg			深度174、33m以深、密着した節理が多くなる。 深度175.00~176.69m: 傾斜50~60度 の平行した節理が5~15cm間隔で発達	H	17	n	1	Ħ																	140			40.0		0.0	泥水2	0
-			##### ######		反	Cg	IVg.	cg			の子们とた即連がある「は間間隔で光達」。		1	31	[49]	#	CL'																						-	1
-			# # # # # # # # # # #		褐灰						比較的節理少ない。高角度の不明瞭な 密着した節理あり。			32		174													_											1
-			++++		にぶ	Dg	Πg					H		\	5	1													-											-
-			++++		ぶい褐		Ιg			2	深度178.55m:幅5~8mm, 傾斜75度の 石英脈あり。 深度179.02m:幅10mmの石英脈あり。		+		187		-												-		1	10 24 79.50								-
-180			++++				Шg				深度179.13m:幅5~15mm,傾斜78度の 石英脈あり。		+		4														4		Ī	79. 50								4
-					褐灰		IV g	bg				H	-	N	[58	1												1	_											-
			++++			Cg	Ig IVg IIIg				深度181.57m:シーム。傾斜37度、幅 8~10mmの礫状。正断層的構造有り。		1		1/6	#	CM'	[CM]																						
			*		_		Ng IIIg Ng IIIg Ng				条線の方向90度。 深度181.67~185.00m: 傾斜20~35度 と傾斜70~80度の節理が発達。節理は	H		[28]		Ħ																	144							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰		IVg IIIg				数~20cm間隔で発達し、部分的に密集 する。 高角度な節理には黄鉄鉱や厚さ1mm以 下の砂~緑灰色シルトを挟む。	H	15	[4	7	$^{+}$																								
			++++				Ng II g				トの砂~解灰色シルトを挟む。		Ì	4	[49]	\parallel																								1
			*			Dig	IV g Ⅲ g	Oğ.			深度185,00~187,48m:密着した節理 が発達。	Ħ	#	28	[54]	Ħ															1	10 25 85. 50								1
-					褐灰	Cg	IV g	bg					1		54 54	#													\forall							45.0				1
-							Шg						1	Å	16														-						ダブル					-
-				#		Dg	Ιg				深度187.48~220.00m: 花崗斑岩。 径3~5mmの石英、カリ長石、黒雲母の 斑晶を7094程度含む。石基は径0.5~		1	A35		.841													+						コアチ					-
-				花崗斑岩	灰白	Cg Dg	177.0	cg	α	3	1.0mm程度である。 深度187.48~190.65m:変質帯。上盤 35度、岩質脆い。		1		\blacksquare	[98]	CL.												_					76	ューブ		165			-
—190			++++	岩		Cg Dg	Ⅲg № Ⅲg						1	35 [35]	1	Ħ													4				152		グダイ					4
-			+++++			Cg	Πg	bg			深度190.37~193.00m:1~5cm間隔で 密着した節理が発達する。	H	ļ) 		90)													_						ヤビッ					
					黄灰		∭g IVg	cg		2			([33]		Ħ	CM'																		٢					
						Cg	Πg					H	Ī	1)40		+																							泥	
							Vg				深度193.00~195.55m: 変質帯。下盤 53度。変質を受け、黄鉄鉱点在。傾斜 60~70度及び傾斜85~90度の連続した	H	4	9]		H															1	10 26 93.60						0.0	泥水3	0]
-			++++		灰白	Dg	Шg	cg		3	節理が発達。		5	0		Ħ	CL.																							
-						_	IVg IIIg					H	1	25	[53]	#													\dashv											1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	IV g II g IV g	bg				H	1	Ŋ,	4	\parallel	Ц												\dashv											$\frac{1}{2}$
-					褐灰	Cg	Шg	cg		2	深度197.32m:シーム。傾斜85~90度 ,幅0.5mmの暗緑色シルト質砂状。傾																	+	\dashv				144			40.0				+
-			+++++		火	Cg	₩g	bg		_	斜50~60度の節理が1~2cmずれる。条 線の方向ほぼ水平。	\parallel	10	L28]	+	+	CM'								+			+	\dashv											+
-			+++++				Ⅲg IVg				深度199.22~200.00m: 破砕帯(Hb)。	H	1		[49]	\parallel												-	\dashv											-
-200					灰白	Dg	VIg			3	傾斜75~80度。砂礫状。高角度の節理 あり。 深度200.04m:シーム。傾斜58度、幅	H	1		49	1/3		[CL]										-	\downarrow											4
			+++++		_			dg			1~4mmの緑灰色固結シルト質砂状。		1		\parallel	\parallel	D.														1	27 00.80								
					青灰		IVg	cg				10	1			#																								
			+++++			1		bg						\mathbb{H}	\parallel	$\prod_{i=1}^{n}$	$\left \ \right $						_	_		_	_													
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			0	Vg			2	深度202.96~204.00m:節理に沿って 砂~細礫状、一部土砂状。低角度な節 理卓越。	(1	\prod	\parallel	Ŧ	CI.																144			45.0				1
			++++		灰	Cg					深度203.78m:シーム。傾斜69度。幅 1~4mm,緑灰色砂質シルト状。		+		\parallel	#	OL.												\dashv											1
			+++++				IVg	cg			深度205.00~206.08m:高角度な節理 卓越し、一部細磔状をなす。		10		\parallel	#													\dashv											+
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg				深度206.08~206.44m:密着した節理 卓越。		5	[301		#													\dashv		1	10/								+
			+:+:+		青灰		IVg				来度206.44~207.66m:節理多く、角 碟状。		_	ĽĽ		11														1	2	10/ 28 06.80	140			35. 0	N	o.1	6(6	77)

H19-No.16

柱状図(140.00m~175.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	٦	最大	R	コア採取率	
	뇸	#	117	種		級	ア 採	大コ	Q	最大コア長	記 事
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			D'	100	2	0	• + + + 1 - 1 - 1 - 1 + 3	
			++++		褐	CL'	100	6	0	•	
			; + ; + ; + ; + ; †		灰	D'	100	13	0	- + + + + + +	
			++++ ++++				100	8	0	-4 + 1 - 1 - 1 - 1 + 3	
			++++		灰褐		100	4	0	• + + + + +	
			₽+ +		褐灰	CL'	100	11	11	_	●145. 25~145. 35m
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	灰		100	7	0	*	・破砕部である。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。
			++++	斑岩	にぶい		100	4	0	• L L L L L L L L L	・上端境界の傾斜は81°, 下端境界の傾斜は 85°である。
			++++	岩	にぶい 褐		100	3	0	*	
- 150			++++ ++++		_	OM'	100	20	49	- + • + + +	_
_			<u>+</u>		灰 褐	CM'	100	17	17		
_			++++			CL'	100	12	12	++	
_			++++		褐灰灰褐		100	12	12	++++++	
			++++				100	27	40	-++++	153.18~153.73m ・平行した割れ目が分布する。
_	-80. 15	154. 63	<u>;</u> + ; + ;		-	CM'	100	42	84		154. 63∼160. 57m
_			+"+" +"+"				100	10	10	- + + + +	・アプライトである。 ・158.00mまで褐色化している。
_			+#+#	アプ			100	21	41		●154.74~154.81m(D-16破砕帯) ・破砕部である。
_			####1 # <u>_</u> #1	ラ			100	3	0	• + + + + + + -	・褐灰色の固結礫状部からなる。
_			<u>*</u> ****	イト		CL'	100	3	0		・上端境界の傾斜は30°, 下端境界の傾斜は 62°である。
- 160			⊠##‡⊠				100	3	0	• + + + + - - - - + + +	157.47~157.80m ・連続した割れ目が,3cm程度の間隔で分布 .
_	-86. 09	160. 57	# <u>#</u> #_1 + <u>;</u> +;-			CM'	100	7	0	<u> </u>	する。 ●158.45~158.51m(D-17破砕帯)
_			+		褐灰	CL'	100	15	15		・破砕部である。
			<u>+</u> + + +				100	24	24	- + + + + - - - - - + + + + +	・褐灰色の固結礫状部からなる。 ・上端境界の傾斜は68°, 下端境界の傾斜は
_			++++			CM'	100	12	23		60°である。 ●159.23~159.62m(D-18破砕帯)
_			+			CL'	100	13	13	- + + + + +	・破砕部である。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。
			++++			CM'	100	5	0	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・上端境界の傾斜は55°である。
			++++	花		CL'	100	36	36	-+++	160.57~220.00m ・花崗斑岩である。
			<u>+</u>	崗		- OL	100	10	20		160.72~161.09m ・割れ目が2~5cm間隔で発達する。
			++++	斑岩			100	45	78	-+++->	・割れ目に沿って、砂~礫状を呈する。
170			++++ ++++				100	15	15	- <u> </u>	161.09~162.50m ・高角度の割れ目が連続する。
- 170			++++		П	100000000000000000000000000000000000000	100	8	0	+++	163.64~164.30m ・割れ目が10~15cm間隔で分布する。
			++++			CM'1	100	7	0		164. 30∼164. 88m
			+		灰		100	12	0		・割れ目・密着した割れ目が、5~10mm間隔 で分布する。
			++++				100	12	24	- # ± ± = = = = = = = + = = = = = = = = = =	
-			++++				100	20	54	- 	170.95~176.69m 50~200mm関係の平行した割れ日がタノム
			. + . +		\vdash			6.54860	10000		 <u>↓ 50~200mm</u>間隔の平行した割れ目が多く分 布する。

1-3 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硒	_	宝山	届	亦	記	^{採取率} 岩岩 孔 (標準貫入試験)試験 原 室 掘	堀	孔	_	絵		6 / 送		排
175	175	*	111	在		レ	_	ħ)±\(\	2	пL	^{* 取 本} 岩岩 孔 (標準貫入試験)試験 原位 カム	進	径	アチ			水		水
尺	高	度	状					目の				cm D (m) N	度	/ ZI	 ブ		数	圧	量	量
l.,			[57]	区			1 1	状能		FF.	*		/	壁保	1.7	kN	rom		一/分	一/分
(m)	(m)	(m)	図	分	調	駅 X Cg	状	悲	1Ľ	筫	事	0 10 20 30 40 50 ^(何) 駅 日 	142	叹		$\overline{}$)	0.0	$\overline{}$	1
-			++++				IVg					77.4								_
-			+++++		灰	Cg	Шg	bg			深度172.78~173.26m: 比較的節理が 少ない。									-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IVg				深度173.92~175.58m: 傾斜45度及び 82度の平行した節理が10~20cm間隔で	OF CONT								-
-			++++			Dg	Шg	og bg			発達。 栄度174.33m以深、密着した節理が多くなる。	154							泥	4
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄灰		IVg	bg			深度175.00~176.69m:傾斜50~60度 の平行した節理が5~15cm間隔で発達 。		140			40.0		0.0	水 2	٥
-			++++		褐	Cg		cg			比較的節理少ない。高角度の不明瞭な	(6) (C.)								
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰		Πg				密着した節理あり。									
-			++++		にぶい	Dg					深度178.55m:幅5~8mm、傾斜75度の 石英脈あり。	5 (8)								
_180			++++		褐		I g			2	深度179.02m:幅10mmの石英脈あり。 深度179.13m:幅5~15mm,傾斜78度の 石英脈あり。	10 <u>/</u>							+	╛
			++++		褐灰		Шg IVg	bg				(89)								
			+++++			Cg	Ig Ng Ng Vg				深度181.57m:シーム。傾斜37度、幅 8~10mmの礫状。正断層的構造有り。	100 Our (CM)								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		_		IVg IIIg IVg IIIg				条線の方向90度。 深度181.67~185.00m: 傾斜20~35度 と傾斜70~80度の節理が発達。節理は		144							
			++++		灰		IVg				数〜20cm間隔で発達し、部分的に密集 する。 高角度な節理には黄鉄鉱や厚さ1mm以 下の砂〜緑灰色シルトを挟む。									
			+++++			7	Ng II g				TOB WAS THE TABLE	(4)								
			+++++		48	Dig	IV g	og			深度185,00~187,48m:密着した節理 が発達。	10/2	H							1
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐 灰	Cg	IV g	bg				1650			ダ	45.0				1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			+	Шд				深度187.48~220.00m:花崗斑岩。	6 1921			ダブルコア					1
			+++++	蓝	灰		I g II g				径3~5mmの石英、カリ長石、黒雲母の 斑晶を70%程度含む。石基は径0.5~ 1.0mm程度である。 深度187.48~190.65m:変質帯。上盤	The second secon			チュ					1
ŀ			++++	花崗斑岩	台	Dg Cg	Νg	cg	α	3	深度187.48~190.65m: 変貨帝。上盛 35度、岩質脆い。	CL'	152	76	ーブ/ダ		165			1
-190			+++++	1		Dg	Шg Ng Шg Пg				深度190.37~193.00m:1~5cm間隔で				ダイヤビ					+
-			++++		黄	Cg	Шg	bg			密着した節理が発達する。	or l			ット					1
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰	Dg Cg	ΙVg	cg		2										1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			┢	II g V g	bg			深度193,00~195,55m:変質帯。下盤 53度。変質を受け、黄鉄鉱点在。傾斜							0.0	泥水3	0 -
-			++++		灰白	Dg	IVg			3	60~70度及び傾斜85~90度の連続した 節理が発達。	92.6								-
-			++++				Ⅲg IVg Ⅲg	cg				a.								+
-			+++++			-	IV g II g	bg												-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐	Cg	IVg IIIg	cg			深度197.32m:シーム。傾斜85~90度	16 (61)	144			40.0				-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰		IVg			2	, 幅0.5mmの暗緑色シルト質砂状。傾 斜50〜60度の節理が1〜2cmずれる。条 線の方向ほぼ水平。	CW								-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				III g IV g	bg			深度199.22~200.00m: 破砕帯(Hb)。	7601								-
_200					灰	Dg	VIg	cg		3	傾斜75~80度。砂礫状。高角度の節理 あり。 深度200.04m:シーム。傾斜58度、幅	48 (CL)								
			++++		白			dg			1~4mmの緑灰色固結シルト質砂状。	0 10/2	_	-						
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		青灰		IVg	cg												
			+++++					bg												
			+++++			Cg	Vg			2	深度202.96~204.00m:節理に沿って 砂〜細礫状,一部土砂状。低角度な節 理卓越。	ct.	144			45.0				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰			cg			深度203.78m:シーム。傾斜69度。幅 1~4mm,緑灰色砂質シルト状。									1
							₩g				深度205.00~206.08m: 高角度な節理 卓越し、一部細礫状をなす。									1
					青灰		Шg				深度206.08~206.44m:密着した節理 卓越。	122	140							_1
			T4T4!		自火	F	8				深度206.44~207.66m: 節理多く、角 (操状。	505.8	140			35.0	N	o.1	∂(6,	77)

柱状図(175.00m~210.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採取率	
	<u> </u>	#	خلار	種		級	ア 採	大コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	(cm	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	R Q D [%]	
			<u>++++</u>		黄	CM ₂	100	17	17	-+++	2
			++++		灰	CL'	100	31	49		*
			++++		褐灰		100	32	74	- + + • - - - - + +	*
			++++		にぶ		100	45	82	- + + + + +	78. 55m, 179. 02m, 179. 13m
400			++++		褐		100	84	96	-++-	· 幅5~15mmの石英脈を挟む。
- 180			++++		褐瓜		100	27	59	- + + +	*
			++++		灰	0111	100	56	79	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	101 07 105 00
			++++			CM'	100	15	28	- + + + + + + +	- 181.67~185.00m - - ・割れ目が、20cm以下の間隔で分布する。
			++++		灰		100	15	41		・高角度の割れ目には、黄鉄鉱や幅1mm以下 「 の砂~緑灰色シルトを挟む。
			+				100	24	49	-+++	*
ΓΙ			++++		褐		100	28	54		- 85.00~187.48m - 密着した割れ目が分布する。
			++++		炭		100	54	54	-+++	
			+++				100	46	92		187. 48~220.00m
			++++		灰	CL'	100	35	98	-+++++	・花崗斑岩である。 187,48~190,65m
- 190			++++		白	OL.	100	35	35	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・変質により、軟質化している。
- 190			++++				100	39	90	-+++ * -1-1-++	190. 37~193. 00m
			++++	花	黄灰	CM'	100	23	33	-	・密着した割れ目が、1~5cm間隔で分布する
			++++	花崗斑岩			100	40	21		*
			+	岩	灰		100	19	19	- - - - - - - - - -	93.00~195.55m ・変質により、軟質化しており、黄鉄鉱が点-
			++++		白白	CL'	100	15	15	- 1	* <mark>在</mark> する。
			++++				100	25	53	- <u> </u>	・連続した割れ目が分布する。
			++++		48		100	46	61	- + + + + +	*
			++++		褐 灰	CM'	100	17	28	- + •	*
[_	++++		100000	O.III	100	18	49		*
- 200		1	3 ++ 3		灰		100	49	73	-+++	199. 22~200. 00m
200			+++	Operation (Co.	白	D'	100	0	0		・破砕部である。 ・灰白色の固結礫状部からなる。
			; + ; + ; + ; + ;		青灰		100	0	0		・上端境界の傾斜は75°~80°である。
			+				100	11	11		*
			++++				100	0	0	+++	202.96~204.00m ・低角度の割れ目が多く、割れ目に沿って砂
			++++		灰	CL'	100	6	0		~ 細礫状、一部土砂状を呈する。
			++++				100	10	10	- + + +	- 205.00~206.08m - 高角度の割れ目が多く,一部細礫状を呈す-
			++++		青灰		100	15	30	- 1-1	* <mark>፟፟</mark> る。
			+ + +		明		100	15	25		- 206.08~206.44m
			<u> </u>		褐	CM'	100	33	58	- - - - - - - - - -	206.44~207.66m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
			++++		灰	OIII	100	24	56		- 207. 66~210. 50m - ・柱状を呈する。
											・密着した割れ目が多く、割れ目に沿って砂
Ш											〜細礫を挟む。

1-30(分類d)① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-3(分類b)② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	Į	標	深	柱	岩	色	硬	-	l	風	変	記		コア採取率	岩岩	岩 子	3 H	(標準	丰貫.) 訪	試験	原位置試験	室		掘進	孔径	コアチ		回:			
F.		高 (m)	度 (m)	状図	種区分	調	軟	ア形	れ目の状態	化	質	*		→ cm R Q D ¬_[%]	級区分类	対位の/測算員	く た の ト	1				架 度		-	(孔内水平載荷	試	進月	速度	(mm) /	ューブ/ビ	压 kN • MPa	pm N	压:	量 (一/	水量(一/分)
	10				花崗斑岩	明褐灰褐灰明褐灰	Cg Dg Cg Cg Cg Cg	IVg IIIg IVg IIIg IVg IIIg IVg IVg IVg I	bg	α	2 3	深度207.66~210.50m: 柱状コア。密 着した節理多く、節理に沿って砂~棚 様を挟む。 深度210.53m:シーム。傾斜84度、帽 5~10mmの無色シルト状。 深度210.50~212.52m:変質帯、上盤 67度、下盤50度。全体に登開し、含陳 固結砂質シルト状で、網目状に細粒分 を含む。指圧で変形。 深度212.52~215.45m:密着した節理 多く、全体に変質を受け、弾状化する。。	7. 08:	0 50 100	COL. [C	_					20	30	40	50			10 / 30 214. 75	140		ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	165 (泥水3	

H19-No.16

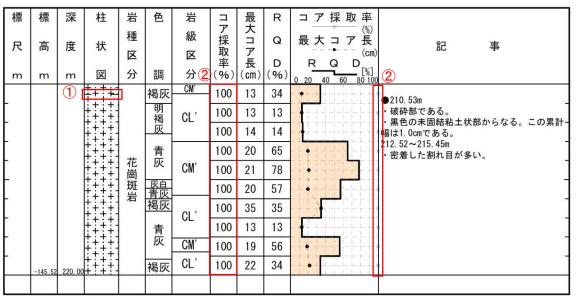
柱状図(175.00m~210.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	٦	最大	R	コア採取率	
_	<u> </u>	#	417	種		級	ア 採	大コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			+ + + + + + + + + +		黄	CM'	100	17	17	-+++	*
			++++		灰	CL'	100	31	49	- 1 1 1 1 1 1 1	*
			; + ; + + ; + ; +		褐灰		100	32	74	- + + - - - - + + + + + + + + + + + + + +	
			++++ ++++		にぶい		100	45	82	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	178.55m, 179.02m, 179.13m
- 180			++++		褐		100	84	96	- + + + + - - 	・幅5~15㎜の石英脈を挟む。
			++++		褐灰		100	27	59		
			++++ ++++		<u> </u>	CM'	100	56	79	- + + + +	181. 67∼185. 00m
			++++		_	CM'	100	15	28	_ 1 • 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	・割れ目が、20cm以下の間隔で分布する。
			++++		灰		100	15	41	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	・高角度の割れ目には、黄鉄鉱や幅1mm以下 の砂〜緑灰色シルトを挟む。
			+				100	24	49	- + ++ + + +	*
			++++		褐		100	28	54	-++	.185.00~187.48m - 密着した割れ目が分布する。
			++++		灰		100	54	54	-+++-	
			++++				100	46	92	-+++-	187. 48~220. 00m
			++++		灰	CL'	100	35	98	-++-+-	・花崗斑岩である。 187.48~190.65m -
– 190			++++		白	1 1 2	100	35	35	<u> </u>	・変質により、軟質化している。
			++++		\vdash		100	39	90	-+++	190. 37∼193. 00m
			++++	花	黄灰	CM'	100	23	33	- + + - + + + + + + + + + + + + + + + +	・密着した割れ目が、1~5cm間隔で分布する。
L			++++	花崗斑			100	40	21	-+	
			++++	岩	灰		100	19	19		193.00~195.55m ・変質により、軟質化しており、黄鉄鉱が点-
L			<u>+</u> +++		百	CL'	100	15	15	- +	在する。 ・連続した割れ目が分布する。
			++++				100	25	53		- 建械した割れ日かカ୩9る。
			 		坦		100	46	61		_
			+ + + + +		褐 灰	CM'	100	17	28	++	
L I			++++				100	18	49	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	_
- 200			2 ++ -		灰		100	49	73	-+++	●199.22~200.00m ・破砕部である。
_			+ + + + + + + + + +		白	D'	100	0	0		・灰白色の固結礫状部からなる。
L			<u>+</u> +++		青灰		100	0	0		・上端境界の傾斜は75°~80°である。 -
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + +				100	11	11		
			<u>+</u>			01.7	100	0	0	(+ + + + - - - - - + + :	202.96〜204.00m ・低角度の割れ目が多く,割れ目に沿って砂-
			++++ ++++		灰	CL'	100	6	0	<u> </u>	〜細礫状,一部土砂状を呈する。 -
			<u> </u>				100	10	10	<u> </u>	205.00〜206.08m ・高角度の割れ目が多く,一部細礫状を呈す-
			++++		青灰		100	15	30	- 10 L L L L L L L L L L L L L L L L L L	る。 206.08~206.44m
			++++ ++++		明	(1)	100	15	25	- + +	・密着した割れ目が多い。
[++++		褐灰	CM'	100	33	58	- + +	<mark>2</mark> 06.44~207.66m <mark>・</mark> 割れ目が多く,角礫状を呈する。
			++++		火		100	24	56		<mark>2</mark> 07.66~210.50m ・柱状を呈する。
											・密着した割れ目が多く、割れ目に沿って砂
Ш			<u> </u>					,			~細礫を挟む。

1-3 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	ŧ	票	深	柱	岩	色	硬		割れ	風	変	旨	-	コア採取率 ☆ (%) 最大コア長	岩岩	孔内水位		(標:		入 討 直 ~			試験	原位置試験	室		掘進	孔 :	コアチ				差 指	
尺	F	高	度	状	種区			π ⁄	目の状					→ cm N	盤分	(m)	1 N								(1)験(孔内水平載荷)	内試	.	度	mm) / 孔	ユーブ	王 (N	数 归 om MF	E I		量(一
(m)	(r	m)	(m)	図	分	調	軟			化	質	事		50 100 50 100 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 5	類	月日	値	0		10	20	30	40) 5	載荷	験	В	時	護	낁 Μ	Pa i	JII III	3	\hat{\hat{\hat{\hat{\hat{\hat{\hat{	£
-				+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		明褐灰		IVg IIIg IVg II g	cg			深度207.66~210.50m: 柱状コア。密 着した節理多く、節理に沿って砂〜棚 礫を挟む。		33 (58) Ch	r [CL]																			_
—210	٥			+		褐灰	_	Шg				深度210.53m:シーム。傾斜84度、幅	ŀ	13 [34]	-																				1
-				++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++		明褐灰	Dg	IVg			3	5~10mmの黒色シルト状。 深度210,50~212,52m:変質帯。上盤 67度、下盤50度。全体に軟質化。含磷 固結砂質シルト状で、網目状に細粒分 を含む。指圧で変形。		13 (13) CL														140	:	ダブルコアチ	5.0				-
-				++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++	花崗斑岩	青灰	Cg	Шg		α		深度212,52~215,45m:密着した節理 多く、全体に変質を受け、礫状化する。		20 [65]	[CM	0													76	チューブ/ダ	1	65 0.	0 7	尼 水 1 3	
-				+++++ ++++++ +++++++ +++++++++++++++++		灰白 青灰	Dg Cg	Шg IVg Пg	cg		2			20 [78] 20 [51] 35 [33]													10 30 214. 75			イヤビット					
				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		青灰	Cg	IVg Ⅲg						(19 (56) Ch	, ,													137		40	0.0				
	-145	5. 52 2	220.00	+		褐 灰	Dg	IVg				深度219.17~220.00m: 斑晶は粗粒。 変質により軟質化。		122 CL													10/ /31								
1																1	1										220.00								

柱状図(210.00m~220.00m)



1-31(分類d)①

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-3(分類b)② 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.						

事業・工事名

ボ-	- IJ :	ノグ名		No	. 17						調査位置														_			北		緯							
発	注	機関												調	查其	間												東		経							
調	査 業	者 名									主任技師			現代	理	場人						鑑:	定 者	ť				ボグ	一 リ 責 任	と 者							
孔		標高	+ 74	. 46 m	角	180 上	Ĺ	<u>\</u> 9		方	北 0° 地 270° 盤 水平 0)°	使用	試	錐	機										ハンマ 落下用	<u></u>										
総	掘	削長	200.	00 m	度	下0	, Α	\ 25		向	四	0*	機種	I	ンシ	シン										ポン	プ										
標	標	深	柱	岩	布	硬		牢山	国	亦	記	:	コア	採耳	文率	半	岩	ZI		(標準	丰 雷 .	入討	験)	試験	原	安	堀	堀	孔	_]	& ≥	回	;¥	. *	排
1214	176	"	"-		_	N.		れ	/114	2	90		左 (最大			1 1		内水位	$\overline{}$	(N 値					原位置試験			進	径	アト		転			水
尺	高	度	状	種 			ア	目				-	⊷ R	cm Q				(m)	N								쥪	P3	進	度	/	ューブ	圧	数	圧	量	量
				区			形	の 状					`` '` [区	分	測定									内水平載荷)	試	月		孔壁保	/. li	ŔŊ	rpm	MPa	î	î
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事			50	100	分	類	月日	値	0	1	0	20	30		40	載荷50	験	日	時	護	الا الا	¶Pa ∵	<u></u>	ŭ	分	分)
	73.9	1 0.61	\times	盛土	黒褐						新期盛土。				H	\blacksquare																					
†			\ /								礫・シルト混じり細~中粒砂。				Ш					t							1					シンド					-
}			\																	ł							1					シングルコアチ				そ	-
-			\											Н	Н	-				-							-					チュ				その他(-
1			$ \cdot / $									ľ			Ш	1														135		ユーブ		55	0.0	(不明含む)	0
L			l V	盛土											\mathbf{H}																	/ メタルビ				0	
			 	_	にぶい							H	\mathbb{H}	Н	₩	$\ \ $																バビット					
			/		い 黄						 	Ī			Ш	1				Ī									11/								_
-			$ / \setminus$								シルト混じり砂礫。				Ш	1				ł							\dagger		11/ 13 7.00		1		5.0				
-			∥ \												Н	$\ \ $				ŀ							+				114 4						-
-	66.3	9.00					Шg					¥			Ш	П						-									114/ケーシング						
_ 10			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Eg	IVg	bg	δ		深度9.00~11.03m: 花崗斑岩。 径5~10mmの長石, 石英の斑晶, 径3m mの黒雲母の斑晶を20%程度含み, 石			40 [52		D.	FD3																			'n	
		6 11.03	+	- 斑 岩		Dg Eg	Πg				基は径0.5mm程度である。	H	Н,	1	[87]	D.	[D]													136				190	0.0	泥水 5	4
	04.4	0 11.03	****			\vdash	Шg	cg			アプライト、上位との境界傾斜30度。 11.03~139.84m:アプライト。 厚さ1.0~5.0m程度の花崗斑岩を挟む		1	[8]	0	H				Ī																	_
-			**** ****				₩g				アプライトの石基は径0.1mm以下であり、流理が認められる。部分的に径3) 26	[20]	╣	CL.				ŀ							1										-
-			" * " * " * * * * *				Πg				mm程度の斑晶が散在する (1%以下)。。 。 深度12.85m,12.87m:節理に幅0.5~1.	L	Ш	1093	Ш	Н	F01.3			ŀ							-		11/								-
-			**** *****			Eg	IV g III g	cg			深度12.63間,12.67間 即項に幅0.5~1.5mmの流入粘土を挟む。 深度13.19~14.01m:傾斜25~55度の 節理が数cm間隔で発達。節理の周辺は	To the	X	Н	Н	D.	[CL]			-		-					-		13.70			t					_
			* * * * * * * * * * * * * * *			Cg	Ιg	bg			即理が級CMI自開で発達。即理の周辺は 変質により桃色を帯びる。			15	84]	CL.																ダブ					
			* + * + *			Dg	IVg III g	cg					$\left\langle \cdot \right $	34]		Ш																ルコアチ					
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ライト		Cg	Πg	bg					1	34	[96]	CM'																고					
			**** ****			Dg	IVg III g				深度17.05m:シーム。傾斜51度、幅1 ~3mm、明褐色軟質粘土(1.51年)	İ	4	[36]	Ш	CL.				Ī												ーブ/だ					
-			 			Dg	IVg	bg		2	深度17.05~17.46m: 傾斜44~51度の 節理が密集する。		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	13		Н				ŀ							\dagger					ダイヤビ 2				泥	-
-			**** ****		明褐灰	Cg	Иg	Cg	γ			H	Н	27	103	CM.				-		\vdash	+				+			146		ピット	5.0	165	0.0	泥水8	4 -
_ 20			****			Dg	IVg	bg			深度20.59~21.63m:傾斜40~80度の	Ī	W		[63]	Н				-		_					-										_
	55.4	7 20.95	**** ****	-		05	Шg	cg			節理が数cm間隔で発達、やや軟質。		₽ 7		[65]	CL.																					
	54.6	3 21.88	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩		Dg	IV g I g	Н			花崗斑岩, 上位との境界傾斜60度, 下位との境界凹凸有り。	\mathbb{H}		37 [37]	H	\mathbb{H}	[CM]														83/ケーシング						
	54.5	0 22.02	* * * * * * • * * *	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		Cg	Πg	1 1			ペグマタイトは、幅3cmの石英と周辺 にカリ長石の結晶あり。	H	₽ 7	Щ	[98]	1				Ī											シング						
-			* * * * * * * * * * *				Ⅲg IVg	bg			Smith 00 07 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	H	18			1				+			+				1		11/15								-
-			*	アプラ		Dg Cg	Πg IVε				深度23.87〜23.88m:シーム。上盤20 度、下盤30度。幅4〜9mm、暗灰〜暗褐 灰色蠑混じりシルト質砂状。正断層的	+	18			CM.				-		-					+		23,65								7
F			*	ライト		Cg Dg	Шg				センス。条線方向高角度。	H	Ň	15	3)]				-		-					-			100				100		泥	_
-			*	'		Cg	III g IV g	1 8			深度25~45m:節理の一部に流入粘土有 り。	H	H ³		58]							_	\perp							126		3	v. 0	190	υ. 0	泥水8	0 -
			* • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			-6	Ιg Ιg					H		52	[100]	$\ \ $													11/16								
	Π					П		П				1				П						•					1		27.00		\neg		\neg	N	0.1	7(1	76)

柱状図(0.00m~30.00m)

		_H	19-N	lo. 1	17			孔口	」標	恴	T. P.	74.	46m	掘	削	長		200. 00m
128	1285	*1777	- 44	ш	h	ш	_		_	_	- 15	H= ±	1					
標	標	深	柱	岩種	色	岩級	コア採	最大	R		ア採	(%)						
尺	高	度	状	区		区	採取	コア	Q	最	大コ	ア 長 (cm)			記		事	
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長	D (%)		R Q	D [%]	1					
1					黒褐					0 20	+		0.00	~9.00 ±であ				
			\ //							- 1 1	+		• 礫	・シル		り砂~	シルト	昆じり砂礫か
			$ \setminus $							- + + - + +	T 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		らなる	ଚ ୍ଚ]
-			\//	成						- 1 1								_
-				盛土	にぶ					- † †	† - - - + - - -							4
-			// \		(1					-								
-					黄			4		- + +	+							-
-]	∥ \				3	4					2					1-
-	65. 46	9. 00	// ++++-	花		D'	100	40	52	- + +	4 4-1		3 9.00	~11.0	3m			-
- 10			+ + + + - + + + + -	花崗斑岩		CL'	100	44	87	++			・花	崗斑岩	である。	0		=
	63. 43	11. 03	# # # # # # # #	石		D'	100	21	80	- + +	7 4 -1 -1 -			3~20.		7		8-
			###			CL'	100	26	38		<u> </u>		· · ·	ノフイ	トであ	5 .		74
2			# # # + # # # +			D'	100	8	0	•	+			~14.			. <i>n</i> +	.]
			# " # " + # " # " +	ア		CL'	100	45	84	-	-		* 割	れ目が	数十mm	間隔で	分布する	5 .
			+	アプラ		S-130 W	100	14	34	- + Q +	+	+	*					
-			####	イト		CM'	100	34	96	- † †	2-1-1-		7.05		40			
-			####	1		CL'	100	21	36	- + + - + +	(- -	- - - - - - -	1	~17. れ目が	46m 密集す	る。		-
-			# # # # # # # #		明褐	CM'	100	33	73		1-1-		*					-
- 20			# # # # # #		灰		100	37 27	63 65	- + +	7 7 7 7 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		20. 95	5 ~ 21.	88m			-
-	53, 51		# # # - + : + : -	花崗斑		CL'	100	37	37	1 1				崗斑岩	である。 63m	0		1.0-
 	52, 58 52, 49	21. 88	####	岩 ペグマ タイト			100	27	93	++	<u> </u>		· 割		数十mm	間隔で	分布する	ა
-			# # # + # # # +				100	18	56		/				イトで	ある。		
			# # # # # # # # # # # # # # # # # # #				100	18	53	- + h - + •	+		*					
			# # # # #	アプ		CM'	100	33	58		7-1-		*					1
			+ + + + +	ライ		0	100	52	100	- + + - + ±	+	I + +]
			<u>*</u> ###	+	にぶ		100	19	62	- •	1		● 27.	65~2	7. 73m (f-6-3	3-2破砕	帯)
-			###		がい黄		100	25	85	- + + - + +	•				ある。 橙色の	固結磷	*状部から	うなる。 -
\square			####)	橙		100	19	45		1-1-1-						7°Wであ ,下端は	る。 竟界の傾斜は
								, ,						である			8X	
1-3½ 岩	!, 1-(ŀ種区	34 (5 5 分 t	分類c) は同一	① の <i>†</i> -	· め削	除。												
1-33	(分	類a)	2	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	. 00 1.	119340												
1-35	記。 (分	類b)	3															
報	告書	の前	己載漏	れを	修正	したか	こめ 。											
)と- i 基), I-、 盤上	o/(ク :限の	う類c) D1m未	当の	区間	を省し	ハたナ	とめ。)									
								Ĭ										

標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	記		ア拐		率	岩岩	} 71.		(標準	丰貫 入	試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給日			´6 送	
IN	124		-	種				ħ	,		н		大 =			級盤	一内		(N値				原位置試験			進速	径	コアチュ				水	
尺	高	度	状					目の				⊸ R		cm Q	_		(m)) _N										度	/ 孔	亅	圧	数	\neg	\neg	量
			_	区		<u>.</u> .	π>	状			_	-	. [9	%]		区分分为	測定月	値							(孔内水平載荷)	試		cm /	1木		kN r MPa			丿	「 一 /分
(m)	(m)	(m)	図 *****	分	調明褐灰		状	態	化	質	事	ŀ	5	<u>.</u>	100	分類	B	<u> </u>		0 1	0 20	30		40 5	荷 (験	日) h4	護	۲ '		<u> </u>	<u> </u>	<u>"</u>	
-			**** =*** ****			Εε	Шg vig Шg				深度27.65~27.73m:破砕帯(Hb)。上盤53度、下盤43度。幅35~65mm,砂礫 状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤		19	[6	2]										-									泥	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *				Πg				で走向が異なる。 深度29.00~30.00m: 開口した節理に	Щ	25	[8:	5]													151		2	25.0 1	190	0.0	泥水8	5 -
_ 30			**** *****			Cg	Шg	cg		2	流入粘土が認められる。			[45]		CM'											11/ 17 29.90							4	
			* * * * * * * * * * * * * * *				Ig ∭g							\$5	[100]																				
			* * * * * * * * * * * * * * *		ات		IV g	bg			深度31.30~31.33m:変質により砂~ 礫状。	\mathbb{H}	A	[58	1																				
-			* * * * * * * * * *		にぶい黄	Fr	IV g	cg		4	深度32.54~32.65m:破碎帯(Hb)。上		4]			CL.																			
-			* * * * * * * * * * * * * * *	アプ	橙		IV g	bg			盤45度、下盤42~63度。幅50mm、明黄 色礫混じりシルト質砂状~礫混じり砂 質シルト状。		23 35												1										
-			* * * * * * * * * * * * * * *	ライ			₩g	cg bg			深度32.65〜32.75m:破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm,赤褐灰色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕		251												1										-
_			* * * * * * * * * * * * * * *	١			Шg				帯に切られる。 深度32,75~37,00m:傾斜25~45度の 節理が数cm程度の間隔で発達し、短柱 ~岩片状コアをなす。節理面およびそ					CM.									1										-
-			**** **** ****				IVg	cg			の周辺は褐色を帯びる。	\mathbb{H}	7 182		\parallel										+										-
-			**** ****				Ⅲg IVg							[44]]											-			227							-
_			**** **** ****				Πg		r				36	[52]											-										-
			**** ****				₩g	bg								CL.																			
_ 40			**** **** ****		褐灰	Bg	Πg							58	39)																				
		40.95	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				₩g			2	花崗斑岩, 上位との境界傾斜65度, 凹 凸あり。		$\frac{1}{1}$	Н	\parallel	CM																			
			*			Cg	1 1				四の9。 深度40.95~46.07m:暗灰色帯び、最大 径5cm一般径1~2cmの亜円~亜角の捕 獲岩を含む。			Н		CL'																	0.0	泥水7	0
-			++++ ++++ ++++				Ιg				深度41.22~41.25m:幅18~20mm、褐灰色礫混じりシルト質砂状。			57 [51	,	CM.														ьĭ				1	-
-			+++++ ++++ ++++				IV g				深度43.40~43.51m: 節理密集する。					CL.									1		11/20 43,35			ダブルコ					1
-			+++++ ++++ ++++	花崗斑岩	黄褐		₩g	cg			深度43.51~43.54m:幅25mm, 暗灰色 シルト・碟混じり砂状。部分的に葉片 状。		30		1										+				83	コアチュ					-
_			*	岩			Шg						1		-1	[CN]								-				83/ケーシング	ューブ					-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * *			Cg	шв				安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界, 約40度。		1	[49]	$^{+}$	CM'									-					/ダイヤ	, , ,	105			-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		灰褐		II g III g						Ä	[78]	1										-					ヤビット	35.0	165			-
_	31.05	47.90	* * * * * * * *			Cg	₩g				アプライト、上位との境界不明瞭。 深度48,31~48,45m:変質帯。上盤45	H	[29]			au :																			-
			* * * * * * * * * * * * *		にぶい橙	Dg	ν ₄ Vg Шg	bg	_		深度46,31~46,45間:変員帯。上盛45 度、下盤35度。明褐灰~灰色の細片状。	1	[29]			CL.												145							
_ 50			* * * * * * * * * * * * * * *				₩g				深度49.34~50.25m: 黒褐色を帯びる 高角度な節理発達。		²⁴ (34	1																					
00			* * * * * * * * * * * * *			Cg	Шg					H	7	[44]	\parallel																				
			* * * * * * * * * * * * * * * *	ヹ			IVg Ⅲg	og					6 [27]	П	\blacksquare																				1
			**** ****	アプライ	灰	Dg	IVg				深度51.83~51.86m:幅20mm,暗褐灰色砂礫状。		3]																						1
-			**** **** ****	١	褐			cg			深度53.42~53.49m:帕B25~30mm,節		5 [3	81											1		11/ 21 53.35					-		+	4
-			**** ****			Cg	Шg	bg	β		理密集する。		27		651										1										1
-			* * * * * * * * * * * * * * *				Πg				STRINGE AC. CC AC. VATA AM ON)		22	Ш	\coprod	CM'					-				+										\exists
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	IVg IIIg IVg	cg		۷ ا	深度55.45~55.46m:破砕帯(Hb)。上盤45度、下盤46度。幅20mm, 黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状	\mathbb{H}	[p44]	H						-				-										-
-	23.05	56.72	**** ***** ****			1	Шg				。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 やや暗緑色を帯び、ひん岩に近い岩相		\parallel	[53]	\parallel						1				-										-
-			<u> </u>		瞳		IVg IIg IVg IIIg				•		[29]		\parallel						1				-			142					0.0	泥水6	0 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	暗灰黄	Cg	IVg Ⅲg					11			\parallel						_													6	
60	20. 12	59.96					₩g	bg			アプライト、上位との境界不明瞭。		[29]	Ш	\parallel																				
			* * * * * * * * * * * * * * * *	ア.			III g II g IV g				深度59.96~63.00m:全体に褐色化顕 著。	\mathbb{H}			66]																				
			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ	灰褐		IVg Ⅲg IVg		r				\prod	H	[74]																				1
			3 *** ***** *****	 - 		_	V g IV g				深度61.89〜62.22m: 破砕帯(Hj)。傾 斜36度。径3〜10mmの角礫状。上面に 幅1〜4mmの黄褐色シルトを挟む。	1	2]	H	\parallel	CM.									1										1
			+ +			- 56	8			\exists			ш	ш	11					1	1	1						H	1			No	5.17	7(2/	⁷ 6)

柱状図(0.00m~30.00m)

		Н	19-N	lo. 1	7			孔口	1 標	高	T. P.	74. 4	16m	掘	削	長	200. 00	Om
標	標	深	柱	岩	色	岩	コァ	最大	R	П	ア採	取率(%)						
尺	高	度	状	種		級	ア採		Q	最	大コ	ア長			記		事	
				区		区	取率	ア長	D	F	R Q	D (cm)						
m	m	m	図	分	調黒褐	分	(%)	(cm)	(%)	0 20	40 6	[%] 60 80 100	0.00~	.0.00	m			_
- - -			\mathbb{N}		<u>未怕</u>					- + + - L L - 1 1 - T T - + + - L L			・盛士	Ŀであ ・シル	る。	り砂~	シルト混じり砂碗	- 樂か - -
-				盛土	にぶい黄						+ -1 -1 - + -1 -1 - -1 -1 -1 - -1 -1 -1 - + -1 -1 - -1 -1 -1 - -1 -1 -1 - -1 -1 -1 - -1 -1 -1 -							-
	65. 46	9. 00	\\							- T T	+							
- 10			++++	花崗斑岩		D'	100	40	52	- + +	+ +-	- - - - - - - - - - - - -	9.00~		3m である			
- "	63. 43	11. 03	+ + + +	- 斑 岩		CL' D'	100	44	87		7-1-1-							_
-			####			CL'	100	21	80	- + • - ± ±	(+ - - - \	- - -	11.03		95m トであ	る。		79-2
-			####				100	26	38	- † †	<u>*</u>		k					, ,
_			####			D'	100	8	0	+	+ - -	- - - - - - - - - - - - -	13.19			間隔で	分布する。	-
-			" # " # -	ヹ゚		CL'	100	45	84		7	+ 3	*					
F			####	アプライ		OM'	100	14	34	+ + + 4 + -	+ -1-	- - - - - - - - - - - - - - - - - 	<u> </u>					175
ŀ			####	イト		CM'	100	34	96	+++	7		17.05	17	A C			0
L			####	'		CL'	100	21	36	- + *	+ 1-1-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	17.05 ・割オ		密集す	る。		-
F			# # # # -		明褐	CM'	100	33	73		1-1-		*					-
- 20			# # # # # #		灰		100	37	63	- T T	↑ • - - +/ - - -		20. 95	21	0 0m			-
L	53. 51	20. 95	# # # + : + : -	花崗斑		CL'	100	27	65	- + +			・花崗	岗斑岩	である。	0		
-	52, 58 52, 44	21.88	++++	岩ペグマ			100	37	37		7	CCTT*	20.59 ・割オ			間隔で	分布する。	-
-			####	タイト			100	27	93	+++	• 		21.88		02m イトで	ある。		10-
-			####				100	18	56	- T ft	4-1-1							8 -
-			####	ア			100	18	53	- + •	1	-	1					=
F			####	アプラ		CM'	100	33	58	- T T	7-7-1-							-
-			####	1	1-		100	52	100	- + + - 1 1	+- 		<u> </u>					-
-		$ _{\bigcirc}[$	#_#_= #_#	 -	にぶ	2	100	19 25	62	T 1	1 1 1 - 1 -				7.73m(⁻ ある。	f-6-3	3-2破砕帯)	2-
-			#### ####		が黄		100	19	85 45	- + +/ - 1 /			・にふ	が、黄	橙色の		状部からなる。	-
\vdash	1		"#"#		橙		100	18	40	1.1	1 1 1		上站	端境界	の傾斜		/゜₩である。 , 下端境界の傾斜	対は
Щ.	0 (/)			L									43° 7	である	0			

^{1-38 (}分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-35 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	T	標	深	柱	岩	色	硬	コ a	割	風	変	記		コア採取率		台岩	孔		(標準	丰貫 入	試験)	試験	原位	室			孔	_	給		Z / 送 ;	6 送 排) 排
					種			,	h					∽ (%) 最大コア長		汲盤	一内		(N 値	~ 深 ß	隻		原位置試験	内		進速	径 (mm)	コアチュ			水 :		水
尺		高	度	状	区			'	目 の				- 1	→ cm R Q D			(m)	N							⋥ .	試			孔	リブ	\neg	数	圧 :	\sim	量(
(m)	,	(m)	(m)	図	分	調	軟			化	質	事		_ [%]	5	区分類	定月日	値	0	1	0 20) 3(n	40 5	内水平載荷)			[4]	壁保護	ビ	kN MPa	pm i	MPa :	/ ,	ー/分)
				* * * * * * * * = * * = * * *		明褐灰	Cg Eg	∏g ∭g				深度27.65~27.73m:破碎带(Hb)。上	-	50 1	00										1									+	_
-				*				Шg Пg				盤53度,下盤43度。幅35~65mm,砂礫 状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤 で走向が異なる。	ŀ	25 [85]														151		2	25.0	190	0.0	泥水8	5
١.				* * * * * * * * * * * * * * *			Cg	-	cg		2	深度29.00~30.00m: 開口した節理に 流入粘土が認められる。	ŀ	19 [45]	Ha	M'											11/17								
— 3 ¹	0			**** **** ****				I g					ŀ	\$5 [100													29,90								
				* * * * * * * * * * * * *		Ľ.	Dg Cg	1 1	bg			深度31.30~31.33m:変質により砂~ 碟状。	ŀ	3b [5B]	Ī																				
				+		にぶい黄鷺	For	Π7.c	og		4	深度32.54~32.65m:破砕帯(Hb)。上盤45度,下盤42~63度。幅50mm,明黄	F	/14 11 41		L'																			
				* * * * * * * * * * * * * * *	アプニ	橙	Dg	ш., L	og Og			色礫混じりシルト質砂状〜礫混じり砂 質シルト状。 深度32.65〜32.75m:破砕帯(Hb)。下	F	28 (38)																					
				* * * * * * * * * * * * * * *	ライト			IVg ⊦	bg			盤45度。幅50mm, 赤褐灰色碟・シルト 混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕 帯に切られる。 深度32.75~37.00m:傾斜25~45度の	ŀ	[26]																					-
				**** **** ****				-	cg			新理が数cm程度の間隔で発達し、短柱 〜岩片状コアをなす。節理面およびそ の周辺は褐色を帯びる。		[82]		M'																			
				*			Cg	IVg IIIg	1					7 [[44]]														227							
				* * * * * * * * * * * * * * *				IV g II g		r			ŀ	36 [52]																					
				**** **** ****				IV g	bg				ť		GI	Ľ																			
_ 4				* * * * * * * * * * * * * * * *		褐 灰	Bg	Пg					ŀ	58	H																				
	- 1	7.35	40.95	* * * * * * * * * * * * * † : † : † ! : † : †				₩g			2	花崗斑岩, 上位との境界傾斜65度, 凹 凸あり。	ť			×																			
				++++			Cg					深度40.95~46.07m: 暗灰色帯び、最大 径5cm一般径1~2cmの亜円~亜角の捕 獲岩を含む。 深度41.22~41.25m: 幅18~20mm、褐	ŀ		G	L'																	0.0	泥 水 7	0
				*				I g IVg				灰色礫混じりシルト質砂状。	ŀ	57 [51]	CI	M'											11/20			ダブ					
-				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花	黄褐	Dg	Vs.	cg			深度43.40~43.51m: 節理密集する。 深度43.51~43.54m: 幅25mm, 暗灰色 シルト・碟混じり砂状。部分的に葉片	ŀ	(13)	Ha	Ľ											<u>∕20</u> 43.35			ルコアチ					
_				+++++	花崗斑岩	恒						状。	ŀ	30 [62]		[CM]													83/ケーシング	チューブ					
_				##### ##### #####			Cg	Шg				安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界, 約40度。	ŀ	[49]	H														ンング	ダイ					
-				++++		灰褐		Пg					ŀ	39 (78.	H"	•														ヤビット	35.0	165			
-	3	1.05	47.90	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	IV g				アプライト、上位との境界不明瞭。	ŀ	[29]	H															۲					4
-				* * * * * * * * * * * * * * *		にぶい橙	Dg		bg		Ĭ	深度48.31~48.45m:変質帯。上盤45 度、下盤35度。明褐灰~灰色の細片状。	ŀ	[29]	H	L												145							4
<u> </u>	0			* * * * * * * * * * * * * * * *				IVg				深度49.34〜50.25m:黒褐色を帯びる 高角度な節理発達。	ŀ	34 [34]																					_
-				* * * * * * * * * * * * * * *				III g IV g					ŀ	1 7 [[44]]																					-
-				* *	アプライ			Шg	og			深度51.83~51.86m:幅20mm,暗褐灰色砂礫状。	ŀ	16 [27]																					4
-				**** **** ****	フイト	灰褐	Dg	IVg ∣	bg				ŀ	18 (i 3)													11/21								-
-				* * * * * * * * * * * * *			Cg	Шg	cg	β		深度53.42~53.49m:幅25~30mm, 節 理密集する。	ŀ	[38]											-		21 53.35								4
-				**** **** * <u>*</u> **					bg	١			ŀ	P7 [68]	H.	M'																			4
-				**** **** ****				IVg G	cg		-	深度55.45~55.46m:破砕帯(Hb)。上盤45度、下盤46度。幅20mm, 黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状	ŀ	[22 [44]																					-
-	2	3.05	56.72	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				Шg				。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 やや暗緑色を帯び、ひん岩に近い岩相	ŀ	119 [E33]											-										4
-				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	暗灰黄		IVg IIIg IVg IIIg				۰	F	1 [29]											-			142					0.0	泥水6	0 -
-					斑岩	黄	Cg	IV g					ļ												$\frac{1}{2}$									0	-
— 6º	0 2	0. 12	59.96	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IVg IIIg	bg	=		アプライト、上位との境界不明瞭。 深度59.96~63.00m:全体に褐色化類	F	[28]											$\frac{1}{2}$										$\frac{1}{2}$
-				* * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	灰		II g IV g III g				著。		[66]											-										-
-				* * * * * 3 * * * 8		灰褐		Mg Vg		r		深度61.89~62.22m:破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3~10mmの角碟状。上面に		15	H _G	Ľ									-										-
_	+			*			Cg	IVg	_		_	幅1~4mmの黄褐色シルトを挟む。	+	112	CI	M'															4	No	o.17	(2/	6)

柱状図(30.00m~60.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取草	<u>x</u>
	높	#	445	種		級	ア採	天	Q	最大コア	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア 長	D	P 0 D	m) EC →
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80	[] [00
			+ + + +			CM,3	100	55	100	- + + + - - • - - -	3
			#### ####			CIVI	100	32	58		*
		2	¤### ₽###		にぶ	CL'	100	14	14	+ +	* ●32.54~32.75m(f-17-2破砕帯)
		•	# # # 1 # # # 1		LI		100	23	35	- 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1	*・破砕部である。 ・赤褐灰色の固結礫状部からなる。
			+ + + + +	アプライ	黄橙		100	14	25	- + +	▼・走向・傾斜はN35°E51°Wである。
			"#"# ####	٥	1	CM'	100	14	32	- 14 1 1 1 1 1 1 1	・上端傾斜の境界は45°, 下端境界の傾斜は <mark>1</mark> 45°である。
			# # # # 4	1			100	17	44	- + + +	32.75~37.00m ・割れ目が数十mm程度の間隔で分布し、岩片
			+"+"+				100	36	52		*状~短柱状を呈する。
			+ + + + +			CL'	100	8	0	4111111	T *
- 40			# # # + # # # +		褐灰	CM'	100	58	89	-++	<u>*</u>
_ ,,	33. 51	40. 95	# # # # +		"	CIVI	100	8	0	- - - - - - - - - -	[*] 40.95∼47.90m
			++++			CL'	100	17	17	-+++	- * ・ 花崗斑岩である。 - 40.95~46.07m
			+			CM'	100	57	57		*・径10~50mmの暗灰色の捕獲岩を含む。
-			++++	花崗	黄	CL'	100	13	13	- (+ + - - - - - - - - -	+
- (++++	斑	褐		100	30	62		- *
1			++++	岩		CM'	100	14	49	- +4++	* + * s
_			++++		灰	CIVI	100	39	78		1 *
	26. 56	47. 90	+ + +		褐にぶい	οι '	100	19	29	- + • 1	- * - 47. 90∼56. 72m
_			####		橙	CL'	100	15	29	- 	↑ ・アプライトである。
- 50			# # # # 4				100	24	34	- + + +	48.31~48.45m ・変質している。 .
-			# " # " 1 # # # 1	ア			100	17	44	- + 	- * ・明褐灰〜灰色の細片状を呈する。 - 49.34〜50.25m
-			+ + + + +	アプライ			100	16	27		*・高角度の割れ目が分布する。
-			####	フィ	灰褐		100	13	13	- + +	- *
-			# # # # # # # # #	1	1.2	OM'	100	15	38	- 141 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	7 * 1 1
-		②r	+	,		CM'	100	27	65	- + + • - - - - - - - - - -	+ * -
-			#### [#]	4			100	22	44	+++	*•55. 45~55. 46m
-	17. 74	56. 72	# " # " + + : + : -	44			100	19	53	-+++	・ 破砕部である。 ・ 黄褐色の固結砂状部からなる。
-			+	花崗	暗		100	18	29		・走向・傾斜はN39°E52°Wである。 ・上端境界の傾斜は45°,下端境界の傾斜は
-			++++	崗斑岩	灰黄		100	11	11	+ +	*46° である。 5 6.72∼59.96m
	14. 50	59. 96	<u> </u>		(灰褐 /		100	15	25	- 14-1-1-1-	██・花崗斑岩である。
				アブラ							59.96~122.98m ・アプライトである。

1-33 (分類a) ① 誤記。 1-39, 1-40 (分類d) ② 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-35 (分類b) ③ 報告書の記載漏れを修正したため。

標		標	深	柱	岩	色	硬	コ a	割	風	変	記		コア採取率		占岩	孔		(標準	丰貫 入	試験)	試験	原位	室			孔	_	給		Z / 送 ;	6 送 排) 排
					種			,	h					∽ (%) 最大コア長		汲盤	一内		(N 値	~ 深 ß	隻		原位置試験	内		進速	径 (mm)	コアチュ			水 :		水
尺		高	度	状	区			'	目 の				- 1	→ cm R Q D			(m)	N							⋥ .	試			孔	リブ	\neg	数	圧 :	\sim	量(
(m)	,	(m)	(m)	図	分	調	軟			化	質	事		_ [%]	5	区分類	定月日	値	0	1	0 20) 3(n	40 5	内水平載荷)			[4]	壁保護	ビ	kN MPa	pm i	MPa :	/ ,	ー/分)
				* * * * * * * * = * * = * * *		明褐灰	Cg Eg	∏g ∭g				深度27.65~27.73m:破碎带(Hb)。上	-	50 1	00										1									+	_
-				*				Шg Пg				盤53度,下盤43度。幅35~65mm,砂礫 状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤 で走向が異なる。	ŀ	25 [85]														151		2	25.0	190	0.0	泥水8	5
١.				* * * * * * * * * * * * * * *			Cg	-	cg		2	深度29.00~30.00m: 開口した節理に 流入粘土が認められる。	ŀ	19 [45]	Ha	M'											11/17								
— 3 ¹	0			**** **** ****				I g					ŀ	\$5 [100													29,90								
				* * * * * * * * * * * * *		Ľ.	Dg Cg	1 1	bg			深度31.30~31.33m:変質により砂~ 碟状。	ŀ	3b [5B]	Ī																				
				+		にぶい黄鷺	For	Π7.c	og		4	深度32.54~32.65m:破砕帯(Hb)。上盤45度,下盤42~63度。幅50mm,明黄	F	/14 11 41		L'																			
				* * * * * * * * * * * * * * *	アプニ	橙	Dg	ш., L	og Og			色礫混じりシルト質砂状〜礫混じり砂 質シルト状。 深度32.65〜32.75m:破砕帯(Hb)。下	F	28 (38)																					
				* * * * * * * * * * * * * * *	ライト			IVg ⊦	bg			盤45度。幅50mm, 赤褐灰色碟・シルト 混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕 帯に切られる。 深度32.75~37.00m:傾斜25~45度の	ŀ	[26]																					-
				**** **** ****				-	cg			新理が数cm程度の間隔で発達し、短柱 〜岩片状コアをなす。節理面およびそ の周辺は褐色を帯びる。		[82]		M'																			
				*			Cg	IVg IIIg	1					7 [[44]]														227							
				* * * * * * * * * * * * * * *				IV g II g		r			ŀ	36 [52]																					
				**** **** ****				IV g	bg				ť		GI	Ľ																			
_ 4				* * * * * * * * * * * * * * * *		褐 灰	Bg	Пg					ŀ	58	H																				
	- 1	7.35	40.95	* * * * * * * * * * * * * † : † : † ! : † : †				₩g			2	花崗斑岩, 上位との境界傾斜65度, 凹 凸あり。	ť			×																			
				++++			Cg					深度40.95~46.07m: 暗灰色帯び、最大 径5cm一般径1~2cmの亜円~亜角の捕 獲岩を含む。 深度41.22~41.25m: 幅18~20mm、褐	ŀ		G	L'																	0.0	泥 水 7	0
				*				I g IVg				灰色礫混じりシルト質砂状。	ŀ	57 [51]	CI	M'											11/20			ダブ					
-				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花	黄褐	Dg	Vs.	cg			深度43.40~43.51m: 節理密集する。 深度43.51~43.54m: 幅25mm, 暗灰色 シルト・碟混じり砂状。部分的に葉片	ŀ	(13)	Ha	Ľ											<u>∕20</u> 43.35			ルコアチ					
_				+++++	花崗斑岩	恒						状。	ŀ	30 [62]		[CM]													83/ケーシング	チューブ					
-				##### ##### #####			Cg	Шg				安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界, 約40度。	ŀ	[49]	H														ンング	ダイ					
-				++++		灰褐		Пg					ŀ	39 (78.	H"	•														ヤビット	35.0	165			
-	3	1.05	47.90	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	IV g				アプライト、上位との境界不明瞭。	ŀ	[29]	H															۲					4
-				* * * * * * * * * * * * * * *		にぶい橙	Dg		bg		Ĭ	深度48.31~48.45m:変質帯。上盤45 度、下盤35度。明褐灰~灰色の細片状。	ŀ	[29]	H	L												145							4
<u> </u>	0			* * * * * * * * * * * * * * * *				IVg				深度49.34〜50.25m:黒褐色を帯びる 高角度な節理発達。	ŀ	34 [34]																					_
-				* * * * * * * * * * * * * * *				III g IV g					ŀ	1 7 [[44]]																					-
-				* *	アプライ			Шg	og			深度51.83~51.86m:幅20mm,暗褐灰色砂礫状。	ŀ	16 [27]																					4
-				**** **** ****	フイト	灰褐	Dg	IVg ∣	bg				ŀ	18 (i 3)													11/21								-
-				* * * * * * * * * * * * *			Cg	Шg	cg	β		深度53.42~53.49m:幅25~30mm, 節 理密集する。	ŀ	[38]											-		21 53.35								4
-				**** **** * <u>*</u> **					bg	١			ŀ	P7 [68]	H.	M'									-										4
-				**** **** ****				IVg G	cg		-	深度55.45~55.46m:破砕帯(Hb)。上盤45度、下盤46度。幅20mm, 黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状	ŀ	[22 [44]																					-
-	2	3.05	56.72	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				Шg				。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 やや暗緑色を帯び、ひん岩に近い岩相	ŀ	119 [E33]											-										4
-				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	暗灰黄		IVg IIIg IVg IIIg				۰	F	1 [29]											-			142					0.0	泥水6	0 -
-					斑岩	黄	Cg	IV g					ļ												$\frac{1}{2}$									0	-
— 6º	0 2	0. 12	59.96	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IVg IIIg	bg	=		アプライト、上位との境界不明瞭。 深度59.96~63.00m:全体に褐色化類	ŀ	[28]											$\frac{1}{2}$										$\frac{1}{2}$
-				* * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	灰		II g IV g III g				著。		[66]											-										-
-				* * * * * 3 * * * 8		灰褐		Mg Vg		r		深度61.89~62.22m:破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3~10mmの角碟状。上面に		15	H _G	Ľ									-										-
_	+			*			Cg	IVg	_		_	幅1~4mmの黄褐色シルトを挟む。		112	CI	M'															4	No	o.17	(2/	6)

柱状図(60.00m~90.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
125	175	<i>/</i> *	11	種		級	ア	大		(%)	
尺	高	度	状	区		IX.	採取	コア	Q	最大コア長 ──◆──(cm)	記事
			図	分	調	分	率(%)	長 (cm)	D (%)	R Q D	
m	m	m		//	可可		100	38	66	0 20 40 60 80 100	(1)
-			# # # # -	ア		CM	100	14	74		●61.89~62.22m
-			** **	プラ		CL'	100	12	12		・破砕部である。
-			# # # # -	1	灰		100	46	74		・灰褐色の固結礫状部からなる。 -・走向・傾斜はN28°E50°Wである。
-		1267 1246	# # # # -		褐		100	32	55		「・上端境界の傾斜は36°である。
-	9, 65	65.00	, # , # # # # -	花崗岩			100	17	31	-++/	64.81~65.00m - ・黒雲母花崗岩を挟む。
-	7. 84	66. 62	# # # # # # # # #	アプラ イト		CM'	20 00 00 00 00 W	20	2000		65.00~68.84m
-	7. 42	67. 04	# # +	花崗斑 岩	黄灰		100		45	++ ++++	・割れ目が多く、岩片状〜柱状を呈する。 66.72〜67.04m
-			+		灰 褐		100	20	30		・花崗斑岩である。
-			□##		にぶい	CL'	100	4	56 0		●68.84~69.25m(D-11破砕帯) ・破砕部である。
- 70			# # # # * * #		<u>黄橙</u>	CM,	100	3	0		・主に明黄色の固結礫状部からなる。 -
-			#### <u>-</u>			CL,	100	15	15	*	・明褐色の未固結粘土状部:累計幅2.2cm ・走向・傾斜はN10°E62°Wである。
-			" # " # ₋		灰		V20000000	1200	000000		・上端境界の傾斜は48°である。 ●70.92~70.94m(D-12破砕帯)
-			# # # # -		褐	CM'	100	6	0		・破砕部である。 ・黄褐色の未固結粘土状部からなる。この累
-			####			OW	100	18	18		計幅は1.7cmである。
-			" # " # - # # # #				100	6	0		「・走向・傾斜はN18°E53°Wである。 ・上端境界の傾斜は41°, 下端境界の傾斜は [™]
-			# # #		にぶい 黄橙 灰白	D'	100	13	13	1 1 1 1 1 1 1 1 1	50°である。 ●75.60~75.90m(D-14破砕帯)
-			####	ァ	明褐灰		100	11	11		・破砕部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色
-			+ + + + +	アプ	灰		100	28	40		の固結粘土状部からなる。
-			# # # # -	ライ	褐	CL'	100	15	26		「・暗褐色の未固結粘土状部:累計幅1.8cm 」・走向・傾斜はN14°E77°Wである。
- 80			# # # # # #	+	灰		100	21	56	-++-	・上端境界の傾斜は46°, 下端境界の傾斜は 28°である。
-			++++		色		100	13	46	- 1, 2, 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	75.90~77.48m ・変質している。
-			# # # # -		灰褐	CM'	100	24	63	- + \ +	80.00~82.23m
-			### ###		褐灰にぷい	,	100	49	61		・割れ目が多く,一部角礫状を呈する。 - ●82.83~85.61m(D-47破砕帯)
-			#+#		掲 にぶい 黄橙		100	49	72	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	・破砕部である。 ・褐灰~にぶい褐~にぶい黄橙~灰褐色の固
-			###				100	30	65		結礫状部からなる。
-			# # # #		にぶい 黄橙	CL'	100	57	77		・走向・傾斜はN19°W36°Wである。 ・上端境界の傾斜は67°, 下端境界の傾斜は
-			" # " # - # # #		オリー ブ黄 /	OL.	100	26	46		10°である。 85.96~88.14m
-			#### ####		にぶい		100	13	36		・変質している。 ・・にぶい黄橙~オリーブ黄色の固結した砂岩
-			# # # -		<u>黄橙</u> にぶい 橙		100	25	37	- +	様、網目状に固結シルト~砂を挟む角礫状を
			"#"#		灰黄褐		100	25	37		呈する。 88.67~90.84m
											・変質している。 ・上端境界の傾斜は32°, 下端境界の傾斜は
											72° である。
											・にぶい橙〜灰褐色の角礫状〜細礫状を呈する。

1-35(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	礌		割	圃	変	語	コア	採耳	取率	#	岩	孔		(標準貫入	試験)	試験	原	室	掘	掘	7 1	_	給		o / 送 :	6) 送 排
125	125		1	種		NX.	_	n	/334	~	nc	最大	(% ; = :				内水位		(~ 深度			原位置試験			進	径 (mm)	アチュ			之 . 水 :	
尺	高	度	状					目の				→ R	cm Q	D			(m)	N						Æ		月	度	/ 孔	亅	圧	数	压:	量量
			1001	区	- m			状能	11-	per-	事	~	[%]		分	官	値						内水平載荷)			4	壁	<u> 1</u>	kN	rpm		ー/ 分/分
(m)	(m)	(m)	図 #####	分アプ	調	Cg Cg	W.	悲	16	貝	*	l HIII	50	10	ردز (類	Н		0	10 20	30		40 5	0 년	映	日 11/ 23 63,30	142	護		ے 35.0		0.0	\subseteq
-			* * * * * * * * * * * * * * *	ライ			Πg							174														83/ケーシ					
_	15.72 15.55	64.81 65.00	*	-	灰褐	Ug	∭g ∭g Wg				深度65.00~68.84m: 比較的高角度な 節理多く、岩片~柱状コア主体。			55]										+				シング					
-			**** **** ****	アプライ		Dg	Шg	bg		2	即任乡、石川、在秋山)王仲。	20	[31]		CM,																		
-	13.70	67.04	* * * * * · * · * * · * · * * · * · *	花崗斑岩	黄灰	-	II g IV g III g				花崗斑岩、上位、下位との境界傾斜6 5度。	21	45																				:
-			* * * * * * * * * * * * * * * *		灰褐		IVg IIIg					1	[30]											$\frac{1}{1}$			141				ľ	0.0	泥 水 8
-			**** -**		におい異胞				r	4	深度68.84〜68.91m:破砕帯(Hb)。上盤48度、下盤3度。幅25〜90mm、明黄色シルト混じり砂礫状。			56]	-	[CM]								-				76					
— 70			* * * * * * * * * * * * * * *			_	V g IV g		<u> </u>		深度68.91~69.11m:破砕帯(Hc)。上盤3度,下盤63度。幅3~20mm,明褐色礫混じりシルト状。 深度69.11~69.15m:破砕帯(Hc)。上	(a)			CM.													/セメンティング					-
-						Dg Cg	Vg IVg				盤63度、下盤不明。幅10mm, 暗褐・灰 白色縞状碟混じり砂質シルト状。 深度69.15~69.25m: 破砕帯(Hj)。上	1			CT.													イング					
-			**** **** ****		火	Ug		bg			盤63度、径10mm以下の角礫状。 深度70.92~70.94m:破砕帯(Hc)。上盤41度、下盤50度。幅5~17mm, 黄褐色礫混じり砂質シルト状。	A I I I												-		11/ 24 72.10				30.0	165	-	
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐	l	IV g Ⅲ g			-	深度71.98~72.10m:幅110mm, 黄褐色 シルト・砂混じり礫状。	160			Ħ												132			30.0		0.0	泥 水 7
-			* * * * * * * * * * * * * * *									A I I I			H											11 25 74.30							
_			**** **** ****			Cg	I I					(ilo)			Ħ											74.30							
-			#### #### ####		灰白	Eg	VI g V g		+		深度75.60~75.72m:破砕帯(Hj)。上盤46度、下盤47度。幅90mm, 節理密集部。		Н		D.																		
-			* * * * * * * * * * * * *		明褐灰	l	IV g	cg		3	深度75.72~75.90m:破砕帯(Hc)。上盤47度、下盤28度。 幅110mmの明黄色シルト状。75.78m,幅	1131	Н		Ħ																		
-			**** **** ****				1 _{w,}		Ī		18mmの暗褐色粘土(傾斜20度)を挟む。 深度75.90~77.48m:変質帯。 深度77.35m:シーム。傾斜45度。幅1 ~2mmの桃色粘土状。		10											-			142					0.0	泥 水 9
-			* * * * * * * * * * * * * * *			L.	⊞g IVg				Zimos W Citata Mo		[40]		CL.														ダブル				
— 80			* * * * * * * * * * * * *		灰	Dig.		cg			深度80.00~82.23m: 節理多く、一部		26]		Ħ														コアチ				-
-			**** **** ****		色	Cg	Шg				角礫状。密着した節理も多い。		7	56]												11/2			ューブ				
-			* * * * * * * * * * * * * * *	ヹ	灰褐		IVg	T				Ň	.46]]	CM.											27 81 80 28 81 95	68		/ダイヤ		ŀ	0.0	* 0
-			# # # # 	アプライ-	褐灰		Ιg		ŀ		深度82.83~85.61m:破碎带(Hj)。上			(63)	H									-					ビット				
-				۲	視にぶい黄橙		IV g II g			3	盤67度、下盤10度。角礫〜細礫状、所 々に砂・シルトを挟む。古い破砕帯。			[61]	Ħ									-									
_			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		灰褐		Шg		-	4			Ä	[72]										-									
-			#### #### ####		しい		IVg IIIg		Г	2	深度85.96~86.86m:変質帯。下盤37		N	[65]													178	83	3	35.0	175		
-			* * * * * * * * * * * * * * *		黄 橙		I g IVg		-		度、固結しており砂岩様を示す。, 原 岩構造なし。 深度86.86~87.56m:変質帯。上盤37 度、下盤9度。角碟状、網目状に固結			27	73	[CL]												ケーシング					
-			* * * * * * * * * * * * * * *		ESURE Si U	Dg	Πg		E	3	シルト〜砂を挟む。 下面に幅20mmの暗褐色礫混じりシルト を挟む。		.46	1										-									
-			* * * * * * * * * * * * * * *		橙	l	IVg		ŀ		深度87.56~87.83m:変質帯。上盤9度 , 下盤45度。固結しており砂岩様、原 岩構造なし。 深度87.83~88.14m:変質帯。上盤45		[36]																				
— 90			**** **** ****		灰黄褐		Πg	cg		3	度. 下盤40度。角礫状、網目状に固結 シルト〜砂を挟む。 深度88.67〜90.84m:変質帯。上盤32		[37]		H _{al} .									-		11/29 89.95			-	_			泥 -
-			*		灰	Cg	₩g		+	2	度, 下盤72度, 角礫〜細礫状。90.43 mに幅1〜2mmの褐色固結粘土を挟む。		[30]	\parallel										-								0.0	泥 水 0 12
-			**** **** ****		褐 (::SURE						深度91.52~95.80m:変質帯。上盤66 度、下盤40度。高角度な節理により網 目状をなす。節理密集する。	19	17	#	Ħ									-									
<u> </u>			**** ****		- 64		Шg							[65]	Ħ									-									
-			*		灰黄褐	Dg	IVg			3		(12)		\parallel										-			170			, ,	105		
F			****		褐		Шg						[43]	\parallel	H									-			172			30.0	105		
-			**** ****				$\left \cdot \right $		-	\dashv	深度96.00~96.28m: 節理密集する。		26]	\parallel										-									
-			*		褐		₩g			2			2]	#	Ħ									-									
<u> </u>	-14.83	98 52	**** **** ****		灰	Cg		h-			マプニノし したしの途のほかのか	20	0]	\parallel		Lone								-									
		-50.02	* * * * * * * * * *	アプライト			Шg	bg	_		アプライト、上位との境界傾斜60度。 深度98.52~102.50m: 節理やや少なく なり、節理に沿って褐色化。	Щ	[39]		CM.	[CM]															No	5.17	(3/6

柱状図(60.00m~90.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
				種		級	ア 採	大コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取	ア		(cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	R Q D [%]	
			# # #	,,	II/PJ	,,	100	38	66	0 20 40 60 80 100	0
-			# # # ¹	ア		CM'	100	14	74		●61.89~62.22m
-			□###	プラ		CL'	100	12	12		・破砕部である。 - ・灰褐色の固結礫状部からなる。
- 1			# # # # 1 # # 1	1	灰	3	100	46	74		・走向・傾斜はN28°E50°Wである。
<u> </u>		1362-1304	####	1	褐	9		11/2/000	0.000		* 上端境界の傾斜は36°である。
- 1	9, 65	64. 81 65. 00	" + " + + + -	花崗岩		1000000	100	32	55	-++/	64.81~65.00m - ・黒雲母花崗岩を挟む。
-	7.04	00.00	####	アプラ イト		CM'	100	17	31	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	65.00∼68.84m -
- :	7. 84 7. 42		+ + + -	花崗斑岩	黄灰		100	20	45	- + + -	↑ 割れ目が多く,岩片状~柱状を呈する。 ↑ 66.72~67.04m
-			+ + + +		灰褐		100	20	30	- + •	* ・ 花崗斑岩である。 -
- 1		2	### ###	1	にぶい	27.1	100	25	56	- 	●68.84~69.25m(D-11破砕帯)
- 70		<u> </u>	-+++	_	黄橙	CL'	100	4	0		* ・破砕部である。 ・主に明黄色の固結礫状部からなる。 -
_			### <u>#</u>			CM' CL'	100	3	0	• † † † † † †	・明褐色の未固結粘土状部:累計幅2.2cm ・走向・傾斜はN10°E62°Wである。
L I			# " # " 4 # # # 4		_		100	15	15	- + + + - - - - - + + - + 1	・上端境界の傾斜は48°である。
L			+		火		100	6	0	4 + + + + + + + +	●70.92~70.94m(D-12破砕帯) ・破砕部である。 -
L			# # # # #			CM'	100	18	18	- + + + - - - - + +	・黄褐色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は1.7cmである。
			+ + + + +				100	10	10	- +	*・走向・傾斜はN18°E53°Wである。
		② [#### ####	h	にぶい	D'	100	6	0		<mark>- 上端境界の傾斜は41°, 下端境界の傾斜は⁻ 150°である。</mark>
			# # # # # # # #		黄橙 灰白	U	100	13	13	- 1	●75.60~75.90m(D-14破砕帯) ・破砕部である。
			+ + + +	ア	明褐灰		100	11	11		・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色
			# # # # 1 # # 1	プラ	灰 褐	οι '	100	28	40		の固結粘土状部からなる。 ・暗褐色の未固結粘土状部:累計幅1.8cm
			####	イト		CL'	100	15	26		・走向・傾斜はN14°E77°Wである。 ・上端境界の傾斜は46°、下端境界の傾斜は
- 80			"	1.	灰		100	21	56	_ + + + + - + + - + + + - + + + - + + + - + + + - +	2 8° である。
			*		- te		100	13	46		- <mark>7</mark> 5.90~77.48m - 変質している。
Ι			+ + + +		灰褐 褐灰	CM'	100	24	63	- + + + - + - + - 	- <mark>*</mark> 0.00~82.23m * ・割れ目が多く,一部角礫状を呈する。
r			# ## #		にぶい褐		100	49	61	- + + - + + + + + + + + + + + + + + + +	●82.83~85.61m(D-47破砕帯)
=			8+ + +8		にぶい		100	42	72	- + + + - + - - - + + + + + + + + +	・破砕部である。 ・褐灰~にぶい褐~にぶい黄橙~灰褐色の固
├			* + *		、灰褐/		100	30	65		結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN19°W36°Wである。
			# # # 		に <i>ぶ</i> い 黄橙	CL'	100	57	77	- + + + - - - - + +	· 上端境界の傾斜は67°, 下端境界の傾斜は
-			###		オリー		100	26	46		0° である。 85.96∼88.14m
-			# # # 1 # # # 1		オリー ブ黄 にぶい 黄橙		100	13	36		・変質している。 - ・にぶい黄橙~オリーブ黄色の固結した砂岩
-			# # # 1 # # # 1		にぶい橙		100	25	37	_ + + + + + +	様、網目状に固結シルト~砂を挟む角礫状を
\vdash			<u>"</u> #"#		灰黄褐		100	20	07		1 <mark>星する。</mark> 188.67~90.84m
											・変質している。 ・上端境界の傾斜は32°,下端境界の傾斜は
											72° である。
											・にぶい橙〜灰褐色の角礫状〜細礫状を呈する。
1 00		10 (7米国。)								

^{1-33, 1-43 (}分類a) ① 誤記。 1-41, 1-42 (分類d) ② 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-35 (分類b) ③ 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	鱼	碩		割	風	変	記		ア採	采取	率	岩岩	i i	4.	((標	準 貫 入	、試験)	試験	原	室	掘	掘	7 1.	_	給			6) 送 排
		///	'-	種		_		ħ	,,		1 0	- 1	(り 大コ			級盤	17	ᄭᆫ		(N 値	~ 深 ß	隻		原位置試験	山山	進	掘進速	径 (mm)	アチュ				水 水
尺	高	度	状	区区				目の				⊸ R		cm Q	_		(1	ע (ע	1						Æ	試		度	- 1			数	圧 :	\sim l \sim
(20)	(m)	(m)	図	分	雷田	車 欠	状	状能	1F	啠	事	~	. [9	%]	,	区分		包包	直						内水平載荷)	験		(5)/時)	壁保護	1	MPa	rpm	MPa :	ー 分 分
(m)	(11)	(11)	# # # # # # # # #	ア	0/4)	Cg	116	,ex	10		T		50	0 46	100	/1 73	- F	+		0	10 2	10 30	0	40 5	0 💆	利大	11 23 63,30		DZ.		35.0			1 0
-			* * * * * * * * * * * * * * *	プライー	_		Пg						/	Г	1/41						+				-				83/ケーシング					
-	15.72 15.55	65.00	* * * * * * * * * * * * * * *		灰褐	Cg	∭g ∭g ™g				深度65,00~68,84m:比較的高角度な 節理多く、岩片~柱状コア主体。		<u>/</u>	[55]							+								シング					-
}	14.00	66 67	**** *****	アプライ		Dg	IV g	bg		2	272 (1 27) 12 (1) 2 (1)		[31]		\prod	OM.					+													
-	13.70	67.04	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩	黄灰	1	II g IV g III g				花崗斑岩、上位、下位との境界傾斜6 5度。			[45]																				泥
-			**** **** ****		灰褐	06	IV g Ⅲ g					\mathbb{H}	[30]	T														141					0.0	水 0
}					にぶい黄絵	Eg		cg	r	4	深度68.84~68.91m:破砕帯(Hb)。上盤48度、下盤3度。幅25~90mm、明黄色シルト混じり砂礫状。	\mathcal{A}		[56]		[CN	43												76					
F 70			* * * * * * * * * * * * * * *			_	V g IV g		'		深度68.91~69.11m:破砕帯(Hc)。上盤3度, 下盤63度。幅3~20mm, 明褐色礫混じりシルト状。 深度69.11~69.15m:破砕帯(Hc)。上	(a)		Н		CL.					-								76/セメンティング					-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg Cg	Vg IVg				無63度、下盤不明。幅10mm 暗褐・灰白色縞状碟混じり砂質シルト状。 深度69.15~69.25m:破砕帯(Hj)。上					DL.													イング					
-			**** **** ****		灰	Og.	πg IVg ve	bg			盤63度,径10mm以下の角礫状。 深度70.92~70.94m:破砕帯(Hc)。上 盤41度、下盤50度。幅5~17mm、黄褐	1	isp								+				-		11/24 72,10				30.0	165		_
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐	l	IV g Ⅲ g			2	色礫混じり砂質シルト状。 深度71.98~72.10m:幅110mm, 黄褐色 シルト・砂混じり礫状。	N.									+				-			132			30.0		0.0	泥 水 7
-			**** **** ****									1	18]		#	OM.					-						11 25 74,30							
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Cg						1100	ŋ								-				-		74.30							-
-			****		灰白	Eg	VI g V g				深度75.60~75.72m:破砕帯(Hj)。上盤46度、下盤47度。幅90mm, 節理密集部。					D.	1				-													
-			* * * * * * * * * * * * *		明褐灰		IVg	cg		3	部。 深度75.72~75.90m:破砕帯(Hc)。上盤47度,下盤28度。 幅110mmの明黄色シルト状。75.78m,幅	13	3]								_				-									
-			* * * * * * * * * * * * * * *		灰	Eg D∉ Cg	vī∉ IVg				18mmの暗褐色粘土(傾斜20度)を挟む。 深度75.90~77.48m:変質帯。 深度77.35m:シーム。傾斜45度。幅1		7								-							142					0.0	泥 水 9
-			**** **** ****		褐	le .	Ⅲg IVg				~2mmの桃色粘土状。	\parallel	28 [4	(0)	#	SL"					-									ダブ				
_ 80			* * * * * * * * * * * * * * *		灰	Dg	14.8	cg		2	深度80,00~82,23m: 節理多く、一部		[26]								_				-					ルコアチ				-
-			**** **** ****		色	Cg	Шg				角礫状。密着した節理も多い。		21	[56]	\parallel												11/			ューブ				
-			**** **** ****	ア	灰褐		IVg					A ¹ B		[46]	\prod_{i}	3M.					_						27 81 50 28 81 95	68		ダイ			0.0	* 0
-				アプライ	褐灰	_	Пg				深度82.83~85.61m:破砕帯(Hi)。上			06	3 1	_					_									ヤビット				
-			***************************************	イト	にぶい相にぶい黄橙	Dα	IV g II g			3	盤67度、下盤10度。角礫〜細礫状、所々に砂・シルトを挟む。古い破砕帯。			49 [6							_									٦				
L			***		灰褐	1	Шg						/4		[72]																			-
-			*		しい	Cg	IVg Ⅲg			2	深度85.96~86.86m: 変質帯。下盤37	Ш	As a		55)													178	83		35.0	175		
-			****		黄 橙		I g				度, 固結しており砂岩様を示す。, 原 岩構造なし。 深度86.86~87.56m:変質帯。上盤37	Ш		57	[77]	[CL	_]												/ケーシング					
-			****		オリーブ州 CSU英語 に い い		Ιg		β		度、下盤9度。角碟状、網目状に固結 シルト〜砂を挟む。 下面に幅20mmの暗褐色礫混じりシルト を挟む。		6	[46]															7					
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		かい橙	Dg	IVg			2	深度87,56~87,83m:変質帯。上盤9度 、下盤45度。固結しており砂岩様、原 岩構造なし。	A	[36	9]																				
90			* * * * * * * * * * * * * * *		灰黄褐		Πg	cg		3	深度87.83~88.14m:変質帯。上盤45 度、下盤40度。角礫状、網目状に固結 シルト~砂を挟む。		25 [3]	73													11/29 89.95							
			* * * * * * * * * * * * * * *			Ca	IVg		-	2	深度88.67〜90.84m:変質帯。上盤32 度、下盤72度、角礫〜細礫状。90.43 mに幅1〜2mmの褐色固結粘土を挟む。	#	7 [30]		#	CL"																ľ	0.0	泥 水 12
-			* * * * * * * * * * * * * * *		灰 褐	Cg	Ц		ļ		深度91.52~95.80m:変質帯。上盤66 度、下盤40度。高角度な節理により網		Щ		Щ																			
-			**** **** ****		にぶい美絵		Шg				目状をなす。節理密集する。) 	Щ	55)																			
			* * * * * * * * * * * * *		灰	Dg	IVg			3			2	Ш	Щ																			
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		黄褐		Шg					2	20	43)	Ш													172			30.0	165		
			* * * * * * * * * * * * * * *						}				[26]		Ш																			
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				IVg				深度96.00~96.28m: 節理密集する。	1	[22]		Ш																			
			****		褐灰	Cg				2			[20]	Ш	#						\perp													
	-14.83	98.52	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト			Шg	bg			アプライト、上位との境界傾斜60度。 深度98.52~102.50m:節理やや少なく なり、節理に沿って褐色化。		20 [3	9]	Щ	OM. ECM	()																	(6)
											みり、即性に行りし物皆化。			_														LĪ		Ī		No	o.1[7	(3/6)

柱状図(90.00m~120.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	J	最	R	コア採取率	
175	175	<i>/</i> ^	11	種	ا	級	コ ア 採	最大	15 (5)		
尺	高	度	状	区		区	取	コア	Q	最大コア長 • (cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	R Q D [%]	
			+ + + +		灰黄褐	2	100	17	30	0 20 40 60 80 100	2
f I			# # # # 4 # # # # 4		灰褐		100	9	0	<u> </u>	-
h l			# " # " 1 # # # 4		にぶい黄橙		100	27	65	- + + 9 + +	_ <mark>9</mark> 1.52~95.80m _ <mark>・</mark> 変質している。
r I			####4		灰		100	12	12		· 高角度の割れ目が密集し網目状に分布する-
h			###4		黄褐	CL'	100	20	43	-+ + + +	*
ΙI			# # # # 1 # <u>#</u> # <u>#</u> 4		他		100	16	26	- + # - + + - + + + - + + + - + + + - + + + - + + - + + + - +	1 *
-			#### ####				100	12	22		1
			+	Ž.		3	100	10	20	+ + + + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + - + + + + + + + + + + + + +	*
1			# # # 1 # # # 1	8	褐灰		100	20	39	- T • T T	*
100			# " # " 1 # " # " 1		15-25.1		100	19	29	-++	*
- 100 L			####			CM'	100	18	46		<u> </u>
			"		灰褐		100	14	24	-+++	*
			# # # # #		褐灰		100	8	0	+	*
			####	ア	灰オリ	CL'	100	6	0	•+ + + - - - - + +	103. 46∼104. 00m
			+ # + # +	プラ	褐灰灰色	CM'	100	13	36		┃・変質している。 ┃・灰オリーブ色の砂質シルト状~礫状を呈す_
			# # # 1 # # # 4	1		CIVI	100	17	17	- + + + + +	る。 105.77~105.98m -
			# " # " 1 # # # 1	+	褐	CL' CM'	100	11	11		・ペグマタイトを挟む。 _
			####		灰	CL'	100	12	23	+\+	_
-			###		Ш		100	19	39		
- 110			# # # # #		灰色	0111	100	14	44	- + + +	113.38~113.56m ・変質している。
- 1			+ + + + + +			CM'	100	15	15		*・岩質は脆い。
- 1			#### !#!#	12 5 5 5	黄		100	9	0	++	*
-			# # # 1 # # # 4		灰	01.1	100	11	11	1 + + + -	
-			# # # # 4			CL'	100	3	0		・破砕部である。 -
 -			# ##		灰	D'	100	2	0		∦・右ずれ正断層センスである。 ・主に緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部 ⁻
- 1			###		白		100	10	10		∜からなる。 】・褐灰色の未固結粘土状部:累計幅3.3cm -
-			# # # # 1 # <u></u> # <u></u> 1		褐	CL'	100	9	0		↑・走向・傾斜はN8°W67°Wである。 _ ↓・上端境界の傾斜は51°である。
-			####		灰	UL	100	2	0		●117.77~117.79m(D-16破砕帯) - ・破砕部である。
E			* + *		1- 811	D'	100	23	42		・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累っ
			####		にぶい、黄橙	CL'	100	20	42	111111111	↑計幅は1.8cmである。 ・走向・傾斜はN11°W57°Wである。
											・上端境界の傾斜は36°, 下端境界の傾斜は 38°である。
											●118.22~118.25m(D-17破砕帯) ・破砕部である。
											・灰黄褐色の未固結粘土状部からなる。この
											累計幅は2.2cmである。 ・走向・傾斜はN11°E59°Wである。
											・上端境界の傾斜は36°, 下端境界の傾斜は 35°である。
											●118.66~119.29m(D-18破砕帯) ・破砕部である。
											・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。
											・明褐灰色の未固結粘土状部:累計幅2.6cm ・走向・傾斜はN14°E57°Wである。
											・上端境界の傾斜は16°, 下端境界の傾斜は 48°である。
	_	45/	ム粉。							l .	server smarth-500-500-500

^{1-44, 1-45 (}分類c) ① 岩種区分は同一のため削除。 1-35 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

±==	標	深	41	ш.	布	硒	_	宇川	富	亦	記	T=	コア	採取	平	岩	ш	ZI		(標準貫力	— 入 訂)	試験	原	安	掘	掘	ZI		<u>د</u> ک	(回	4 /		
標	保	沐	柱	岩	色	使		割れ	風	交	āС			(%) コア		石級		孔内水	_	(N 値				Dev 300	原位置試験			進	径	アチ		転			排 水
尺	高	度	状	種				目の				-	-	cm Q				(m)	N							験乳			度			I I	数	圧	量	量
				区			π <i>></i>	状						%]		区	分	測定月	値							内水平載	試	月	/	壁保		kN	rpm	MPa	(一/分	
(m)	(m)	(m)	図 *_*_*	分	調	軟	状	態	化	質	事	0		50	100	分	類	í H	ILE	0	10	20	30)	40 5	一荷	験	日	時	護	ŕ	MPa	\cup	J	カ ()	分 〇
-100			*		褐灰		₩g						19 [2	9]																						
			*		<i>I</i> X		Шg		β				18	[46]															172			30.0				
			*		灰褐	Cg		bg		2		H	14 [24]			CM.												11/								
			* * * * * * * * * * * * * * *		褐		п7-				深度102.50~103.42m: やや変質強く	(1)	H	\blacksquare														/30 102. 25								
			* * * * * * * * * *		<u>炭</u>	Eg		cg		4	, 一部角礫〜細礫状。 深度103.46〜104.00m:変質帯。上盤 45度。砂質シルト〜礫状。		Н			CL.																			泥	1
-			* * * * * * * * * *		褐灰			bg		2	100g, 50g 770 1 mm,	1	13	[36]		CM.										1								0.0	泥水 12	0 -
_			* * * * * * * * * * * * * *		灰色	1	Ⅲg IVg	bg				Щ	17			CM'										1			138			35.0				-
-			**** ****			Dg Cg Dg	IV g	cg			深度105.77~105.98m: ペグマタイト。 。 深度105.10~109.65m: 全体に開口お	1		Ш	Ш	CL.	[CM]									1			150			55.0				-
=			 		褐 灰	Cg	Шg	ag			よび密着した節理が多い。弱い変質を 受け、黄鉄鉱、セリサイトを挟む。		18			CM'										1										-
-			 				IV g			3		A	[23]	Ш		CL.										$\frac{1}{1}$										-
-			 			Dg	III g IV g IV g IV g	ag				H		[39]												-		12/1							4	_
—110			 	_	灰色		IVg ⊞g						14	[44]																						_
			**** ****	アプライ		OS.	IVg		α				(5 (15)		Ш	CM.																				
			**** ****	イト	黄	- R		bg				(t)																	125			30.0				
			**** ****		婝	Cg	IVg			2			1111	\mathbb{H}																						
			**** ****			Dg	V g			3	深度113.38~113.56m:変質帯。上盤 56度、下盤72度。岩質脆い。	4		\blacksquare		CL.												12/2								1
			 				37 ~	cg		2	深度114.31~114.32m: 破砕帯(Ho)。 上盤45度,下盤40度,幅1~10mm,褐	2 [0]	\parallel		Ш					İ								114,05			hi .					1
_			**		灰白	Eg	VIg			3		2 (19)				D.										1					ダブルコ			0.0	泥 水 13	0
-			#***# *****			Eg Dg	1	ag Cg		\vdash	~シルト混じり砂礫状、114.55m:幅5 ~15mm程度の灰白色シルトを挟む。 深度114.77~115.24m:破砕帯(Hj)。	1	Iq.	Ш	Ш											1				83	アチ					1
-			*		ᇩ	Cg Dg	IV,	ag		2	上盤55度, 下盤12度。原岩組織が残る シルト混じり砂礫状, 緑灰色シルトが 網目状に入る。	, ,	. 12			CI.										1				83/ケーシング	ューブ		165			-
-			*		褐灰	Cg Dg	Vg				深度115.24~115.47m:破砕帯(Hb)。 上盤12度、下盤4度。灰白色シルト混 じり砂礫状。	12	H	$^{+}$		°-										-			151	7	1	25.0				
-			#			Eg	VI g	cg			深度115.47~115.51m: 破砕帯(Hc)。 傾斜3度。幅5~12mmの灰白~褐灰色砂 混じり粘土状。 深度115.62~115.64m: 破砕帯(Hc)。	7		Н	Н	D.										-					ヤビット					$\frac{1}{1}$
—120			* * * * * * * * * * * * * * *				Ng II g	ba			上盤70度、下盤不明、幅15~30mm、灰 白色砂質シルト状。 深度115.98~116.18m:破砕帯(Hc)。	Ħ		[12]												-										\dashv
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg		bg			上盤30度, 下盤不明, 灰白色礫混じり 砂質シルト状。 深度117,55~117,56m:シーム。上盤	Ħ																12/4								-
_			**** **** ****		にない	Eg Dg Dg	Ιg	cg			38度、下盤27度、幅5~9mm, 灰白色礫 混じり砂質シルト状。 深度117.77~117.79m:破砕帯(Hc)。		*		87]													121.35								٦
	-37.00	122.98	* * * * * * * * * * * * * * *		華	Eg	1	bg cg bg			上盤36度,下盤38度。幅15~18mm,灰 白色礫混じりシルト質砂状。 深度118,22~118,25m :破砕帯(Ho)。				100														197			15.0		0.0	泥水 10	0
						Dg Eg	We .	cg			上盤36度, 下盤35度。幅22mm, 灰黄褐 色礫混じりシルト質砂状。 深度118.66~119.26m: 破砕帯(Hj)。 上盤16度, 下盤33度。幅10.5cm, 明褐	H			[72]		[CL]											12 5 123.65					-	_	\dashv	\dashv
			+ + + + + + + + + + + + +	花崗		Dg	V g IV g V g	bg			工金の戻。 中級の戻。 (神) (***)			\blacksquare															139			20.0		0.0	泥 水 12	0
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	斑岩	にぶい褐		IV g				深度119.26~119.29m:破砕帯(Hc)。 上盤33度, 下盤48度。幅22~30mm, 明 褐灰色礫混じり砂質シルト状。	10	\blacksquare	\parallel														12/6							12	
	-40. 24	126.56	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		145)	Eg	Vg Vlg IVg				深度119.29~139.84m区間は褐色化顕著。 深度119.47~119.57m:幅90mm, 黄橙			\parallel	Ħ											1		125, 85							T	7
-			***** **** **** **** ****		灰黄		Vg		r	3	色シルト混じり砂礫状。 深度120.31m:シーム。傾斜85~90度 。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27~28 度の密着した節理を見かけ1.0~1.5c		\parallel	\parallel	\parallel	CL.										1										-
-			* • * * * • • • * * *	アプラ	_	Cg					度の名名とに即程を見がけたので1.30 m逆断層的にずらす。 深度120.65m:シーム。傾斜74度。幅 1mmの灰白色粘土状。		1	Ш	Ш											1									泥	-
-			*	フイト	にぶい橙	Cg Dg	IVg				深度120.80m:シーム。傾斜75度。両 者とも傾斜35度の密着した節理を見か け1cm程度逆断層的にずらす。			\coprod	Ш							+				-			155			40.0		0.0	水 10	3 -
—130			* * * * * * * * * * * * * * *		12.5	- 04	1 1	cg			深度121.18~121.32m:変質帯。上盤 21度、下盤75~90度。灰白色礫混じり 固結粘土状。		au T	\mathbb{H}	\mathbb{H}							+				-										\dashv
-	<u>-44.02</u>	130.73	* * * * * + † + † † + † + † †			Dα	1				深度121.45m:シーム。傾斜85度。幅 3~5mmの明桃色粘土状。 深度121.85m:シーム。傾斜73度。幅	10	\blacksquare	\parallel	\parallel											-		1.0								-
-			# # # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	1-	Cg Dg	IVg				1~3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度 の密着した節理を見かけ0.5~1.0cm逆 断層的にずらす。 ※2mm123.02mm、水脈性、Lき	*	\parallel	\parallel	\parallel							\perp				-		12/ 22 131.80				\vdash	}	\dashv	+	닉
-	46 24	133.31		岩	にぶい橙	Dg Cg Dg Cg					深度122.75~122.92m:変質帯。上盤 48度、下盤67度。幅9~16cm, 明灰色 シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩, 上位との境界傾斜67度。	[0]		\parallel	\parallel																				泥	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * *	ア	位	Eg	IVg				北向政石, エロこの境が傾斜の投。 深度126.04~126.27m:変質帯。上盤 30度、下盤65度。径1cm以下の細片状 , 網目状に粘土細脈。		[12]	\parallel															161			35.0		0.0	水 6	0
			**** ****	フイト		Dg					アプライト、上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m:幅約15cm, 灰 黄色シルト混じり固結砂・礫状。	(1)		\parallel																						
																																	N	o. 1	/(4/	6)

柱状図(90.00m~120.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
	IN	<i>1</i> 21	1_	種		級	ア採	最大コ	72.50		
尺	高	度	状	区		区	取	ア	Q	(CI	
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	R Q D	
			# # # # # #		灰黄褐		100	17	30	0 20 40 60 80 1	00
			####		灰褐		100	9	0	- -	-
			# # # 1 # # # 1		にぶい、黄橙		100	27	65	-++•	91.52~95.80m ・変質している。
			####		灰	01.1	100	12	12		↓・高角度の割れ目が密集し網目状に分布する- ↓ ↓
-			"#"# ####		黄褐	CL'	100	20	43	-+ •	-
			# # # # 1		T/EJ		100	16	26	- + #	-
			# # # # # # # #				100	12	22		1
			####4 !#!#				100	10	20	+ +	-
			# # # # 1 # # # # 1		褐灰		100	20	39	T T T T T T T	-
100			# " # " 1 # " # " 1		35.23.1	2	100	19	29	+ +	2
- 100			####			CM'	100	18	46		-
			"		灰褐		100	14	24	- + + + - - - - + +	*
			# # # # # # #		褐灰		100	8	0	++++++++	<u> </u>
			####	ア	灰オリ	CL'	100	6	0	 	103. 46~104. 00m
			+ # + # +	プラ	褐灰灰色	CM'	100	13	36		┃┃・変質している。 ┃┃・灰オリーブ色の砂質シルト状~礫状を呈す_
			# # # 1 # # # 4	1		CIVI	100	17	17		ან. 105.77∼105.98m -
			# " # " 1 # # # 4	1	褐	CL' CM'	100	11	11	+++++++	・ペグマタイトを挟む。 -
-			####		灰	CL'	100	12	23	+\+	* -
- 1			"				100	19	39	-	-
- 110			# # # # # # #		灰色	OW.	100	14	44	- 	13.38~113.56m ・変質している。
-			+ + + + +			CM'	100	15	15		* 岩質は脆い。
-			#### !#!#		黄		100	9	0	++++++++	<u>*</u>
-			# # # # 1 # <u>#</u> # <u>#</u> 1		灰	01.1	100	11	11	+ +	- ●114.31~115.63m(D-15破砕帯)
-		r	# " # " 1 # # #	,		CL'	100	3	0		・破砕部である。 -
-		1	# ##		灰	D'	100	2	0	• + + + - - - - + + + • - - - - - - - -	┃¥ ・右ずれ正断層センスである。 ┃┃ ・主に緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部 [━]
- 1		L	####		白		100 100	2	0	+ +	↑からなる。 ・褐灰色の未固結粘土状部:累計幅3.3cm -
-			# # # # 1 # " # " 1		褐	CL'	100	10 9	0		・走向・傾斜はN8°W67°Wである。 - - - - - - - - -
-			####		灰	GL	100	2	0	7-1-1-1-1-1	●117.77~117.79m(D-16破砕帯) - ・破砕部である。
Е			* + *		1- 81 \	D'	100	23	42		・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累っ
\vdash			####		にぶい、黄橙	CL'	100	23	42	111111111	<mark>│ 計</mark> 幅は1.8cmである。 │・走向・傾斜はN11°W57°Wである。
											・上端境界の傾斜は36°, 下端境界の傾斜は38°である。
											●118.22~118.25m(D-17破砕帯) ・破砕部である。
											・灰黄褐色の未固結粘土状部からなる。この
											累計幅は2.2cmである。 ・走向・傾斜はN11°E59°Wである。
											・上端境界の傾斜は36°, 下端境界の傾斜は35°である。
											●118.66~119.29m(D-18破砕帯)
											・破砕部である。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。
											・明褐灰色の未固結粘土状部:累計幅2.6cm ・走向・傾斜はN14°E57°Wである。
											・上端境界の傾斜は16°, 下端境界の傾斜は48°である。
<u> </u>		、米五イ								<u> </u>	

^{1-46 (}分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-35 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

±==	標	深	41	ш.	布	硒	_	宇川	富	亦	記	T=	コア	採取	平	岩	ш	ZI		(標準貫力	— 入 訂)	試験	原	安	掘	掘	ZI		<u>د</u> ک	(回	4 /		
標	保	沐	柱	岩	色	使		割れ	風	交	āС			(%) コア		石級		孔内水	_	(N 値				Dev 300	原位置試験			進	径	アチ		転			排 水
尺	高	度	状	種				目の				-	-	cm Q				(m)	N							験乳			度			I I	数	圧	量	量
				区			π <i>></i>	状						%]		区	分	測定月	値							内水平載	試	月	/	壁保		kN 	rpm	MPa	(一/分	
(m)	(m)	(m)	図 *_*_*	分	調	軟	状	態	化	質	事	0		50	100	分	類	í H	ILE	0	10	20	30)	40 5	一荷	験	日	時	護	ŕ	MPa	\cup	J	カ ()	分 〇
-100			*		褐灰		₩g						19 [2	9]																						
			*		<i>I</i> X		Шg		β				18	[46]															172			30.0				
			*		灰褐	Cg		bg		2		H	14 [24]			CM.												11/								
			* * * * * * * * * * * * * * *		褐		п7-				深度102.50~103.42m: やや変質強く	(1)	H	\blacksquare														/30 102. 25								
			*		<u>炭</u>	Eg		cg		4	, 一部角礫〜細礫状。 深度103.46〜104.00m:変質帯。上盤 45度。砂質シルト〜礫状。		Н			GL.																			泥	1
-			* * * * * * * * * *		褐灰			bg		2	100g, 50g 770 1 mm,	1	13	[36]		CM.										1								0.0	泥水 12	0 -
_			* * * * * * * * * * * * * *		灰色	1	Ⅲg IVg	bg				Щ	17			CM'										1			138			35.0				-
-			**** ****			Dg Cg Dg	IV g	cg			深度105.77~105.98m: ペグマタイト。 。 深度105.10~109.65m: 全体に開口お	1		Ш	Ш	CL.	[CM]									1			150			55.0				-
=			 		褐 灰	Cg	Шg	ag			よび密着した節理が多い。弱い変質を 受け、黄鉄鉱、セリサイトを挟む。		18			CM'										1										-
-			 				IV g			3		A	[23]	Ш		CL.										$\frac{1}{1}$										-
-			 			Dg	III g IV g IV g IV g	ag				H		[39]												-		12/1							4	_
—110			 	_	灰色		IVg ⊞g						14	[44]																						_
			**** ****	アプライ		OS.	IVg		α				(5 (15)		Ш	CM.																				
			**** ****	イト	黄	- R		bg				(t)																	125			30.0				
			**** ****		婝	Cg	IVg			2			1111	\mathbb{H}																						
			**** ****			Dg	V g			3	深度113.38~113.56m:変質帯。上盤 56度、下盤72度。岩質脆い。	4		\blacksquare		CL.												12/2								1
			 				37 ~	cg		2	深度114.31~114.32m: 破砕帯(Ho)。 上盤45度,下盤40度,幅1~10mm,褐	2 [0]	\parallel		Ш					İ								114,05			hi .					1
_			**		灰白	Eg	VIg			3		2 (19)				D.										1					ダブルコ			0.0	泥 水 13	0
-			#***# *****			Eg Dg	1	ag Cg		\vdash	~シルト混じり砂礫状、114.55m:幅5 ~15mm程度の灰白色シルトを挟む。 深度114.77~115.24m:破砕帯(Hj)。	1	Iq.	Ш	Ш											1				83	アチ					1
-			*		ᇩ	Cg Dg	IV,	ag		2	上盤55度, 下盤12度。原岩組織が残る シルト混じり砂礫状, 緑灰色シルトが 網目状に入る。	, ,	. 12			CI.										1				83/ケーシング	ューブ		165			-
-			*		褐灰	Cg Dg	Vg				深度115.24~115.47m:破砕帯(Hb)。 上盤12度、下盤4度。灰白色シルト混 じり砂礫状。	12	H	$^{+}$		°-										-			151	7	1	25.0				
-			#			Eg	VI g	cg			深度115.47~115.51m: 破砕帯(Hc)。 傾斜3度。幅5~12mmの灰白~褐灰色砂 混じり粘土状。 深度115.62~115.64m: 破砕帯(Hc)。	7		Н	Н	D.										-					ヤビット					$\frac{1}{1}$
—120			* * * * * * * * * * * * * * *				Ng II g	ba			上盤70度、下盤不明、幅15~30mm、灰 白色砂質シルト状。 深度115.98~116.18m:破砕帯(Hc)。	Ħ		[12]												-										\dashv
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg		bg			上盤30度, 下盤不明, 灰白色礫混じり 砂質シルト状。 深度117,55~117,56m:シーム。上盤	Ħ																12/4								-
_			**** **** ****		にない	Eg Dg Dg	Ιg	cg			38度、下盤27度、幅5~9mm, 灰白色礫 混じり砂質シルト状。 深度117.77~117.79m:破砕帯(Hc)。		*		87]													121.35								٦
	-37.00	122.98	* * * * * * * * * * * * * * *		華	Eg	1	bg cg bg			上盤36度,下盤38度。幅15~18mm,灰 白色礫混じりシルト質砂状。 深度118,22~118,25m :破砕帯(Ho)。				100														197			15.0		0.0	泥水 10	0
						Dg Eg	We .	cg			上盤36度, 下盤35度。幅22mm, 灰黄褐 色礫混じりシルト質砂状。 深度118.66~119.26m: 破砕帯(Hj)。 上盤16度, 下盤33度。幅10.5cm, 明褐	H			[72]		[CL]											12 5 123.65					-		\dashv	\dashv
			+ + + + + + + + + + + + +	花崗		Dg	V g IV g V g	bg			工金の戻。 中級の戻。 (神) (***)			\blacksquare															139			20.0		0.0	泥 水 12	0
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	斑岩	にぶい褐		IV g				深度119.26~119.29m:破砕帯(Hc)。 上盤33度, 下盤48度。幅22~30mm, 明 褐灰色礫混じり砂質シルト状。	10	\blacksquare	\parallel														12/6							12	
	-40. 24	126.56	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		145)	Eg	Vg Vlg IVg				深度119.29~139.84m区間は褐色化顕著。 深度119.47~119.57m:幅90mm, 黄橙			\parallel	Ħ											1		125, 85							T	7
-			***** **** **** **** ****		灰黄		Vg		r	3	色シルト混じり砂礫状。 深度120.31m:シーム。傾斜85~90度 。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27~28 度の密着した節理を見かけ1.0~1.5c		\parallel	\parallel	\parallel	CL.										1										-
-			* • * * * • • • * * *	アプラ	_	Cg					度の名名とに即程を見がけたので1.30 m逆断層的にずらす。 深度120.65m:シーム。傾斜74度。幅 1mmの灰白色粘土状。		1	Ш	Ш											1									泥	-
-			*	フイト	にぶい橙	Cg Dg	IVg				深度120.80m:シーム。傾斜75度。両 者とも傾斜35度の密着した節理を見か け1cm程度逆断層的にずらす。			\coprod	Ш							+				-			155			40.0		0.0	水 10	3 -
—130			* * * * * * * * * * * * * * *		12.5	- 04	1 1	cg			深度121.18~121.32m:変質帯。上盤 21度、下盤75~90度。灰白色礫混じり 固結粘土状。		au T	\mathbb{H}	\mathbb{H}							+				-										\dashv
-	<u>-44.02</u>	130.73	* * * * * + † + † † + † + † †			Dα	1				深度121.45m:シーム。傾斜85度。幅 3~5mmの明桃色粘土状。 深度121.85m:シーム。傾斜73度。幅	10	\blacksquare	\parallel	\parallel											-										-
-			# # # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	1-	Cg Dg	IVg				1~3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度 の密着した節理を見かけ0.5~1.0cm逆 断層的にずらす。 ※2mm123.02mm、水脈性、Lき	*	\parallel	\parallel	\parallel							\perp				-		12/ 22 131.80				\vdash	}	\dashv	+	닉
-	46 24	133.31		岩	にぶい橙	Dg Cg Dg Cg					深度122.75~122.92m:変質帯。上盤 48度、下盤67度。幅9~16cm, 明灰色 シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩, 上位との境界傾斜67度。	[0]		\parallel	\parallel																				泥	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * *	ア	位	Eg	IVg				北向政石, エロこの境が傾斜の投。 深度126.04~126.27m:変質帯。上盤 30度、下盤65度。径1cm以下の細片状 , 網目状に粘土細脈。		[12]	\parallel															161			35.0		0.0	水 6	0
			**** ****	フイト		Dg					アプライト、上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m:幅約15cm, 灰 黄色シルト混じり固結砂・礫状。	(1)		\parallel																						
																																	N	o. 1	/(4/	6)

柱状図(120.00m~150.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
	高	#	状	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	記事
尺	同	度	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	配 争
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			# # # # # # # #	アプ		2	100	100	100	- + + + - - - - - - - ± - + + + + - - - - E E ±	2
-			# # # 4 # # # 4	ライ	にぶ		100	29	87		* <mark>1</mark> 21.18~121.32m ・変質している。 -
	-48. 52	122. 98	+	ŀ	が黄		100	100	100	- + + + - - - - - -	・灰白色の礫混じり固結粘土状を呈する。 122.75~122.92m
-			++++	花	橙		100	61	72		・変質している。
- 1			+ + + + -	崗斑	1- 201 \		100	3	0	• + + + + - - - - - + + + + + + +	∤・明灰色のシルト混じり砂礫状を呈する。 <mark>1</mark> 22.98~126.56m -
-	E0 10	100 50	++++	岩	にぶい 褐		100	5	0	*	・花崗斑岩である。 - 126.04~126.27m
- 1	-52. 10	126. 56	*		灰		100	11	11	++	・変質している。
-			"	アプ	黄		100	8	0		∦ <mark>・灰黄色の細片状を呈し、粘土細脈が網目状</mark> 【 <mark>に分布する。 -</mark> -
-			# # # # 1 # <u>#</u> # <u>#</u> 1	ライ	にぶい	CL'	100	11 11	21 11		10.56~130.73m 1・アプライトである。
- 130	-56, 27	130. 73	# " # " 1 # # # # .	۲	<u>橙</u> にぶい 黄橙	OL.	100	4	0		_
-	-30, 27	130. 73	+ + + + +	花			100	4	0	• + + + + -	·-
 			++++	崗斑	にぶ		100	9	0	`\L	-
 	-58. 85	133. 31	+ + +	岩	が一巻		100	12	12	+ + + +	- *
			#### ###		1111		100	4	0	→	*
			#### :#:#	アプ	に <i>ぷ</i> い 黄橙		100	9	0	-\r	130. 73~133. 31m
			# # # #	ラ	明		100	7	0	-	・花崗斑岩である。 [↑] 133.31~139.84m
			# # # # # #	イト	褐 灰		100	9	0	+ + + + + -	・アプライトである。 133.59~133.76m
			# # # # 4 # # # # 4	·	灰	OM'	100	12	22		・変質している。 ・固結した砂礫状を呈する。 -
140	-65, 38	139. 84	#### *****		褐	CM'	100	17	41	- + +	138. 03∼138. 45m
_ 140			++++			CL'	100	13	25	- 	・変質している。
ļ			++++			CM'	100	10	10		139.60~140.46m ・変質している。
-		:	+ + + + -	花岩		5,000,000,000	100	12	45	- • + + - - - - - - + - - + + - - - - - + -	・割れ目が多く、割れ目沿いに砂状を呈する
		1	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	崗 斑 岩	_{BB}		100	14	25	**	139.84~147.22m ・花崗斑岩である。
			++++	岩	明褐		100	5	0		143. 11~143. 28m
-			++++		灰	CL'	100	12	32		・変質している。 ・固結した砂礫状を呈する。
 -	-72. 76	147. 22	+ + + + -			OL	100	8	0	- + + +	★●144.35~144.37m ・破砕部である。 -
}	-73. 67	148. 13	# # # # # # * # * *	アプラ イト 花			100	14	14		・緑灰色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は2.0cmである。
-			++++	花崗斑岩			100	6 11	22	*+ + + - - - - - - + + -	・走向・傾斜はN10°E65°Wである。 ・上端境界の傾斜は47°,下端境界の傾斜は
\vdash	-		<u> </u>	岩			100	11	22		59°である。 144.35~155.33m
											・変質している。
											・岩片状を呈する。 147.22~148.13m
											・アプライトである。 148.13~154.83m
		*モ - /									・花崗斑岩である。

A	標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記	=	- :	ア拐	采取	率	岩岩	<u> </u>	L	(標準	貫入	試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔.	_	給		5 / 送	送	
Record R	1210	1216		111					れ	/33%	_	но					E		P] [. (直試			進	径	アチ	TH				
Column C	尺	高	度	状									⊢ F	⊕ R			D		(n	⁾ N							Æ			度	/	ューブ	圧	数	圧	量	量
## CALL CALL CALL CALL CALL CALL CALL CA					 			π>	状									凶 分	7 海	単し							水平載			cm /	壁 保	ビッ	.	rpm	MPa		/
## Company of the Com	(m)	(m)	(m)	図	分		軟	状	態	化	質	事 空度128 56~128 58m·亦質夢 上級	0	_	5	0	100	分为	Į É		1	0 10	20	30) .	40 5	荷	験	日	時	護	ŕ		\cup	$\overline{}$		<u>\(\) \(\)</u>
1	_			**** **** ****		ぶい黄檀	Dg					42度、下盤30度。固結砂状。 深度129.25~129.30m:変質帯。上盤	(B)	9																							_
100 100				**** **** ****	ヹ			IVg			3	深度129.76~129.79m:変質帯。下盤 29度、固結砂状。		7	H		+	CL.																			
100 100				**** **** ****	フライ	褐灰	\vdash	1 1				深度132.07~132.18m:変質帯。上盤 42度、下盤35度。暗黄灰色砂礫状。	[8]	9	H		H													161					0.0	泥水	0
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	-			**** ****			Eg Dg	Vg IVg				深度132.52~132.62m:変質帯。上盤	Ħ	1	[22]		Ħ																			6	
10 10 10 10 10 10 10 10	-			**** ****		灰褐	Cg	III g IVg III g			2	深度133.31~133.33m:幅約16mm, 灰 白色シルト混じり固結砂礫状。	Ħ	,,	,	411	\parallel	CM"																			-
100 100	—140	-52, 28	139,84	* * ++++ ++++			Dg	-			3	0~3mm, 灰白色シルト質砂状。 深度133.59~133.76m:変質帯。下盤			1		\parallel	CL.									-		12/23								_
10 10 10 10 10 10 10 10				+ + + + + + + + + + + + + + +			Cg	l i				深度135.00~138.45m: 亀裂多く、コ アは岩片~短柱状をなす。	H	10	[20]		\parallel	Н									$\frac{1}{2}$		140.50								-
10	-			+ + + + + + + + + + + + + + +					bg		2	6度,下盤50度。砂·礫状。 深度138.22~139.60m:比較的節理少	H	(10)	<u>'</u>		H	CM.																			-
10	-			+	花		Čε	ΙVg			3	深度139.60~140.46m:変質帯。上盤	Ħ	ľ	Щ	[45]	\parallel																35.0				-
10	-			+++++ +++++	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			1				深度139.84~154.83m:花崗斑岩。		1	[25]																						
10 10 10 10 10 10 10 10				++++ ++++	¹		Dg	IVg				径3~5mmの石英、長石及び黒雲母の斑 晶を5~30%程度含み、石基は径0.1~	4	+	H		+																				
112 11	_			++++ ++++ ++++								深度143.11~143.28m:変質帯。上盤 56度、下盤36度。固結砂礫状。	\exists	112	[32]															183					0.0	泥水	0
100 10	-			++++ ++++ ++++		褐灰	Dg	-				上盤47度, 下盤59度, 幅20mm, 固結黄 褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。		8	1																						-
100 100	-	-58.97	147.22	*	アブ					r		破砕帯、下盤39度。岩片状。 深度146.04~146.96m:全体に傾斜40		١,	4																			165			-
150 15	-	-59, 79	148, 13	**** ****	ライト							コアは岩片状を主体とする。 アプライト、上位、下位との境界漸移	H	1																							-
170 17	-			*					cg					.]	H		H	CL.																			-
10	—150			++++ ++++ ++++			Dg				3	深度150.00~151.51m:傾斜40~65度	#	1	[22]																						_
(3. 1) (3. 1)	-			* + * + * + * + * + * + * + * + * * *	花		Dg					の節理が5~6cm以下の間隔で密集し、	4]	Ħ														12 25 150. 70			ダブ		-		_	_
10 10 10 10 10 10 10 10	_			*	斑		Dg							Œ]																	ルコア					
177 179 17				*	14								4	1	H		\parallel														83 /	기					
175 17	-			+ + + + + + + + + + + + + + +		浅	Dg					により砂・礫状を呈するが、一般に節	Ħ	11	[24]		\parallel	[CI	L]												リンング	ブ/゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙					-
170 17	-	05.00	154.00	*		黄								9	Ħ		\parallel															ヿヿ					1
100 10	_	-65,80	154.83	**** ****			1	ша				0度。		6																179		111	25.0		0.0	泥水	0
100 10	-			**** ****		ぶ 福 田		IVg	DE		2	アプライトは深度159.15mまで褐色化 するが、これ以深、褐色化していない 。	H		[31]			CM'									$\frac{1}{2}$									8	-
10	-			**** ****	アプ	褐灰	Cg	Шg	bg			織はほぼ均質である。斑晶の量は非常 に少ない。	H		[36	8)		Н																			-
特徴 Oc	-			*	1	ぶ	D _d Cg	Ve				深度155.33~156.95m: 比較的節理少 なく、短柱~柱状をなす。	d	9			\parallel																				-
100 10	_			*		橙	Dε Cg	10 8				傾斜30~50度および85度程度の節理が		13 [13	3)		\parallel																				
191 19		-70, 41	159.85	**** ****			Dg				3	深度159.31~159.39m:変質帯。幅32 mm, 黄灰色砂質シルト状。	H	10 [10]	1			CL.											12/								
191 175 17		1		****	花崗		Cg					~8mmの黒灰色シルト状。		12 [12															160.10							\exists	╡
191 19	-	-71.89	161.48	* + * + * + * * * * * * * * * * * * * *	岩		Dg					۰	4	1	Ħ		\parallel																				1
191 1	-			* * * * * * * * * *		明褐	Cg Ĉe Dg						1	11			Ħ										1										-
- 170				**** ****		灰							H	/L	24		+										-			191					0.0	泥水	0 -
*** *** *** *** *** *** *** *** *** *	-			**** ****					cg		2			1	\prod	[47]	\blacksquare	CM'									-										-
175 17	_			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	Н		α		52度、下盤55度。砂礫状。			22	Щ	[/2]	Н																			4
1				* * * * * * * * * * * * * *	アプ		\vdash	π, [59度、下盤56度。幅5~8mmの暗灰色礫 混じりシルト状。		1 2	\parallel	Ш	\parallel												1/.				35.0	175			
1				* * * * * * * * * * * * * * *	ライト		-	Пg				56度、下盤50度。全体に固結砂状を呈	\parallel	N	26		\mathbb{H}	CL.					_			1			166,30							+	\dashv
- 170				**** **** ****	'`	嬰	Dg						H	Ţ		M	H	Ш																			
T T T T T T T T T T				* * * * * * * * * * * * * * *		褐		Шg			4		H	1	\parallel	Ħ	[75]													175					0.0	泥水	٦
-170				* * * * * * * * * * * * * * *			Eg						\parallel	1	29	Ш	601	الا												"					"	10	
******	—170			* * * * * * * * * * * * * * *		灰岩	Dg	IV g			H	1~3mm, 灰色シルト状。		1	\parallel	\prod	71	CL.									-										\dashv
				****			Cg	H	ag		2	2㎜, 灰色シルト状。	[9]	1	Ш	Ш	Щ	CM"	+	+										H			_	N	o. 1	7(5,	⁷ 6)

柱状図(120.00m~150.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
	<u> </u>	#	7175	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア 長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			# # # + # : # : +	アプ			100	100	100	- + + + - - - - + + ± 4 - + + + - - - - - - - ± 1	8
			+ " + " + + " + " +	ライ	にぶ		100	29	87	-+++====+	121.18~121.32m 1・変質している。 -
	-48. 52	122. 98	#### +###	1	が黄		100	100	100	- + + + + + + + +	・灰白色の礫混じり固結粘土状を呈する。
.			++++	花	橙		100	61	72		122.75~122.92m ・変質している。
L			+ + + + - + + + + -	崗斑	1- 501.		100	3	0	• + + + + - - - - - + + 	・明灰色のシルト混じり砂礫状を呈する。 122.98~126.56m
-			++++	岩	にぶい 褐		100	5	0	•	・花崗斑岩である。
- 1	-52. 10	126. 56	:+:+		灰		100	11	11	++	126.04~126.27m ・変質している。
H			*	アプ	黄	1	100	8	0		・灰黄色の細片状を呈し、粘土細脈が網目状 に分布する。
-			# " # " + # " # " +	ライ	にぶい	CL'	100	11	21		126.56~130.73m ・アプライトである。
- 130			#### ####	ŀ	<u>橙</u> にぶい 黄橙	UL	100	11	11		-
	-56. 27	130. 73	+ + + + - ; + ; +	花	異位		100	4	0	*	
-			++++	崗斑	にぶ		100	9	0		-
-	-58. 85	133. 31	+ + + -	岩	い		100	12	12	T T T T T T T T T T	I-
-			#### :#:#		橙	1	100	4	0		:-
-			####	ア	にぶい	2	100	9	0	-\f + + 2	
h			# # # # 1	プラ	明		100	7	0	- 14 + 4 -1 -1 - 1 - 1 - 1 + + - - 	・花崗斑岩である。 133.31~139.84m
f			+ + + + +	イト	褐灰		100	9	0	- 	・アプライトである。
			#### :#:#	1.	灰		100	12	22	- •	33.59~133.76m
1	-65, 38	139. 84	+ + + +		褐	CM'	100	17	41	- 	・固結した砂礫状を呈する。 - <mark>1</mark> 38.03~138.45m
- 140			++++			CL'	100	13	25	- +/+ - - - + + - - -	│ <mark>・</mark> 変質している。
			+ + + + -			CM'	100	10	10		
			++++	花崗		OIII	100	12	45	- + + + -	・割れ目が多く、割れ目沿いに砂状を呈する
			++++	崗 斑 岩			100	14	25	- 	39. 84~147. 22m
			++++	岩	明褐		100	5	0	4+++	↑ 花崗斑岩である。 43.11~143.28m _
-			+		灰	01.1	100	12	32	- •	√・変質している。 ・固結した砂礫状を呈する。
-	-72, 76	147. 22	++++			CL'	100	8	0	- + + + - - - - + + + + + + + + + + +	●144.35~144.37m ・破砕部である。 -
- [148. 13	# # 1	アプラ イト]		100	14	14		・緑灰色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は2.0cmである。
н			++++	花崗斑岩		1	100	6	0		・走向・傾斜はN10°E65°Wである。 _
\square			+ + + +	岩			100	11	22	- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・上端境界の傾斜は47°, 下端境界の傾斜は 5 9°である。
											144.35~155.33m ・変質している。
											・岩片状を呈する。 147.22~148.13m
											・アプライトである。 148.13~154.83m
											・花崗斑岩である。

標	標	深	柱	岩	色	硬	<u>_</u>	割	風	変	信	採取率 岩岩 孔 (標準貫入試験)試験 原 室 掘 排	孔		給			/ 6 送	<i>)</i> 排
				種			ア	れ				%) コア長 級盤位 の人	(mm)	1		転	水	水	水
尺	高	度	状	区			形	目の				©	孔	リブ	圧	数	圧	$\overline{}$	量 (`
(m)	(m) (m)	図	分	調	軟	状	状態		質	事	%」	保護	1 "	kN MPa	rpm	MPa	-/分)	-/分
			* * * * *		にぶい黄檀						深度128,56~128,58m:変質帯。上盤 42度,下盤30度。固結砂状。	50 100 0 10 20 30 40 50 0 0 0 0	+					Ť	_
-			****			Dg	IVg				深度129.25~129.30m:変質帯。上盤 38度、下盤32度。固結砂状。 深度129.76~129.79m:変質帯。下盤 29度、固結砂状。								-
-			****	アプライ	明褐灰	Cg	4			3	花崗斑岩、上位との境界漸移的。 深度132.07~132.18m:変質帯。上盤 42度、下盤35度。暗黄灰色砂礫状。	ac'						泥	-
-			****	1 1		Dg Es Dg	Vg IVg	cg			深度132.25m:シーム。傾斜31度。幅 1~3mmの灰オリーブ色固結シルト状。 深度132.52~132.62m:変質帯。上盤 52度、下盤25度。砂礫状。						0.0	水 6	0 -
_			* * * * * * * * * * * * *		灰褐	Cg	∭g Ng Ba			2	2012년、下温20년。1944代。 アプライト、上位との境界漸移的。 深度133.31~133.33m:幅約16mm、灰 白色シルト混じり固結砂礫状。	OX OX							-
—140	52.2	8 139.8	1			Dg				3	深度133.43m:シーム。傾斜40度。幅 0~3mm, 灰白色シルト質砂状。 深度133.59~133.76m:変質帯。下盤	0. 12/3 2/3 2/4 (4.50)							-
-			++++	-		Cg	₩g	bg			85度、固結砂礫状。 深度135.00~138.45m: 亀裂多く、コ アは岩片~短柱状をなす。 深度138.03~138.45m: 変質帯。上盤	/							-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			N.	Шg			2	6度, 下盤50度。砂・礫状。 深度138.22~139.60m: 比較的節理少 なく、柱状コア主体。	OK OK							-
_			++++	花崗		Cg Cg Dg	III g IV g V s			3	深度139.60~140.46m:変質帯。上盤 52度、下盤68度。節理発達し、砂状化 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、				35.0				-
_			+++++	花崗斑岩		Cg Dg	1			2	深度139.84~154.83m:花崗斑岩。 花崗斑岩は褐色化、変質が強い。 径3~5mmの石英、長石及び黒雲母の斑								-
_			+++++	-		Gg Dg	IV g				晶を5~30%程度含み、石基は径0.1~ 0.2mm程度で黒雲母を含む。 深度143.11~143.28m:変質帯。上盤							泥	-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明褐灰	Cg	V.				56度、下盤36度。固結砂礫状。 深度144.35~144.37m:破砕帯(Hc)。 上盤47度、下盤59度、幅20mm、固結黄 褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。	18	3				0.0	水 7	0 -
_	-58.9	7 147. 2	2 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	7	灰	Dg	1		r		深度144.35~155.33m:変質帯。上盤 破砕帯、下盤39度。岩片状。 深度146.04~146.96m:全体に傾斜40								-
-	-59.7	9 148, 1	* * * * * * * * 3 * * * * + + + + +	アプライト		Dg Cg	IVg				〜60度の節理が1〜3cm間隔で発達し、 コアは岩片状を主体とする。 アプライト、上位、下位との境界漸移 的。					165			-
-			+++++			Dg	Шg	cg			n.o.	or,							-
—150			++++			Dg Cg				3	深度150.00~151.51m:傾斜40~65度	12./							_
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗		Dg					の節理が5〜6cm以下の間隔で密集し、 岩片〜細片状を呈する。	12/25	1	ダブル					_
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩		Dg	₩g							コアチ					-
_			+++++			Cg					深度152,95~153,86m:部分的に変質	[OL]	83/ケーシング	ューブ					-
-			† † † † † † † † † † † † † † † † † † †		浅黄	Dg	Шg				により砂・礫状を呈するが、一般に節 理が少なく、短柱~柱状をなす。		ング	14					_
_	-65, 8	6 154.8	3 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明褐灰	1	₩g				アプライト. 上位との境界傾斜10~2 0度。			ヤビッ				泥	_
_			****		にぶい褐		IV g	1 25		2	深度154.83~187.52m:アプライト。 アプライトは深度159.15mまで褐色化 するが、これ以深、褐色化していない	17 17 17 17 17 17 17 17)	1	25.0		0.0	水 8	0 -
_			****	アプ	明 褐 灰	Cg	IV g Ⅲ g				。 アプライトの石基は径0.2mm程度で組 織はほぼ均質である。斑晶の量は非常 に少ない。	31							
			****	ライト	にぶ	Da Cg	IVg Vg IVg				深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく、短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m:変質帯。上盤								_
_			* * * * * * * * * * * * *		松	Dg Cg	IV g				87度、下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が 発達し、砂質シルト状~岩片状を呈す								
—160	70.4	1 159.8	**** **** *:::::			Dg				3	る。 深度159.31~159.39m:変質帯。幅32 mm, 黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m:シーム。傾斜39度。幅5	12/ ₂₆							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	- 花崗斑岩		Cg	₩g				~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩、上位、下位との境界不明瞭	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
	-71.8	9 161.4	****	岩	RB	Dg Cg													
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		明褐灰	Cg Dg Cg	Шg				深度162.57m:シーム。傾斜63度。幅 2~3mm, 暗灰色礫混じり砂状。							泥	
			****				III g			2		15 OW	1				0.0	泥水7	0
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *			Cg	Шg	l .		3	深度164.52~165.06m:変質帯。上盤 52度、下盤55度。砂礫状。	172							
			****	アプ		Cg Dg			α	2	32度、下盤33度。19線状。 深度165.60~165.61m:シーム。上盤 59度、下盤56度。幅5~8mmの暗灰色樂 混じりシルト状。				35.0	175			
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト		- Fa	Пg				深度165.61~170.14m:変質帯。上盤 56度、下盤50度。全体に固結砂状を呈 する。酸化し明黄褐色を帯びる。	0L 8 66.30	1					+	-
			* * * * * * * * * * * * *		明	Dg	Шg Ig			4									1
-			* * * * *		黄褐	Eg	Шg			<u> </u>		1178 0	5				0.0	泥 水 10	0
			* * * * * * * * * * * * * * *				Πg			L	 深度169.72m:シーム。傾斜55度。幅							10	
—170			* * * * * * * * * * * * * * * * *		灰黄	I Vg	IVσ			2	深度 109. /zm: シーム。傾斜50度。幅 1~3mm,灰色シルト状。 深度 169. /4m: シーム。傾斜56度。幅 2mm,灰色シルト状。	0:							_
					灰炭褐			ag					\perp			N	0.1	7(5	⁷ 6)

柱状図(150.00m~180.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	採		Q	最大コア長	. 記事
	IDI	1SC	1/1	区		区	取率	ア長	D	R Q D	1)
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	00
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明	2	100	4	0		<u>*</u>
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	褐灰		100	11	11	+++	*
_			++++	斑	0700	CL'	100	6	0		*
_		1	+	岩	浅黄	,	100	12	24	- •	<u>*</u>
_	-80, 37	154. 83	+ + + + +		明褐灰		100	9	0	- + + + + +	* 154.83∼159.85m -
_			"	ァ	にぶい 褐	CM'	100	16	31	- 1	*・アプライトである。
_			+ + + +	アプライ	明褐灰	Oili	100	14	36	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	*
_ ①			*	フイ	にぶ		100	9	0	- + + + +	↓156.97~162.43m - ・変質している。
-			"	+	橙		100	13	13		*・割れ目が多く,砂質シルト状〜岩片状を呈 する。
- 160		159. 85	* 	花	-	CL'	100	10	10	+ + + + + - • + +	<u>*</u>
-	07 02	161. 48	+	花崗斑岩			100	12	12		_∗ 159.85~161.48m - 花崗斑岩である。
-	-67. 02	101. 40	+ + + +		明明		100	3	0	+ + + - - - - - + + - - - - - - - - - - - - -	* .
-			+ + + +		褐灰		100	12	23		161. 48~187. 52m
-			# # # + 1 # # # 1			CM'	100	24	47	- + +++ + -	∤・アプライトである。 -
-			# # # 1				100	22	72	7 1 1 1 1 1 1 T	】 164.52~165.06m *・変質している。
-			+			CL'	100	12	12	L + + - - - - - + + + + + + + + +	・砂礫状を呈する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
_			# # # 1		明明	OL	100	26 64	26 79		*165.61~170.14m ・変質している。
-			# # # † # # # †		黄褐		100	19	75	- + + + → → - - }•	↑・固結した砂状を呈する。
-			# # # 4 # # # 4	7	1463	D'	100	29	69		1
- 170			+ + + +	プ	灰黄	CL'	100	6	0	•1 1 1 1 1 1 1 1	-
-			# # # # # #	アプライ	灰黄褐灰オリ	CM'	100	13	13	1++	171. 35∼172. 20m
-			# # # 1	+	一ブ	CL'	100	9	0	+++	・変質している。 ・割れ目が密集し、岩片状を呈する。
-			+ + + +		灰黄	OW.	100	31	43		BANCE ALL DE LA COLLEGE
-			# # # 1 # # # #		褐	CM'	100	40	84	++++	*
-			# # # 1 # # #		\vdash	CL'	100	14	14		*
-			+			OL.	100	42	67	-+++	*
-			+ + + +		褐		100	38	85		176.66~176.80m ・変質している。
			# # # 1 # # # 1	ă P	灰	CM'	100	35	72	+ + + + + - - - + +	・岩質は脆い。
-			") (i			100	22	40	- + - ×	*
			т.т.		\vdash		10000000	0.00	50601761		
1-3	2 / / \	华王 - /	<u> </u>				Ь			L	

標	標	深	柱	岩	色	硒	П	宔	届	亦	記		コア採取	× +	岩岩	孔		(標準貫入	試験) 試験	原	安	掘	掘	ZI	_	絵	Ť	6 / 送 i	6) 送 排
128	121	<i>**</i> *	1-					れ	/33%		ЦU	- 1	<u>←</u> (%) 最大コア:			内水	_	(N 値・	~ 深度	Ę	原位置試験			進	径	アチ		.	ル 水 ²	. .
尺	高	度	状	種				目					→ cm R Q I		盤	位 (m)	N					竉	M	進	度	(mm)	ューブ	圧	数	圧	量量
				区			形	の 状					RQ [%]	, 2	分							内水平	試	月	cm	孔壁	Ľ	ŔÑ	rpm	ADo	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事		50	100	類	月日	値	0	10 20	30	40	7.水平載荷)	験	日	時)	保護		MPa	r pili i	- 2	分分
			**** ****		灰黄褐			П	•	3	深度171,35~172,20m:変質帯。上盤 66度、下盤47度。傾斜60度,90度およ び20度程度の節理が密集し,径1~3c		13 [i3]	CM	[CL]											83/ケーシ					
			* * * * * * * * * *		-	Cg		**	-	_	m程度の岩片状コアをなす。	π.	9	╬				İ							175	5	ļ	35.0		0.0	尼 - 水 0
}			**** ****		<u></u>	Uį.	IV g				深度173.18~175.00m: 節理少なく岩 片も比較的新鮮。		31					ŀ						1/9							-
-			* * * * * * * * * * * * * *		黄褐		II g II g	ag			71 O204XII J 91 (m) ([#3]	CM										9 173.60			Ī		Ī		-
-			**** ****			Cg	Шg			2		þ	49 [84]	Щ																	
			* * * * * * * * * * * *				IVg	cg					14]	CL															175		
			**** ****			Dg	II g IV g	ag		3	W. C. 170 00 T. E. W. 180		42 [6	ŋ											140			40.0		0.0	尼 水 0
<u> </u>			**** ****				Шg Пg				深度176.66~176.80m:変質帯。上盤 76度、下盤80度。岩質脆い。 深度176.74m:シーム。傾斜55~75度	þ	38 (85)																		6 -
-			**** ****	_			⊞g ∏g ∭g				。幅0.2mmの緑灰色シルト状。傾斜38 度の節理が見かけ0.7cm正断層的にず れる。		135	4				1													-
-			* * * * * * * * * *	アプラ			IIg IVg							72]								-									
180			**** ****	イト			III g IV g	Ш					[40]	Д										1 12 179.80							+
			**** ****				II g IV g				深度180.42~181.92m: 節理多く、短柱状コア主体。	H	28 [41]	$^{+}$																	
			**** ****		褐灰		II g					F	35 (35)	\blacksquare				Ī													
†			*				Πg			2	深度181.92~185.02m: 比較的節理少なく、柱状~長柱状コアを主体とする	t	49		[CM]																-
-			****					-0		-	۰	H		1				1				-			133		ター	45.0		0.0	尼 水 0 - 8
-			**** ****				Шg						[55]	H _{CM}													ブルコ				
			****			Cg						t	29 79	#													アチュ				
			*				IV g III g	\vdash	α		深度185.02~185.62m: 傾斜20~50度 および80度の節理が多く発達する。	-	18 [50]	$^{+}$										1 /			ヺ				
			**** ****				IVg IIIg					F	34 [60]					Ī						/15 186. 25		76	ダイ		-		+1
-	-95, 49	187.52	**** ****				II g	bg			花崗斑岩, 上位との境界傾斜50度。		48	761				•									イヤビッ		165		-
}			+++++				I g				深度187.52~200.00m: 花崗斑岩。 径3~5mmの石英斑晶と径10mm程度のカ	H		.741				-				+					۲				-
-			# # # # # # # # # # # # # # #				Πg	cg	Ī	3	60%程度含み、石基は径0.5mm程度で 、組織は全体に均質である。		[47]	\blacksquare																	
—190			+ T + T + T + T + T + T + T + T + T + T		灰黄		Ιg				深度188.38~188.55m:変質帯。傾斜 79度の節理に沿って変質。岩片脆い。		41	971																	
			++++		褐		III g III g IV g III g	bg			深度190.25~191.50m: 高角度な節理 発達。	H	8 16	n											166		!	55.0		0.0	尼 水 0 7
			++++				Щg					F	38 [52]					İ													
<u> </u>			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g			2		E	57					ŀ				-									-
-			† + † † † † + † † †	花		Dg Cg	IVg					H		+								+									-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	褐灰	Dg	II g						(55)	Ħ										1/							
			++++ ++++ ++++	岩		Dg	IVg					H	\$17 [61]	CL										1 16 194.40			Ì				
						Cg	III g IV g				深度195.85~200.00m:変質帯。上盤	F	22	75]																	
			#####			Dg	II g	cg			76度。灰白色粘土細脈が網目状に入る 。	þ	38 [85]		[CL]																
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい	Cg	Пg					+	30 [85]	СМ								+			182			40.0	170	0.0	尼 水 8
-					書	Dø	П			3		F	[48]	\prod								-									Ĭ
			####		1豆		IVg					þ		CL																	
L .	106 <u>.</u> 80	200 <u>.</u> 00				Dg Cg	Ιg					_}	60	CM										1/17							
												I												200.00							

柱状図(150.00m~180.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	_	最	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア 採	天コ	Q	最大コア長	記事
	回	反	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	ᇿ
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	ΓΛ/ 7	
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明		100	4	0	•+++	
L I			+	花崗	褐灰		100	11	11	+++	
			++++	斑		CL'	100	6	0	(+ + + - - - - + + - -	
			* + * + 1 * + * + 1	岩	浅黄		100	12	24	• - - - - - - - - -	,
_	-80. 37	154. 83	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明褐灰		100	9	0	-++	154, 83~159, 85m
_			####	7	にぶい褐	CM'	100	16	31	- + L	・アプライトである。
			#### ####	アプライ	明褐灰	CM'	100	14	36	- 	
_			####1	ライ	にぶ		100	9	0		156.97~162.43m ・変質している。
			####	ŀ	を		100	13	13		・割れ目が多く、砂質シルト状〜岩片状を呈する。
- 160	-85. 39	159. 85	####1 #.#. 1	花		CL'	100	10	10	++	<u>-</u>
_		161. 48	++++ ++++	花崗斑			100	12	12	+ +	159.85~161.48m ・花崗斑岩である。
<u> </u>	-87. 02	161. 48	" # " #]	岩	明		100	3	0	(+++- - - - -++-	Service delication (1) comments
			#		褐灰		100	12	23		161. 48~187. 52m
_			####1		32.00	CM'	100	24	47	- + +++ 1 - 1 - 1 - 1 - + + ·	・アプライトである。
			#### ###				100	22	72		164. 52~165. 06m
_			####1 ####1		\vdash	OL '	100	12	12	+ + + +	・変質している。 ・砂礫状を呈する。
_			####4			CL'	100	26	26		165.61~170.14m ・変質している。
_			#### 		明黄		100	64	79	- + + + + - + - +	・固結した砂状を呈する。
_			#### ####		褐	D'	100	19	75		*
- 170			####1	アプ		CL'	100	29	69	- + + > + +	
_			+#+#	アプライ	灰黄 灰黄褐	CM'	100	6	0	**	
_			#### ####	1	灰オリ ーブ	CL(1)	100	13	13	++	171.35~172.20m ・変質している。
-			####1		灰		100	9	0	+ + + +	∤ · 割れ目が密集し、岩片状を呈する。
			;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;		黄褐	CM'	100	31	43	++++	*
-			####		120		100	40	84	-+++	* -
			####1			CL'	100	14	14		*
-			#### ####		褐	1	100	42	67	-+++ 	76. 66∼176. 80m
_			####1 ####1		灰	CM'	100	38	85		・変質している。・ 岩質は脆い。
.			####1				100	35	72	- + + + + - - - - + + + + + + + + + + +	A PE IONIE V .º
			" # " # ₄				100	22	40		*

1-35(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硒	П	宔	届	亦	記		コア採取	× +	岩岩	孔		(標準貫入	試験) 試験	原	安	掘	掘	ZI	_	絵	Ť	6 / 送 i	6) 送 排
128	121	<i>**</i> *	1-					れ	/33%		ЦU	- 1	<u>←</u> (%) 最大コア:			内水	_	(N 値・	~ 深度	Ę	原位置試験			進	径	アチ		.	ル 水 ²	. .
尺	高	度	状	種				目					→ cm R Q I		盤	位 (m)	N					竉	M	進	度	(mm)	ューブ	圧	数	圧	量量
				区			形	の 状					RQ [%]	, 2	分							内水平	試	月	cm	孔壁	Ľ	ŔÑ	rpm	ADo	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事		50	100	類	月日	値	0	10 20	30	40	7.水平載荷)	験	日	時)	保護		MPa	r pili i	- 2	分分
			**** ****		灰黄褐			П	•	3	深度171,35~172,20m:変質帯。上盤 66度、下盤47度。傾斜60度,90度およ び20度程度の節理が密集し,径1~3c		13 [i3]	CM	[CL]											83/ケーシ					
			* * * * * * * * * *		-	Cg		**	-	_	m程度の岩片状コアをなす。	π.	9	╬				İ							175	5	ļ	35.0		0.0	尼 - 水 0
}			**** ****		<u></u>	Uį.	IV g				深度173.18~175.00m: 節理少なく岩 片も比較的新鮮。		31					ŀ						1/9							-
-			* * * * * * * * * * * * * *		黄褐		II g II g	ag			71 O204XII J 91 (MI) 0		[#3]	CM										9 173.60			Ī		Ī		-
-			**** ****			Cg	Шg			2		þ	49 [84]	Щ																	
			* * * * * * * * * * * *				IVg	cg					14]	CL															175		
			**** ****			Dg	II g IV g	ag		3	W. C. 170 00 T. E. W. 180		42 [6	ŋ											140			40.0		0.0	尼 水 0
<u> </u>			**** ****				Шg Пg				深度176.66~176.80m:変質帯。上盤 76度、下盤80度。岩質脆い。 深度176.74m:シーム。傾斜55~75度	þ	38 (85)																		6 -
-			**** ****	_			⊞g ∏g ∭g				。幅0.2mmの緑灰色シルト状。傾斜38 度の節理が見かけ0.7cm正断層的にず れる。		135	4				1													-
-			* * * * * * * * * *	アプラ			IIg IVg							72]								-									
180			**** ****	イト			III g IV g	Ш					[40]	Д										1 12 179.80							+
			**** ****				II g IV g				深度180.42~181.92m: 節理多く、短柱状コア主体。	H	28 [41]	$^{+}$																	
			**** ****		褐灰		II g					F	35 [35]	\blacksquare				Ī													
<u> </u>			*				Πg			2	深度181.92~185.02m: 比較的節理少なく、柱状~長柱状コアを主体とする	t	49		[CM]			•													-
-			****					-0		-	۰	H		1				1				-			133		ター	45.0	ŀ	0.0	尼 水 0 - 8
-			**** ****				Шg						[55]	H _{CM}													ブルコ				
			****			Cg						t	29 79	# #													アチュ				
			*				IV g III g	\vdash	α		深度185.02~185.62m: 傾斜20~50度 および80度の節理が多く発達する。	-	18 [50]	$^{+}$										1 /			ヺ				
			**** ****				IVg IIIg					F	34 [60]					Ī						/15 186. 25		76	ダイ		-		+1
-	-95, 49	187.52	**** ****				II g	bg			花崗斑岩, 上位との境界傾斜50度。		48	761				•									イヤビッ		165		-
-			+++++				I g				深度187.52~200.00m: 花崗斑岩。 径3~5mmの石英斑晶と径10mm程度のカ	H		.741				-				+					۲				-
-			# # # # # # # # # # # # # # #				Πg	cg	Ī	3	60%程度含み、石基は径0.5mm程度で 、組織は全体に均質である。		[47]	\blacksquare																	
—190			+ T + T + T + T + T + T + T + T + T + T		灰黄		Ιg				深度188.38~188.55m:変質帯。傾斜 79度の節理に沿って変質。岩片脆い。		41	971																	
			++++		褐		III g III g IV g III g	bg			深度190.25~191.50m: 高角度な節理 発達。	H	8 16	n											166		!	55.0		0.0	尼 水 0 7
			++++				Щg					F	38 [52]					İ													
<u> </u>			† + † + † + + + + + + ! + ! +				IV g			2		E	57					ŀ				-									-
-			† + † † † † + † † †	花		Dg Cg	IVg					H		+								+									-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	褐灰	Dg	II g						(55)	Ħ										1/							
			++++ ++++ ++++	岩		Dg	IVg					H	\$17 [61]	CL										1 16 194.40			Ì				
						Cg	III g IV g				深度195.85~200.00m:変質帯。上盤	F	22	75]																	
			#####			Dg	II g	cg			76度。灰白色粘土細脈が網目状に入る 。	þ	38 [85]		[CL]																
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい	Cg	Пg					+	30 [85]	СМ								+			182			40.0	170	0.0	尼 水 8
-					書	Dø	П			3		F	[48]	\prod								-									Ĭ
			####		1豆		IVg					þ		CL																	
L .	106 <u>.</u> 80	200 <u>.</u> 00				Dg Cg	Ιg					_}	60	CM										1/17							
												I												200.00							

柱状図(180.00m~200.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採		Q	最大コア長	記事
	同	反	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D)
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	0
			+ + + + +	100 A		2	100	28	41	-+++	* 2
			# # # #				100	35	35		*
			#### ####	ア			100	49	94	- + + + - + + - + + + + + + + + + + + +	↓181.92~185.02m - 割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。-
_			# # # 4 # # # # 4	アプライ	褐灰		100	18	55		*
_			# " # " 1	イト	1		100	29	79	- + +) - - - - + + + + + + - - + + + + +	± -
-			####			OM'	100	18	50		*
- (1)			" # " # ₁			CM'	100	34	60	- + + + + + + + + + + + + + + +	*
	-113.06	187. 52	# # = ; + ; +				100	48	76		187.52~200.00m - 花崗斑岩である。
-			++++		111		100	24	47	+++	188. 38∼188. 55m
- 190			++++		灰黄褐		100	64	97	- + + + - - -]•	・変質している。 ・割れ目に沿って変質しており、岩片は脆い-
-			++++		侚		100	38	67		*
-			++++				100	38	52		* -
-			++++	花	坦		100	57	57		* -
Е			+ + + + -	花崗斑岩	褐灰		100	28 17	55 61		-
F			++++	岩		CL'	100	22	75		-
-			++++		1=		100	38	BENEAU	- + + + + + + + + + + + +	1 <mark>95.85~200.00m </mark>
ŀ			+		ぶ	CM'	100	30	85 48		・灰白色の粘土細脈が網目状に分布する。 -
ŀ			++++		が黄橙	CL'	100	11	11		-
-			++++		橙		100	63	63	1 1 1 1 1 1 1 1	-
	-125. 54	200. 00	+;+;-			CM'	100	00	00		

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.						

事業・工事名

ボー	-リン	グ名		No	. 19					調査	位 置														北		緯						
発	注 槜	関											_	査期	_										東		経						
調	查業	者 名								主任	技師		現 代	理	場人				コ鑑	定	ア 者				ボ グ	- リ 責 任	ン 者						
孔	口模	高	+ 14.	21 m	角	180 上	-	\ 90	- 1	5 北 0°	90' 盤 水平	使 ₀ 用	- 1	錐	機								ハンマ 落下用	_ 具									
総	掘背	」長	170.	00 m	度	下0	. 🛚	ナ 20°		西 180° 南	東 勾 鉛 240*	機 種	I	ンジ	٧								ポン	プ									
									1	<u> </u>		コア	採取	東	_			, 12	: :#- #E				=- =-	一店				\neg	$\overline{}$	_	$\overline{}$	\top	$\overline{}$
標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割ね	風	变	記	((%)	.	岩岩	内	Н	、	準貫		試 験 ・深 身		試験	原位置	室	掘	掘進	孔径	コ ấ ア チ	給 [1.1
l_				種			ア	れ 目				最大	コア cm	7長	級型	と		(IN	IE .	· 木 /5	Ł		試験	内	進	速	(mm)	고			水 水 - -	
尺	高	度	状	区			形	の					Q	D	区 区	(E) 別	N							(孔内水平載荷)	試	月		71.	기.	~ ,	双 5	王 量	\ _
			ISM		÷⊞	赤	41	状態	11-	tr	事		[%]		, l	測定月日	値							平載			時)	壁保護	5.1	kN • r IPa	pm MF	Pa 分	/ 分
(m)	(m)	(m)	図 \ //	分	調	耿	1/	態	16 .	-	尹	-	50	100	77 3	現 日		0	10	20	30		10	50 ¹⁹	験		-	改	Γ ,	<u> </u>	_		/ ~
			$\setminus / \! \mid$							深度0.30~3.59 ルト質砂で植物	m:盛土。礫混じりシ 片を含む。		Ш	Ш														140	30	0.0	0.	.0 泥水	0
			V	盛土	黄							\mathbb{H}	\mathbf{H}	Ш														/ケーシング	メタルビット		50		
			$ \Lambda $	エ	黄褐								Щ	Ш													116	9	-				
-	10.84	3.59	$/\!\!/ \setminus$									N.,	₩	Ш					+					-			-	\dashv			0.	.0 水	5 -
-	10.04	3.39	/ + + + + + + + + + + + + + + +		100	Dg	Mε			深度3.59~68.1 径10mm程度の石	英、長石及び黒雲母の	[12]	Ш	\square	T				_											Ī	1		
			- - - - - - - -		橙	Cg Dg				2 mm程度である。 深度3.59~6.00	度含み、石基は径0.1 m:柱状・短柱状部分	1d [10]	Ш	Ш												12/1		115					
			+		にぶい褐	Cg	₩g				m:変質帯。下盤65度	7 12	27)	HH'	CL"											12/4 5.20		/ケーシング			T		
-			+		明黄褐	Dg	VIg		r	→ , 半固結砂~細 3 深度6 62~6 90	礫状。 m:変質帯。上盤50度		Ш	Ш																		泥	, -
-		į	<u> </u>		1:		ΙVg		1	, 下盤15度。や 深度6.90~9.46	や軟質。 m:柱状コアをなすが	A S	₩	₩	4			-						-							0.	.0 が	0 -
-			+		ぶい橙	Cg	Ⅲg IVg			, 変質をつけ、 含む。やや軟質 2	酸化マンガンを斑状に で密着性節理多い。		[49]		OM.				_					4			Ī	٦					
			++++ ++++		明		Шg					17	[41]	Н													105				H	+	+
		į	* + * + * * * + * * *		黄褐		IV g	-	δ	3 深度9.46~10.1	2m:変質帯。下盤25度	23 [23	\prod	Ш																			
10			+		195		Шg	cg		, 干固結砂~細	礫状。原岩組織不明瞭 15mmの褐色粘土挟む。	26		Ш																			
-			+		明		₩g	*	γ	2		HH		111	CL"																		-
-		ļ	‡+‡+‡ ‡+‡+‡		黄褐	Eg		ļ	δ	- 度,下盤57度。	96m:変質帯。上盤50 全体に黄褐色を呈し、		Ш	Ш					_					-		12 5 12.00			_				
			+		にぶい黄褐	Dg	Шg			白色シルトを挟 上盤付近に幅5~	ルト質砂状。節理に灰 む。原岩組織不明瞭。 -10mmの灰白色粘土、	18	[41]	Ш															ダブル				
			+		灰褐	Cg	Νg		r	2 深度11.68mに幅	20mmの灰白色粘土挟む	/[16]	Н	Ш	[0	L)													コアチ				
-		İ	+			Eα	Vg			3 深度14.23~17.	49m:変質帯。網目状	1		Ш	D.												90		ューブ 35	5.0			11
F			† † † † † † † † † †	花崗	黄	Eg	VIg			盤28度,下盤27	86m:破砕帯(Hc)。上 度。幅130mm, 褐色粘土		++	₩				\vdash	+					+				- 1.	ノ ダ	1	100		$\mid \cdot \mid$
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	にぶ	Dg	37.0			と灰白色粘土の	互層状。	Ĭ,	Ш		21.7				_							12 6 16.20			イヤビ				
		į	<u> </u>		い黄橙	Dg	vg		δ			10		Ш												16.20		0.5	ット				
			* + * + * 					_	-		94m:破砕帯(Hb)。上 ルト状、褐色粘土を縞	1 9	₩	+++	4													リシング			0.	.0 水	5
			+++		灰白にぶ	Fα	VIg	da		深度17.94~18. 盤39度。灰白色	17m:破砕帯(Hc)。下 粘土状。 20m:破砕帯(Hc)。上		Ш	Ш	D.									1				1				.0 水	
-					ぶい黄	-6	***	чь		盤39度,下盤36	度。幅23mmの褐色粘土	N.		Н					_					+									-
_ 20					橙	Dg				盤36度, 下盤58	35m:破砕帯(Hc)。上 度。黄灰と褐色粘土の 幅2mmの褐色粘土を挟	Titus Titus	Ш	₩	1				\perp														
			+		I;	Cg	₩g	cg	r	む。 2 深度18.35~19. 斜は26~75度	70m:破砕帯(Hb)。傾 30~50度程度が主体。	11 [21]	1	Н																			
			*		ぶい褐					全体に黄橙色細 。褐色粘土を縞 ※原由10 25m:fe2	磔混じり砂質シルト状	- 1 ²	Ш	Ш,	OL"												118						
t			<u>+</u>		1.6)	Dg				3 19.31m:幅3mmの 深度19.70~21	褐色粘土を挟む。 46m:変質・破砕弱く		Ш	Ш					+					1									
}			;		ı	Dg				3 度、下盤58度。	70m:変質帯。上盤35 礫混じりシルト質砂状	rdi	\mathbb{H}	\mathbb{H}					+				+	+									
-			 		ぶい				+	─ をなす。礫径3~ 網目状構造をな	-5cm程度の原岩が残る	řá –	Щ	₩	+																		
			+		黄 橙			dg	o	盤46度,下盤49 色粘土互層状。	度。幅20mmの黄灰・褐 03m:破砕帯(Hb)。上	[0]	₩	₩																			
					1:	Eg	VIg			4 盤58度,下盤32 ト質砂状。	度。やや締まったシル	(q)	\prod	\prod	D. [I	D]			\top														
<u> </u>					ぶい					まったシルト質 深度24.67~25.	50m:破砕帯(Hb)。上		Ш	Ш					+					1		12/7 26.40							
			8II+II		褐			4	4	盤19度, 下盤38 色シルト質砂状	度。やや締まった黄橙 。原岩不明瞭。	149	Ш	Ш	+	-	\coprod										126	\dashv	+	+	No	19(1/5)

柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 19 孔口標高 T.P. 14. 21m 掘 削 長 170.00m 標 深 柱 岩 色 岩 R コア採取率 大 級 種 コア 採 最大コア長 Q 尺 高 度 状 記 事 取 区 区 (cm) 率 長 D Q D 20 40 60 80 100 分 义 分 調 (%) (cm) (%) m m m 灰色 0.00~3.59m 100 盛土である。 100 0 0 100 10.84 100 12 12 59~43 49m 橙 100 10 10 花崗斑岩である。 CL' にぶい 褐 100 17 27 明黄福 100 10 10 CM 100 18 49 100 17 41 明 黄褐 100 23 23 46~10.12m 10 変質している。 100 26 51 黄褐 CL' 半固結砂~細礫状を呈する。 明黄褐 100 0 1.52~11.96m にぶし ・変質している。 ・黄褐色を呈し、礫混じり固結シルト質砂状・ 100 18 41 灰 100 16 16 を呈する。 褐 100 0 D' 4. 23~17. 49m 灰黄 ・変質している。 100 0 0 ・細礫~角礫状を呈する。 CL' ●14.73~14.86m(f-19-1破砕帯) 100 10 10 破砕部である。 後 灰白 1 褐色の未固結粘土状部からなる。この累計 100 5 0 幅は13.0cmである。 ☆は13.00mである。 ・走向・傾斜はN42°W63°Eである。 100 0 D' 崗斑 上端境界の傾斜は28°,下端境界の傾斜は 100 11 11 である。 20 ●17.49~19.70m(D-26破砕帯) ・破砕部である。 T 100 21 11 ぶい褐 正断層センスである。 100 9 0 CL' 主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 100 0 0 褐色の未固結粘土状部: 累計幅2.3cm 走向・傾斜はN36°W65°Eである。 ぶ 100 0 0 1 21.46~23.70m ・ 変質している。 ・ 礫混じりシルト質砂状を呈する。 100 0 黄橙 0 ● 22.44~22.46m ・破砕部である。 ・ 黄灰色の未固結粘土状部からなる。この累 100 0 0 100 0 0 計幅は2.0cmである。 ・走向・傾斜はN34°W72°Eである。 100 0 0 ぶ ·上端境界の傾斜は46°,下端境界の傾斜は 100 0 0 49° である。 褐 D' ●23.70~35.14m(浦底断層) 100 0 0 30 破砕部である。 0 100 0 ・左ずれ逆断層センスである ・主に褐色の固結礫状部及び固結粘土状部か 100 0 らなる ・褐色の未固結粘土状部: 累計幅1.8cm ・走向・傾斜はN41°W87°NEである。 100 0 0 100 0 100 0 0 浅黄

^{1-47, 1-48 (}分類d) ①

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

¹⁻⁴⁹⁽分類b)②

報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	割	風	変	5			採耳		岩	岩岩			(標準貫入試験)試験 原 室 掘 掘 孔				· / ! * 送	
_	_	_	1.5	種			ア	れ 目						" ; ⊐ ;	7 長	級	盤	内水位的	_		アー・			K 水	
尺	高	度	状 	区			形	の状				R		Q %	D	Z	分	測	N			<u>_</u>	~ ~	E 量	: 量 : 一,
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	1	1	質	事			50		ار	類	定月日	値		건 M	Pa	om MF	'a 分	分
							_	dg cg	_		深度25.50~29.26m:破砕帯(Hj)。上盤38度、下盤34度。礫混じりシルト質砂状。網目状に褐色シルトを挟む。	0 [q]													
					にぶ	Dg	Vg	Gg	<u> </u>	1		[q]													
30					がい褐						深度29,26~29,50m:破砕帯(Hb)。上盤34度、下盤55度。褐色粘土を挟む灰白色砂質シルト状。 深度29,50~31,30m:破砕帯(Hj)。上	[q] 0			H										
											雑55度、下盤18度。 鎌混じりシルト質 砂状。深度30.53m、幅5mm褐色粘土状	0 [q]													
_					にぶい						深度31.30~31.71m:破砕帯(Hb)。上盤18度、下盤25度。黄橙色砂質シルト状~シルト質砂状。	[q] 0				D.	[D]			126	35	5.0			
_					黄檀にご	Eg	VIg	dg	δ	4	深度31.71~31.75m:破砕帯(Hc)。上盤25度、下盤20度。幅45mmの灰色と褐色のシルトの互層状。 深度31.75~32.04m:破砕帯(Hb)。上	[q] 0			H										
_					ぶい黄						盤20度、下盤16度。砂質シルト状〜シ ルト質砂状。 深度32、32〜35、11m:破砕帯(Hb)。上 盤29度、下盤59度。にぶい黄色を呈す	[q]													
L			1 + + +	花崗斑	浅黄						る砂質シルト状。石英粒子が多く残る 。 深度32.49m、幅15mmの褐色シルト、深	(q)								12 / 95 / 7 1 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 /					
				斑岩	<u> </u>						度34.13m幅3~5mmの灰白色シルトを挟 む。 深度35.11~35.14m:破砕帯(Hc)。上 盤59度、下盤66度。幅15~18mmの褐色	[4]			\parallel	\parallel				112/8 25/7 35.40	3(0.0			
			+	<u> </u>	にぶ						粘土状。 深度35.14~35.33m:変質帯。傾斜50 ~66度。浅黄色と黒褐色を帯びた半固	0 [0]			\parallel	H					F	\dashv			
-				- -	が黄					3	結シルト状。 深度35,33~36,25m:変質帯。上盤50 度、下盤40度。原岩を礫状に残し、網 目状に褐色・灰白色シルト〜粘土を挟	0 [q]	+	\parallel	#	Ħ									
-			+++++			Dg	Vg	;			む。 深度36.25~38.85m:変質帯。上盤40 度.下盤53度。角礫~細礫状,シーム	0 [q]								117					-
— 40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	<u> </u>	黄褐						を挟む。 深度37.72m:シーム。傾斜50度、幅1 mmの褐色粘土状。 深度38.06m:シーム。傾斜55度。幅2	[0]									40	0.0		泥	
-			++++			0-	W7 -				mmの褐色粘土状。 深度38.85m:シーム。傾斜53度。幅0 .5mmの灰白色粘土状。	[q]				Ħ							0.	0 水	5 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	<u> </u>	灰黄褐	Dg	IV g	1			深度38.85~40.62m: 黄褐色を呈する 変質の弱い花崗斑岩。含礫固結砂状を 呈する。 深度41.53~43.49m: 細礫~角礫状コ					Ħ									-
-	20.00	42.40	+++++		褐	Cg Dg	7				ア。一部変質を受け砂状をなし、節理 に沿って黒褐色化が進む。	(a)			Ħ	Ħ				42.80	ダー				-
-	-20.00	43.49	*			Cg	IV g	:			アプライト、上位との境界不明瞭。 節理の発達したアプライト。角蝶〜細 礫状。全体に褐色化し、一部黄橙色を	(19)			Ħ	Ħ				76	レコアチ				
L			* * * * * * * * * * * * * * *	ア	にぶい	_					呈する。 深度43.60~43.75m: ペグマタイトを 挟む。	ľ			Ħ						ューブ	11	00		-
_			* * * * * * * * * * * * * * *	プライ	黄橙	Dg	Vg				深度45.00~45.55m:高角度な節理あり。白色鉱物を挟む。 深度45.55~47.31m:全体に弱く変質をうけ、やや軟質化。	(a)			Ħ	Ħ					ダイヤ				-
-			**** **** ****	1							深度46.50~47.00m: 高角度な節理あり。節理に沿って幅10~15mm変質する。	(10) (10)			Ħ	Ħ					ヹ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚				-
-	21 30	48.53	* * * * * * * * * * * * *	•							深度47.31~48.53m:短柱~角礫状を 呈し、節理に沿って褐色化著しく、一 部砂~細礫状をなす。	M)			H	Ħ									-
-	31.33	40.55	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑			IVg	cg			花崗斑岩、上位との境界不明瞭、下位 との境界傾斜77度。	3			H	CL				76					
— 50		49.67	* : + : + * * * * * * * *	岩	にぶ				r		深度49.67~53.70m:角礫状をなし、 節理に沿って白色鉱物を挟む。	[0] s			H	H	[CL]			12/3 50.15 7 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					-
-			**** **** ****	•	が橙					2		[0]			H	Ħ) j					-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	•		Cg	Vg	:				(q) (8													-
-			* * * * * * * * * * * <u>*</u> * <u>*</u> *									12	2								35	5.0			-
-			**** ****	•	にぶ		IVg				深度53.70~55.77m:黒褐色化し、や や変質を受けている。	.9	12]							103			_		\forall
_			* * * * * * * * * * * * *	アプライ	が黄橙		Vg	:			深度54.52~55.77m:高角度な節理多 く, 一部細礫状をなす。	.6													-
-			****	フイト	にぶい褐		IVg	:			深度55.49~55.56m:破砕帯(Hc)。上盤75度,下盤79度。幅15mmの緑灰~灰白色シルト状。 深度55.77~56.56m:短柱状コアをな	10			\prod	\parallel							0.	0 泥水5	0
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	-				深度55.77~56.50ml: 粒柱状コアをなす。 す。 深度56.56~61.65m: 細礫~角礫状コア。節理に沿って砂~土砂状部を挟む		[20]		\parallel	\parallel				12,4				"	
-			*	•	にぶい		Vg					[q] [\parallel	\parallel				12/5					
-			***** *****	•	黄橙						深度59.25~59.50m: 土砂状コア、基	3,			\parallel	\parallel				39, 80 76				\dagger	Ħ
— 60			* * * * * * * * * * * * * *		灰	Cg		-			質に細砂〜シルトを挟む。		2		\parallel	\parallel				110					$ \cdot $
-	-43.50	61.41	**** **** ****	+ +-			IVg					4	[*]		\parallel	\parallel				12/ 216 61.00			0.	0 泥水5	5 _
-			+++++	花崗斑岩	明褐灰	3	1v 8	L			花崗斑岩, 上位との境界傾斜30度。 深度61.41~68.15m: 花崗斑岩。 径2~10mmの石英及び径1~3mmの長石 , 黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石	1,			\parallel	H				104					
			†÷†‡†	岩	灰			bg			基は径0.1mm程度。 深度61.65~63.50m:短柱状。節理に 沿って褐色、黒褐色化進む。	#1		Ш	Ц	CM					+	+	No.	.19(2	<u>2</u> /5)

柱状図(0.00m~35.00m)

		Н	119-N	lo. 1	19			孔口	1 標	高	T. P.	14. 2	21m	掘	削	長	170. 00m
		_					ι										
標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最	R		ア採						
尺	高	度	状	種		級	採	大コス	Q	最	大二				記		事
			l m	区分	= ⊞	区分	取率、	を表	D		2 Q	(cm) [%]					
m	m	m	図	מי	源 灰色	73	100	(cm)	(%)	0 2	40 6	0 80 100	0.00~	-3. 59m			
				盛	黄		100	0	0	-	111-		・盛土	である	0		
				±	褐		100			-\+ + -\-	1337		¢*;				
1	10. 84	3, 59	9 + + + +				100	12	12				3. 59~	-43. 49m	i		
8			++++		橙		100	10	10	L			・花崗	斑岩で	ある。		
5			++++		にぶい福	CL'	100	17	27	*	1-1-						
8			++++		明黄褐	OM.	100	10	10	L			¢:				
ě.			++++		にぶい	CM.	100	18	49	-							
Š			++++		明黄		100	23	23	1 1							
10			++++		福 にぶい 黄褐		100	26	51	-11	4		・変質	-10.12m してい	る。		
3			++++		明黄褐	CL'	100	9	0	•	4-1-1-			結砂~ ~11.96		を呈	する。
			####		にぶい 黄褐		100	18	41	- }			・変質	してい	る。	·混 1*	り固結シルト質砂
			++++		灰褐		100	16	16	- +	11-1-	- - - - - - - - - - - - -	を呈す		, o, m		/Em2//190
R			±+++		灰黄	D'	100	5	0	•	##			~17.49 してい			
8			++++		ぶい	CL'	100	0	0	-	1 -1 -1 -		・細磷	~角礫	状を呈		。 破砕帯)
3			++++		黄橙	10700	100	10 5	10	ŀ	1111		・破砕	部であ	る。		からなる。この累記
3.			X++X X++X X++X X++X	花	灰白	D'	100	0	0	111	111-		幅は13	3.0cmで	ある。		° Eである。
1 222			+++	花崗斑岩	にぶい 黄橙		100	11	11	1	111		・上端				、下端境界の傾斜し
20			++++	岩	にぶ		100	11	21	-	1 1 1 1	- - - - - - - - - - - - -	●17.4	49~19. P部であ		-26破	砕帯)
8			++++		L1	CL'	100	9	0	•			・正断	層セン	スであ		結礫状部からなる。
			# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐に		100	0	0		1111		・褐色	の未固	結粘土	状部	: 累計幅2.3cm °Eである。
		1	X++X X++X	h	ぶい		100	0	0	77			21.46	~23.70 にしてい	m	1100	2000
			#### ####		黄 橙		100	0	0				・礫温		ルト質	砂状	を呈する。
			8++ 1				100	0	0	T T	777-		・破砕	部であ	る。	- + 4+	部からなる。この
			X++*X		1=	②	100	0	0	+ +	111	2	計幅は	t2. 0cm7	である。	,	。mからなる。この。 。°Eである。
			#### ####		ぶい		100	0	0	111	1111		・上端	端境界の			,下端境界の傾斜
. 30			*		褐	D'	100	0	0				● 23. 7	きある。 70~35.		底断	層)
30			*				100	0	0		+		左す	おであずれ逆断	層セン		
			X++X X++X X++X		にぶい		100	0	0			-	らなる				及び固結粘土状部
			*		にぶ		100	0	0			- - - - - - - - - - - - -					: 累計幅1.8cm °NEである。
			### ####		黄		100 100	0	0								
\dashv			M+:-1X	 	浅黄		100	J	0								

¹⁻⁴⁸⁽分類d)① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-49(分類b)②

報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	割	風	変	5			採耳		岩	岩岩			(標準貫入試験)試験 原 室 掘 掘 孔				· / ! * 送	
_	_	_	1.5	種			ア	れ 目						" ; ⊐ ;	7 長	級	盤	内水位的	_		アー・			K 水	
尺	高	度	状 	区			形	の状				R		Q %	D	Z	分	測	N			<u>_</u>	~ ~	E 量	: 量 : 一,
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	1	1	質	事			50		。 。	類	定月日	値		건 M	Pa	om MF	'a 分	分
							_	dg cg	_		深度25.50~29.26m:破砕帯(Hj)。上盤38度、下盤34度。礫混じりシルト質砂状。網目状に褐色シルトを挟む。	0 [q]													
					にぶ	Dg	Vg	Gg	<u> </u>	1		[q]													
30					がい褐						深度29,26~29,50m:破砕帯(Hb)。上 盤34度、下盤55度。褐色粘土を挟む灰 白色砂質シルト状。 深度29,50~31,30m:破砕帯(Hj)。上	[q] 0			H										
											雑55度、下盤18度。 鎌混じりシルト質 砂状。深度30.53m、幅5mm褐色粘土状。	0 [q]													
_					にぶい						深度31.30~31.71m:破砕帯(Hb)。上盤18度、下盤25度。黄橙色砂質シルト状~シルト質砂状。	[q] 0				D.	[D]			126	35	5.0			
_					黄檀にご	Eg	VIg	dg	δ	4	深度31.71~31.75m:破砕帯(Hc)。上盤25度、下盤20度。幅45mmの灰色と褐色のシルトの互層状。 深度31.75~32.04m:破砕帯(Hb)。上	[d] 0													
_					ぶい黄						盤20度、下盤16度。砂質シルト状〜シ ルト質砂状。 深度32、32〜35、11m:破砕帯(Hb)。上 盤29度、下盤59度。にぶい黄色を呈す	[q]													
L			1 + + +	花崗斑	浅黄						る砂質シルト状。石英粒子が多く残る 。 深度32.49m、幅15mmの褐色シルト、深	(q)								12 / 95 / 7 1 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 /					
				斑岩	<u> </u>						度34.13m幅3~5mmの灰白色シルトを挟 む。 深度35.11~35.14m:破砕帯(Hc)。上 盤59度、下盤66度。幅15~18mmの褐色	[4]			\parallel	\parallel				112/8 25/7 35.40	3(0.0			
			+	<u> </u>	にぶ						粘土状。 深度35.14~35.33m:変質帯。傾斜50 ~66度。浅黄色と黒褐色を帯びた半固	0 [0]			\parallel	H					F	\dashv			
-				- -	が黄					3	結シルト状。 深度35,33~36,25m:変質帯。上盤50 度、下盤40度。原岩を礫状に残し、網 目状に褐色・灰白色シルト〜粘土を挟	0 [q]	+	\parallel	#	Ħ									
-			+++++			Dg	Vg	;			む。 深度36.25~38.85m:変質帯。上盤40 度.下盤53度。角礫~細礫状,シーム	0 [q]								117					-
— 40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	<u> </u>	黄褐						を挟む。 深度37.72m:シーム。傾斜50度、幅1 mmの褐色粘土状。 深度38.06m:シーム。傾斜55度。幅2	[0]									40	0.0		泥	
-			++++			0-	W7 -				mmの褐色粘土状。 深度38.85m:シーム。傾斜53度。幅0 .5mmの灰白色粘土状。	([q]				Ħ							0.	0 水	5 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	<u> </u>	灰黄褐	Dg	IV g	1			深度38.85~40.62m: 黄褐色を呈する 変質の弱い花崗斑岩。含礫固結砂状を 呈する。 深度41.53~43.49m: 細礫~角礫状コ					Ħ									-
-	20.00	42.40	+++++		褐	Cg Dg	7				ア。一部変質を受け砂状をなし、節理 に沿って黒褐色化が進む。	(a)			Ħ	Ħ				42.80	ダー				-
-	-20.00	43.49	*			Cg	IV g	:			アプライト、上位との境界不明瞭。 節理の発達したアプライト。角蝶〜細 礫状。全体に褐色化し、一部黄橙色を	(19)			Ħ	Ħ				76	レコアチ				
L			* * * * * * * * * * * * * * *	ア	にぶい						呈する。 深度43.60~43.75m: ペグマタイトを 挟む。	ľ			Ħ						ューブ	11	00		-
_			* * * * * * * * * * * * * * *	プライ	黄橙	Dg	Vg				深度45.00~45.55m:高角度な節理あり。白色鉱物を挟む。 深度45.55~47.31m:全体に弱く変質をうけ、やや軟質化。	(a)			Ħ	Ħ					ダイヤ				-
-			**** **** ****	1							深度46.50~47.00m: 高角度な節理あり。節理に沿って幅10~15mm変質する。	(10) (10)			Ħ	Ħ					ヹ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚				-
-	21 30	48.53	* * * * * * * * * * * * *	•							深度47.31~48.53m:短柱~角礫状を 呈し、節理に沿って褐色化著しく、一 部砂~細礫状をなす。	M)			H	Ħ									-
-	31.33	40.55	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑			IVg	cg			花崗斑岩、上位との境界不明瞭、下位 との境界傾斜77度。	3			H	CL				76					
— 50		49,67	* : + : + * * * * * * * *	岩	にぶ				r		深度49.67~53.70m:角礫状をなし、 節理に沿って白色鉱物を挟む。	[0] s			H	H	[CL]			12/3 50.15 7 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					-
-			**** **** ****	•	が橙					2		[0]			H	Ħ) j					-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	•		Cg	Vg	:				(q) (8													-
-			* * * * * * * * * * * <u>*</u> * <u>*</u> *									12	2								35	5.0			-
-			**** ****	•	にぶ		IVg				深度53.70~55.77m:黒褐色化し、や や変質を受けている。	.9	12]							103			_		\forall
_			* * * * * * * * * * * * *	アプライ	が黄橙		Vg	:			深度54.52~55.77m:高角度な節理多 く, 一部細礫状をなす。	.6													-
-			****	フイト	にぶい褐		IVg	:			深度55.49~55.56m:破砕帯(Hc)。上盤75度,下盤79度。幅15mmの緑灰~灰白色シルト状。 深度55.77~56.56m:短柱状コアをな	10			\prod	\parallel							0.	0 泥水5	0
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	-				深度55.77~56.50ml: 粒柱状コアをなす。 す。 深度56.56~61.65m: 細礫~角礫状コア。節理に沿って砂~土砂状部を挟む		[20]		\parallel	\parallel				12,4				"	
-			*	•	にぶい		Vg					[q] [\parallel	\parallel				12/5					
-			***** *****	•	黄橙						深度59.25~59.50m: 土砂状コア、基	3,			\parallel	\parallel				39, 80 76				\dagger	Ħ
— 60			* * * * * * * * * * * * * *		灰	Cg		-			質に細砂〜シルトを挟む。		2		\parallel	\parallel				110					$ \cdot $
-	-43.50	61.41	**** **** ****	+ +-			IVg					4	[*]		\parallel	\parallel				12/ 216 61.00			0.	0 泥水5	5 _
-			+++++	花崗斑岩	明褐灰	3	1v 8	L			花崗斑岩, 上位との境界傾斜30度。 深度61.41~68.15m: 花崗斑岩。 径2~10mmの石英及び径1~3mmの長石 , 黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石	1,			\parallel	H				104					
			†÷†‡†	岩	灰			bg			基は径0.1mm程度。 深度61.65~63.50m:短柱状。節理に 沿って褐色、黒褐色化進む。	#1		Ш	Ц	CM		-			+	+	No.	.19(2	<u>2</u> /5)

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コァ	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	 	種		級	ア採		Q	最大コア長	記事
.	,,	_		区		区	取率	ア長	D	R Q D	ט
m	m	m	図 - · + -	分	調	分 2	(%)		-	0 20 40 60 80 10	10 😉
.		1)	++++		浅黄	D'	100	0	0	+++	*35.14~38.85m ・変質している。
.			++++		にぶ		100	0	0		*・浅黄色と黒褐色を帯びた半固結シルト状, 網目状の褐色・灰白色シルト〜粘土状,角礫
.			####	花	い 黄		100	0	0	-+++	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
.			++++		黄		100 100	0	0		1
- 40			++++	斑岩	褐		100	0	0		1
.			++++		灰		100	7	0	1	1
.			++++		黄褐		100	0	0	/ + + + + +	*
٠	-26. 66	43. 49	+ + + + -		146)		100	0	0		*
.			+ + + +		にぶ		100	8	0	· + + + - - - + +	43.49∼61.41m ∗・アプライトである。
٠			####	アプ	い		100	0	0	#	- ・割れ目が多く,角礫〜細礫状を呈する。 *43.60〜43.75m
.			####	ライ	黄 橙		100	0	0	+++	・ペグマタイトを挟む。 *
			####	۲			100	6	0	+	*
	-31.39	48. 53	# # # # : # : -	花崗斑			100	5	0	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1 48.53∼49.67m
- 50	-32. 46	49. 67	++++	岩	15	CL'	100	3	0	+++++++++	*・花崗斑岩である。
50			####		ぶい		100	5	0	• + + + + + • + + 1 + +	*
			"		橙		100	3	0	111111111	*
.			####				100	8	0	++	*
.			# # # # #	_	IE.		100	12	12		*
.			#### ####	アプラ	にぶい黄橙がい		100	9	0	- • + + + +	* 1
.			###	ライ	<u>橙</u> にぶい 褐		100	6	0		●55. 49~55. 56m(f-19-5破砕帯)
			####	۲	1=		100	10	20		*・破砕部である。 ・緑灰色の未固結粘土状部からなる。この素
			# # # # # #		ぶい		100	0	0		*計幅は1.5cmである。 _・走向・傾斜はN2O°W82°Wである。
			####		黄		100	3	0		*・上端境界の傾斜は75°, 下端境界の傾斜は 179°である。
- 60			####		橙灰		100	12	12		*
	-43. 50	61.41	# # # # # # # # #		黄褐		100	5	0		***************************************
			++++		明褐	CM'	100	11	11	1111111111111	【61.41~68.15m ↓・花崗斑岩である。
			+ + + + - + + + + -		褐灰	CM'	100	12	22	1 1 1 1 1 1 1 1 1	" *
			++++	花崗斑岩	灰黄	CL'	100	6	0	4	*
			++++	斑岩			100	9	0	++	1
			++++	-	灰黄	CM'	100	15	28	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	*
	40.00	60 1-	++++		褐		100	15	25		67. 11~67. 64m
Ì	-49, 83	68, 15	####	アプラ	にぶい	CL'	100	4	0	/L 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・割れ目が多く、一部土砂状を呈する。 68.15~137.60m
			*	11	黄橙 灰黄褐		100	7	0		│・アプライトである。 <u>│</u> ・幅1.1~6.7mの花崗斑岩を挟む。
					(A)						68.21~68.68m ・石英脈が発達し、黒褐色酸化マンガン汚染
											が顕著である。

^{1-48 (}分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-49 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	П	割	風	変	記			ア採		率	岩岩	iii .	孔		(標	準	貫入	試験	è)	式験	原位	室	掘	掘	孔	_	給			/ 5 送	
			-	種	_		ア	れ		-				(% 大 ⊐		長	級型		内卜	$\overline{}$	(~ 深				原位置試験	内	進	進	径 (mm)	アチュ	.~			水	.
尺	高	度	状	区			形	目の					-	Q	m) ا ہ	(m)	N									- 1		月月	度	八孔殿	ーブ/ビ		数	圧	$\overline{}$	量 (-
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	質	事	7	L	[%	6]		分数	領	定月日	値	0		10	20)	30	40		(孔内水平載荷)	験	日	<u> </u>	壁保護		kN MPa)	rpm 	MPa 	一/分)	一/分)
			++++ ++++ ++++		褐灰	Cg	IV g	by			深度63.50~63.97m:土砂状コア。	P	ı (50		100	Off	1			Ĭ		10	20			40		,, ,									\dagger	\neg
					灰灰黄	Dg	-	cg			深度64.60~65.00m:高角度な節理発	4			#	\dagger	CL.				ļ																		
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Cg Dg	Vg				達。角礫〜細礫状コアを呈する。 深度65.00〜68.21m:短柱〜角礫状コア。	[8]	9																			104					0.0	泥水5	5
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	灰黄褐	Cg	₩g	bg					15	[28]			CM.																76						
	49.83	68. 15	+++++		13	-	V g IV g				深度67.11~67.64m:変質受け、高角度な節理発達し、一部土砂状を呈する。		7	[25]																	12 18 67.6	3						\dashv	_
-			* * * * * * * * * * * *		にぶい	Dg	Vg				アプライト、上位との境界不明瞭。 深度68.15~154.80m:アプライト。 厚さ1.1~6.7mの花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は径0.1~0.2mmであ	4]				CL.				-																		
70			****		橙		IVg	cg			り、斑晶は不明瞭である。 深度68.21〜68.68m: 石英脈発達、黒 褐色酸化マンガン汚染顕著。 深度68.68〜69.75m:節理に沿って褐	A A	+								-														35.0	100			_
-			****				Шg				色シルトを挟む。 深度69.75~72.00m: 節理少なく、柱 状~短柱状コアをなす。一部変質部を 挟む。	H)20		46]		CM. EC	L]			-																		-
-			****		灰黄褐		IVg	bg			深度71.31~71.34m:シーム。上盤69度 ,下盤67度。幅8mmの礫混じりシルト 状。	ľ	T C	22]												+			-			99					0.0	泥水5	0 -
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		-	Cg	Vg	cg			深度72.00~74.03m: 節理が多い、一 部変質を受ける。		(10)		\parallel	Ħ	CL"									+			-				76/セメン					5	
-			* * * * * * * * * * * * *		Ę	1		bg			深度74.03m以深、斑状に褐色~黒褐色 を帯びるが、岩芯は新鮮岩。		10		$\frac{1}{2}$	H	CM.									+			-				,セメンティング						-
-					にぶい黄橙		IVg	~5			♥ ♥ · ·) And * (10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10		[10]	201	\prod								+			+			-										+
-			**** **** ****		褐灰	t —	Vg	CB			深度76.16~77.11m:高角度な節理が あり、細片状コアをなす。	/	41	230			CI.				=					+					10								-
}			* * * * * * * * * * * * * * *		にぶい黄	υg	Vg IVg	оь		2	深度77.11~81.41m:全体に褐色化し , 節理に沿って褐色化強く, 一部黒褐		9								-					+			$\frac{1}{2}$		12 19 77.00	0						+	\dashv
-					,-	Cg	1 1				色を帯びる。	<u> </u>	15	[4			CM.	1			-					\dagger								H					-
-			****		にぶい橙	Bg	Шg						20	[35]	+		CH"				=											79		ダブルコ					1
— 80			****		位		IVg	bg				4	9								-													コアチュー					1
			* * * * * * * * * * * * * * *				_		r		深度81.41~83.34m: 節理間隔が広く , 柱状コアをなす。岩芯まで斑状に褐		11	[82]			CM.														12/22			ーブ/ダ	10.0	120	0.0	泥 水 5	0
			* * * * * * * * * * * * * * *	ア	15		Шg				色を帯びる。	H	13	[25]																	81.9	0		イヤビッ					
			* * * * * * * * * * * * * * * *	プラ	ぶい褐		Vg	cg			深度83.34~84.38m: 節理密集し角礫 ~細礫状. 一部土砂状をなす。		6 [16	1			CL. [C	CM]														57		ŕ]
			**** **** ****	۲		Cg	Шg				深度84.38~85.18m:硬質柱状コア。)2		44]		OW:																						
			**** **** ****				₩g	bg			深度85.18〜86.63m:傾斜30〜60度の 密着した節理発達。径3〜5cm程度の礫 状を呈する。	1	/ [10]				CM'				_										12 23 85, 81	3						4	4
-			* * * * * * * * * * * *		灰褐		Vg	cg			深度86.63~87.81m: 節理密集し角礫 ~細礫、一部土砂状をなす。		1				CL.				_																		_
-			****		"			bg			深度87.81~88.68m: 密着した節理が 発達。		1				CM.				_												76						-
-			* * * * * * * * * * * * *								深度88.68~91.79m: やや変質をうけ , 岩質脆い。密着した節理が発達し,		3					-					+			+			-			89							-
90			**** **** ****		灰	Dg	IVg	cg			一部細礫状をなす。節理に沿って褐色・灰白色シルト~砂を挟む。	**	1				CL.				-		+			+			$\frac{1}{2}$										\dashv
}			**** **** ****		黄褐								10		#	\parallel					-		+			+			-		12/25	5							-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Eg	VIg	dg		3	深度91.79~92.50m:変質帯。上盤50 度、下盤84度。網目状にシルト質砂状		(10)		\parallel	H	D.						+			+									35.0	100	0.0	泥水5	0
}											を呈する。 深度92.25m:シーム。幅2~3mmの褐色 粘土を挟む。 深度92.50m:シーム。幅1mmの褐色粘		10		\prod	\parallel					-		+			+			-									5	-
}			* * * * * * * * * * * * *								土を挟む。 深度92.50〜95.04m:角礫〜短柱状コア。節理に沿って砂や褐色シルトを挟む。		10		\parallel	\parallel		(L)			-		+			+			-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		匹	Cø	IVg	cg		2	深度93.70m以深, 節理に沿って褐色化 顕著。 深度95.04~95.47m: 節理多く, 一部 土砂状。		20	[30]	\parallel	\parallel	CL"				}		+			+						91							+
			* * * * * * * * * * * * *		褐	-6	ıv g				深度96.58~97.09m:節理多く一部角	H	15	[37]	1	\parallel					}					\dagger													-
			* * * * * * * * * * * * * * * * *								機状。節理に沿ってわずかに砂を挟む。 深度98.79~99.73m:変質帯。上盤60 度.下盤57度。黄褐色を呈し、やや軟	T (T	9		\parallel	\parallel	\parallel				-					\dagger													-
			* * * * * * * * * * * * * * * * *		たぶい異名	n-		bg		3	度、 7盛5/度。 黄褐色を呈し、 やる軟質。 深度99.73m:シーム。傾斜57度。幅2 mmの褐色粘土状。	H	15		\parallel	Ħ	CM.									T					12/26								1
					一つい実施	Ug		cg		٥		ľ	-	ш	Н		OL.	\top							-						99.0	0				N	o.1	9(3/	⁷ 5)

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コァ	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	 	種		級	ア採		Q	最大コア長	記事
	12,	^		区		区	取率	ア長	D	R Q D	10 <i>T</i>
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
.			++++		浅黄	D'	100	0	0		.14~38.85m 変質している。
.			++++		にぶ		100	0	0		浅黄色と黒褐色を帯びた半固結シルト状, 目状の褐色・灰白色シルト〜粘土状,角砂
.			++++	#.	い 黄		100	0	0		田礫状を呈する。
.			++++	花崗	黄		100	0	0		
- 40			++++	斑岩	褐		100	0	0	-+++	
			++++		灰		100	7	0	+	
			++++		黄		100	0	0	/+++	
	-26. 66	43. 49	++++		褐		100	0	0		
			####		にぶ		100	8	0	· + + * • .	.49~61.41m アプライトである。
٠			####	アプ	い		100	0	0		割れ目が多く,角礫〜細礫状を呈する。 .60〜43.75m
			####	ライ	黄 橙		100	0	0		ペグマタイトを挟む。
			####	۲			100	6	0	• + + + + + + *	
	-31.39	48. 53	# # # # : # : -	花崗斑			100	5	0	+ + + + - - - - - + + *	. 53~49. 67m
- 50	-32. 46	49. 67	++++	岩	15	CL'	100	3	0		花崗斑岩である。
30			####		ぶい	9	100	5	0	•+++++*	
			+		橙	8	100	3	0	<u> </u>	
			#### ####			1	100	8	0	++	
			# # # # #		I;		100	12	12	++	
			***** ****	アプラ	にぶい黄橙がい	5	100	9	0	- • + + +	
			####	ライ	<u>橙</u> にぶい 褐		100	6	0		55.49~55.56m(f−19−5破砕帯) 破砕部である。
			####	۲	1=	9	100	10	0	/ - - - - - - - - - - 	緑灰色の未固結粘土状部からなる。この累
			#### ####		ぶい	8	100	2	0		幅は1.5cmである。 走向・傾斜はN2O°W82°Wである。
			# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		黄橙	19	100	3	0		上端境界の傾斜は75°, 下端境界の傾斜に °である。
- 60			####		灰		100	12	12	++	
	-43. 50	61.41	# # # # # # # #		黄褐		100	5	0	+++	. 41~68. 15m
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明褐	CM'	100	11	11		.41~08.15m 花崗斑岩である。
			++++	#	褐灰	(1)	100	12	22		
			++++	花崗斑岩	灰黄	CL'	100	6	0	4 ;	
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩			100	9	0	** + + + *	
			++++ ++++		灰黄	CM'	100	15	28	*	
	-49. 83	68, 15	++++		褐		100	15	25		.11~67.64m 割れ目が多く,一部土砂状を呈する。
İ	-5,00	55, 15	++++	アプラ	にぶい	CL'	100	4	0		. 15∼137. 60m
			"	11	黄橙 灰黄褐		100	7	0	•	アプライトである。 幅1.1~6.7mの花崗斑岩を挟む。
											. 21~68. 68m 石英脈が発達し,黒褐色酸化マンガン汚剝
											顕著である。

1-49(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	話	=	コフ	7 採	取马	E .	占岩	귀		(標準	重貫 /	はノ	験)	試験	原	宝宝	E #	œ ŧ	国 子	. l =	」 		(3		5) 送排
				種			ア	れ						(% ; ⊐) ア f		汲盤				(N 値	~	深度	Ę		居位置記影		i i	ì	名	ューフラ	LI				水 水
尺	高	度	状	区			形	目の					-	Q Q	n C			(m	$ _{\mathbf{N}}$									F	. `	t F	_ J:	として	֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	E	\ _	数 E	؍ ا ہ	~ ~
(m)	(m)	(m)	図	分	調	東欠		状態	化.	哲	事	-	L	E %]	,	区分類	定月	 値	į								50	影		, í	∮ 仮	5 Y	/ MF	a r	om MF	Pa 3	ー/分 分
(11)	(11)	(11)		,,	褐	_	₩g	ba		^		٥	,11	50		100		_			1	10) :	20	30		40	50			1	J 113	<u>'</u>		1		+	
-			++++ ++++ ++++		灰灰	Dg		cg			深度63.50~63.97m:土砂状コア。		ľ				L'				H																	
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	黄	Cg Dg	IV g V g				深度64.60~65.00m: 高角度な節理発達。角礫〜細礫状コアを呈する。 深度65.00~68.21m: 短柱〜角礫状コ		9	Ħ		#					H										1/	04				0.	.0	泥 - 水 5
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	灰業	Cg	IVg	bg			7.		15	281			M.															74	,					
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄褐	Dg	Vg				深度67.11~67.64m:変質受け、高角 度な節理発達し、一部土砂状を呈する			281		╬	+				H							+		12	18							
-	49.83	68.15	**** ****		Ę		IV g V g				。 アプライト、上位との境界不明瞭。 深度68.15~154.80m:アプライト。	Å				╽.					F							+		67	.60							
-			**** **** ****		にぶい黄橙	Dg	IVg	cg			厚さ1.1~6.7mの花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は径0.1~0.2mmであり、斑晶は不明瞭である。 深度68.21~68.68m:石英脈発達、黒			Ħ							H							+										
— 70			* * * * * * * * * * * * * * *		132		Шg				褐色酸化マンガン汚染顕著。 深度68.68~69.75m:節理に沿って褐 色シルトを挟む。		20		81	#	M. [CT	1			H													35	. 0 10	00		-
_			**** **** ****		灰		шв				深度69.75~72.00m: 節理少なく、柱 状~短柱状コアをなす。一部変質部を 挟む。 深度71.31~71.34m:シーム。上盤69度			2	ľ	Ħ,					F							+										
-			**** **** ****		黄褐		₩g	bg			深度7.31~7.34m.クーム。工盛り度 、下盤67度。幅8mmの礫混じりシルト 状。 深度72.00~74.03m:節理が多い、一		10			#	L'				H							+			g	9 7				0.	.0	泥 水 0 5
_			* * * * * * * * * * * * * *			Cg	Vg	cg			部変質を受ける。	Į,		#		┨					H							+				ガノセメンティンク						
-			**** **** ****		におい			bg			深度74.03m以深、斑状に褐色~黒褐色 を帯びるが、岩芯は新鮮岩。	1	10	H		#	M'											1				125	:					
_			**** **** ****		い黄橙		IVg					H		251		∦					H																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰にぶい黄		Vg	cg			深度76.16~77.11m:高角度な節理が あり、細片状コアをなす。	4				#.	L'				ŀ									12								-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		黄	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	₩g			2	深度77.11~81.41m:全体に褐色化し , 節理に沿って褐色化強く, 一部黒褐	V	9	#		\sharp												1		17	19	Ī					\dagger	
-			**** **** ****			Cg	1 1				色を帯びる。		15			#	w				ŀ												١.					
-			* * * * * * * * * * * * * * *		にぶい	Bg	Шg						20	351			_				ŀ										7	9	2 1	レー				-
80			**** ***** ****		橙		IVg						/	1		\sharp					ŀ												= 7 7 -	-				-
-			* * * * * * * * * * * * * * *					Dg	r		深度81.41~83.34m: 節理間隔が広く	H	11	[82]		# c	M'													12	22		1 / 5	/ 10	. 0 1:	20 0.	.0	尼 水 0 5
-			* * * * * * * * * * * * * *				Шg				, 柱状コアをなす。岩芯まで斑状に褐 色を帯びる。		13	25]		\parallel															.90		1 1 1	1				
_			**** **** **** ****	アプラ	にぶい		₩g				深度83.34~84.38m: 節理密集し角礫		16 18			╬	ECM]										1					Ĭ	<i>,</i>				-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	イト	褐	Cg	V g	cg			〜細礫状、一部土砂状をなす。 深度84.38~85.18m:硬質柱状コア。		22	144	4)	+	L'				r							1			5	7						-
			* * * * * * * * * * * * * * *				IVg	bg			深度85.18~86.63m: 傾斜30~60度の 密着した節理発達。径3~5cm程度の礫			#		#0	M'				ŀ									12	/ 3							-
-			**** **** ****				148				状を呈する。 深度86.63~87.81m: 節理密集し角碟			#		Ħ.					ŀ									85	.80							-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		灰褐		Vg	cg			~細礫、一部土砂状をなす。			Ħ		Ħ.					ŀ																	
-			* * * * * * * * * * * * * * *					bg			深度87.81~88.68m:密着した節理が 発達。		8	Ħ			M'				r							1			8	9 7						-
-			**** **** ****				IVg				深度88.68~91.79m: やや変質をうけ , 岩質脆い。密着した節理が発達し, 一部細礫状をなす。節理に沿って褐色 灰白色シルト~砂を挟む。	4	1			\sharp					F							1										-
— 90			* * * * * * * * * * * * *		灰黄褐	Dg	1 1	cg				Ì	10			# c	Ľ																					-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐								10	#		\sharp					r									12 / 91	25 .30	-						-
-			**** **** ****			Eg	VIg	dg		3	深度91.79~92.50m:変質帯。上盤50 度、下盤84度。網目状にシルト質砂状 を呈する。 深度92.50m・シー/ #暦2-30mの場合	H		\parallel),				F			t				\dagger						35	. 0 10	00 0.	. 0	泥 水 0 5
-			* * * * * * * * * * * * * * *								深度92.25m:シーム。幅2~3mmの褐色 粘土を挟む。 深度92.50m:シーム。幅1mmの褐色粘 土を挟む。		10	\parallel		\sharp					F			t				\dashv										-
			**** **** ****								深度92.50~95.04m:角礫~短柱状コ ア。節理に沿って砂や褐色シルトを挟 む。		10	#		+	[CL	1						t														-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		灰猩	Cg	IVg	cg		2	深度93,70m以深, 節理に沿って褐色化 顕著。 深度95,04~95,47m:節理多く,一部 土砂状。	H	20	[30]		#					\mid			t				1			g	1						-
			**** **** ****		褐						深度96.58~97.09m:節理多く一部角		5	[37]	\parallel	\dagger					r			t														-
			**** **** ****								礫状。節理に沿ってわずかに砂を挟む 。 深度98.79~99.73m:変質帯。上盤60 度.下盤57度。黄褐色を呈し、やや軟	[1]	9		\parallel	#	\dashv							t														-
			**** **** ****					bg			茂. ト盛5/度。寅褐色を呈し、やや軟質。 (変度 99.73m:シーム。傾斜57度。幅2 mmの褐色粘土状。		5 15	\parallel																12	26							-
			*_*_*		たぶい黄檀	Dg	H	cg		3		T	ш		Ш	1 0		t	†								1		\dagger	99		\dagger	\dagger	\dagger	\dagger	No.	.19	(3/5)

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	٦	最	R	コア採取率	
	÷	rde:	状	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	*2 dr
尺	高	度	11	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	
			# # # #			CM CM	100	20	46	-+ • +- - - - - -	1
			####		灰黄	2022	100	12	22	- #	*
			####		褐	CL'	100	10	10		↓ 72.00~74.03m ・割れ目が多く、一部変質している。
			####				100	5	0	•	*
			####		にぶい	CM'	100	10	10	- +	*
			+ + + + +		褐灰		100	15	25	- 1 <u>- 1</u> 1 J J J L L L L L	*
			####		にぶい 黄	CL'	100	3	0	€	* 76.16~77.11m ・ 高角度な割れ目があり、細片状を呈する。
			####				100	9	0	- 	INDIX GRANDER OF A NUMBER OF STREET
			####		にぶ	CM'	100	15	41		*
- 80			####		い	CH,	100	20	35		*
			####		橙		100	9	0	++++++	*
			####			CM'	100	11	32	- • + 	*
			####		にぷ		100	13	25	+++++++	*
			####		11	CL'	100	16	16	- +++++	83. 34~84. 38m
			####	~	褐	CM'	100	22	44		・割れ目が多く、角礫〜細礫状を呈する。
			####	アプライ		CIVI	100	10	10	+++	*
			####	ライ	灰褐	CL'	100	7	0	<u> </u>	*
			####	۲	恒	CM'	100	7	0	+ + + + + + - + + +	*
			####			CIVI	100	8	0	########	*
90			# # #		灰	CL'	100	4	0		*
0.91			####		灰黄褐	GL	100	10	10		*
			####		1463	D'	100	10	10	11111111111	*
			# # # #				100	8	0	1111111111	*
			####				100	10	10		*
			####		_	CL'	100	10	10	++	*
			####		灰褐		100	20	30		↓ 95.04~95.47m, 96.58~97.09m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
			####		2000		100	15	37	- + + + + + - - - - - - + + + +	* -
			####			CM'	100	9	0	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	*
			####		にぶい	5-2012	100	15	15	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	*
- 100			####		黄檀		100	14	36	+++++++++	99. 73~100. 76m
			####		灰褐	CL'	100	8	0	- - + + - - - - - + + + + - - - - - -	・割れ目が多く、短柱状を呈する。 100.76~102.15m
	250,000,000		####		にぶい黄橙		100	7	0	++	・変質している。
		102. 70	+:+:-	花崗斑	黄橙」にぶい		100	12	12	L	102. 70~103. 70m, 104. 85~108. 00m
	-83. 24	103. 70	+ + +	岩 アプラ	褐	CM'	100	20	20		・花崗斑岩を挟む。 103.94~104.03m
	-84. 32	104. 85	+ + + +	イト 花崗斑	灰		100	10	10	fiiinich	・変質している。
				岩							・細礫状を呈する。

1-49 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記	T :	コア	[採]	取革	<u> </u>	当岩	- Al		(標準貫入	試験) [試 験	原	室	掘	掘	孔.	_	給	(回		/ 5 送) 排
			-	種		^	ア	れ			H-5		最大			,	3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	内水		(~ 深度			原位置試験			進	径	アチュ				水	
尺	高	度	状	区区			形	目の				-	⊷ R	Q Q	n C	,	又分	(m) 連	N						竉	試		度	/孔	リブ	\neg	数(圧	$\overline{}$	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	車々		状態	11-	昏	事	-	L	E %]	2	△ 刀	定月	値						内水平載荷)	詠			壁保護	ビ	kN MPa	rpm	MPa		ー / 分
(11)	(11)	(11)	* * * * * * * * * * *	,,	におい美容	Dø	IV g		"	3	7	ŀ	_P 14	50	Щ	100	7 75				0 10 2	30	40	5	0 🖑	-3/C		_	ᄪᆇ	+	_				$\overline{}$
-100			* * * * * * * * * * * * * *	アプ	灰	Cg					深度99.73~100.76m:節理多く、一部 変質により軟質化する。		<u> </u>	1341		Ħ									+										-
}			* * * * * * * * * * * * * * *	プライ	褐	Dg		cg			深度100.76~102.15m:変質をうけ, 全体に脆い。高角度な節理発達し,節 理に沿って褐色・灰白色シルトを挟む		7	\parallel		H°	r. [Cr]							+			82							-
}		100 70	****		におい角を		IV g				۰	1	1	\parallel		1									+		12/								-
}	-82, 30	102,70	# # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩					r	2	花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度102.70~108.00m:花崗斑岩。 径2~10mmの石英、長石、黒雲母の斑		20												+		/27 102.70	110							-
-			*	一 君 アプライト	褐灰	Cg		bg			晶を1~10%程度含み、石基は径0.1mm以下である。 深度103.94~104.03m:変質をうけ軟質化し、細礫状をなす。		/[20]	1		\prod_{c}	M'								+		1 6 104.40	113							-
-	-84. 32	104.85	**** ***** *****	1	1						花崗斑岩. 上位との境界傾斜41度。		20	+		\parallel									+		104.40						0.0	泥 水 5	0_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰	Fσ	III g VI g		δ	3	深度106.16m:シーム。傾斜28度。幅 1~2mmの褐色粘土状。			\blacksquare	[60]	₽.									+										-
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	黄	Dg	₩g	cg			マス (2000) 16~106.84m:変質帯。上盤 28度、下盤45度。灰黄色を呈しやや軟質。		(10)	1		₽	-								+			84							-
-	-87. 28	108.00	++++		褐灰	Cg	Шg	bg		2	深度106.16~106.27m: 礫混じり砂質 シルト状。 アプライト、上位との境界傾斜45度。		<i>†</i> †	[38]		H°	M.								+										-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		اق		₩g				深度108.00~137.60m:アプライト。石 基は径0.1~0.2mm程度。 深度108.91~:弱く変質をうけ節理に	1	1	Ħ		#									+		1/8 109.00								-
-110			**** **** ****		にぶい黄	Dg		cg		3	沿って灰白色シルトを挟む。 深度109.52~109.72m:変質帯。上盤 76度、下盤73度。軟質化、深度109.6 0mに幅2mmの灰白色シルトを挟む。	1	(illos)	1		╬									+										_
-			* * * * * * * * * * * * * * *		橙		Шg				深度110.39~114.34m:節理の多い。 短柱~角礫状コア。	H	Å	[43]		Ħ									$\mid \cdot \mid$							Ī			
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰		IVg	bg						[33]		Ħ									-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * *						r	2	深度112.70~113.48m: やや変質を受けている。深度113.06mに幅10mmの灰白色シルトを挟む。	Н	#	\parallel		Ħ									-			94							_
-			**** **** ****		灰黄褐		Шg IVg			2	ason exc.		114 [2	27)		H°	M'								-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐	_		cg			深度114.34~115.00m: 変質を受け節 理に灰白色シルトを挟む。 深度115.00~116.85m: やや節理の少	T.	\blacksquare	#		\sharp														ダブル					_
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰		Шg IVg	bg			ない柱状〜短柱状コア。傾斜20〜40度 の節理主体。		28	ď	53)	\sharp														ルコアチ					_
-			**** **** ****				14.6				深度116.85~118.56m:変質帯。上盤		125	[41]		╬	[CM]									1/9 116.70		76	ァユ ー ブ	35.0	100			_
			**** **** ****		にぶい黄		Vg			3	79度、下盤76度。節理に沿って高角度 に灰白色固結シルト〜砂を挟む。細か な密着した節理が多い。		1			Hc	Ľ													ダイ			0.0	泥 水 5	3 _
			* * * * * * * * * * * * * *		橙	Dg	VI g	dg cg bg	δ		深度118.14~118.37m:変質帯。上盤 38度、下盤45度。固結シルト質砂状。 原岩組織を残さない。 深度118.37m:シーム。傾斜45度。幅	T	9			╬														ヤビッ					_
_120			* * * * * * * * * * * * * * *		黄灰			cg			1mmの褐色粘土状。	ď	۱	Ħ																٢					_
			* * * * * * * * * * * * * * * * *	アプ	IC Si		IVg				深度120.65~122.00m:柱状~短柱状 , 一部角礫状コア。		18 [18]			┨												96							
			**** **** ****	ライ	にぶい褐灰							Н	12			╣																			_
			* * * * * * * * * * * * * *		にぷい黄			bg			深度122.00~124.00m: 節理に沿って 黄褐色化、高角度な密着した節理あり。	τ¢		Ħ		Ho	M'																		_
			* * * * * * * * * * * * * * *		黄橙	-	Шg) [2	8 28]																					
			**** **** ****		褐					2	深度124.00~126.68m:柱状~短柱状 コア。所々節理に沿って砂~細礫状部 分を挟む。		4	4		┨											1 /10 124.90					_			
			* * * * * * * * * * * * * * *		反	Cg				2		Н	==														124.00								
			* * * * * * * * * * * * * *			_			r				13 [i 3]			╁																			
			* * * * * * * * * * * * * * *		灰黄		₩g	cg			深度127.30~127.37m:幅25mm, 黄灰色砂状。		8			Hc	Ľ																		
			**** **** ****									I	1111	H		Ħ												105					0.0	泥 水 5	2
			**** **** ****		褐								9			Ħ												100							-
-130			 • • • • • • • • • • • • • • • • • •		灰			bg					7	Ħ		Ho	M'																		
			* * * * * * * * * * * * * * *								575 th 101 74 100 10 th 100 10		10	Ħ	H	╬	+	-																	-
			 		灰黄		V g			3	深度131.74~132.16m: 変質帯。上盤 61度、下盤54度。シルト質砂が網目状 を呈する。 深度132.52~136.26m: 全体に弱く変		•	\parallel		\sharp											1 /11 132.80					}	1	\dagger	\neg
			**** ****		灰黄褐	Dg Cg	Vg			2	環を見たアプライト。節理多く、一 部細礫~角礫状コア。		3	#		#c	r, [CF]									132, 80						0.0	泥水5	5
			**** **** ****		褐	Dg Cg	₩g						12	\sharp	H	\parallel												104							1
			+ + + +									H	ш	Ш	Ш	+				_	1											N	o. 1	9(4	⁷ 5)

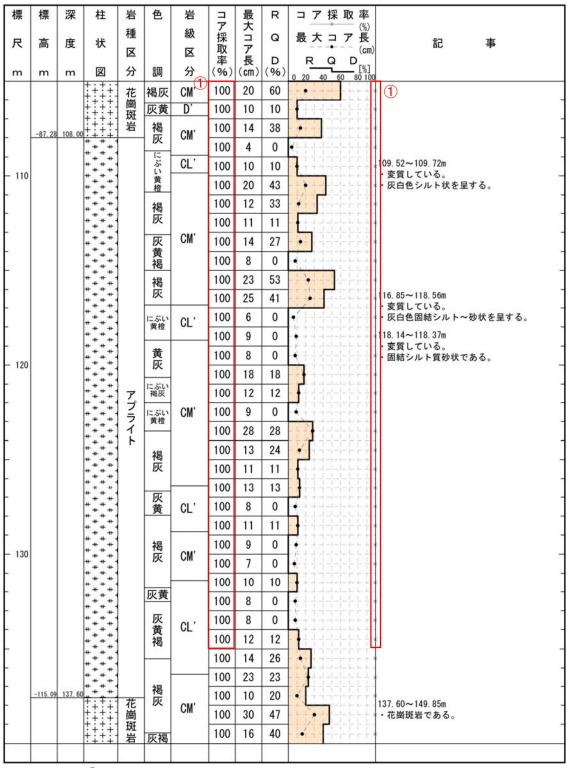
柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	_	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採取	⊐	Q	最大コア長	記事
^	同	反	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	ac →
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			####			CM,	100	20	46	-++++	*
			####		灰黄		100	12	22	++++++	*
			++++		褐	CL'	100	10	10	- + + + +	72.00~74.03m ・割れ目が多く、一部変質している。
			####				100	5	0	<u> </u>	
			#### ####		にぶい	CM'	100	10	10	+ +	*
			####		褐灰		100	15	25	- 101	
			####		にぶい 黄	CL'	100	3	0	*	76.16~77.11m ・高角度な割れ目があり、細片状を呈する。
			####		20		100	9	0	<u> </u>	
			####		にぶ	CM'	100	15	41		*
80			####		が橙	CH'	100	20	35		
			####		15年		100	9	0	+++++++	*
			####			CM'	100	11	32		*
			####		にぶ		100	13	25	1	*
			####		い	CL'	100	16	16	- ++++	83. 34~84. 38m
			+###	-	褐	CM'	100	22	44		・割れ目が多く、角礫〜細礫状を呈する。
			####;	プ		CIVI	100	10	10	+ + + +	
			# " # " 1 # # # # 1	アプライ	灰褐	CL'	100	7	0	+++	*
			####	۲	槆	CM'	100	7	0	+ + + + + + + + + + + + + +	
			####			CM'	100	8	0		
90			####		ज्ज्ञ	01.1	100	4	0		*
00			+#+#+		灰黄	CL'	100	10	10	+++	*
			*		褐	D'	100	10	10	11111	
			####			U	100	8	0		*
			####				100	10	10	+++	*
			####			CL'	100	10	10		*
			####		灰褐		100	20	30	- 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	95.04~95.47m, 96.58~97.09m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
			"#"# ####		146)		100	15	37	-++++	BACTA ST. AMNOET S.
			####			CM'	100	9	0	<u>-</u> + + + + - - - + + + + + + + + + +	*
			####		1= 5"1 >	OM	100	15	15		*
100			####		にぶい 黄橙 黄褐	1	100	14	36	1	70 400 70
100			####		灰褐	CL'	100	8	0	+ + + + + + + + + + + + +	99.73~100.76m ・割れ目が多く,短柱状を呈する。
			#### ####		にぶい		100	7	0	• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	100.76~102.15m ・変質している。
	-82. 30	102. 70		++ 1/4 1/4	_ 黄橙_ にぶい - 橙		100	12	12		102.70~103.70m, 104.85~108.00m
	-83. 24	103. 70	<u> </u>	花崗斑 岩	褐	CM'	100	20	20		・花崗斑岩を挟む。
	-84, 32	104, 85	*	アブラ イト	灰	VIII	100	10	10		03.94~104.03m ・変質している。
一				花崗斑 岩							・細礫状を呈する。

1-49 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記	T :	コア	[採]	取革	<u> </u>	当岩	- Al		(標準貫入	試験) [試 験	原	室	掘	掘	孔.	_	給	(回		/ 5 送) 排
			-	種		^	ア	れ			H-5		最大			,	3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	内水		(~ 深度			原位置試験			進	径	アチュ				水	
尺	高	度	状	区区			形	目の				-	⊕ R	Q Q	n C	,	又分	(m) 連	N						竉	試		度	/孔	リブ	\neg	数(圧	$\overline{}$	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	車々		状態	11-	昏	事	-	L	E %]	2	△ 刀	定月	値						内水平載荷)	詠			壁保護	ビ	kN MPa	rpm	MPa		ー / 分
(11)	(11)	(11)	* * * * * * * * * * *	,,	におい美容	Dø	IV g		"	3	7	ŀ	_P 14	50	Щ	100	7 75				0 10 2	30	40	5	0 🖑	-3/C		_	ᄪᆇ	+	_				$\overline{}$
-100			* * * * * * * * * * * * * *	アプ	灰	Cg					深度99.73~100.76m:節理多く.一部 変質により軟質化する。		<u> </u>	1341		Ħ									+										-
}			* * * * * * * * * * * * * * *	プライ	褐	Dg		cg			深度100.76~102.15m:変質をうけ, 全体に脆い。高角度な節理発達し, 節 理に沿って褐色・灰白色シルトを挟む		7	\parallel		H°	r. [Cr]							+			82							-
}		100 70	****		におい角を		IV g				۰	1	1	\parallel		1									+		12/								-
}	-82, 30	102,70	# # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩					r	2	花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度102.70~108.00m:花崗斑岩。 径2~10mmの石英、長石、黒雲母の斑		20												+		/27 102.70	110							-
-			*	一 君 アプライト	褐灰	Cg		bg			晶を1~10%程度含み、石基は径0.1mm以下である。 深度103.94~104.03m:変質をうけ軟質化し、細礫状をなす。		/[20]	1		\prod_{c}	M'								+		1/6	113							-
-	-84. 32	104.85	**** ***** *****	1	1						花崗斑岩. 上位との境界傾斜41度。		20	+		\parallel									+		104.40						0.0	泥 水 5	0_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰	Fσ	III g VI g		δ	3	深度106.16m:シーム。傾斜28度。幅 1~2mmの褐色粘土状。			\blacksquare	[60]	₽.									+										-
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	黄	Dg	₩g	cg			マス (2000) 16~106.84m:変質帯。上盤 28度、下盤45度。灰黄色を呈しやや軟質。		(10)	1		₽	-								+			84							-
-	-87. 28	108.00	++++		褐灰	Cg	Шg	bg		2	深度106.16~106.27m: 礫混じり砂質 シルト状。 アプライト、上位との境界傾斜45度。		<i>†</i> †	[38]		Ho	M.								+										-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		اق		₩g				深度108.00~137.60m:アプライト。石 基は径0.1~0.2mm程度。 深度108.91~:弱く変質をうけ節理に	1	1	Ħ		#									+		1/8 109.00								-
110			**** **** ****		にぶい黄	Dg		cg		3	沿って灰白色シルトを挟む。 深度109.52~109.72m:変質帯。上盤 76度、下盤73度。軟質化、深度109.6 0mに幅2mmの灰白色シルトを挟む。	1	(illos)	1		╬									+										_
-			* * * * * * * * * * * * * * *		橙		Шg				深度110.39~114.34m:節理の多い。 短柱~角礫状コア。	H	Ã	[43]		Ħ									+							Ī			
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰		IVg	bg						[33]		Ħ									-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * *						r	2	深度112.70~113.48m: やや変質を受けている。深度113.06mに幅10mmの灰白色シルトを挟む。	Ц	#	\parallel		Ħ									-			94							_
-			**** **** ****		灰黄褐		Шg IVg			2	ason exc.		114 [2	27)		Ħ°	M'								-										-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐	_		cg			深度114.34~115.00m: 変質を受け節 理に灰白色シルトを挟む。 深度115.00~116.85m: やや節理の少	T.	\blacksquare	#		\sharp														ダブル					_
-			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰		Шg IVg	bg			ない柱状〜短柱状コア。傾斜20〜40度 の節理主体。		28	ď	53)	\sharp														ルコアチ					_
-			**** **** ****				14.6				深度116.85~118.56m:変質帯。上盤		125	[41]		╬	[CM]									1/9 116.70		76	ァユ ー ブ	35.0	100			_
			**** **** ****		にぶい黄		Vg			3	79度、下盤76度。節理に沿って高角度 に灰白色固結シルト〜砂を挟む。細か な密着した節理が多い。		1			Hc	Ľ													ダイ			0.0	泥 水 5	3 _
			* * * * * * * * * * * * * *		橙	Dg	VI g	dg cg bg	δ		深度118.14~118.37m:変質帯。上盤 38度、下盤45度。固結シルト質砂状。 原岩組織を残さない。 深度118.37m:シーム。傾斜45度。幅	τ	9			╬														ヤビッ					_
_120			* * * * * * * * * * * * * * *		黄灰			cg			1mmの褐色粘土状。	ď	۱	Ħ																٢					_
			* * * * * * * * * * * * * * * * *	アプ	IC Si		IVg				深度120.65~122.00m:柱状~短柱状 , 一部角礫状コア。		18 [18]			┨												96							
			**** **** ****	ライ	にぶい褐灰							Н	12			╣																			_
			* * * * * * * * * * * * * *		にぷい黄			bg			深度122.00~124.00m: 節理に沿って 黄褐色化、高角度な密着した節理あり。	τ¢		Ħ		Ho	M'																		_
			* * * * * * * * * * * * * * *		黄橙	-	Шg) [2	8 28]																					
			**** **** ****		褐					2	深度124.00~126.68m:柱状~短柱状 コア。所々節理に沿って砂~細礫状部 分を挟む。		4	4		┨											1 /10 124.90					_			
			* * * * * * * * * * * * * * *		反	Cg				2		Н	==														124.00								
			* * * * * * * * * * * * * *			_			r				13 [i 3]			╁																			
			* * * * * * * * * * * * * * *		灰黄		₩g	cg			深度127.30~127.37m:幅25mm, 黄灰色砂状。		8			Hc	Ľ																		
			**** **** ****									I	1111	H		Ħ												105					0.0	泥 水 5	2
			**** **** ****		褐								9			Ħ												100							-
-130			 		灰			bg					7	Ħ		Ho	M'																		
			* * * * * * * * * * * * * * *								575 th 101 74 100 10 th 100 10		10	Ħ	H	╬	+	-																	-
			 		灰黄		V g			3	深度131.74~132.16m: 変質帯。上盤 61度、下盤54度。シルト質砂が網目状 を呈する。 深度132.52~136.26m: 全体に弱く変		•	\parallel		\sharp											1 /11 132.80					}	1	\dagger	\neg
			**** ****		灰黄褐	Dg Cg	Vg			2	環を見たアプライト。節理多く、一 部細礫~角礫状コア。		3	#		#c	r, [CF]									132, 80						0.0	泥水5	5
			**** **** ****		褐	Dg Cg	₩g						12	\sharp	H	\parallel												104							1
			+ + + +									H	ш	Ш	Ш	+				_	1											N	o. 1	9(4	⁷ 5)

柱状図(105.00m~140.00m)



1-49 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	割	風	変	后	7採取率 岩	岩	孔		(標準貫入試験)試験 原位 位置	室	握掘		孔	コア	給	<u> </u>	T	送 排	ŧ
	_	_	15	種			ا ج ا	れ 目				(%) tコア長 cm	盤	内水位的	^	験	[内	進	進速度	(mm)	アチュー		転			-
尺	高	度	状	区			π⁄	の状				Q D Z	分	測定月	N	(乳内水平載荷		月	1	孔壁	7.	ÚN	数(\neg	量 []	٦.
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事	分 50 100	類	月日	値	載荷 0 10 20 30 40 50	り	日	時	保護	/ビット	MPa	rpm	MPa 	分多	}
-	115.00	127 60	* *	アプライト	灰黄褐 褐	Cg Dg		cg			深度136.26~136.34m: 砂質シルト状 , 褐色粘土を挟む。	CL'	[CL]										100			1
-	115,09	137, 60	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		灰	Cg	Шg IVg Шg	bg			花崗斑岩、上位との境界傾斜28度。 深度137,60~149,85m 花崗斑岩。 深度137,60~149,85m 花崗斑岩。 尾2~10mmの石英及び径1~2mmの長石 黒雲母の斑晶を1・10%程度含み. 石蔵は径0,1mm以下である。 深度138,23~138,46m:頻彩60~70度 の節理多く、変質により珪化し、節理 に灰白色粘土挟む。	30 CM							104	76			150	0.0	泥水5	-
—140 - -			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰褐	Dg		cg bg		2	深度140, 26~140, 80m: やや変質を受け前理多く軟質。深度140, 26mに幅3~10mmの灰白色シルトを挟む。 深度141, 95~142, 34m: やや変質を受	CL.						1 12 140. 6	2						-	_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Cg		bg			け節理多く軟質、 深度142.34~144.38m: 傾斜0~30度の 低角度な節理が多い。 深度142.34~144.38m: 傾斜0~30度の 低角度な節理が多い。 深度144.38~146.35m: 全体に節理多	22. CM							111							-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰黄褐	Eg	Vg Vg Vg	cg bg			〈 角礫~細礫状をなす。 深度146,35~147,40m:節理の多い硬質な花筒斑岩。傾斜の度程度の節理主	CM.								76						
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰褐	Eg Dg	Vg Vg Vs IVg	cg		2	体。 深度147,93~148,05m:破砕帯(Hb)。 傾斜37度。幅120mm,灰褐色碟泥じリシ ルト質砂状。 深度148,05~148,12m:破砕帯(Hc)。 横斜37度。幅70mm,灰色粘土と黄灰色 粘土の互屑状	CM.	[CM]					1 13 148.0	3	76/セメンティング				0.0	泥水 (5	-
—150 - -	126,60	149.85	+ · + · + · + · · · · · · · · · · · · ·	アプライ	褐灰 褐灰 褐灰	_	IVg Vg			3	アプライト、上位との境界傾斜8度、 深度150、52~151、52m。変質帯。上盤1 5度、下盤29度。網目状に灰白色シルトを挟む。 深度150、88m:シーム、傾斜51度。幅 3~7mmの褐色粘土を挟む。 深度151、39m:シーム、傾斜53度。幅 3mmの褐色粘土を挟む。	CL'							111		ダブルコアチュー				-	_
- -	131. 25	154.80	**** **** **** **** **** ****	۲	灰褐		IV g	bg	r		花崗斑岩、上位との境界不明瞭。	CM.									ーブ/ダイヤビット	35.0	100			_
- -	133 93	157.65	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩	褐灰		Vg Vg IVg	bg		2	深度154、80~170、00m - 花崗街坐, 磨さ2、3m程度のアプライトを挟む。 花崗斑岩は、径2~5mmの石英、長石、 高度50、1mm以下・組織は全件・不均質 である。 深度154、95~155、26m: 節理密集し、 組織と一角線状をなす。 節理に灰白色シ ルトを挟む。	42 (64) CM						1 155.8 157.0	80					0.0	泥水5	
-		160.00	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	灰褐		IVg Vg				アプライト、上位との境界傾斜44度、 下位との境界不明報。 深度159,13m:シーム。傾斜60度、幅 1~2mmの褐色粘土状。												-			
-			+++++		灰黄褐	Dg	Vg Vg Vg			3		D. CL.	[CL]						98	76				0.0	泥水 5	-
-				花崗斑岩	灰黄	Cg Dg Cg	IVg IIg Ig			4	Immの相色粘土を挟む。 変度162、43~163、15m。変質帯。灰白色 砂状。 深度162、52m: 傾斜10度のマンガン脈が 正断層的1c0、5cmずれる。 条線方向は 10度左。 深度163、15m: シーム。 傾斜57度。 幅 2~3mm。 白色粘土状。 高角度な密着 した節理主体・関ロした節理少ない。	(30) CL						1/17/163.5	7							- - -
-				石	灰黄褐	Cg	Пg	bg		2	マルルベニア、 声目 した影響 グゆい。	[38] CM	[CM]						98					0.0	泥水 (5	-
- -	145 <u>.</u> 54	170,00	# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	Πg	ag cg ag			深度168,28~168,32m: 破砕帯(Hc)。 上盤63度、下盤45度、幅20~30mm,磔 混じりシルト状~砂質シルト状。 深度168,84~168,88m: 幅23~40mm, 桃色シルト混じり砂状。	28 CL CL CM						1 18 170.0	8							

柱状図(105.00m~140.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	=	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採	\Box	Q	最大コア長	記事
/	同	反	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	aC p
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)		0 20 40 60 80 100	
			++++	花	褐灰	CM'	100	20	60	-++++	
			++++	花崗斑岩	灰黄	D'	100	10	10	+++	
	-87. 28	108, 00	++++	岩	褐灰	CM'	100	14	38		
			* * * * * *				100	4	0	<u> </u>	
- 110			*		にぶい	CL'	100	10	10	L . 3	.52~109.72m 変質している。
			####		黄橙		100	20	43	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	灭白色シルト状を呈する 。
			####		褐		100	12	33	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
			####		灰	OW!	100	11	11	+ + + +	
			####		灰黄	CM'	100	14	27	*	
			###		褐		100	8	0	++	
			* * * * * 4		褐灰		100	23	53	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	05 110 50-
			* * * * *		\vdash		100	25	41		.85~118.56m 変質している。
			****		にぶい 黄橙	CL'	100	6	0		V白色固結シルト~砂状を呈する。
			####		#		100	9	0		.14~118.37m 変質している。
120			####		黄灰		100	8	0	* † † † † † † * • 6	固結シルト質砂状である。
			####		にぶい		100	18	18	++++++	
			####	アプライ		OW!	100	12	12	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
			# # # # # # # # # #	ライ	にぶい 黄橙	CM'	100	9 28	0	4-1-1-1-1-1	
			+ + + + +	+	topego.		100	13	28		
			####		褐灰		100	11	11		
			* * * * 1 * * * * 1		~		100	13	13		
			++++		灰	CL'	100	8	0	++	
			####		_ 黄_	UL	100	11	11	1-1-1-1-1-1	
			####		褐		100	9	0	+ + + + +	
130			####		炭	CM'	100	7	0		
			####			,	100	10	10	++	
			####4 ####		灰黄		100	8	0	# + + + - + - + - + - + -	
			*		灰	οι,	100	8	0	-	
			####		灰黄褐	CL'	100	12	12	1111111111	
			+			1	100	14	26		
			++++			_	100	23	23		
	-115.09	137. 60	####	++-	褐灰		100	10	20		CO 140 0F-
			# . #	出崗		CM'	100	30	47		.60~149.85m も崗斑岩である。
			++++	花崗斑岩	灰褐		100	16	40		
			. + . +	-13	1/15						

1-49 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記	ア採取率 岩岩 孔 (標準貫入試験)試験 原位 内内 (그 구 1	給	回 ji) 送 送	
_				種				れ 目				大コア長	アー			水力	
尺	高	度	状 	区			π>	の					/ار	ωĮ.	$\neg \cdot$	王 重 ^ ^	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	質	事	N		Pa r	pm M	Pa 5	分分
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	灰黄褐	Cg Dg		cg			深度136.26~136.34m:砂質シルト状 , 褐色粘土を挟む。	1		1	00		
-	115.09	137, 60	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		炭		Шg IVg Шg	bg			花崗斑岩、上位との境界傾斜28度、 深度137,60~149,85m:花崗斑岩。 定2~10mmの五及び径~2mmの長石 県業母の脱晶岩~10%程度含み、 石基は径0.1m以下である。 深度138,23~138,46m:傾斜60~70度 の節理多く、変質により珪化し、節理 に灰白色粘土挟む。	(36) 104 76 104 104 104 104 104 104 104 104 104 104		1	50	1.0 水 5	E 5 -
-140 -			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰褐	Dα		cg bg		2	深度140, 26~140, 80m: やや変質を受け前理多く軟質。深度140, 26mに幅3~10mmの灰白色シルトを挟む。 深度141, 95~142, 34m: やや変質を受	1/2 46. 50				+	
- -			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗斑岩		Cg		bg			け節理多く教賞。 深度142、34mに株白色シルトを挟む。 深度142、34~144、36m:検熱印~30度の 低角度な節理が多い。 深度144、38~146、35m:全体に節理多	111					-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰黄褐	Eg	V g IV g V g	cg			く、角礫〜細礫状をなす。						
-			+++++		灰褐	Cg Dg Eg	Vg	bg		4	深度146.35~147.40m: 節理の多い硬質な花崗斑岩。傾斜60度程度の節理主体。 深度147.93~148.05m: 破砕帯(Hb)。	CM CM 1/3 76 76 76 76 76 76 76 7				Į.	-
- -150	126, 60	149,85	****** ****** ****** ****** ******		褐灰	Cg	IV g III g	cg		2	傾斜37度。幅120mm, 灰褐色礁混じりシルト質砂状。 深度148.05~148.12m: 破砕帯(Hc)。 幅斜37度。幅70mm, 灰色粘土と黄灰色 粘土の互爾状。 アプライト、上位との境界傾斜48度。 深度150.52~151.52m 変質帯。上盤1 5度、下盤29度。網目状に灰白色シル	(\$1) ON ON ON ON ON ON ON ON ON ON ON ON ON	ダ			1.0 方	K 0 -
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	褐灰	Dg Cg Dg	Vg		r	3	5度、下端53度。網白切に次日とフルトを挟む。 深度150.58m:シーム。横斜51度。幅 3~7mmの褐色粘土を挟む。 深度151.39m:シーム。横斜53度。幅 3mmの褐色粘土を挟む。	22 111 111 111 111 111 111 111 111 111	ブルコアチュー	5.0			-
-	131. 25	154.80	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	イト	灰褐	Cg	Ⅳg	bg cg			花崗斑岩. 上位との境界不明瞭。	CW CW CW CW CW CW CW CW CW CW CW CW CW C	/ ダイヤビット				-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩	褐灰	Dg Cg	V g IV g III g	bg		2	深度154,80〜170,00m: 花崗斑岩。 厚さ2.3m程度のアプライトを挟む。 原さ2.3m程度のアプライトを挟む。 総数岩は、径2〜3mmの石美、長石、 黒雲母の斑晶を10%程度含み、石基は 径0.1mm以下で、組織は全体に不均質 である。 深度154,95〜155,26m: 節理密集し、	42 (SA) ON SO 16 (ST, VO)			00	派	-
 - -	133.93	157.65	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	プライ	灰褐		IVg				網線・角線状をなす。節理に灰白色シルトを挟む。 アプライト、上位との境界傾斜44度、 下位との境界不明瞭。 深度159.13m:シーム。傾斜60度、幅				0	.0 が	5 -
—160 -	136.14	160.00	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	+	灰黄褐	Dg	Vg Vg Vg Vg Vg	cg			1~2mmの梅色粘土状。 深度161.49~161.55m:幅50~90mmの 灰黄色シルト混じり砂・線状。破砕帯	[CL]			0	近 1.0 方	= 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3
-				花崗	灰黄	Eg Cg	Vg VIg VIg IVg IIg			3 4	の会合部の可能性あり。 深度162.43 - シーム、横斜20度、幅 1mmの視色粘土を挟む。 深度162.43~163.15m;変質帯。灰白色 砂状。 工断層的1C0.5cmですれる。条線方向は 10度左。 深度163.15m;シーム、横斜57度。幅	22 D' D' 51 1301 U. 163 50				$\frac{1}{1}$	
- - -				崗斑岩	灰黄褐	Cg Cg	Шg Пg	bg		2	2~9mm、白色粘土状、 深度163,92~168,02m:高角度な密着 した節理主体、開口した節理少ない。	[CM]			0	派 J. 0 万 5	
- - -	145, 54	170,00	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Dg	IVg IIg Vg IVg	cg ag cg ag			深度168,28~168,32m:破砕帯 (Hc)。 上盤63度,下盤45度。幅20~30mm,頗 湿じりシルドナや質シルド、砂質シルド 深度168,84~168,88m:幅23~40mm, 棟色シルト混じり砂状。	(28) (41) ON 18					-

柱状図(140.00m~170.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	コア採		Q	最大コア長	記事
	IDI	/2		区		区	取率	ア長	D	R Q D)
m	m	m	図	分	調	分2	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			++++ ++++ ++++			CL,	100	10	10	++	2
			++++		灰		100	10	10	T 1	*
.			<u> </u>		褐	CM'	100	8	0	+ + + - - - - + + + + + +	142. 34~147. 40m
,			++++	花			100	12	22	1-1-1-1-1	・割れ目が多く、角礫状~短柱状を呈する。
.			++++ ++++ ++++	崗斑岩	灰	01.1	100	8	0	+ + + + + - + + +	*
.			[+ + + +	岩	黄褐	CL'	100	6	0	<u> </u>	*
.			++++			CM'	100	6	0	+r + + r + +	*
		1)[+ + -	1	灰	CL'	100	4	0	·	* 147 00 140 10 (5 10 CTATA #F)
		○ [++++	•	褐	- Charles	100	21	21	1111	↓●147.93~148.12m(f-19-6破砕帯) - 破砕部である。
- 150	-126. 60	149. 85	# # 4		褐灰	CM'	100	18	50		*・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・黄灰色の未固結粘土状部:累計幅7.0cm・
			####	ア	明褐灰	CL'	100	2	0		・走向・傾斜はN13°E68°Eである。 149.85~154.80m
			####	プ	褐		100	12	12	+ + - - - + +	・アプライトである。
			####	ライ	灰	CM'	100	8	0		150.52~151.52m ・変質している。
			####	۲	灰	5200	100	7	0	+++	・網目状に灰白色シルトを挟む。
	-131. 25	154. 80	####		褐	CL'	100	15	15		154 00 170 00-
			++++	花崗	褐灰		100	8	0	++	│ 154.80~170.00m │ · 花崗斑岩である。
			++++	斑岩		CM'	100	42	64		↓ 154.95~155.26m ↓・割れ目が密集し、細礫~角礫状を呈する。
	-133. 93	157. 65	+ + + -		灰	OM	100	14	26	- 19 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	157. 65~160. 00m
			#### ####	アプライ	褐		100	8	0	11111111	・アプライトである。
- 160	-136, 14	160, 00	# #	イト			100	4	0	•	*
100			++++		明褐灰	CL'	100	4	0	• + + +	*
			<u> </u>		黄褐		100	3	0	1111111111	*
			++++		灰黄	D'	100	12	12		162. 43~163. 15m
			####	++-	222	CL'	100	15	30		↓ · 変質している。 - 灰白色砂状を呈する。
			++++ ++++ ++++	花崗			100	46	93	-++-	***************************************
				斑岩	灰	CM'	100	14	38		*
			++++	П	黄	CM'	100	26	96	-++	●168.28~168.32m ・破砕部である。
			+‡+‡+		褐		100	18	80	- +	・主に明青灰色の固結粘土状部からなる。
		(1)[++++			CL'	100	28	28	+++	・明青灰色の未固結粘土状部:累計幅0.3cm ・上端境界の傾斜は63°,下端境界の傾斜は
	-145.54	170.00	++++			CM'	100	35	61		45° である。

1-50, 1-51 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-49 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.						

事業・工事名

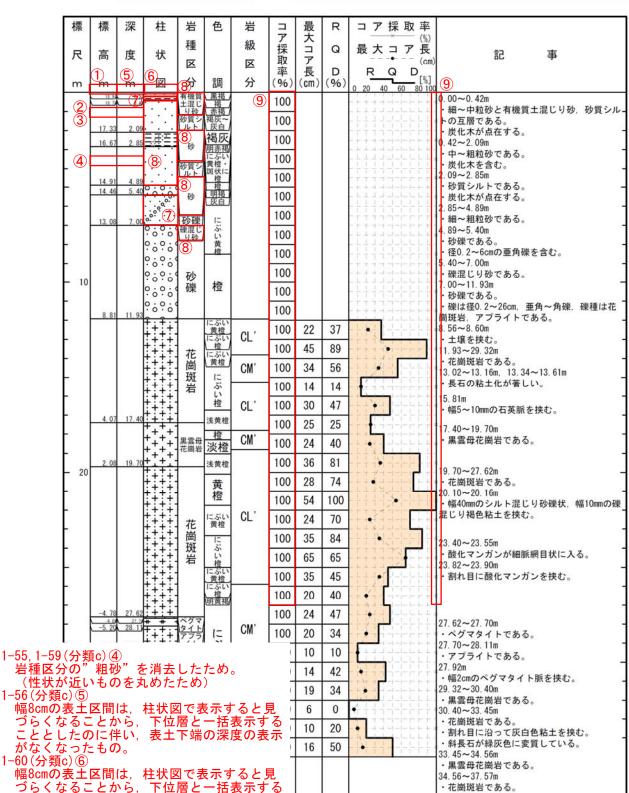
						_	未																					_													\neg
		ンク			No	. 8						調査位	置																		-	北		緯							\dashv
		機										<u> </u>					_	直							Ι¬		ア				1	東 ボー	— IJ	経ン							4
調	查	者	名	-		召	180)° .		_	=	主任 打	\dashv	Hh		伟		! : 理							鑑	定	者		1/1.5	マー	\perp	小 グi	責任	者							4
孔	П	標	高	+ 19.	14 m	角	上)-90		方	270° 西 90	1 1	地 水平	o°	使用機	ār	錐	機											用具											4
総	掘	削	長	200.	00 m	度	下0	, P	30°		向	180° 南 59	8.	勾 直 200°	0°	種		ン:	ブン										ポ :	ノプ											╝
標	桐	5	深	——— 柱	岩	色	硒	_	割	届	亦	·	2		-	ア	採取	平	岩岩	<u>.</u>	孔	(標準	生 貫		試験	i)	試具		原位	安	堀	掘	zi	二角	<u>ب</u>	回 j	¥	送	排
1示	177	F	/木	1±	4		便	-	割れ	烛	友	i	Li .				%) コア				内水		(1/K			~ 深		ш- ү		位置試験	*		進	径	コア * チ		いには		.	水
尺	層	5	度	状	種			ア	目							-	cm		級量	盤	位 (m)											内		速 度	(mm)	고		数』			量
^	-	"	12		区			形	の						R		Q a ı	D	区	分	』	N									内水	試		cm	孔 壁	21.	N/	~ <i>^</i>	~ ·	î	γĺ
(m)	(n	٥) ا	(m)	図	分	調	軟	壮	状態	化.	啠	:	Ē.		-	_ L	%]		分身	額	測定月日	値									孔内水平載荷	験		時	保護	ッ ド M	• rı Pa	pm M	Pa .	分	分
(11)	19.	07	0.08/	///= =	表土		T^	, ,	<i>1</i> 2×		~				0	П	50	100		VK	_		0	1	0	20		30	40	50	0	-3A		_	u.v.		-		7		$\stackrel{\smile}{\dashv}$
-	18. 18. 18.	78	0.23 0.42 0.60		有機質土品 り中砂 砂質シルト 中砂	- 20 日本	1					細~中粒砂と腐植 互層。木炭が点在				Ϊ		Ш	11										\perp							×ブルコアチュ					-
			1.34		棚砂有機質 土湿り砂質 シルト五層	褐						中~粗粒砂。木炭			\mathbb{H}	$^{+}$	+	Ш	$\left\{ \ \right\}$															195		- フノメ 4					
Ī			2.09		中砂	火 明末総						木炭が点在する。				\parallel			11														9 16 2.60		140	メ タ ルピット					1
-			2.85	= = =9	粗	12 8926						塊状。			\mathbb{H}	\mathbb{H}	+	H					+						+	\dashv			2.60		/ケーシング						}
-			4.00		砂	灰									Щ	\parallel	#	Щ	1										\perp	_				131	ダ						
	14.	91	4.89		細砂	白						粗粒砂が混じる。			\mathbb{H}	+	+		1														9/19								
			5.40		砂礫							径0.2~6cmの亜角 粗粒砂が混じる。	際を含	含む。	Щ	\parallel	\sharp	Щ	1														5,00								
-					砂料湿り	にぶ						祖担砂が庇しる。				-			1										+					ł			6	60			4
-	13.	08	7.00	0,0,0	中砂	が、黄										I	Ħ	Ш	1																						
			9			橙						碟は径0.2~26cm は花崗斑岩、アフ ト混じり細~中料	ライト	〜角礫、碟種 ト。基質はシル	\mathbb{H}	$^{+}$	+	\mathbf{H}	+																						
ŀ			(0:0:0											П		#	Щ	11															88							1
ŀ			Č		砂							深度8.56~8.60m	土壌	を挟む。	H	$^{+}$	+		1				H						+	_											+
10	,		c		礫	100										\blacksquare	Ħ	Ш	1																115						\exists
			ľ			橙									+	$^+$	+		1														9 /20		/ケーシング						
Ī			(0.000											П	\perp	\blacksquare		11														11,00		ンググ						
}	8.	81 1	1.93	· · · · · · ·		18.0	1	IVg				深度11.93~61.10 厚さ0.4~2.0mの			Н	29			11,94_1	1.93										_											-
-			-	+		黄 セ にぶい権 に ぶ			bg	δ		。 花崗斑岩は、径5・	-10mm	1程度の石英.	П	X	[31]	Щ	CL.						_			+		_						ダブル					-
				*		にぶい黄橙	Dg	Ιg	cg			カリ長石、一部彩 雲母の斑晶を10~ は径0.1mm程度で	30%₹	径1~2mmの黒 程度含み, 石基	+	+	15	[89]	13.81																		0.0	0	. 0	泥水 5	5
			-	+ + + + + + + + + + + +	花崗斑	1-	Cg	IV g				深度13.02~13.16 しい。	n:長		П	1	4 5	61	CM.															100		고					1
-					斑岩	にぶい		IV g	hσ			深度13.10~13.10 深度13.34~13.61 しい。	11:幅11:11:11:長	ibom, 軟質化。 石の粘土化著	Ни	A	╫		15. 26				H							-				102		ーブ/					+
-			-	+		橙	Dg					深度15.26m:傾斜 礫状。 深度15.41m:傾斜			$-\Box\Box$	141	\blacksquare	Щ]				-		_				_	_				Ī		ダイヤビ					-
				+		津	-	IV g	\vdash			礫状。 深度15.81m:石英			\mathbb{H}	30	[47]	H	CL.											_						ット					
	4.	07 1	7.40	+ +		浅黄橙		Πg				~10mm。 深度16.43~17.80 黒雲母花崗岩,上			П	25 25	\prod	П	ļ,, .																	٢					1
}				++++	署	橙		IV g III g				深度18.30~20.00			Ш	24	\parallel	Ш	CM.				+					+	+	\dashv			9/21 18.50								+
-			-	+ + + + + + + +	花崗	淡橙		IV g				», rize 10. 00 ~ 20. 00	JX	. HN QHO	П	T	[40]	\prod	18.80	CL)			-					-	+	_			18.50								-
20	2.	08 1	9.70	+ + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	浅黄橙	Dg	Ιg	H		2	花崗斑岩、上位と	の境界	界傾斜57度。	H] }	8	╅	1																		1	00			
				† + † + † † + † + †		黄	Eg.	Шg		γ		深度20.10~20.16 混じり砂礫状、幅			П	28	\prod	[74]																							7
ŀ			-	+		橙			bg			粘土を挟む。			Н		34	1					+						+	\dashv					76						-
-				† + † + † + + + + + + + + + +		にぶい	1	Πg							П		4	[100]					-						+	_											-
			-	+++++	花	ふい黄橙	_	IV g							\parallel	1	#	[70]	CL,									\perp	\perp					128							
				+ +	崗斑		Dg	Пg	\dashv			深度23.40~23.55	11: 酸	化マンガンが	\prod		5 [8	34]																							
-			-	+	岩	にぶい		IV g				細脈網目状に入る 深度23.82~23.90 ガンを挟む。		i理に酸化マン	H	H	\bigvee	65	1				+		+			+	+	\dashv											+
-				+++		橙		IV g Ⅲ g							Н	\prod	\mathbb{A}	[65]					-					+	+	_											4
			-	+ + + + + + + + + + + +		12 C 1 Valor		II g	cg			深度25.40~25.90 理に沿って灰白色			H	\mathbb{R}	45	∄	25.90 2	5.90																					
				† + † † † + † † † † † †		にない権 国際が	Cg	Шg	bg						П	/ ₂₀	[40]	П	CM' [CM3													9 22 26.80								1
				++++		ns-19		Ng Mg	Н		-				+ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$	Ш	Ш	Ш	27.00 2	7.00	+									\dashv		\dashv	26.80	103	-		+		+	+	\dashv

1-52(分類c)① 幅8cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と ー括表示することとしたのに伴い、表土下端の標高の表示がなくなったもの。 1-53, 1-57(分類c)② 岩種区分の"中砂"を消去したため。(性状が近いものを丸めたため)

"中砂"を消去したため。(性状が近いものを丸めたため)

1-54, 1-58 (分類c) ③ 、岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 柱状図(0.00m~35.00m) (性状が近いものを丸めたため)

> H19-No. 8 200.00m 孔口標高 T.P. 19.14m 掘 削 長



幅8cmの表土区間は,柱状図で表示すると見 づらくなることから、下位層と一括表示する こととしたのに伴い、表土区間の図模様の表 示がなくなったもの。 1-65(分類c)⑦

審査資料作成の際に模様を見直したため。

1-62~1-64, 1-66~1-73 (分類c) ⑧ 性状が近いものを丸めたため。

1-74(分類b) 9

報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	割	風	変	記				1) 率	岩	岩	孔		(標準	貫入	試験)	試験	È	原位	室	掘	掘	孔	п	給		2 / 送) 排
				種			ア	れ 目					大	= 7	ア長		盤	内	^	(N 値	~ 深」	芰			置	内		進 速	径 (mm)	アチュ			水		水
尺	高	度	状	区			形	の				R			D			(m)	N								<u>乳</u> 内	試		度	/ 孔殿	1	$\overline{}$	数(圧	\neg	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	質	事		. [%]		類	月	値			_					平載	験		<u> </u>	壁保護	ビット	kN MPa	rpm _	MPa	ー/分)	一/分)
			+ + + + + + + + + + + + + /* * * * *			Cg	Шg					0	24	50	10	0	27.00			(10	20) 3	0	40	50	<u> </u>										$\stackrel{\smile}{\dashv}$
-	_4_85 5_20	27.70 28.11	##### ################################	アプライト	/	Bg	Шg				深度27.62~27.70m: ペグマタイト, 上位との境界傾斜20度。 深度27.92m: ペグマタイト脈, 傾斜2 0度,幅2cm。	1	24	341																							-
-	-6.25	29.32	++++	花崗斑岩	にぶい	Cg	IV g	bg			□ 10.2. * *********************************	1				CW.																					-
30	-7. 19	30.40	+ +	票款母花崗 岩	橙	Dg	П.				。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。	14		182		1000														103		i	30.0			泥	_
-			+++++	花				cg			深度30.70~31.45m:変質を受け,節 理に沿って灰白色粘土を挟む。 深度31.46~33.91m:斜長石が緑灰色		19	2.40		CL.										_									0.0	泥水5	5 -
-			++++	崗斑岩	,_		IVg				に変質している。			049												_											-
-	-9.83	33.45	++++		にぶい						黒雲母花崗岩, 上位との境界傾斜37度															-			9 25 33,50			ļ	40. 0	130			-
-	-10. 79	34.56	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母花崗岩	褐	Cg						16	6				[CM]									_			33,50				30.0	100			-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		,-		Шg	bg		2	花崗斑岩、上位との境界傾斜16度。 	15	5	[5]	JJ											_											-
-			++++	花崗斑	にぶいな		IV g							[38]		CW.																					-
-	12 40	27 57	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	橙		Шg				深度36.45~37.54m:節理に沿って酸化マンガン付着。	N.	29													_				82			FO 0	450		泥	
-	13.40	37.57	+ + + + +	一荒							黒雲母花崗岩,上位との境界傾斜45度。 。 深度38,28m:傾斜62度の節理に沿って	 			800																	!	50.0	150	0.0	水 5	3 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + +	一面	橙	Bg	Vρ	ca.			上盤側が幅10mm軟質劣化。 深度38.28~38.54m: 斜長石が縁灰色 に変質している。		[22]																								-
— 40		39.60	+ + + +	-	明黄褐	Bg	IV g	bg			花崗斑岩, 上位との境界傾斜ほぼ水平 。	7	(27	1															9 26								_
-			+++++	花	にぶ							(đ)				41.15	41.15												40.50								_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	ぶい橙	Cg	IV g				深度41.87~42.65m: 節理が多く, 角 礫~細礫状。	11/2	2]																								-
-			+++++					cg			深度43.07~43.40m: 節理が多く, 角 碟~細礫状。		1																			ダブ					-
-	-18.88	43.90	++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++ +++++	星生長亦楽	12 IC		VIg			3	深度43,44~43,65m: 破砕帯(Hb)。上 盤54度 下盤63度。全体幅100mm, シルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下		1			CL.	[CL]															ルコアチ					-
-	-19.63	44.77	+++++	#	ぶいる	Dg			r		。下盤側幅20mm礫質灰白色粘土状。 黒雲母花崗岩、上位との境界傾斜70度 、下位との境界傾斜37度。				78															107	76	ューブ					-
-					橙			bg					123																			ダイ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IVg	cg					Ì	38	[62]	46, 93	46,92															ヤビット					-
-			++++										#	16	[70]																						-
-			++++ ++++ ++++					bg		2	深度48.62~48.79m:節理が多い。	44	4]																9/								-
50			+ + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶ	Cg	Шg ≊ε					14	[26]]		CM.													9/27 49,40								
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		ふい黄橙		Шg	cg)"	19	[5	2]																						-
-			++++		行豆		IV g				深度51.04~51.06m: 傾斜11~33度, 砂状を呈する。 深度51.19~51.23m: 傾斜44~71度, 砂礫状を呈する。	[8]				52.2																	35. 0	130	0.0	泥水 5	0
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑		Og Cg					深度52.24~54.40m:変質を受け,節 理に灰白色粘土を挟む。		[23]		Ш	52,2																					
			######################################	岩岩	浅黄橙	Dg				3	深度53.09~53.29m:破砕帯(Hj)。上盤52度,下盤62度,全体幅200mm。傾斜約60度の面構造発達。				3]	CL.														110							
			++++				IV g	Н			深度53.29m: 傾斜62度, 幅2~3mm, 褐色粘土状, 直線的でシャープな面。 深度53.29~53.41m:破砕帯(Hj), 傾斜約60度の面構造発達, 正断層の変位	\mathbb{H}	13	0]		54, 42	[CM]																				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Πg				センスあり。 深度55.00~59.20m:弱風化している。		24		[100]	-																					
			+		にぶい		IV g				深度56.15~56.18m: 節理が多い。	2	20		76																						
			++++ ++++ ++++ ++++ ++++		橙	Dg	II g IVg V g				深度57,05~57,21m:変質のためやや 軟質。			[37]	∄	CW.																					J
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	IV g	bg		2	深度58.00m:酸化マンガン脈、傾斜6 2度、幅0.1~0.2mm。 深度58.95~59.36m:節理が多い。		I																9 29 58.60								
60			T+T+ ++++ +++++			-	V g IV g				Mata, SA. o		f		\prod																						
_ 00	22 7-	61 10	+ + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい赤褐	Cg	Vg Ⅲg				黒雲母花崗岩,上位との境界不明瞭。 深度61.10~131.65m:黒雲母花崗岩。 厚さ1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアブ	13	[26]		\prod															104							
Ĺ	55.77	51.10	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	黒雲母花崗	灰		IV g				ライトを挟む。 黒雲母花崗岩は、径5~10mm程度の石 英、カリ長石一部斜長石の斑晶と径2 ~3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。	10				61.4	61.41																				1
			+ + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗岩	黄褐	Dg	V g				深度61.19~61.57m: 節理に酸化マン ガン多い。	[0]	\parallel	\prod	\blacksquare	CL.	[CL]																	100			
						1	1"			П		Π''				93.0	23.00		Γ'					-												1	\exists

柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 8 孔口標高 T.P. 19.14m 掘 削 長 200.00m コア採取率 コア採取 種 級 Q 最大コア長 尺 高 度 状 記 事 (cm 区 区 長 率 D Q D [%] 60 80 100 分 分 义 調 (%) (%) m (cm) m 40 20 黒褐 恭褐 恭祝 ~ 有機質 0.00~0.42m 100 ・細~中粒砂と有機質土混じり砂、砂質シル 100 トの互層である 灰白 ・炭化木が点在する。 褐灰 100 0.42~2.09m 砂 明赤褐 ・中~粗粒砂である。 100 砂質シルト 炭化木を含む。 2 09~2 85m 100 砂質シルトである。 14.46 5, 40 100 砂 ・炭化木が点在する。 2.85~4.89m 100 細~粗粒砂である。 砂礫機混じり砂 0 : 0 : 4.89~5.40m 100 砂礫である。 0:00 ・径0.2~6cmの亜角礫を含む。 100 0.00 5.40~7.00m 100 0:00 ・礫混じり砂である。 10 7.00~11.93m 橙 礫 0.00 100 ・砂礫である。 0:00 ・礫は径0.2~26cm, 亜角~角礫, 礫種は花 崗斑岩, アプライトである。 100 8.56~8.60m 黄松した橙 100 22 37 CL' 土壌を挟む。 89 100 45 11.93~29.32m 花崗斑 ・花崗斑岩である。 黄橙 CM' 100 56 13.02~13.16m, 13.34~13.61m にぶ ・長石の粘土化が著しい。 100 14 14 い橙 15.81m 100 30 47 CL' ・幅5~10mmの石英脈を挟む。 浅黄橙 100 25 25 17.40~19.70m 橙 CM' ・黒雲母花崗岩である。 黒雲母 花崗岩 100 40 淡橙 100 36 81 浅黄橙 19.70~27.62m 20 100 74 28 ・花崗斑岩である。 20 10~20 16m 橙 100 54 100 ・幅40mmのシルト混じり砂礫状、幅10mmの礫 混じり褐色粘土を挟む。 CL' こぶし黄橙 100 70 24 崗斑 100 35 84 23. 40~23. 55m ・酸化マンガンが細脈網目状に入る。 65 100 65 橙 こぶ橙 こぶむ 23.82~23.90m 45 100 35 ・割れ目に酸化マンガンを挟む。 100 20 40 橙 明黄褐 (1)47 100 24 (1) 27. 62~27. 70m -5. 20 28. 11 CM' にぶい 100 20 34 ペグマタイトである。 27. 70~28. 11m 100 10 10 アプライトである。 30 27. 92m 橙 42 100 14 幅2cmのペグマタイト脈を挟む。 CL' 花崗 100 19 34 9. 32~30. 40m 黒雲母花崗岩である。 斑岩 0 100 6 0.40~33.45m ぶい 花崗斑岩である。 CM' 100 10 20 割れ目に沿って灰白色粘土を挟む。 +++ 黒雲母 褐 斜長石が緑灰色に変質している。 -10, 79 100 16 50 花崗斑岩 3. 45~34. 56m ・黒雲母花崗岩である。 34.56~37.57m ・花崗斑岩である。

¹⁻⁷⁴⁽分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	ŧ	票	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	Sã		コア採取率	岩	岩	孔		(標準	貫入	、試験)	試験	原位	室		掘	孔	コア	給	<u>(</u>	\neg	送	
					種			ア	れ 目					ー (%) 最大コア長 ー cm	級	盤	内水位の		(N 値	~ 深)	芰		試験	内	進	速	径 (mm) /	アチュー		転.			- 1
尺	Ā	高	度	状	区			形	の状					R Q D	区	分	(E) 測定	N							孔内水平	試	月	cm	孔壁	/	ĆNI		\neg	重 (上	重 (] -
(m)			(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事		0 50 100	分	類 27.0	定月日	値	0	10	2	0 3	0	40 5	内水平載荷)	験	日	<u>-</u> ,			MPa	rpm M		分	分
	1. −4	. 85A	21.70	+++++	1 x 2 x 2 1		Cg Bg	III g IV g				深度27.62~27.70m:ペグマタイト、	E	24 [47]]
	1-5	. 20/	28, 11)	+ + + + + + + + + + + + +	アプライト	に	Cg	Шg	bg			上位との境界傾斜20度。 深度27.92m:ペグマタイト脈, 傾斜2 0度, 幅2cm。		20 [34]	CW.																				
_ 30			29.32	++++	岩岩	にぶい橙	Dg	IV g				黒雲母花崗岩、上位との境界傾斜40度 。		10																;	30. 0	100			
	-7	. 19	30.40	++++ ++++ ++++		132		IIx .	_			花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度30.70~31.45m:変質を受け、節		[42]	30.6	69												103					0.0	泥水5	5
				++++ ++++ ++++ ++++	花崗斑				cg			理に沿って灰白色粘土を挟む。 深度31.46~33.91m: 斜長石が緑灰色 に変質している。		19 [34]	31.4	46																			
				++++ ++++ ++++ ++++	出岩	にぶ		IV g					4																		10.0				
	-9	. 83	33.45	+	果霊	が褐						黒雲母花崗岩、上位との境界傾斜37度 。		[20]		[GM]											9 25 33,50			-		130			
	-10	. 79	34.56	+ + + + + + + + + + + + + + + +	岩岩		Cg	Шg				花崗斑岩、上位との境界傾斜16度。		[50]		[CM]															70.0		+	+	\exists
				+ + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	にない			bg		2			15 [38]																					
				+ + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	が橙		IV g				深度36.45~37.54m:節理に沿って酸 化マンガン付着。	ŀ	12 [24]	CW.													82							
	-13	. 40	37.57	+ + + + + + + + + + + + + + + + +	黒			Шg				黒雲母花崗岩, 上位との境界傾斜45度		22 [80]																ļ	50. 0	150	0. 0	泥 水 5	3
				+ + + + + + + + + + + + + + + +	雲母花崗	橙	Bg	IV g				。 深度38.28m: 傾斜62度の節理に沿って 上盤側が幅10mm軟質劣化。 深度38.28~38.54m: 斜長石が緑灰色		[22]																					
40		. 15	39.60	+ + + + + + + + + + + + + + + +	岩	明黄褐	Bg	Vg Vg II g				に変質している。 花崗斑岩、上位との境界傾斜ほぼ水平		27 [27]																					
"				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +					bg			•	τ	6	<u> </u>												9 26 40.50			-			+	+	-
				+ + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	にない	Cg	IV g				深度41.87~42.65m: 節理が多く, 角		12																					
				T+T+T ++++ ++++ ++++	岩	橙						္ 保~細礫状。 深度43.07~43.40m:節理が多く,角 礫~細礫状。	ť																	ダブ					
	-18	. 88	43.90	+		38		VIg	cg		3	深度43.44~43.65m:破砕帯(Hb)。上盤54度、下盤63度。全体幅100mm。	ŀ	27 [21]	CL.	[CL]														ルコア					
	-19	. 63	44.77	+ + + + + + + + + + + + + + + +	- 基本母花樂 世	にぶい	Dg			r		シルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下 。下盤側幅20mm礫質灰白色粘土状。 黒雲母花崗岩、上位との境界傾斜70度 、下位との境界傾斜37度。		78	ļ													107	76	チューブ					
				+ + + + + + + + + + + + + + + +		橙			bg					[23]																ノダイ					
				+ + + + + + + + + + + + + + + +		Au	_	IV g	cg					38 [62]	46,5	92 46,9	2													ヤビッ					
				+										36 [70]																+					
				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +					bg		2	深度48.62~48.79m:節理が多い。		14													9/								
- 50	,			+ + + + + + + + + + + + + + +		に添い	Cg	∭ g						[26]	CM.												9/27 49,40								
				+		かい 黄橙		Шg	cg					[52]																					
				T+T+T ++++ ++++ ++++		位		IV g				深度51.04~51.06m: 傾斜11~33度. 砂状を呈する。 深度51.19~51.23m: 傾斜44~71度, 砂礫状を呈する。	τ	(g (f)																;	35. 0	130	0.0	泥水 5	0
				++++ ++++ ++++ ++++ ++++ ++++ 8+++ ++++	花崗斑		Og Cg					深度52.24~54.40m:変質を受け,節 理に灰白色粘土を挟む。		15 [23]	52, 2	24																			
				81.+18 +1+1	斑岩	浅黄橙	Dg	V g	cg		3	深度53.09~53.29m: 破砕帯(Hj)。上 盤52度、下盤62度、全体幅200mm。傾 斜約60度の面構造発達。 深度53.29m: 傾斜62度、幅2~3mm、褐		58 (53)	CL.	LONI												110							
				+ + + + + + + + + + + + + + + +				IV g	\dashv			色粘土状、直線的でシャープな面。 深度53.29~53.41m:破砕帯(Hj)、傾 斜約60度の面構造発達、正断層の変位	lŀ	(a) (30)	54.4	[CM]																			
-				+ +	-	1-	Cg	II g				センスあり。 深度55.00~59.20m: 弱風化している。		24 [100]	1																				
-				+ + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい		IV g				深度56.15~56.18m: 節理が多い。		2d [76]																					
-				+ + + + + + + + + + + + + + + +	-	橙	Dg	II g IVg V g				深度57.05~57.21m: 変質のためやや 軟質。 深度58.00m: 酸化マンガン脈、傾斜6		26 [37]	CW.																				
-				+	-		Cg	IV g	bg		2	深度58,00m: 酸1Cマンガン脈、傾斜6 2度、幅0.1~0.2mm。 深度58.95~59.36m: 節理が多い。	 														9/29 58,60	H							
L 60				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		I:	Bg	V g IV g				黒雲母花崗岩、上位との境界不明瞭。	t	b																					
-	-33	. 77	61.10	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい赤褐	Cg	Шg				深度61.10~131.65m:黒雲母花崗岩。 厚さ1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアプ ライトを挟む。		113 [26]														104							
-				+ + + + + + + + + + + + + + + + + . + .	黒雲母花崗	灰	Dg	IV g				黒雲母花崗岩は、径5~10mm程度の石 英、カリ長石一部斜長石の斑晶と径2 ~3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。 深度61.19~61.57m:節理に酸化マン		[10]	CI.		1																		
	L			+++++	- 化崗岩	黄褐	Cr Cr	V g				深度01.19~01.5/m: 即埋に酸化マンガン多い。	t	8	63.0	[CL]			Ш													100			\rfloor
$ldsymbol{le}}}}}}$													Ш																						$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}$

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採	大三	Q	最大コア長	記事
	1	^		区		区	取率	ア長	D	R Q D	10 7
m	m	m	図 +·+·-	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 106	
			++++	花崗	にぶ	2	100	15	38	- + + + + + + -1 -1 -1 - 1 - + + + + + +	2
0	-13, 40	37. 57	++++	斑岩	が橙		100	12	24		36.45~37.54m ・割れ目に沿って酸化マンガン付着。
	10.40	37, 37	+++-	黒雲母		CM'	100	22	80	- 1-4-1-1-1-1-1	37. 57~39. 60m ・ 黒雲母花崗岩である。
8	-15, 15	39, 60	+ + + + + + + +	花崗岩	橙		100	12 27	22		・無異時化岡石である。
- 40	10.10	00,00	+++	1000	明黄褐		100	9	0		39.60~43.90m - ・花崗斑岩である。
90			++++	花崗	にぶ		100	12	12	++++++	12回が石でのる。
			++++	斑岩	い橙		100	7	0	++	41.87~42.65m, 43.07~43.40m
8		(I)	+ + + -	石	浅黄		100	27	27		・割れ目が多く、角礫〜細礫状を呈する。
	-18.88 -19.63	44. 77	++++	黒雲母 花崗岩	にぶ	CL'	100	78	100	- + + - + - - - - - + +	●43.44~43.65m(f-8-1破砕帯) ・破砕部である。
•	-19000		‡+‡+		が橙		100	12	23		I・浅黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN16°W82°Eである。
			<u>+</u> +++		黄橙		100	38	62	-+++	・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は54°,下端境界の傾斜は
0			++++				100	36	70		63° である。 43.90∼44.47m
			####				100	14	14	- 14 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	・黒雲母花崗岩である。
			<u>++++</u>		にぶ	CM'	100	14	26		44.77~61.10m ・花崗斑岩である。
- 50			<u> </u>		い		100	19	52		
		5	++++	#:	黄橙		100	9	0		52.24~54.40m ・変質を受け、割れ目に灰白色粘土を挟む。
			++++	花崗		2072	100	13	23		ZZZXII. BINVEICIALE EIXO.
			# + # # + # # + #	斑岩	浅黄橙	CL'	100	53	53		●53.09~53.41m(f-8-2破砕帯) ・破砕部である。
			++++				100	30	30		・浅黄橙色の固結礫状部からなる。
9		ř	 		1=		100	24	100	-	・走向・傾斜はN9°W86°Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
x		1	++++ ++++		ぶい		100	20	76	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・上端境界の傾斜は52°である。
		0	++++		橙	CM'	100	26	37	-++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	*
a		-	++++				100	8	0		
60		8	++++		1= 271.5		100	7	0	+ + + + + + + + + + + + +	40.00
	-33. 77	61, 10			にぶい 赤褐		100	13	26		61.10~131.65m・黒雲母花崗岩である。
·			++++ ++++ + + + +				100	10	10	# + + + + + + + + - +	・幅1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアプライト を挟む。
			++++		灰黄	01.	100	26	26		<mark>6</mark> 1.19~61.57m ・割れ目に酸化マンガン多い。
			+ + + + - + + + +	黒	褐	CL'	100	41	76		62.35m, 62.39m ・変質している。
900		5	++++ ++++	芸母	\vdash		100	16	16		・幅0.1~1mmの灰白色粘土状を呈する。 64.95~64.99m
		9	++++	雲母花崗岩	.	D'	100	10	10	7	・変質している。
		5	+ + + + - + + + + - + + + + -	岩	褐		100	46	77		・灰白色粘土状を呈する。 66.00~66.30m, 66.44~66.57m
		0	++++			CL'	100	54	54	- + + + + 1 - 1 + +	・割れ目密集部で砂礫状を呈する。 ・一部、粘土を挟む。
S			+++ ++++ + + +		灰褐しにぶい		100	17	17	1111111	
\dashv			"_T_		褐		10000		254700	to total district	

1-75 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-74 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬]	割	風	変	話	= :			率	岩	岩	ŦL		(標準貫入	試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給		3 /) 排
			-	種			;	ħ				最;		%) コア	長	級		内	_	(~ 深度			原位置試験	内	進	進速	径 (mm)	アチ		転		水	
尺	高	度	状	区				目 の				R	C	cm S	D	区		(m)	Ν								月月	度(この	孔		$\overline{}$	数(圧	\sim	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟		状態	化	質	事	~	[%]		分	類	測定月日) 値						(孔内水平載荷)	験		_	壁保護	ーブ/ビット	kN MPa)	rpm	MPa	ー/分)	-/分)
			++++			Cg Dg	IV g II g				深度62.35m, 62.39m:シーム。幅0.1~ 1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンス あり。		26 [26]	50	100		63.00	_		C	10 2	30	•	40 5	0										$\stackrel{\smile}{-}$
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰黄褐		IV g	bg			<i>და</i>		\ 4		[76]	CL.											9/	104				100			-
-			+ + + + + + + + + + + +				III g IV g				深度64.95~64.99m: 変質帯。上盤55 度、下盤62度、全体幅20~30mm。灰白 色粘土状。	6			#												9 30 65,00				-				-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Eg	VI g	cg			深度66,00~66,30m: 節理密集部で砂 礫状をなす、一部粘土を挟む。 深度66,44~66,57m: 砂礫状部。	100				06.00 D' 66.57																			
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		褐		II g IV g			2	30,000 partition		X	46	In In													86							-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				I g IVg							54 154	#													00							-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒		D.«	Πo	bg																								130			-
70			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	黒雲母花崗岩	にぶい褐		Шg Иg						*	[80													10 70.60								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + +	崗岩			ш _g IV g					4	[22]			CL																			1
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		におい典別		Vg IIIg IVg	cg		3	深度71.90~72.19m:変質帯。上盤14 度、下盤30度。原岩組織は不明瞭,一 部砂状。	2		38)	\prod																				1
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰褐	1	Пe	bg		2		17	ווי																		-				
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		12)		IV g				深度74.70m:方解石脈,傾斜55度,幅	12	H															89							
			++++		にない実施 服総	1					5~10mm。 深度75.34~77.75m:破砕帯(Hb)。上 盤48度。下盤89度。一部に灰白色粘土		16			75, 34																			
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		いぶい黄	Eg	VIg	cg		3	幅1~10mm、褐色粘土幅0.1~1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。				199	D.																			
	-48.46	78.06	+ + + + + + + +		橙		ше								38)	77, 75											10 3 77.60								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	にぶい	Dg	Ιg	bg		2	花崗斑岩、上位との境界波打つ。			58.	38]	CL' 78.90														ダブ					
80	49.88	79.70	++++	岩	橙	Dg	IIg IVg IIIg			-	黒雲母花崗岩. 上位との境界傾斜54度 。	\parallel	4	٦	53]	CM.														ルコア					
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母			Vg Vg Vg Ug	Cg bg	γ	3	深度80.45〜81.46m:変質帯。上盤72 度、下盤42度。節理に灰白色粘土を挟 む。		[22]			80.21	[CL]											81	76	チューブ	35. 0		0.0	泥水 5	0 -
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母花崗岩	にぶ	Dg	II g IV g	cg bg				1	1	41]	#															ダイ				5	-
-	-52.74	83.00	++++	4	ふい黄橙	Cg	II g	cg		2	花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。		1	44 [8	5]									-			10 4 83.00			ヤビット					-
-			+++++		132	Dø	IV g	bg			深度83.94~85.71m:変質帯。上盤18度		'n			CL.								_						'					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		演奏	Eg	Πg	cg		3	、礫状、節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。 深度84.76m:石英脈、傾斜64度、幅4 0~50mm。	1	16		[70]									-											-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花	明黃褐	Dg	Ig				深度85.27m:石英脈,傾斜80度,幅1 ~10mm。 深度85.71~90.00m:全体に節理多く			I.S	\$ 85 \$ 85									-								100			-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗斑岩	浅黄		IV g				, 節理に沿って粘土を挟む。 																	89				100			-
-			+++++				1	bg)* <u>†</u>	[53]	\blacksquare	88. 18									-										-
L			++++	1	浅黄橙		₩g					(10)				CM' 88, 91																			-
90	-59.11	90.35	++++		橙	Dg					深度90.00~91.08m:節理に粘土を挟み軟質。			45	╗										$\frac{1}{2}$		10 5 90, 10								\dashv
-			******* ****** ****** ****** ****** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ******	黒雲				cg			の軟員。 黒雲母花崗岩,上位との境界傾斜75度 。		ľ	[83		CL.																			-
-			+ ' + ⁺ + + + + + + + + + + + + +	雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IV g			2	深度92.02~92.89m:節理に酸化マン ガン多い。		32		\prod													82							-
-	-61.53	93.15	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	1*© 		IV p				花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。			[40]		93, 39											10 6 93.10								-
-	62.33	94.07	++++ ++++ ++++ ++++ ++++	花崗斑岩	にぶい黄褐	Dg Cg	Шд				黒雲母花崗岩,上位との境界傾斜40度 。	20		MSI	\parallel	CM'																			-
-			+ + + +	1	浅黄橙	Eg Cg	Vie	bg			378 PRINCE EN OF C1 TALTIMALA	\parallel	25			95. 44												67							+
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母花崗岩	黄 褐	Dg	Ⅲg Vg Ⅲg				深度95.55~95.61m:砂礫状。	15	#	411	#	CL.											10/7								+
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	10	明		IV g						1		85	97.56											96.90								-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		黄褐		II g					\parallel		144	#	CW.												93							+
\vdash			+++				TAR	\dashv		-		+	Ш	Ш	Ш	99, 00	99.00								+		\vdash	Н	Н				\dashv	+	\dashv

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コァ	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	コア採	⊐	Q	最大コア長	記事
	100	^	202.5	区		区	取率	ア長	D	R Q D	10
m	m	m	図 +·+·-	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
		8	++++	花崗	にぶ		100	15	38	- + + + + + -1 -1 - 1 - 1 - 1 - + + 1	
9	-13, 40	37. 57	+++	斑岩	を		100	12	24		36. 45~37. 54m ・割れ目に沿って酸化マンガン付着。
1	-13. 40	31,51	+ + + + + + -			CM'	100	22	80	- + A + -	37. 57~39. 60m
8	-15, 15	39. 60	+++	黒雲母花崗岩	橙		100	12	22		・黒雲母花崗岩である。
40	-15, 15	39, 00	+++		明黄褐		100	27	27	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	39. 60~43. 90m
0		2	++++	花崗斑	にぶ		100	9	12		・花崗斑岩である。
		8	++++	斑	い		100	7	0	1 + + + +	41.87~42.65m, 43.07~43.40m
S	806.000	f) separation	<u> </u>	岩	橙		100	27	27		・割れ目が多く、角礫〜細礫状を呈する。
1	-18.88	43, 90	+++	黒雲母 花崗岩	浅黄	CL'	100	78	100	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	●43.44~43.65m(f-8-1破砕帯) ・破砕部である。
	-19, 63	94. //	+++	10 (10) 45	ぶい橙		100	12	23		・浅黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN16°W82°Eである。
8			++++		黄橙		100	38	62	- + + + • + +	・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は54°、下端境界の傾斜は
0			++++				100	36	70		63° である。
9		3	<u>++++</u>				100	14	14		43.90~44.47m ・黒雲母花崗岩である。
300		0	++++		15	CM'	100	14	26	- 4 - 4 - 1 - 1 - 1 - 4 - 4 - 4 - 1 - 1	44.77~61.10m ・花崗斑岩である。
50			++++		ぶい		100	19	52		
5		8	++++		黄橙		100	9	0		52. 24~54. 40m
		5	‡+‡+	花崗	-		100	13	23		・変質を受け、割れ目に灰白色粘土を挟む。
			¤‡+‡¤	斑岩	浅黄橙	CL'	100	53	53		●53.09~53.41m(f-8-2破砕帯)
		1	++++	Į.			100	30	30		・破砕部である。 ・浅黄橙色の固結礫状部からなる。
		18	++++		15		100	24	100		・走向・傾斜はN9°W86°Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
		1.0	++++		ぶい		100	20	76	= 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・上端境界の傾斜は52°である。
		8	++++		橙	CM'	100	26	37	-++++	£.
		- 1	++++			Oill	100	8	0	-	
60		4	<u>++++</u>				100	7	0	• + + - - - + + :	
	-33. 77	61, 10	++++		にぶい 赤褐		100	13	26		61.10~131.65m ・黒雲母花崗岩である。
			++++ ++++		172-ta		100	10	10	1:-:	・幅1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアプライトを挟む。
		3	++++		灰黄		100	8	0	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	61. 19~61. 57m
.		1	++++	黒	褐	CL(1)	100	26	26		・割れ目に酸化マンガン多い。 62.35m, 62.39m
			++++	雲母	Щ		100	41	76		・変質している。・幅0.1~1mmの灰白色粘土状を呈する。
.		9	+ + + - + + + +	雲母花崗岩		D'	100	16	16		64.95~64.99m ・変質している。
.		5	++++	岡岩	褐	U	100	10	10		・灰白色粘土状を呈する。 66.00~66.30m, 66.44~66.57m
			+ + + + - + + + + - + + + + +	6		CL'	100	46	77		・割れ目密集部で砂礫状を呈する。
			++++		灰褐	OL.	100	54	54		・一部、粘土を挟む。
\dashv		- 8	+] +] -		褐		100	17	17		1

1-74(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬]	割	風	変	話	= :			率	岩	岩	ŦL		(標準貫入	試験)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給		3 /) 排
			-	種			;	ħ				最;		%) コア	長	級		内	_	(~ 深度			原位置試験	内	進	進速	径 (mm)	アチ		転		水	
尺	高	度	状	区				目 の				R	C	cm S	D	区		(m)	N								月月	度(この	孔		$\overline{}$	数(圧	\sim	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟		状態	化	質	事	~	[%]		分	類	測定月日) 値						(孔内水平載荷)	験		_	壁保護	ーブ/ビット	kN MPa)	rpm	MPa	ー/分)	-/分)
			++++			Cg Dg	IV g II g				深度62.35m, 62.39m:シーム。幅0.1~ 1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンス あり。		26 [26]	50	100		63.00	_		C	10 2	30	•	40 5	0										$\stackrel{\smile}{-}$
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰黄褐		IV g	bg			<i>და</i>		\ 4		[76]	CL.											9/	104				100			-
-			+ + + + + + + + + + + +				III g IV g				深度64.95~64.99m: 変質帯。上盤55 度、下盤62度、全体幅20~30mm。灰白 色粘土状。	6			#												9 30 65,00				-				-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Eg	VI g	cg			深度66,00~66,30m: 節理密集部で砂 礫状をなす、一部粘土を挟む。 深度66,44~66,57m: 砂礫状部。	100				06.00 D' 66.57																			
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		褐		II g IV g			2	30,000 partition		X	46	In In													86							-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				I g IVg							54 154	#													00							-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒		D.«	Πo	bg																								130			-
70			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	黒雲母花崗岩	にぶい褐		Шg Иg						*	[80													10 70.60								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + +	崗岩			ш _g IV g					4	[22]			CL																			1
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		におい典別		Vg IIIg IVg	cg		3	深度71.90~72.19m:変質帯。上盤14 度、下盤30度。原岩組織は不明瞭, 一 部砂状。	2		38)	\prod																				1
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰褐	1	Пe	bg		2		17	ווי																		-				
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		12)		IV g				深度74.70m:方解石脈,傾斜55度,幅	12	H															89							
			++++		にない実施 服総	1					5~10mm。 深度75.34~77.75m:破砕帯(Hb)。上 盤48度、下盤89度。一部に灰白色粘土		16			75, 34																			
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		いぶい黄	Eg	VIg	cg		3	幅1~10mm、褐色粘土幅0.1~1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。				199	D.																			
	-48.46	78.06	+ + + + + + + +		橙		ше								38)	77, 75											10 3 77.60								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	にぶい	Dg	Ιg	bg		2	花崗斑岩、上位との境界波打つ。			58.	38]	CL' 78.90														ダブ					
80	49.88	79.70	++++	岩	橙	Dg	IIg IVg IIIg			-	黒雲母花崗岩. 上位との境界傾斜54度 。	\parallel	4	٦	53]	CM.														ルコア					
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母			Vg Vg Vg Ug	Cg bg	γ	3	深度80.45〜81.46m:変質帯。上盤72 度、下盤42度。節理に灰白色粘土を挟 む。		[22]			80.21	[CL]											81	76	チューブ	35. 0		0.0	泥水 5	0 -
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母花崗岩	にぶ	Dg	II g IV g	cg bg				1	1	41]	#															ダイ				5	-
-	-52.74	83.00	++++	4	ふい黄橙	Cg	II g	cg		2	花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。		1	44 [8	5]									-			10 4 83.00			ヤビット					-
-			+++++		132	Dø	IV g	bg			深度83.94~85.71m:変質帯。上盤18度		'n			CL.								-						'					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		演奏	Eg	Πg	cg		3	、礫状、節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。 深度84.76m:石英脈、傾斜64度、幅4 0~50mm。	1	16		[70]									-											-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花	明黃褐	Dg	Ig				深度85.27m:石英脈,傾斜80度,幅1 ~10mm。 深度85.71~90.00m:全体に節理多く			I.S	\$ 85 \$ 85									-								100			-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗斑岩	浅黄		IV g				, 節理に沿って粘土を挟む。 																	89				100			-
-			+++++				1	bg)* <u>†</u>	[53]	\blacksquare	88. 18									-										-
L			++++	1	浅黄橙		₩g					(10)				CM' 88, 91								+											-
90	-59.11	90.35	++++		橙	Dg					深度90.00~91.08m:節理に粘土を挟み軟質。			45	╗										$\frac{1}{2}$		10 5 90.10								\dashv
-			******* ****** ****** ****** ****** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ******	黒雲				cg			の軟員。 黒雲母花崗岩,上位との境界傾斜75度 。		ľ	[83		CL.																			-
-			+ ' + ⁺ + + + + + + + + + + + + +	雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IV g			2	深度92.02~92.89m:節理に酸化マン ガン多い。		32		\prod													82							-
-	-61.53	93.15	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	1*© 		IV p				花崗斑岩、上位との境界傾斜20度。			[40]		93, 39											10 6 93.10								-
-	62.33	94.07	++++ ++++ ++++ ++++ ++++	花崗斑岩	にぶい黄褐	Dg Cg	Шд				黒雲母花崗岩,上位との境界傾斜40度 。	20		MSI	\parallel	CM'																			-
-			+ + + +	1	浅黄橙	Eg Cg	Vie	bg			378 PRINCE EN OF C1 TALTIMALA	\parallel	25			95. 44												67							+
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒雲母花崗岩	黄 褐	Dg	Ⅲg Vg Ⅲg				深度95.55~95.61m:砂礫状。	15	#	411	#	CL.											10/7								+
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	10	明		IV g						1		3 5	97.56											96.90								-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		黄褐		II g					\parallel		144	#	CW.												93							+
\vdash			+++				TAR	\dashv		-		+	Ш	Ш	Ш	99, 00	99.00								+		\vdash	Н	Н				\dashv	+	\dashv

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採取率	
	_		dh	種	387123	級	ア採	天コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	(cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	R Q D [%]	
			++++		にぶ	2	100	34	80	-++	2
			++++		い福		100	12	22	- +	*
			++++	黒	にぶい 黄褐	CL'	100	21	38		71.90~72.19m ・変質している。
			++++	雲	灰		100	17	17		
			++++	雲母花崗	褐		100	12	12		74.70m
		1)[X+1X	岩	にぶい		100	36	36		・幅5~10mmの方解石脈を挟む。 ●75.34~77.75m(D-25破砕帯)
			X++ 1 X		にぶい黄檀	D'	100	95	95		・破砕部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。
	40.40	70.0	X + +X		にぶい 黄橙		100	53	88	-++	・走向・傾斜はN4°W88°Wである。
1	-48. 46	78.06	++++	花崗	にぶ	CL'	100	53	88		・フィルム状の粘土を挟在する。 18.06~79.70m
	-49. 88	79. 70	<u> </u>	花崗斑岩黒	が一	CM'	100	31	63	- + + + +	・花崗斑岩である。
- 80			++++	黒雲	15	7.00	100	12	22		79.70~83.00m ・黒雲母花崗岩である。
			++++	雲母花崗	15		100	32	41	-+	80. 45~81. 46m
-	E0 74	02.00	++++	崗岩	ぶい		100	44	85		・変質している。 ・割れ目に灰白色粘土を挟む。
t t	-52, 74	83. 00	+++	_4_	黄橙		100	17	17		83. 00∼90. 35m
- I			 		1品	CL'	100	26	70		- 花崗斑岩である。 - 83.94~85.71m
-			<u> </u>	++-	<u>淡黄</u> 明黄褐		100	85	85		・変質している。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			+‡+‡-	花崗	浅		100	6	0	•1-5111-1-1	84. 76m
-			####	斑岩	黄	3	100	32	53		. 幅40~50mmの石英脈を挟む。 . 85.27m
-			<u> </u>	ų	浅	CM'	100	10	10	1-1-1-1	·幅1~10mmの石英脈を挟む。 85.71~90.00m
- 1			+		黄	0	100	16	16		・全体に割れ目が多く、割れ目に沿って粘土を挟む。
- 90	-59. 11	90. 35	+++	里	橙		100	45	82	+++10-1-1-1+	- 190. 35∼93. 15m
-			++++	雲田	明	CL'	100	18	31		・黒雲母花崗岩である。
-			++++	雲母花崗岩	黄	8	100	32	45	+++++	92.02~92.89m
- 1	-61.53	93, 15	# ; # ; =	花崗斑	褐		100	19	35		・割れ目に酸化マンガン多い。 ・93.15~94.07m
	-62. 33	94. 07		岩	にぶい	CM'	100	20	43		・花崗斑岩である。
-			+ + + + - + + + + - + + + + -	m m	黄褐 浅黄橙		100	25	61		【 94.07~100.15m - 黒雲母花崗岩である。
-			++++	黒雲	黄褐	CL'	100	15	41		
-			++++	母	明	OL.	100	85	99		
-			+ + + + + + + + + + + +	花崗岩	黄	CM'	100	31	44		●99.80~100.13m
-			++++	石	褐		100	21	36	-++++	・破砕部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。
- 100	-67, 59	100, 15	\$+ + +		淡黄	οι,	100	83	83		・走向・傾斜はN42°W58°Eである。 -
-			++++	花崗	明黄褐 灰黄褐 瘀	CL'	100	33	70		・フィルム状の粘土を狭在する。 ・上端境界の傾斜は68°、下端境界の傾斜は
-			++++	斑岩	一倍 にぶい 黄橙		100	26	65		60°である。 100.15~103.45m
-	-70. 45	103. 45	<u> </u>		124	CM'	100	22	77		・花崗斑岩である。
- [++++	黒雲母	にぶい黄樹			1300000			101.59m ・変質している。
\vdash			++++	化崗石	黄檀	CL'	100	21	37		・褐色粘土状を呈する。 103.45~113.54m
-	3 (分					î ?					・黒雲母花崗岩である。

1-76 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-74 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	=	割	風	変	語	=	ア打	采取	率	岩岩	4	孔		(標準貫力	は試り	<u></u>)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給	(回		´6 送) 排
128	lok	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1	種			ア	ħ	,,,,,,	^	lic			%) コア		級量		内卜	_	(N 値	~ 深	度			位置試験			進	径	アチュ	TI	転	.	水	.
尺	高	度	状					目の				R		cm Q	D			(m)	N							孔内			度	/		圧	数	圧	量	量
				区			形	状				-	. [%]		区 5		測定月	値							水平載		月	(cm/時		ビ	kN	rpm		1	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 + ₊ + ₊ +	分	調明	軟	状態		化		事	ŀ	TII.	50	100	分类	頁 9.00	B	_	0	10	20	30	4	0 5	60 一	験	日	₩ 1	護	۲)	~	<u>~</u>	~	
100	-67.59	100.15	++++ ++++ 5	黒雲母花崗岩	黄褐淡黄		IV g VI g	bg		3	深度99.80~100.13m:破碎帯(Hj)。上 盤68度、下盤60度。幅10mm,粘土細脈 網目状。		****	38)																						4
-			+++++		明 黄褐 灰黄褐	Dg	I g				花崗斑岩、上位との境界は破砕帯、傾 斜60度。			[8		CL.										1										-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	橙	Dg	шв	\vdash			深度101.59m:シーム。56度、幅2~5 mm褐色粘土状。		1		[70]	102. 16													93							-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	橙		II g IV g	1					26	Н	(65)																					
	-70.45	103.45	++++			Cg	Шg	1			黒雲母花崗岩、上位との境界漸移的。		22	H	[7]	CM																				
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		におい他習	Dg Gg	IVg	-			深度104.72m:酸化マンガン・石英脈		21 [3	37]		104, 26												10/10		76						
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Dg	Шg Иg	\Box			、傾斜58度、幅1~10mm。 深度105.27m:酸化マンガン脈、傾斜 12度、幅1~10mm。		34	H	[65]	CL.												105.00		,,						
			++++		橙		IV g Ⅲ g						<u> </u>	[44]		106, 47																				Ī
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒		Cg	IV g	bg		2	深度107.55m:酸化マンガン脈,傾斜 25度,幅1~10mm。		21	[\$1]		CM.																				1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + +	雲母花崗	明务指	Dg	Wg IVg	og bg			深度107.99m:酸化マンガン脈、傾斜 28度、幅2~5mm、2条あり。 深度108.22m:石英脈、上盤57度,下	Щ	22	.56		108. 46	9.1												88							1
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	崗岩	明	Eg	VI g IV g	dg			盤36度,幅0~80mm,閉じる。 深度108.46m:シーム。傾斜63度,幅 0.1~2mmの灰白色粘土状。 深度108.85m:シーム。傾斜34度,幅	100		#		D,				Ī																-
<u></u> 110			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		黄褐		VI g	cg			未及 103. 65 : シーム。 19(素) 34 及。		1	42 [#2]		110, 53																				
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Cg	IVg						5	[78]		CM.												10/11/11/11/160								1
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙		VIg				深度112.30~112.61m,112.95~113.2 4m:砂礫状コア。	14	4 21	\parallel		112.30				-								111.00								-
-	-79.19	113.54	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				IV g VI g IV g						4 201			D' 113, 24				-									67							-
-		114.47	+ # + # +	1	明黄褐	Dg	III g				アプライト、上位との境界傾斜67度。 - 黒雲母花崗岩、上位との境界は破砕帯		19			CL.										1		10 13 114, 40								-
_			X+++ ++++ ++++ ++++		明黄袍	Cg	IV g], 傾斜48度。 深度114.47~114.67m:破砕帯(Hj)。 上盤48度, 下盤18度。傾斜67度,幅2~		7	31]		CM' 115, 40															ダブル					-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				IV g VI g IV g				10mmの褐色粘土状。 深度120.37~120.43m:破砕帯(Hc)。 上盤56度、下盤20度。幅30mm灰白色粘		[29]																		コアチ					-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙	Gg			r		土状。 深度120.43~121.21m:破砕帯(Hb)。上 下盤20度。砂礫状。	H	[32			CL.				-		+				+			70			35.0	100	0.0	泥水 5	0 -
-			+			Dg		bg		2	深度124.30~124.31m:破砕帯(Hc)。	H	X		64]					-											/ ダイヤ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明黄	Fσ	I g				上盤18度、下盤23度。幅10~15mm褐色 粘土状。 深度124.35~124.37m:破砕帯(Hc)。) 17 [1	6]	118, 59						+	+			-		10/			ヤビット					-
—120			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄褐橙		V g				上盤46度、下盤56度。幅10~15mm褐色 粘土状。 深度124.37~124.61m:破砕帯(Hj)。上	Щ	4	86]		D.						-						119, 55								\dashv
-			++++		にぶい黄褐	Eg	VIg	dg		3	盤56度, 下盤55度。礫状。 深度124.61~124.62m: 破砕帯(Hc)。	H	[22]	Ħ								-								76						-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + +	1		Eg Dg	VIg IIg IVg IIg VIg VIg	dg bg			上盤55度、下盤57度。幅5~10mmの褐 色粘土状。 深度124.62~125.00mi 破砕帯(Hj)。上		[22]	Ħ		121, 62							_						76	/セメンティング						-
-			+ +	二雲母花崗	橙		VI g			2	盤57度,下盤不明。礫状。 深度125.00~125.11:破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。		19 [19]	Ħ		CL'												10 /		・イング						-
_			1+1+1	化崗岩	书	\vdash	VI g IV g				深度125.11~125.12m:破砕帯(Hc)。上盤19度,下盤21度。幅5~15mm褐色粘土 状。	\(\frac{1}{2}\)	[22]	\parallel		D' 123. 69 CL'												10 16 123, 50								
			+++		明黄福		VI g IV g	dg bg			深度125.12~125.19m:破砕帯(Hc)。上盤21度, 下盤10度。浅黄橙色固結シルト状。		18 3	36)		124.30 124	4.30																			_
_			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		浅黄	DE.				3	深度125.19~125.20m:破砕帯(Hc)。 上盤10度、下盤12度。幅5~15mm褐色 粘土状。 深度125.20~125.43m:破砕帯(Hb)。上				[100]	D'																				
			++++		にぶい黄	Eg	l I g				施12度, 下盤32度。シルト質碟状。 深度125 43~125, 52m:破砕帯 (Hc)。 上盤32度、下盤27度。幅90mmの褐色粘				100														77							
			+ + + + + +		<u>橙</u> 浅	Eg	IV g	4 1		2	土状。 深度125.52~127.45m:破砕帯(Hj)。 上盤27度,下盤58度。礫状,部分的に原		*	150	1	127. 45 CL'																				
			T+T+T	1	黄にぶい		Пg	1		_	岩残す。 深度128.46~131.65m:破砕帯(Hb)。 上盤16度、下盤48度。幅0.1~20mm。 両 無44維不用		+	58	[100]	128.46	0]											10/17								
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		が黄檀		VI g				原岩組織不明。 深度131.65~131.68m:破砕帯(Hc)。 上盤48度、下盤56度。全幅15~20mm。 上盤から幅0.1~10mmの褐色粘土状、	H	K		(65)													129, 00								1
<u></u> 130			+++		浅黄	Eg	I g	dg		4	幅0~3mmの灰白色粘土状、幅10~15m mの灰白色粘土状、幅1~12mmの褐色粘 土状、直線的でシャープである。	H	\parallel			D.				ļ			T						65							
	-94.87	131.65	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙	5					深度131.68~132.09m: 破砕帯(Hb)。 上盤56度。下盤6度。 深度131.68~131.90m: 固結灰白色粘	H	Ħ															10/18								1
			======================================	・ア・	灰オリ	1	VI g		!		土状。 深度131.90~132.09m: 固結砂礫状。 深度131.65~136.53m:アプライト 全体に変質受けて暗オリーブ灰~灰オ		2	Ħ	#	132, 09 132	2.09			-		T	\dagger					131, 80								1
-			** * * * * * * * * * * * * * * * * *	プライ	リ ー ブ ォリーブ®	Dg		bg		3	リーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認 められない。全体に破砕状で、頻繁に 方解石脈を挟む。	195	\parallel	\parallel	\parallel	CL. [C	L)			-			\dagger			1			66	Н						1
-			+ + + + +	+	オリーブD 離オリーフ 次 オリーブD 灰白		IVg	cg		2	深度133.89~133.92m:変質帯。上盤 19度、下盤30度。幅40mm,緑灰色シル ト質細礫状。方解石脈に平行。		5 [28]	#	\parallel					-			\dagger					10 /		76						-
_			* * * *		様オリーフ 鉄 美裕	Cg		bg		_		#	П	Ш	Ш	135, 00 138	5.00	+							1	+		135.00		H				1	+	\dashv

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	٦	最	R	コア採取率	
_	<u>+</u>	#	خلد	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	÷1 #r
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			+ + + - + + + -		にぶ		100	34	80	-++	
			+ ⁺ + ⁺		褐		100	12	22	- •	
			++++	黒	にぶい 黄褐	CL'	100	21	38		71.90~72.19m ・変質している。
			++++	雲母花	灰		100	17	17		
			++++	花崗	褐		100	12	12		74.70m ・幅5~10mmの方解石脈を挟む。
			ä‡+ ‡	岩	にぶい 黄橙 暗褐		100	36	36	-++	●75.34~77.75m(D-25破砕帯)
			X+ ‡₩		暗視にぶい	D'	100	95	95		・破砕部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。
	-48. 46	78. 06	₽ ∓± 1 ≥		黄橙	4000000	100	53	88		・走向・傾斜はN4°W88°Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
			++++	花崗	にぶ	CL'	100	53	88		78. 06~79. 70m
- 80	-49. 88	79. 70	++++	花崗斑岩黒	・橙	CM'	100	31	63	-++	・花崗斑岩である。 79.70~83.00m
- 00			++++	雲			100	12	22	- 14 44 44 44	・黒雲母花崗岩である。
			++++	雲母花	にぶ		100	32	41	-++	80.45~81.46m ・変質している。
	-52, 74	83. 00	++++	崗岩	い		100	44	85		・割れ目に灰白色粘土を挟む。
			‡+‡+		黄橙	01.1	100	17	17	- + 4	83.00~90.35m ・花崗斑岩である。
			<u>+</u> +++			CL'	100	26	70		83. 94~85. 71m
			+‡+‡-	花	<u>淡黄</u> 明黄褐		100	85	85	-1111111111	・変質している。 ・礫状、割れ目に沿って灰白色粘土を挟む。
			++++	花崗斑岩	浅		100	6	0	• - - - - - - - - -	84.76m ・幅40~50mmの石英脈を挟む。
			<u>+++</u> +	岩	黄		100	32	53		85.27m ・幅1~10mmの石英脈を挟む。
			+‡+‡-		浅	CM'	100	10	10		85.71~90.00m ・全体に割れ目が多く、割れ目に沿って粘土
- 90	50.44	20 25	+++ +		黄橙		100	16	16	- 1421-1-1-1	を挟む。
-	-59. 11	90. 35	++++	黒		CL'	100	45	82	-++-3•1-1-1+	90. 35~93. 15m
			++++	黒雲母花崗岩	明	UL	100	18	31		・黒雲母花崗岩である。
	-61, 53	93. 15	++++	尚岩	黄褐		100	32	45	- + + + -	92.02~92.89m ・割れ目に酸化マンガン多い。
	-62. 33	94. 07	‡+‡+	花崗斑 岩			100	19	35		93.15~94.07m ・花崗斑岩である。
			+ + + + - + : + : -		にぶい 黄褐	CM'	100	20	43	- + • + + -	94. 07~100. 15m
			++++	黒	_{浅黄橙} 黄褐		100	25	61		・黒雲母花崗岩である。
_			++++	雲母	7214	CL'	100	15	41	- 14-1-1-1-1-1	
			++++	花崗	明黄		100	85	99		
			++++	岩	褐	CM'	100	31	44		●99.80~100.13m ・破砕部である。
_ 100	-67, 59	100.15	+ +++		淡黄	1	100	21	36		・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。・走向・傾斜はN42°W58°Eである。
- 100			+++	花	明黄褐灰黄褐	CL'	100	83	83		・フィルム状の粘土を狭在する。
			++++	崗	にぶい	8	100	33	70		· 上端境界の傾斜は68°, 下端境界の傾斜は 6 0°である。
			++++	斑岩	黄橙	0141	100	26	65		100.15~103.45m ・花崗斑岩である。
	-70. 45	103. 45	#:#:=	黒雲母	橙	CM'	100	22	77	-+ ++	01. 59m
			+ + + + + + + +	赤景母花崗岩	にぶい	CL'	100	21	37		・変質している。・褐色粘土状を呈する。
					橙						103.45~113.54m ・黒雲母花崗岩である。
1 7	4(分	北五1.7	<u> </u>					ii.			

1-74(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	=	割	風	変	語	=	ア打	采取	率	岩岩	4	孔		(標準貫力	は試り	<u></u>)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給	(回		´ 6 送) 排
128	lok	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1	種			ア	ħ	,,,,,,	^	lic			%) コア		級量		内卜	_	(N 値	~ 深	度			位置試験			進	径	アチュ	TI	転	.	水	.
尺	高	度	状					目の				R		cm Q	D			(m)	N							孔内			度	/		圧	数	圧	量	量
				区			形	状				-	. [%]		区 5		測定月	値							水平載		月	(cm/時		ビ	kN	rpm		1	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 + ₊ + ₊ +	分	調明	軟	状態		化		事	ŀ	TII.	50	100	分类	頁 9.00	B	_	0	10	20	30	4	0 5	60 一	験	日	₩ 1	護	۲)	~	<u>~</u>	~	
100	-67.59	100.15	++++ ++++ 5	黒雲母花崗岩	黄褐淡黄		IV g VI g	bg		3	深度99.80~100.13m:破碎帯(Hj)。上 盤68度、下盤60度。幅10mm,粘土細脈 網目状。		****	38)																						4
-			+++++		明 黄褐 灰黄褐	Dg	I g				花崗斑岩、上位との境界は破砕帯、傾 斜60度。			[8		CL.										1										-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	橙	Dg	шв	\vdash			深度101.59m:シーム。56度、幅2~5 mm褐色粘土状。		1		[70]	102. 16													93							-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	橙		II g IV g	1					26	Н	(65)																					
	-70.45	103.45	++++			Cg	Шg	1			黒雲母花崗岩、上位との境界漸移的。		22	H	[7]	CM																				
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		におい他習	Dg Gg	IVg	-			深度104.72m:酸化マンガン・石英脈		21 [3	37]		104, 26												10/10		76						
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Dg	Шg Иg	\Box			、傾斜58度、幅1~10mm。 深度105.27m:酸化マンガン脈、傾斜 12度、幅1~10mm。		34	H	[65]	CL.												105.00		,,						
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙		IV g Ⅲ g						<u> </u>	[44]		106, 47																				Ī
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	黒		Cg	IV g	bg		2	深度107.55m:酸化マンガン脈,傾斜 25度,幅1~10mm。		21	[\$1]		CM.																				1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + +	雲母花崗	明务指	Dg	Wg IVg	og bg			深度107.99m:酸化マンガン脈、傾斜 28度、幅2~5mm、2条あり。 深度108.22m:石英脈、上盤57度,下	Щ	22	.56		108. 46	9.1												88							1
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	崗岩	明	Eg	VI g IV g	dg			盤36度,幅0~80mm,閉じる。 深度108.46m:シーム。傾斜63度,幅 0.1~2mmの灰白色粘土状。 深度108.85m:シーム。傾斜34度,幅	100		#		D,				Ī																-
<u></u> 110			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		黄褐		VI g	cg			未及 103. 65 1 2 - 103. 19(素) 34 2 103. 19(\xi) 34 2 103. 19(\xi) 34		1	42 [#2]		110, 53																				
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			Cg	IVg						5	[78]		CM.												10/11/11/11/160								1
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙		VIg				深度112.30~112.61m,112.95~113.2 4m:砂礫状コア。	14	4 21	\parallel		112.30				-								111.00								-
-	-79.19	113.54	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				IV g VI g IV g						4 201			D' 113, 24				-									67							-
-		114.47	+ # + # +	1	明黄褐	Dg	III g				アプライト、上位との境界傾斜67度。 - 黒雲母花崗岩、上位との境界は破砕帯		19			CL.										1		10/13								-
_			X+++ ++++ ++++ ++++		明黄袍	Cg	IV g], 傾斜48度。 深度114.47~114.67m:破砕帯(Hj)。 上盤48度, 下盤18度。傾斜67度,幅2~		7	31]		CM' 115, 40															ダブル					-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				IV g VI g IV g				10mmの褐色粘土状。 深度120.37~120.43m:破砕帯(Hc)。 上盤56度、下盤20度。幅30mm灰白色粘		[29]																		コアチ					-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙	Gg			r		土状。 深度120.43~121.21m:破砕帯(Hb)。上 下盤20度。砂礫状。	H	[32			CL.				-		+				+			70			35.0	100	0.0	泥水 5	0 -
-			+			Dg		bg		2	深度124.30~124.31m:破砕帯(Hc)。	H	X		64]					-											/ ダイヤ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明黄	Fσ	I g				上盤18度、下盤23度。幅10~15mm褐色 粘土状。 深度124.35~124.37m:破砕帯(Hc)。) 17 [1	6]	118, 59						+	+			-		10/			ヤビット					-
—120			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄褐橙		V g				上盤46度、下盤56度。幅10~15mm褐色 粘土状。 深度124.37~124.61m:破碎帯(Hj)。上	Щ	4	86]		D.						-						119, 55								\dashv
-			++++		にぶい黄褐	Eg	VIg	dg		3	盤56度, 下盤55度。礫状。 深度124.61~124.62m: 破砕帯(Hc)。	H	[22]	Ħ								-								76						-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + +	1		Eg Dg	VIg IIg IVg IIg VIg VIg	dg bg			上盤55度、下盤57度。幅5~10mmの褐 色粘土状。 深度124.62~125.00mi 破砕帯(Hj)。上		[22]	Ħ		121, 62							_						76	/セメンティング						-
-			+ +	二雲母花崗	橙		VI g			2	盤57度,下盤不明。礫状。 深度125.00~125.11:破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。		19 [19]	Ħ		CL'												10 /		・イング						-
_			1+1+1	化崗岩	书	\vdash	VI g IV g				深度125.11~125.12m:破砕帯(Hc)。上盤19度,下盤21度。幅5~15mm褐色粘土 状。	\(\frac{1}{2}\)	[22]	\parallel		D' 123. 69 CL'												10 16 123, 50								
			+++		明黄福		VI g IV g	dg bg			深度125.12~125.19m:破砕帯(Hc)。上盤21度, 下盤10度。浅黄橙色固結シルト状。		18 3	36)		124.30 124	4.30																			_
_			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		浅黄	DE.				3	深度125.19~125.20m:破砕帯(Hc)。 上盤10度、下盤12度。幅5~15mm褐色 粘土状。 深度125.20~125.43m:破砕帯(Hb)。上				[100]	D'																				
			++++		にぶい黄	Eg	l I g				施12度, 下盤32度。シルト質碟状。 深度125 43~125, 52m:破砕帯(Hc)。 上盤32度、下盤27度。幅90mmの褐色粘				100														77							
			+ + + + + +		<u>橙</u> 浅	Eg	IV g	4 1		2	土状。 深度125.52~127.45m:破砕帯(Hj)。 上盤27度,下盤58度。礫状,部分的に原		*	150	1	127. 45 CL'																				
			T+T+T	1	黄にぶい		Пg	1		_	岩残す。 深度128.46~131.65m:破砕帯(Hb)。 上盤16度、下盤48度。幅0.1~20mm。 両 無44維不用		+	58	[100]	128.46	0]											10/17								
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		が黄檀		VI g				原岩組織不明。 深度131.65~131.68m:破砕帯(Hc)。 上盤48度、下盤56度。全幅15~20mm。 上盤から幅0.1~10mmの褐色粘土状、	H	K		(65)													129, 00								1
<u></u> 130			+++		浅黄	Eg	I g	dg		4	幅0~3mmの灰白色粘土状、幅10~15m mの灰白色粘土状、幅1~12mmの褐色粘 土状、直線的でシャープである。	H	\parallel			D.				İ			T						65							
	-94.87	131.65	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		橙	5					深度131.68~132.09m: 破砕帯(Hb)。 上盤56度。下盤6度。 深度131.68~131.90m: 固結灰白色粘	H	Ħ															10/18								1
			======================================	・ア・	灰オリ	\vdash	VI g		!		土状。 深度131.90~132.09m: 固結砂礫状。 深度131.65~136.53m:アプライト 全体に変質受けて暗オリーブ灰~灰オ		2	Ħ	#	132, 09 132	2.09			-		T	\dagger					131, 80								1
-			** * * * * * * * * * * * * * * * * *	プライ	リ ー ブ ォリーブ®	Dg		bg		3	リーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認 められない。全体に破砕状で、頻繁に 方解石脈を挟む。	195	\parallel	\parallel	\parallel	CL. [C	L)			-			\dagger			1			66	Н						1
-			+ + + + +	+	オリーブD 離オリーフ 次 オリーブD 灰白		IVg	cg		2	深度133.89~133.92m:変質帯。上盤 19度、下盤30度。幅40mm,緑灰色シル ト質細礫状。方解石脈に平行。		5 [28]	#	\parallel					-			\dagger					10 /		76						-
_			* * * *		様オリーフ 鉄 美裕	Cg		bg		_		#	П	Ш	Ш	135, 00 138	5.00	+							1	+		135.00		H				1	+	\dashv

柱状図(105.00m~140.00m)

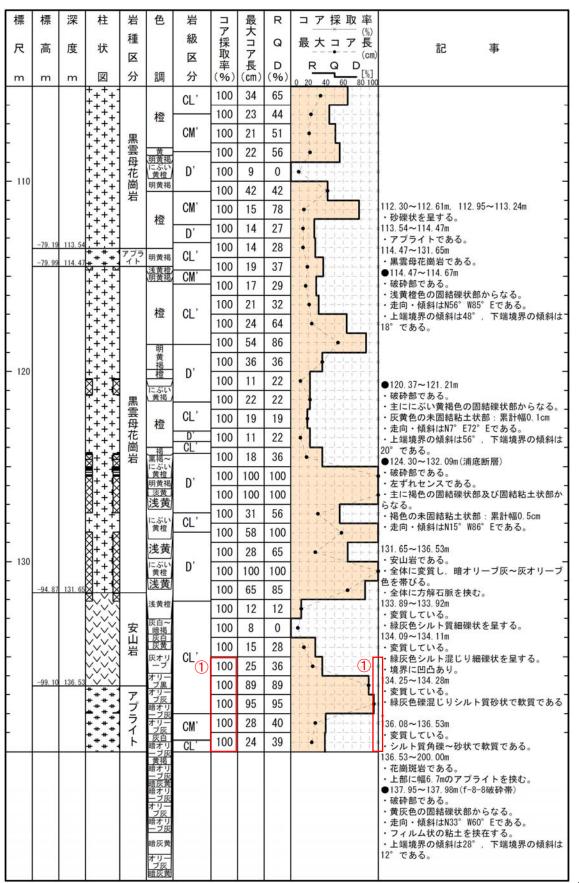
1-77, 1-78 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-74 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	岩	⊐	最	R	コア採取率	
35500	254.2544.			種	887928	級	ア採	大コ	Q	最大コア長	50 at
尺	高	度	状 	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
			+++			CL ²	100	34	65	- + + - + - 1 - 1 - 1 - + - + - + - + -	2
			++++		橙		100	23	44		_
			++++	黒		CM'	100	21	51	•	-
5			++++	雲母	明黄褐		100	22	56		-
- 110			++++	母花崗	にぶい 黄橙 明黄褐	D'	100	9	0	- • +	_
8			++++	岩	919014	OM.	100	42	42		112.30~112.61m, 112.95~113.24m
3			++++		橙	CM'	100	15	78	+++	・砂礫状を呈する。
	-79. 19	113 54	++++		100000	D'	100	14	27		13.54~114.47m ・アプライトである。
	-79. 99	114, 47	####	アプラ イト	明黄褐	CL'	100	14	28	-+	14.47~131.65m ・黒雲母花崗岩である。
î			++++		浅黄橙, 明黄褐,	CM'	100	19	37		●114.47~114.67m ・破砕部である。
1			++++				100	17 21	29 32		・浅黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN56°W85°Eである。
			++++		橙	CL'	100	24	64		・上端境界の傾斜は48°, 下端境界の傾斜は
3			++++				100	54	86		8° である。
			++++		明黄	1	100	36	36		
120		_ [++++	1	福盘	D'	100	11	22		-
		1	∅ ++ *	黒	にぶい		100	22	22	- + \	●120.37~121.21m ・破砕部である。
			++++	雲回	42%	CL'	100	19	19		・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄色の未固結粘土状部:累計幅0.1cm
9			++++	雲母花	橙	D'	100	11	22	- +/ +	・走向・傾斜はN7°E72°Eである。・上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は
9			+++ 8++**	崗岩	福 黒福~	CL'	100	18	36		20°である。 ●124.30~132.09m(浦底断層)
)			#+# #+#		にぶい 黄橙 明黄褐	D'	100	100	100	- + + +	- 破砕部である。
5			Ø+ + *		淡黄	U	100	100	100		・左ずれセンスである。 ・主に褐色の固結礫状部及び固結粘土状部か
			Ø∓+ 7 Ø		にぶい	CL'	100	31	56	-++•4	らなる。 ・褐色の未固結粘土状部: 累計幅0.5cm
			8+++	1	黄橙	UL	100	58	100		- 走向・傾斜はN15°W86°Eである。
130		1	0±7±		浅黄		100	28	65	-++•==	31.65~136.53m ・安山岩である。 -
150			Ø+ ÷ ₩		たぶい 黄橙	D'	100	100	100		・全体に変質し、暗オリーブ灰〜灰オリーブ色を帯びる。
Į,	-94. 87	131. 65	#+# ###	÷	浅黄		100	65	85		・全体に方解石脈を挟む。
}			VVVV	- 85	浅黄橙		100	12	12	+++	33.89~133.92m ・変質している。
			\ <u>\</u> \\\	安山	灰白~ 暗褐 灰白 灰黄		100	8	0	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・緑灰色シルト質細礫状を呈する。 134.09~134.11m
			****	公山岩	<u>灰黄</u> 灰オリ ーブ	CL'	100	15	28		・変質している。 ・緑灰色シルト混じり細礫状を呈する。
	00 10	136, 53	\ <u>\</u> \\\		$\pm u_{-}$		100	25	36		・境界に凹凸あり。 134.25~134.28m
	-99, 10	130. 33	####	アプ	プリスティック ブルス ボリー ブ灰 暗オリ		100	89	89		・変質している。 ・緑灰色礫混じりシルト質砂状で軟質である
į.				プラ	暗オリーブ灰		100	95	95		0
			****	イト	ブ灰	CM'	100	28	40	- + + + +	136.08~136.53m ・変質している。
			+"+"+	7	一オブ灰白リ灰ー黄	CL'	100	24	39		・シルト質角礫~砂状で軟質である。 136.53~200.00m
					度付 暗オリ 一ブ灰 音						・花崗斑岩である。 ・上部に幅6.7mのアプライトを挟む。
					暗オリーブル						●137.95~137.98m(f-8-8破砕帯)
					ナリー ブ <u>灰</u> 暗オリ ーブ灰						・黄灰色の固結礫状部からなる。
											・走向・傾斜はN33°W60°Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
					暗灰黄						・上端境界の傾斜は28°, 下端境界の傾斜は 12°である。
					オリー ブ <u>灰</u> 暗灰黄						

標	標	深	柱	岩	ム	石田	<u> </u>	쿀	圃	亦	記	-	ア	′採	取率	<u> </u>	当岩	- 7l		(標準貫	入試態	į)試	験	原	安	掘	堀	孔	п	絵		5 /	∕ 6 ;¥) 排
175	175	<i>**</i>	11			N.		れ	7555,	2	RC .			(% : ⊐) ア 長		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	一大		([~深				原位置試験			進	径	アチ		転		水	
尺	高	度	状	種			ア	目の				R		cr Q	n D	,		(m	$ _{\mathbf{N}}$							歌(孔内			度	71				圧	- 1	量
				区			形	状				-	-	[%]		⊠ 分	定	! ! ! ! ! ! ! !							水平載		月	cm /	壁保	ーブ/ビット	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 * ₊ * ₊ *	分	値オリーT 灰	-	状 IVg		化	質	事 深度134.09~134.11m:変質帯。上盤	0	П	50		100) 類	į Ή			0 10	20	30	40	50	一荷	験	日	時)	護	۲	мга 	~	~	<i>"</i>	
-			* * * * * * * * * * * * * * *		暗灰黄 ^{腰ナリー:}	, ,,	II g	4		2	25度、下盤16度。幅10〜30mm,緑灰色 シルト混じり細礫状。方解石脈に平行 。境界凹凸あり。		25	381		#													92					0.0	泥水5	0 -
-			* * * * * * * * * * * * * * *		オリーブ6 原オリー:	_	Ιg			3	深度134.25~134.28m:変質帯。傾斜 17度、幅30mm.線灰色礫混じりシルト 質砂状。軟質、境界不明瞭。 深度135.19m:シーム。傾斜20度、幅	Ш			[89]	89 C	-											10 20 137.00							3	
			# # # # # # # # # # # #		暗灰黄		П д				(本度 135.19	Ш			19	95	3. 00																			1
			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ	オリープ医	ls.	III g			2	深度136.08~136.53m:変質帯。上盤 10度, 下盤28度。 シルト質角礫~シルト質砂状。軟質。		2	[40]		Hc	w.												90							
140			**** ****	イト	暗	Dg					厚さ1~4cmの方解石脈を挟む。 深度136.53~200.00m: 花崗斑岩。 上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。	Ш	/ ₂₄	[39]		13	9, 39											10 30 140.00								
140			*		灰黄	Cg	IV g	og			花崗斑岩は、径3~15mmの石英、カリ 長石、斜長石、黒雲母の斑晶を1~3% 程度含み、石基は径0.1mm程度である 。斜長石の斑晶は径3mm程度であり、	(B)				+	[CL)										140,00								
			<u>*</u> *****			Dg	:				部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。 深度137.95~137.98m:破砕帯(Hb)。 上盤28度、下盤12度。幅25mmの黄灰色	1	3 [2	27]														10 /	57							
			**** ****		灰黄褐		V g				礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4~8mmの灰白色シルトを挟む。 深度139.55m:シーム。傾斜62度,幅	H		Į.	8]	\prod_{c}												10 31 142, 20								1
-	104.87	143.20	****		149		VI g	1		3	0.2mmの砂質シルト状。 深度139.73m:シーム。傾斜15度,幅 4~10mmの黄灰色砂質シルト状。 深度139.92m:シーム。傾斜50度。幅	H				70	-																			1
					にぶい	Dg	II g				3~4mmの黄灰色シルト状。 深度139.92~139.96m:傾斜50度。幅 20mmの黄灰色礫混じりシルト状。	H	z e	#		773													75							
			+++++		が黄橙	Dg	II g				深度139.96m:シーム。傾斜50度。幅 1~2mmの黄灰・褐色シルト状。 深度141.15~141.20m:破砕帯(Hb)。		5	[30]		\parallel													, ,							1
			++++			Dg	III g				上盤44度、下盤30度。幅35~45mm, 礫 混じり砂状。上盤に幅2~5mmの黄灰色 シルトを挟む。 深度141.51m:シーム。傾斜75度。幅	-	15		[60]	14	5, 37, 146,	37																		
-			+		灰黄.	Dg					2~3mmの黄灰色シルト状。 深度143.12~143.24m:破砕帯(hb)。 上盤20度、下盤15度。礫混じり砂状。	18	01			H _c	w.											11/ 1 147. 30								-
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐	Cg	Πg				深度142.19~142.20m:破砕帯(Hc)。 下盤13度、幅13~16mmの砂質シルト状		16	281		14	3.51																			1
-			++++		にぶい黄橙	Cg	IV g	cg			深度143.24~144.16m:破砕帯(Hb)。 上盤15度、下盤33度。径1~3cmの固結 した礫状。網目状にシルトを挟む。 深度144.16~144.21m:破砕帯(Hb)。	Щ	18			c																				1
150			+++++		恒		╁	bg			上盤33度、下盤65度。幅10~50mm, 黄 灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で 走向に相違あり。	Н	35			115	CM]											91							+
-			++++		灰黄	Cg	IV g	cg bg			深度144.69~144.93m:変質帯。上盤 18度。径1~3cm程度の碟状。網目状に シルトを挟む。		18	:30																	ダブル		100			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐			cg			深度146.49m。シーム。傾斜60度, 幅 4~10mmの黄灰色シルト混じり砂状。 深度149.78m:シーム。傾斜60度, 幅 3~5mmの暗褐~明黄色粘土状。	J.		[\$2]		Hc	w											11/2 152.00			コアチ					1
-			++++		IS.	Cg Dg	l	bg	r		深度150.00~151.97m: 高角度の密着 した節理が1~3cm間隔で発達。部分的 に開口し角礫状となる。	[8]				15	3. 13 153.	13												76	ューブ/	35.0				-
-			++++		にぶい黄橙	Dg Cg Dg Cg		cg			深度151.97~153.13m: 傾斜20~40度 の節理が数~10数cm間隔で発達。 深度153.20m: シーム。傾斜64度,幅		0]	20		Ħ															ダイ			0.0	泥水 5	5 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		たぶい の #	Dg	Пg]			2~4mmの暗褐色粘土状。 深度153.65~154.48m:節理に沿って 幅1~3cm程度変質強く、全体に明黄色 を帯びる。	H		1	51]	\parallel_{c}													116		ヤビット					4
-					炭黄	Cg	IV g	bg			深度155.50~155.55m:破砕帯(Hb)。 上盤45度、下盤62度。幅40~50mmの黄 灰色シルト混じり砂礫状。下面に幅3	W		[34]		Ħ																				┧
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑		Cg Dg		bg			~7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。	10	0]			Ħ.																				-
-			++++	岩	灰黄褐	Cg		bg		2			1]			C	W 7. 97											11 3 158. 00								-
-			+++++			Cg		bg			深度158.89m:シーム。傾斜56度,幅	[6]				c	r. [cr]																		-
160			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		にぶい異常	Cg		cg			8~10mm. 明黄色礫混じりシルト質砂 状。 深度159.89~159.90m:シーム。上盤	K	21			15	9, 90																			
			++++			Cg	II g				保護199 09*109, 965 10mmの 20 10mmの 20 10mmの 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	Ш	ľ	15	[80]	c	w.												100							1
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				Шд				が網目状に発達。節理に沿って黒褐を 帯びる。		Źα	[37]		16	1. 43																			
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g	4				Н	21 [21	1														11/4								
			++++			Dg	IV g	cg				\mathbb{H}	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	7 [82		Hc	-											163,00								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		淡黄		II g					\mathbb{H}	\rangle	35	L67.	H ₁₆	5, 00 165	00											88							
			+				III g	bg			深度165.00~166.00m: 網目状に節理 発達し. 節理に沿って褐色を帯びる。			26]		H																				
			+			Cg	IV g	L			深度166.10~166.65m: 斜長石が淡黄 色を帯び、粘土化している。 深度166.60m以深、網目状に節理発達		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8	[58]	T c	W.									1		11 6 166. 80								1
			+				IV g						2	26]		Tc	7. 40											100, 80				ļ				1
			+			Cg		cg			深度167.91m:シーム。傾斜40度。幅 2mmの黒褐色シルト状。		20	\parallel	[59]	16	. 10 [CM]																		1
-			++++		浅黄橙	Dg	шв				深度169.20~169.45m, 169.62~169. 85m:網目状に低角度の節理が発達。	Щ	20	[30]		Hc	w.							+					91				130			-
170			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰	Dg		bg				Ш	22	[40]		\parallel																				-
			<u> </u>		白	Cg						Ш	Ц	<u> </u>	Ш	117	. 00 171.	00	+	L									\vdash	\vdash				\dashv	\dashv	\dashv

柱状図(105.00m~140.00m)

1-74 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。



標	標	深	柱	岩	ム	石田	<u> </u>	쿀	圃	亦	記	-	ア	′採	取率	<u> </u>	当岩	÷ 7l		(標準貫	入試態	į)試	験	原	安	掘	堀	孔	п	絵		5 /	∕ 6 ;¥) 排
175	175	<i>**</i>	11			N.		れ	7555,	2	RC .			(% : ⊐) ア 長		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	一大		([~深				原位置試験			進	径	アチ		転		水	
尺	高	度	状	種			ア	目の				R		cr Q	n D	,		(m	$ _{\mathbf{N}}$							歌(孔内			度	71				圧	- 1	量
				区			形	状				-	-	[%]		⊠ 分	定	! ! ! ! ! ! ! !							水平載		月	cm /	壁保	ーブ/ビット	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 * ₊ * ₊ *	分	値オリーT 灰	-	状 IVg		化	質	事 深度134.09~134.11m:変質帯。上盤	0	П	50		100) 類	į Ή			0 10	20	30	40	50	一荷	験	日	時)	護	۲	мга 	~	~	<i>"</i>	
-			* * * * * * * * * * * * * * *		暗灰黄 ^{腰ナリー:}	, ,,	II g	4		2	25度、下盤16度。幅10〜30mm,緑灰色 シルト混じり細礫状。方解石脈に平行 。境界凹凸あり。		25	381		#													92					0.0	泥水5	0 -
-			* * * * * * * * * * * * * * *		オリーブ6 原オリー:	_	Ιg			3	深度134.25~134.28m:変質帯。傾斜 17度、幅30mm.線灰色礫混じりシルト 質砂状。軟質、境界不明瞭。 深度135.19m:シーム。傾斜20度、幅	Ш			[89]	89 C	-											10 20 137.00							3	
			# # # # # # # # # # # #		暗灰黄		П д				(本度 135.19	Ш			19	95	3. 00																			1
			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ	オリープ辰	ls.	III g			2	深度136.08~136.53m:変質帯。上盤 10度, 下盤28度。 シルト質角礫~シルト質砂状。軟質。		2	[40]		Hc	w.												90							
140			**** ****	イト	暗	Dg					厚さ1~4cmの方解石脈を挟む。 深度136.53~200.00m: 花崗斑岩。 上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。	Ш	/ ₂₄	[39]		13	9, 39											10 30 140.00								
140			*		灰黄	Cg	IV g	og			花崗斑岩は、径3~15mmの石英、カリ 長石、斜長石、黒雲母の斑晶を1~3% 程度含み、石基は径0.1mm程度である 。斜長石の斑晶は径3mm程度であり、	(B)				+	[CL)										140,00								
			<u>*</u> *****			Dg	:				部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。 深度137.95~137.98m:破砕帯(Hb)。 上盤28度、下盤12度。幅25mmの黄灰色	1	3 [2	27]														10 /	57							
			**** ****		灰黄褐		V g				礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4~8mmの灰白色シルトを挟む。 深度139.55m:シーム。傾斜62度,幅	H		Į.	8]	\prod_{c}												10 31 142, 20								1
-	104.87	143.20	****		149		VI g	1		3	0.2mmの砂質シルト状。 深度139.73m:シーム。傾斜15度,幅 4~10mmの黄灰色砂質シルト状。 深度139.92m:シーム。傾斜50度。幅	H				70	-																			1
					にぶい	Dg	II g				3~4mmの黄灰色シルト状。 深度139.92~139.96m:傾斜50度。幅 20mmの黄灰色礫混じりシルト状。	H	z e	#		773													75							
			+++++		が黄橙	Dg	II g				深度139.96m:シーム。傾斜50度。幅 1~2mmの黄灰・褐色シルト状。 深度141.15~141.20m:破砕帯(Hb)。		5	[30]		\parallel													, ,							1
			++++			Dg	III g				上盤44度、下盤30度。幅35~45mm, 礫 混じり砂状。上盤に幅2~5mmの黄灰色 シルトを挟む。 深度141.51m:シーム。傾斜75度。幅	-	15		[60]	14	5, 37, 146,	37																		
-			+		灰黄.	Dg					2~3mmの黄灰色シルト状。 深度143.12~143.24m:破砕帯(hb)。 上盤20度、下盤15度。礫混じり砂状。	18	01			H _c	w.											11/ 1 147. 30								-
}			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐	Cg	Πg				深度142.19~142.20m:破砕帯(Hc)。 下盤13度、幅13~16mmの砂質シルト状		16	281		14	3.51																			1
-			++++		にぶい黄橙	Cg	IV g	cg			深度143.24~144.16m:破砕帯(Hb)。 上盤15度、下盤33度。径1~3cmの固結 した礫状。網目状にシルトを挟む。 深度144.16~144.21m:破砕帯(Hb)。	Щ	18			c																				1
150			+++++		恒		╁	bg			上盤33度、下盤65度。幅10~50mm, 黄 灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で 走向に相違あり。	Н	35			115	CM]											91							+
-			++++		灰黄	Cg	IV g	cg bg			深度144.69~144.93m:変質帯。上盤 18度。径1~3cm程度の碟状。網目状に シルトを挟む。		18	:30																	ダブル		100			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		褐			cg			深度146.49m。シーム。傾斜60度, 幅 4~10mmの黄灰色シルト混じり砂状。 深度149.78m:シーム。傾斜60度, 幅 3~5mmの暗褐~明黄色粘土状。	J.		[\$2]		Hc	W											11/2 152.00			コアチ					1
-			++++		IS.	Cg Dg	l	bg	r		深度150.00~151.97m: 高角度の密着 した節理が1~3cm間隔で発達。部分的 に開口し角礫状となる。	[8]				15	3. 13 153.	13												76	ューブ/	35.0				-
-			++++		にぶい黄橙	Dg Cg Dg Cg		cg			深度151.97~153.13m: 傾斜20~40度 の節理が数~10数cm間隔で発達。 深度153.20m: シーム。傾斜64度, 幅		0]	20		Ħ															ダイ			0.0	泥水 5	5 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		たぶい の #	Dg	Пg]			2~4mmの暗褐色粘土状。 深度153.65~154.48m:節理に沿って 幅1~3cm程度変質強く、全体に明黄色 を帯びる。	H		1	51]	\parallel_{c}													116		ヤビット					4
-					炭黄	Cg	IV g	bg			深度155.50~155.55m:破砕帯(Hb)。 上盤45度、下盤62度。幅40~50mmの黄 灰色シルト混じり砂礫状。下面に幅3	W		[34]		Ħ																				┧
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑		Cg Dg		bg			~7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。	10	0]			Ħ.																				-
-			++++	岩	灰黄褐	Cg		bg		2			1]			C	W 7. 97											11 3 158. 00								-
-			+++++			Cg		bg			深度158.89m:シーム。傾斜56度,幅	[6]				c	r. [cr]																		-
160			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		にぶい異常	Cg		cg			8~10mm. 明黄色礫混じりシルト質砂 状。 深度159.89~159.90m:シーム。上盤	K	21			15	9, 90																			
			++++			Cg	II g				保護199 09*109, 965 10mmの 20 10mmの 20 10mmの 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	Ш	ľ	15	[80]	c	w.												100							1
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++				Шg				が網目状に発達。節理に沿って黒褐を 帯びる。		Źα	[37]		16	1. 43																			
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g	4				Н	21 [21	1														11/4								
			++++			Dg	IV g	cg				\mathbb{H}	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	7 [82		Hc	-											163,00								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		淡黄		II g					\mathbb{H}	\rangle	35	L67.	H ₁₆	5, 00 165	00											88							
			+				III g	bg			深度165.00~166.00m: 網目状に節理 発達し. 節理に沿って褐色を帯びる。			26]		H																				
			+			Cg	IV g	L			深度166.10~166.65m: 斜長石が淡黄 色を帯び、粘土化している。 深度166.60m以深、網目状に節理発達		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8	[58]	T c	W.									1		11 6 166. 80								1
			+				IV g						2	26]		Tc	7. 40									1		100, 80				ļ				1
			+			Cg		cg			深度167.91m:シーム。傾斜40度。幅 2mmの黒褐色シルト状。		20	\parallel	[59]	16	. 10 [CM]																		1
-			++++		浅黄橙	Dg	шв				深度169.20~169.45m, 169.62~169. 85m:網目状に低角度の節理が発達。	Щ	20	[30]		Hc	w.							+					91				130			-
170			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		灰	Dg		bg				Ш	22	[40]		\parallel																				-
			<u> </u>		白	Cg						Ш	Ц	<u> </u>	Ш	117	. 00 171.	00	+	L									\vdash	\vdash				\dashv	\dashv	\dashv

柱状図(140.00m~175.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
尺	高	度	 状	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	記事
, (同	汉	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	n. →
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
20			####	アプ	暗灰	2	100	9	0	1 2 2 2 2 2	2
-:			####	ライ	黄灰		100	13	27	- + + +	●141.15~141.20m ・破砕部である。 -
	-104. 87	143. 2	####	1	黄褐	CL'	100	18	48	- + + + 3 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	・暗灰黄色の固結礫状部からなる。・走向・傾斜はN76°E26°Sである。
20		1	<u> </u>		にぶ	OL	100	76	76		・上端境界の傾斜は44°,下端境界の傾斜は
-2		i	<u>++++</u>		い		100	23	77	- + + + +	●143.12~144.21m(D-34破砕帯)
-			++++		黄橙		100	15	30		け破砕部である。・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。-
			++++		灰	OM'	100	15	60	-1-1777	け・黄灰色の未固結粘土状部:累計幅1.5cm・走向・傾斜はN39°W64°Eである。
			+++		黄褐	CM'	100	10	10		・下端境界の傾斜は13°である。 44,69~144,93m
			++++		にぶい	CL'	100	16	28		· 変質している。
- 150			++++		黄橙	UL	100	18	74	1 1 1 1 1 1	・上端境界の傾斜は18°である。・径1~3cm程度の礫状を呈する。
ं			++++		巫		100	25	25		・網目状にシルトを挟む。 50,00~151.97m
			++++		黄褐	CM'	100	18	32	-+•	・割れ目が多く、角礫状を呈する。
			++++				100	9	0	11111	
			++++		にぶい 黄橙	,	100	10 38	10 51		
26		⊕ [+		にぶい 黄褐	CL'	100	17	34		-
		①[+++	1	暗灰黄		100	10	10		●155.50~155.55m(f-8-11破砕帯) ・破砕部である。
			++++		巫	OM'	100	11	11	+++	・黄灰色の固結礫状部からなる。・走向・傾斜はN12°W86°Wである。
			++++	花	黄褐	CM'	100	9	0	++	・フィルム状の粘土を挟在する。
-0			++++	崗斑		CL'	100	12	12		▶ 上端境界の傾斜は45°, 下端境界の傾斜は 62°である。
- 160			++++	岩	にぶい 黄橙	CM'	100	45	80	1115-1-1-1	160. 00∼166. 00m
::			++++			OIN	100	20	37		・密着した割れ目が網目状に発達する。 ・割れ目に沿って褐色を帯びる。
:			‡+‡+				100	21	21	-+	
			++++			CL'	100	27	42		
			++++		淡黄		100	35	67	-+++	,
			++++		典	12008-70	100	16	26		
5			++++			CM'	100	28	58		66. 10~166. 65m
			++++			CL'	100	16	26		・斜長石が淡黄色を帯び、粘土化している。
			++++		Ш		100	20	59		
- 170			++++		浅黄橙	CM'	100	20	30		69.20~169.45m, 169.62~169.85m ・網目状に低角度の割れ目が発達する。
. 170			++++		_淡黄 /	1	100	22	40		AND AND DESCRIPTION OF A DOCUMENT OF A DOCUM
88			++++		灰白	CL'	100	24	24		171 90 - 172 70
			####			1.25735	100	16	26	- + + +	171.80~172.70m ・網目状に割れ目が発達する。
			++++		にぶい	CM'	100	12	22		・割れ目に沿って黒褐色を帯びる。
			+:+:-		英橙 灰白	CL'	100	10	10	-+++	174. 64~175. 54m
					(22,25,1H)						・変質を受けて黄褐色を帯びており、密着及 び開口した割れ目が多い。

1-79, 1-80 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-74 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

(6/6)

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	旨		コア採取率	岩	岩	孔		(標達	単貫フ	人試 駿)	試験	原位	室	掘	掘	孔	_	給	() 回 :	÷	6) 送 排
				種			ア	n					最大コア長	級	盤	内水位	^	(N 値	~ 深	度		原位置試験	内	進		径 (mm)	チュ		転	水 :	送 排水 水
尺	高	度	状	区			形	目の					R Q D		分	(m)	N							乳肉		月	度	孔	ヺ	圧	数	圧 :	量 量
l.,						± <i>h</i> -		状能	11.	rifi.	事	-	[%]			測定月日	 値							[水平載荷) 50	EA.		[]	壁保護	ビ	kN • MPa	pm N	1Pa	ー/ 分 分
(m)	(m)	(m)	型 +++++	分	調	-	1A III g V g	態 bg	16	貝	,	(50 10		類	H		0	1	10	20	30	40 5	50 🖑	制火	日		設		~	<u> </u>		
-			+++++		灰	Cg	IV g	bg eg			深度171.58m:幅2mの黒褐色粘土付着。 。深度171.80~172.70m:網目状に節理		1241	CL.						-			_	-		11/7	91						
-			+ + + + + + + + + + + + + + + +		白	Cg	π	cg			発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。		[26]	172.7										4		172. 40							
-			++++		にぶい義者	Dg Bg	+	bg					[22]	CM'																			
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	-	灰白	Dg	IV g				深度174.64~175.54m:変質を受けて 黄褐色を帯びる。密着及び開口した節		[10]	CL.																	130		-
			+		にぶい異習		L	cg bg			理が多い。	ŀ	[36]	175.6													84			35.0			
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰	Cg	III g	cg			深度175.80~180.00m:傾斜60度以上 の高角度な節理が主体。密着した節理 は少ない。	-	25 [69]																				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄褐		IV g III g IV g	1				F	[34]													11/8							
			+++++				\vdash	og.				ŀ	21 [71]													178.00				-			泥
ŀ			++++				II g	cg					\$6 [86]											1							1	0.0	水 5
180			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg № Шg				深度180.00~182.10m:傾斜50度以上 の高角度な節理が10~20cm間隔で発達		30 [84]											1									-
-			++++ ++++ ++++				II g	bg			。 深度180.41m:シーム。傾斜58度。幅 2〜4mmの暗褐色シルト質砂状。		29	CW.										1									
-			++++		にぶい		Шg				WEST-100 04		19											1			96						
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄橙	Da	,,,,	bg cg			深度183,21m:シーム。傾斜65度。幅 2~5mmの黒褐色礫混じりシルト質砂状。	1	/ [29]											+					ダブ				
-			+++++			υg	IV g					F	[20]											-					ル				
-			+++++	蓝		Cg	Шg				深度185.00~190.00m:全体に傾斜70		[38]																コアチュ・				-
-			+++++	花崗斑岩	Total Control	Dσ	TV or	bg	γ	2	度以上の高角度節理が10〜20cm間隔で 発達。 深度186.01〜187.17m: 節理が密集し		[31]	186. 0	[CM]											9 185. 70		76	ーブ/゛				
			##### ######		灰黄	Og Og Og					, 短柱~角礫状コア。	1		CL.															ダイヤビ			+	
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg Og	шв	cg					[36]																ット				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g	bg				$ \cdot $	21 [[44]																		150		
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい		IV g	cg				F	[28]	CW.													97				150		
190			+ + + + + + + + + + + + + + + +		黄橙	Cg	шв	bg			深度190.00~192.31m:変質弱く, 比 較的硬質で良好な岩盤。	F	[45]																	45.0			-
			+++++				IV g π _s	cg			深度191.49m:シーム。傾斜70度。幅 1~2mmの砂状。傾斜約90度,幅1mmの石 英脈を見かけ1.5cm正断層的にずらす		[26]																				
-						Dg Cg	IV g				。条線方向はほぼ垂直。 深度192.31~194.81m:変質の影響を 受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い		14 (14)	192.3										1		11 /							
-			++++		におい	Dg Cg	L	cg bg			。 深度192.86m:シーム。傾斜73度。幅 2~3mm暗褐色礫混じりシルト質砂状。		19 [49]	CL.										1		11 10 193. 00					0	0.0	泥水 0
-			+++++		サラ サラ サラ で で で で で で で で で で で で で で で で	Dg	III g	cg			下盤に厚さ0.2~0.3cmの石英脈を伴う 。破砕部に径3mmの石英角粒を伴う。 深度194.42m:シーム。傾斜72度。幅		18 1											+									5
-					褐	Ĺ	ша	bg			2~4mmの褐灰色シルト状。下盤側は、 変質により明黄色を帯び、マンガン汚 染により、黄、黒の縞状を呈する。	1	[42]	194.8								+		+									-
-			++++				IV g	cg bg			深度196.39m:シーム。傾斜67度。幅 2~4mmの砂~礫状。上盤に厚さ0.1~ 0.2cmの石英脈付着。破砕部に径0.3c	F	[41]									+		+			100						
-			+++++		にぶ	Dg	IV g				m程度の角礫化した石英脈を含む。		[40]									-		-									
-			+++++		い黄橙		Шg						[35]	CW.								-		1		11 /							
-			+++++			Cg	IV g IV g IV g						[35]								1					11 11 198. 50							
	154.06	200.00	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g	1				l	[33]	200.0	200.00											11/12	100						
																										200.00							

柱状図(140.00m~175.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	П	最十	R	コア採取率	
尺	高	度	 状	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	記事
/\	101	150		区		区	取率	ア長	D	R Q D	10 P
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
9			####	アプ	暗灰		100	9	0	- + + + + +	
×			####	プライ	黄灰		100	13	27	- * +	.●141.15~141.20m ・破砕部である。
	-104, 87	143, 20	####	1	黄褐	CL'	100	18	48	- + + + - + - + - + - + -	・暗灰黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN76°E26°Sである。
9			X+‡*		1=	UL	100	76	76		・上端境界の傾斜は44°, 下端境界の傾斜
e e			+++		ぶい		100	23	77		30° である。 ●143.12~144.21m(D-34破砕帯)
			++++		黄橙		100	15	30	- 141	・破砕部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。
			####		灰		100	15	60	-1-1-1-1-1-1	・黄灰色の未固結粘土状部:累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN39°W64°Eである。
			++++		黄	CM'	100	10	10		・下端境界の傾斜は13°である。
			####		褐にぶい		100	16	28		144.69~144.93m ・変質している。
150			++++		黄橙	CL'	100	18	74	-+++	・上端境界の傾斜は18°である。・径1~3cm程度の礫状を呈する。
100			++++		灰		100	25	25		・網目状にシルトを挟む。
			++++		黄褐	CM'	100	18	32	-+	150,00~151,9/m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
			++++		TFEJ		100	9	0	+++++++	
			++++		にぶい		100	10	10	- + + +	
			+++		にぶい	200	100	38	51		
			±+++		黄褐 暗灰黄	CL'	100	17	34	- 101	●155.50~155.55m(f-8-11破砕帯)
			++++		灰		100	10	10		・破砕部である。 ・黄灰色の固結礫状部からなる。
			++++		黄	CM'	100	11	11		・走向・傾斜はN12°W86°Wである。
			++++	花崗斑	褐	CL'	100	9	0	+ + + +	・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は45°, 下端境界の傾斜
160			++++	斑岩	にぶい	OL.	100	12	12	- +	62° である。
100			++++	-	黄橙	CM'	100	45	80		160.00~166.00m ・密着した割れ目が網目状に発達する。
			<u>+</u>				100	20	37	-+++	・割れ目に沿って褐色を帯びる。
			++++			01.1	100	21	21	-+	
			#+#+			CL'	100	27	42	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
			++++		淡黄		100	35	67	-+++	
			++++			OW!	100	16	26	- +	
			+++			CM'	100	28	58		166.10~166.65m ・斜長石が淡黄色を帯び、粘土化している。
			<u> </u>			CL'	100	16	26	- 14 1 1 1 1 1 1 1 1	MANAGER HO, MILIOCOTO
			++++		Ш		100	20	59		
170			++++		浅黄橙	CM'	100	20	30		169.20~169.45m, 169.62~169.85m ・網目状に低角度の割れ目が発達する。
.,,			<u> </u>		(淡黄)	(1)	100	22	40		
			++++		巫	CL,	100	24	24	1	171 90 - 172 70m
			++++		白	2.26826	100	16	26	- 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	71.80~172.70m ・網目状に割れ目が発達する。
			++++		にぶい	CM'	100	12	22		・割れ目に沿って黒褐色を帯びる。
			+		英橙灰白	CL'	100	10	10	+ + + + + + +	74. 64~175. 54m
					(支英位)						・変質を受けて黄褐色を帯びており、密着2 び開口した割れ目が多い。

1-74(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

(6/6)

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	話		ア	採耴	平	岩	岩	孔		(標準	準 貫	. 人	試験	į) [試験	原	室	掘	掘	귀.	_	給		6 / 送	送	
			-				ア	れ	,,,,,	^				(%) コア			盤	内水		(Ν	値~	~ 深	度			原位置試験		進	進	径	アチ		転			
尺	高	度	状	種				目の				R		cm Q	D			(m)	N									秋 孔内			度	/ 孔	ューブ/	圧	数	圧	量	量
				区			形	状						[%]		区	分	測定月日	<u></u>									7水平載荷)	試	月	cm /	壁保	ビ	kN	rpm	MPa	î	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事	0		50	100	分	類 171.00	召	値	0		10	20	:	30	40) (前 一	験	B	時	護	۲	MPa	_	<u> </u>	分)	分
			++++			Cg Dg Cg	∭g Vg	bg og bg			深度171.58m:幅2mの黒褐色粘土付着		24 124	4	Н	GM [*] 40															91							
ŀ			++++		灰白			bg			。 深度171.80~172.70m:網目状に節理 発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。		1 2	6]	Ш	CL'														11 / 172. 40								1
ŀ			++++			Cg Dg						11		Ш	Ш	CM.				ŀ																		
ŀ			++++		灰白	Bg		bg				Щ	I LEZ	1	Ш	174, 14				-					+			-										ا ا
L			++++		浅黄橙	Dg	IV g	1 1			深度174.64~175.54m:変質を受けて 黄褐色を帯びる。密着及び開口した節		0)	Ш	Ш	CL.															84				130			
			+++++		にぶい裏面	_		cg bg			理が多い。	╢	16	[36]	Н	175.62															84			35.0				
			+++++			Cg	Шд	cg			深度175.80~180.00m:傾斜60度以上 の高角度な節理が主体。密着した節理 は少ない。	Н	15	Н	[69]																							
ŀ			+++++	-	灰黄褐	DE	IIIg	1 1					2	1341																11./								+
-			+++++		14		IV g	bg				$ H \rangle$	21	\mathbb{H}	₩					-								1		78.00				-				1
-			+++++			DR	II g	1					Y	Н	[[11]					-					+			-								0.0	泥 水 5	5 _
180			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg	L cg			深度180.00~182.10m:傾斜50度以上		Ì	\$6	861																							_
			+++++			Ca	nε III g II g	4			の高角度な節理が10~20cm間隔で発達 。	\parallel	1/3		84]	CM,																						
			++++			06	Шg	bg			深度180.41m:シーム。傾斜58度。幅 2~4mmの暗褐色シルト質砂状。		20	Н	[96]																							1
ŀ			+++++		にぶい						深度183.21m:シーム。傾斜65度。幅		19	201	Ш																96							-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄 橙	Da		bg			2~5mmの黒褐色礫混じりシルト質砂状。		H		Н					-					+			+					ダ					
-			++++			D6	I I V B						[20]		Ш					-													ダブルコ					-
			++++	花		Cg	Шg	-						[35]	Ш																		コアチュ					
			+++++	花崗斑岩			шь	- 1	γ	2	深度185.00~190.00m: 全体に傾斜70 度以上の高角度節理が10~20cm間隔で 発達。		19 [31]	Ш	ļ	[CM]													11/9		76	ヺ					
			++++	- 岩	灰黄	Dg Cg Dg	IVg				深度186.01~187.17m: 節理が密集し , 短柱~角礫状コア。	4		Н	Ш	CL.																	/ダイヤビ					1
-			++++				Шg						22	201	Ш	187. 13																	ヤビッ					-
-			++++			Dg		cg					Ш	30)	Ш													-					۲					— <u>-</u>
-			+++++		ı		Шg IV g	bg						[44]	Ш					-															150			
190			++++		にぶい		Ⅲ g IVg	cg					17 [2	8]	Ш	CM.															97			45. 0				 _
			+++++		黄橙	Cg	Шg	bg			深度190.00~192.31m:変質弱く,比較的硬質で良好な岩盤。	4	3	(45)	Ш																			40.0				
İ			++++				IV g π _s				深度191.49m:シーム。傾斜70度。幅 1~2mmの砂状。傾斜約90度,幅1mmの石		1 2	1	Ħ					İ																		
}			+++++			Dα	IV g				英脈を見かけ1.5cm正断層的にずらす。条線方向はほぼ垂直。 深度192.31~194.81m:変質の影響を 深度192.31~194.81m:変質の影響を		4,	H	Ш	192, 31				ŀ					\dagger			1										
-			##### ################################		にぶ	Dg Cg Dg Cg		cg bg			受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。 深度192.86m:シーム。傾斜73度。幅] \	14	H	\mathbb{H}					}		+			+			+		11 10 193. 00						0.0	泥水5	0
-			#####		黄明	Dg	Шg	-			2〜3mm暗褐色礫混じりシルト質砂状。 下盤に厚さ0.2〜0.3cmの石英脈を伴う 。破砕部に径3mmの石英角粒を伴う。		Ť	[49]	\parallel	CL.				-					+											٠. ا	5	ا v -
			++++	-	黄褐	L	IV g				深度194.42m:シーム。傾斜72度。幅 2~4mmの掲灰色シルト状。下盤側は、 変質により明黄色を帯び、マンガン汚		18	[42]	\parallel	194.81																						_
						Cg	III g IV g	CE			染により、黄、黒の縞状を呈する。 深度196.39m:シーム。傾斜67度。幅		18	[41]	\mathbb{H}	1															100							
İ			+++++		1-	Dg	IV g	cg			2~4mmの砂~礫状。上盤に厚さ0.1~ 0.2cmの石英脈付着。破砕部に径0.3c m程度の角礫化した石英脈を含む。		2!	[40]	Ħ					İ																		-
}			+++++		ぶい		II g IV g	4							丗	CW.				+		+			\dagger			+										
-			++++		· 黄 橙	0~	III g IV g	62						[35]	\mathbf{H}					-								+		11/.								-
-						l og	IV g III g IV g	1. 1					5	[35]	\parallel	1														198. 50								-
	154.06	200.00				L	IV g	1					22	33	₩	200.00	200_00													11/12	100							
																														200. 00								